国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５４４回　秋間年度　第１回　会報　２０１２-７-４　司会　時庭稔君

お客様

ロータリー米山
記念奨学生
朱雅雯様

会長挨拶　秋間忍会長

想い起こせば、当時会長エレクトだった髙木慶一さんが檜山直前会長と私の自宅にお越しになり、高木年度の副会長に私を推挙したい旨のお話をいただきました。

その時は、心のどこかに副会長になっても100%会長になるとも限らないし、誰かがやらなければならないものなら、日頃お世話になっている髙木さんのために少しでもお役に立てればと考えて、快くお引き受けしたものでした。

あれから２年余、髙木会長、檜山会長の素晴らしいリーダーシップを具(つぶさ)に拝見させていただくにつれ、あのとき快く引き受けた自分の軽率さがじわじわと身に染みてまいりました。いまさらのことながら、黒磯ロータリークラブ会長の栄光を引き継ぐ責任の重さを感じながら、これからこの大役に挑む無謀な挑戦者であることを十分思い知らされることになりました。

不行き届きのこと多々あると思いますが、会員の皆様が黒磯ロータリークラブに期待されていることを最善の方法で具現化するため、私なりに最大限の努力を重ねて参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

この後の卓話で、会長による新年度方針説明があります。会員、家族、地域社会、そして国際社会からより大きな期待と信頼が寄せられるようになることを願い、今年度における当クラブの活動方針を率直に説明させていただきたいと思います。

なお、例会、理事役員会の進め方、会費、炉辺会議の一部クラブ負担等、特に私から変更をお願いしていないものにつきましては、例年通りのやり方でクラブ運営が行われるという前提で御了承いただきたいと思います。もちろん、疑問、質問、ご意見等ありました何時でもお気軽に声をかけていただきたいと思います。

それから、来る７月16日の地区大会本会議において黒磯ロータリークラブがロータリー米山記念奨学会寄付3,000万円達成クラブの表彰を受けます。当日の式典では檜山直前会長にご登壇いただくことになっておりますので、盛大な拍手で我クラブの表彰を皆で享受したいと思います。

また、例会参加の服装についてですが、７月、８月に限りクールビス（ノーネクタイ）を認めたいと考えますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月4日	42(2)	36(2)人	6(0)人	85.70%	*	
前　回6月27日	42(2)	30(2)人	12(0)人	71.40%	6人	87.50%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

幹事報告　吉光寺政雄幹事

幹事の吉光寺でございます。一年間宜しくお願い致します。秋間年度第一回幹事報告を申上げます。

○　地区からインターアクト年次大会が８月５日白鵬大学足利高等学校で開催との連絡がありました。新世代委員長の鈴木隆子委員長にお渡ししました。皆様、奮ってご参加頂ければと思います。

○　同じく地区から米山記念奨学会の普通寄付の案内がありましたので、髙木慶一米山委員長にお渡ししました。

○　今月のロータリーレートは1ドル80円と連絡がありました。

○　ロータリーリーダーがメールで届きましたので、秋間年度理事役員にメールで本日の午前中に転送しました。

○　本日、私から回覧をさせて頂いております、地区大会の案内、会員名簿の件、インターアクト活動報告書です。ご覧頂き回覧をお願いいたします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　植竹一裕会報委員長

秋間年度会報委員長の植竹です。年度初めですので、一年間宜しく御願いいたします。さて、秋間年度の会報用バインダーの受付を致します。出来れば経費削減の為にも、PC内にデータを保存していただく事を御願い致します。

○　村山茂社会奉仕委員長

社会奉仕委員会からご連絡いたします。

去る６月28日に開催された「ふれあい広場」第１回実行委員会の結果、本年は８月26日（日）に開催されることが決定いたしました。その節は、皆様のご協力をお願い申し上げます。

○　礒勝彦親睦委員長

親睦委員会員長の礒です。秋間年度記念品の発送について補足します。

記念品の内「お米」につきましては、澤田会員より「新米」の方が良いのではとの申し出がありました。「新米」希望される方はリストを再度回覧しますので、訂正をお願いします。

この場合、届け日の指定は出来ませんので御了承下さい。コメントを付けたいと思いますので欄に記入をお願いします。配送先は自宅を基本とさせて頂きます。

○　深町彰雑誌委員長

秋間年度雑誌委員会の委員長の深町です。Governor's Monthly Letterのバインダーが、部屋から出たところのテーブルの上の箱に入っています。レターボックスに入らなかったものですので、お帰りの際、各自お持ち帰りをお願い申し上げます。

新年度計画

○　秋間忍会長

輝かしい歴史と伝統を誇る黒磯ロータリークラブ第53代会長に就任するにあたりまして、皆様から温かなご声援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

黒磯ロータリークラブ歴代会長がこれまでに残された数々の業績を知れば知る程、その重責を全うできるかどうか心もとなくなりますが、世界平和に通ずる奉仕の理想を掲げ、各位のご意見に耳を傾けながら、目標に向かって邁進することで不肖の不安を払拭したいと考えております。

今年度のRI会長田中作次氏は、2012～13ロータリー年度の目標を「奉仕を通じて平和を」とし、ロータリアンは生活のあらゆる場面で積極的に奉仕を実践することによって分かち合いの精神を育み、友好を見つけ出し、平和の道を選ぶことができると述べられています。

また鈴木宏RID2550地区ガバナーは地区目標として、

1)　基本的なロータリーの考え方を皆で学んでいこう。
2)　誠実な職業の実践のもとにビジネスの交流の拡大をしっかりやっていこう。
3)　「元気なクラブ」を作っていこう。
4)　広島での世界平和会議参加・平和フォーラム・平和活動の実施（中略）

を提唱されております。

このような特色ある年度に、黒磯ロータリークラブが今やらなければならないことは何かと自問自答し、本年度の方針と計画を以下のように定めました。重ねて皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1)　災害支援、ボランティア活動をしている団体をより積極的に支援する。
　・黒磯ロータリークラブが例年寄付を行っている団体、その都度寄付の依頼があってから理事役員会で審議する寄付案件、東日本大震災の被災者復興支援（ロータリー組織を経由）、これまで我々の視野に入らなかった人道的な支援団体（NPO、社福、学法等）の諸団体に対し、年度始めに公平かつ計画的な支出判断を行い、各団体に対して総会資料の提出をお願いする。
2)　特別会計の推移を分かりやすくして資金の充実、

有効活用を図る。
・期首繰越額、スマイル等浄財収入額、外部への寄付実績、期末（次年度）繰越額が会員に見えるようにし、外部への寄付実績（寄付先、金額）ついてはクラブ外にも公表する。

3) クラブ内の会計情報を的確に伝え、クラブ運営に係る情報の共有化を図る。
・黒磯ロータリークラブのホームページを見れば、一般会計、特別会計の全てが見えるようにする。このためにご了承いただかなければならないのが「複式簿記」と「発生主義」の採用です。

4) 各委員会同士のコミュニケーションを密にして奉仕活動の連携を図る。
・どんな事業を企画、実行する場合、直接担当する委員会と他の委員会が関連することが多いので、委員会の開催時には、その事業に関連する委員会、関心のあるメンバーにも声をかける。

5) グローバル化する世界経済にあって、地域発展に繋がるアイデアを熟成させる。
・地域経済の活性化には、人脈、アイデア、資金、PR力などが必要だが、我々にも何かできるという希望を持ち寄り、機会あるごとに話し合ってみる。新入会員の候補者も誘ってみる。

6) 奉仕の理想、未来の夢を共に語り、現状を知って頂いて新入会員を拡大する。
・例会への出席も大切だが、種々の炉辺会議に新入会員の候補者を誘ってみる。

7) ロータリー財団の補助金を活用し、人道的支援が叶うような事業を模索する。
・新しい地区補助金を視野に平山年度の事業計画を練る。

8) 会員、家族の皆様に心から喜んでいただける親睦行事を企画、実践する。
・会員、配偶者無料の行事と参加者から会費を徴収する行事のバランスを取り、飲食費の実態を把握する。

○　吉光寺政雄幹事

本年は、皆様の御協力を頂きながら、一年間お役にたてるようにしたいと思いますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

本年は、7月に地区大会がある関係と現況報告書の作成が重なり毎年の幹事さんはこんなに大変なことをしていたのかと驚いています。

一年を通じて極力出席するつもりですが、万が一欠席の際は仕事の現場で職業奉仕をしていると御理解頂ければ幸いです。その為に、副幹事に礒先生をお願いして、快諾を頂きました。一年間宜しくお願い致します。

○　平山博副会長（会長ノミニー）

秋間年度副会長を務めさせていただきます平山でございます。何かとロータリーに関して経験不足ではありますが、秋間会長を支えて、本年度の目標が無事に達成できるよう、強力に応援させていただきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

正直申しまして、まさか副会長、そして会長エレクトを務めるとは夢に思っておりませんでした。

今思い起こせば、19年前の7月の第一例会に、大森先輩から黒磯ローターククラブへの入会を強力に勧められ、なにもわからず薦められるまま入会してしまいました。

とにかく目立たないように、できるだけ静かにと、心掛けておりましたが、酒好き旅行好きと、どこにでも顔を出してしまい、突然鳥居様に幹事就任を依頼され引き受けたのが運のつき。

髙木年度には、親睦委員長に任命されてしまった訳で、宴会好きの私にとりまして最適の場と思い、又頑張ってしまいました。

そんなこんなで、前檜山会長には副会長兼、クラブ奉仕のご指名を頂き多くの事を学ぶことが出来ました。

檜山年度には感謝しております。

お陰様で、ここまで来られましたのも入会を勧めて下さった、大森貞男さん初め、重要な役職を与えて下さった鳥居さん、髙木慶一さん、前会長檜山さん、そして多くの会員の皆様の暖かな、ご支援、ご指導があったからこそと、大変ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいであります。

皆様にご迷惑をかけないように、この一年、会長エレクトとして精進し、来年には本日の秋間会長のように堂々と立派にスタートできるよう頑張って参りたいと思っております。

何卒宜しくお願い申し上げ、簡単ではございますが就任の挨拶とさせていただきます。

○　澤田吉男副会長（クラブ奉仕委員長）

このたび秋間年度副会長をおおせつかりました、澤田でございます。

秋間会長とは旅行が好きで、いつもご一緒させていただいたので、それがご縁で、今回副会長をおおせつかったのではないかと思っております。

その後、別の組織の役員をおおせつかってしまったので、どうしようか、迷いましたが、お受けしたからには、一生懸命、役職を全うするつもりでおりますので、各奉仕委員会の皆様を始め、会員各位のお力をお借りしまして、来年の6月には、無事に秋間年度が終了できるようによろしくお願いしたいと思います。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍　　よろしくお願いします。
檜山　達郎　　秋間年度のスタートを祝して。
吉光寺政雄　　秋間年度、1年間よろしくお願いします。
月江　寛智　　退任の花束ありがとうございました。秋間年度の出発を祝って。前回のニコニコ檜山会長、髙木幹事退任慰労です。
平山　　博　　副会長を務めさせて頂きます。宜しくお願い致します。
澤田　吉夫　　お世話になります。秋間年度よろしくお願い致します。
鳥居　輝一　　秋間年度のスタートを祝して。
石山　桂子　　秋間年度、よろしくお願い致します。
田中　　徹　　本日晴天の船出です。
福島　泰雄　　秋間年度の順風満帆を祈念して。
大森　貞男　　本日、秋間丸出発です。健康に気を付けて、1年間頑張ってください。
佐治　鐵造　　秋間年度が充実した1年になる様、心から祈念しております。
髙木　慶一　　秋間年度の船出を祝して。
瀬尾　紀夫　　秋間年度のスタートを祝して。
村山　　茂　　秋間年度船出おめでとうございます。
深町　　彰　　秋間年度おねでとうございます。
鈴木　久雄　　スマイル担当鈴木です。1年間宜しくお願いします。

誕生祝

荒井昌一君・植竹一裕君

○　植竹一裕君

昭和33年7月27日の暑い最中に産まれました。思い出と言うよりも、お二人の寡黙で大人しいメンバーの方に、「産まれたときから親に迷惑かけているのか？」と同じように言われました。お二人とは和気さんと佐藤博さんです。

これを期に、少しでも迷惑をかけないよう頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。

○　荒井昌一君

私の生まれは昭和18年7月で、生家は旧那須郡黒磯町国町と言うところです。

黒磯神社の裏側の所で現在も残っております。昭和20年の頃だと思いますが、家には防空壕あり、当時まだ2歳未満だった私ですが、空襲の時親と一緒に防空壕に入った記憶がかすかにあります。

● 7月4日欠席（敬称略）
黒澤洋一・相馬征志・高根沢英司・津久井誠一
橋本佳明・室井次男

○ 前回6月27日分メークアップ（敬称略）
鈴木隆子・礒勝彦・相馬征志・秋葉秀樹・植竹一裕
鈴木久雄

次回例会　　7月11日　　SAA・クラブ奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５４５回　秋間年度　第２回　会報　２０１２-７-１１　司会　時庭　稔君

会長挨拶　秋間　忍会長

第２回目の会長挨拶をさせて頂きます。今日の例会ではSAA、及びクラブ奉仕委員会に所属する各委員長さんに今年度の事業計画をご説明いただきます。私から改めて申し上げるまでもなく、今年度の各委員長さんは、皆黒磯ロータリークラブの円滑な運営とご家族も心から楽しめる事業を目指して自発的に計画をたててくれました。これからの事業を楽しみにしながらご静聴ください。

もしかすると、SAA、親睦委員長さんの説明と重複してしまうかもしれませんが、念のため以下の方針を確認させて頂きます。幸いにも、檜山前会長の年度で会費の値上げをしていただきました。その財源を基に予算を作成し、主に飲食費に係る費用を以下のような方針で使わせて頂くことになりました。

1)　夜、昼を問わず例会はSAAが担当し、飲食費は全額会費で賄う。
2)　観月会、新年会（会員、配偶者対象）の費用は全額会費で賄う。
3)　クリスマス会、親睦委員会主催の観劇会についてはクラブからの補助も一部予算化するが、費用は原則参加者負担とする。
4)　炉辺会議については、これまで通り一人・一回1,000円をクラブから補助する。
5)　クラブの会計処理は、一般会計、特別会計を問わず「複式簿記」「発生主義」を採用する。

特に、2）3）の件につきましては、奥様やご家族が知らなかったということのないよう、ご伝達方宜しく申し上げます。

去る７月７日（土）にここ石山で織姫会の総会があり、黒磯ロータリークラブ会長宛にご招待をいただきました。織姫会の会員資格は黒磯ロータリークラブの女性メンバー、又は同クラブメンバーの奥様ということですが、総会には例年会長も参加しているとのことでしたので出席させていただき、挨拶方々簡単に黒磯ロータリークラブの現況を説明させていただきました。

昨年度は髙木慶一様の奥様、松代様が織姫会の会長を務められましたが、東日本大震災の被災地にある石巻市立門脇小学校に支援物資を送る等我々のクラブにも劣らぬ立派な社会奉仕活動を行われました。今年度は檜山達郎前会長の奥様、桂子様が会長に選任され、厳正に総会が終了いたしました。勿論、同日行われました懇親会は華やかかつ賑やかで、当初緊張気味だった私も魅力的な奥様方に囲まれて白一点、気分よく総会後の一時を楽しく過ごさせていただきました。

来る７月16日（月）は「海の恩恵に感謝するととも

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月11日	42(2)	38(2)人	6(0)人	85.70%		
前　回7月4日	42(2)	36(2)人	6(0)人	85.70%	6人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

に、海洋国日本の繁栄を願う」ということで制定された世界でも珍しい国民の休日ですが、皆様ご存知の通り、同日は宇都宮グランドホテルで開催される国際ロータリー第2550地区、地区大会本会議の日でもあります。貴重な休日を費やすことになりますが、会員にとりましてはロータリーの意義を直接確認し合う年に一度の大切なイベントです。一人でも多くの皆様にご参加をお願い申し上げます。

恥ずかしながら、地区大会というと壇上から延々と一方的な話を聞かされ、長時間椅子に座りっぱなしでお尻が痛くなるといったイメージをお持ちの方も多いのではないかと思います。しかし、このような時間と空間を逆手にとって、錆び付いた哲学の扉を開き、「結局、自分は何をやりたいのか？」「我々は何処から来て何処へ行こうとしているのか？」という課題を密かに掘り起こしてみてはいかがでしょう。明確な答えは出なくても何か新しい発見があるかもしれません。

鈴木ガバナー年度の地区大会は、年度が始まって僅か2週間で開催され、大会終了後に同会場で懇親会もあると聞いております。また、様々な式典の他に工業デザイナーの奥村清行氏の記念講演『“超”モノづくりへの挑戦?これからの100年をデザインする」、栃木県出身の音楽ユニット「i-nos」による演奏会があります。決して安くはない地区大会登録料は全会員分まちがいなく徴収されておりますので、この機会を逃さず我々が新しい未来を切り開くための心の糧にしていただきたいと思います。

吉田松陰の言葉に「志定まれば、気盛んなり」があります。何らかの目標を持って望めばそこに意義が生まれ、やる気も出てきます。どうぞ奮ってご参加ください。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。幹事の吉光寺でございます。

まず、先週行われました理事役員会の内容をご報告いたします。

○　秋間年度事業計画、予算について承認頂きました。
○　秋間年度プログラムについても承認頂きました。
○　地区大会の参加について承認頂きました。
○　吉成ガバナー補佐来訪、クラブ協議会が8月29日に開催される件、承認頂きました。
○　出席免除会員の申し入れについて、佐治会員、田村会員より申し出のあった件、承認されました。
○　那須クラブとの合同例会について議論頂きましたが継続審議となりました。
○　最後に会費（飲食費）の一部免除について、継続審議となりました。
○　地区からインターアクト年次大会の申込書が届きましたので、鈴木隆子委員長にお渡ししました。
○　米山記念奨学会から3,000万円寄付達成クラブとの通知があり、髙木慶一委員長にお渡ししました。
○　那須塩原市国際交流協会から異文化座談会の案内が届きました。鳥居委員長にお渡ししました。
○　公益社団法人被害者支援センターとちぎからお礼状が届きました。本日回覧中です。
○　地区大会本会議のご案内です。7月16日午前7時30分石山出発でバスをご用意しています。どうぞ奮ってご参加をお願いいたします

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　鳥居輝一国際奉仕委員長

先程の幹事報告の補足をいたします。

那須塩原市国際交流協会（理事長高根沢武一）より「異文化交流座談会」開催のお知らせです。

日　時：平成24年7月24日（火）午後3時00分～午後4時30分
会　場：いきいきふれあいセンター2階研究室（住所塩原市桜町1番5号　電話0287-60-1115）
参加費：無料
内　容：異文化交流座談会～日米異文化間のコミュニケーションの違い～
ゲスト：アメリカ合衆国コロラド大学清水秀子博士と生徒2名
その他：事前の申し込み等は不要、当日会場に直接お越しください

※会話は日本語で基本行います

○　田中徹会計

秋間年度年会費　前期分100,000円、6月27日懇親会費(参加者のみ)2,000円を7月20日(金) 栃木銀行口座より引き落としますので御準備願います。

○　礒勝彦親睦委員会委員長

親睦委員長礒勝彦　再三お知らせしてきた記念日のプレゼントの選択と、希望配送日の確認及び変更のため名簿を回覧します。変更ある方は記入をお願いします。今回をもって最終としますが、以後変更が生じた方は速やかに親睦委員会まで連絡をお願いいたします。また、回覧が途中で止まってしまう事が多いので、止めることなく廻していただくようお願いいたします。

○　鈴木隆子新世代委員長

8月8日（日） 第16回インターアクト年次大会が、白鴎大学足利高等学校にて、9時受付、9時30分開会で行われます。事務局の不手際があり、案内が届くの

が遅くなりました。
本日、出欠の回覧をしています。至急で申し訳ございませんが、14日締め切りですので、ご協力どうぞ宜しくお願いいたします。

卓話　新年度方針説明

○　時庭稔SAA委員長

SAAの時庭です。秋間年度のメンバーは、高根沢英司副SAA、福田逸男会員、荒井昌一の4名で運営していきます。
本年度の計画として、例会開催の事前準備をしっかり行い、円滑な進行が出来るよう努めます。また、黒磯ロータリークラブらしさを重んじて、秩序正しく風紀を守り、明るく楽しい例会となるよう努めます。

1. 会長、幹事各委員長と連絡を密に取り、例会がスムーズに進行できるようにします。
2. 外来卓話者がお越しになる場合は、時間を充分とれるように段取りを重視します。
3. 食事の無駄をなくすため、欠席の連絡を当日9時30分までにしていただけるよう御願いします。
4. 例会ではBGMを流し、会場の雰囲気を和らげたいと思います。以上が今年度の計画でございます。

○　澤田吉夫クラブ奉仕委員会委員長

クラブ奉仕委員会はロータリークラブの中でも特にクラブ運営そのものでありまして、各委員会の委員長さんは事業計画の目的達成のためにがんばっていただきたいと思います。特に各委員会の委員の皆様は、委員長一人に任せないで、一丸となって委員長を助けて、積極的に行動していただければと思います。
秋間会長の本年度の方針であります、楽しいクラブ運営を心がけてとありますので、その為には、各委員会と連絡を密にして、それぞれの事業への積極的な参加をし、楽しいロータリーライフの実現に寄与したいと思います。
各委員会の本年度の事業計画を今週と来週の2週に分けて、発表していただきますので、よろしくお願いいたします。

○　礒　勝彦親睦委員会委員長

私が委員長と言う事ですが、今年度は委員全員が委員長です。親睦行事として、9月26日に観月会を和気委員長のもと開催します。12月19日はクリスマス家族会を「りんどう湖ロイヤルホテル」で福島委員長のもと行い、1月9日は鈴木委員長で新年会を「石山」で開催します。従来の観劇会は名称を変えて親睦委員会主導で5月頃スカイツリー見学研修旅行を計画しています。参加費については観月会と新年会では無料とします。但し参加者が従来多いクリスマス家族会につきましては、一律5,000円といたしました。スカイツリー見学研修旅行につきましては参加者負担を原則とします。また、従来の誕生祝い、結婚祝いにつきましては写真撮影と会報掲載のみとして、各会員の特別な記念日を指定していただき、生花かお米を自宅に届けさせて頂くことにしました。以上今年度の計画です。1年間宜しくお願いいたします。

○　瀬尾紀夫出席委員会委員長

出席委員長の瀬尾でございます。副委員長に福田逸男君、委員に高根沢邦夫君、石山桂子君、室井次男君の5人で運営します。
本年度の事業計画は：

1. SAAと連携を密にして例会の出席率向上に努め、無断欠席「0」を目指します。
2. 修正出席率100をめざしして参ります。
3. 様々なロータリーに関するイベントへの参加を促します。

○　新井聖一プログラム委員会委員長

プログラム委員会は新井聖一、副委員長・半田久一さん、委員・佐藤博さんの三名の構成です。
＜事業計画＞

秋間会長の方針に沿って、年間プログラムを作成し、例会及び各委員会の運営がスムーズに行えるよう努めて参ります。

1. 毎月のプログラムを掲示します。
2. 卓話担当委員会には、1ヶ月前に確認を行います。外来卓話の場合は、可能な限り原稿をメールで会報委員会へ送っていただけ

るようにお願いします。
3. 強化月間には、それに関係する委員会に関連卓話を依頼します。

○ 大森貞男広報 / IT 委員会委員長

委員長；大森貞男、副委員長；福島泰雄会員、委員；礒勝彦会員・月江寛智会員

＜本年度計画＞

1. 担当する各委員会のご協力のもと、以下の事項についての広報活動を行う。
   (1) 黒磯交通安全協会の活動に積極的に協力することにより地域住民への啓蒙を図る。
   那須塩原交通安全協会黒磯支部の交通安全パレードを 9 月 22 日（土）に開催するので、協力をお願いしたい。
   (2) 7 月 15 日(日)に開催予定のボーイスカウト那須塩原第 1 団の 35 星霜記念式典に参加協力することにより、青少年育成に取り組むロータリークラブの姿勢と共に、ボーイスカウトの存在意義を広報する。
   (3) 下野新聞社をはじめ地域有力者との情報交換を密にして、広報活動の活発化を計る。黒磯ロータリークラブとして毎年三斗小屋に宿泊をして、峠の茶屋をはじめ 4 ケ所の水を採取して分析を依頼して、記録を採っております事を、下野新聞やロータリーの友に掲載依頼をお願いする。
2. 国際ロータリー第2550地区第 1 グループ内各クラブの広報担当委員会との情報交換を行って、常に広報方法の改善に努める。
3. 例年の如くデジタルフォトコンテストを開催し、会員及び家族の親睦に努める。コンテストの課題は会員へのアンケートの結果により決定する。
   作品応募締め切り及び投票は 12 月中に行い、新年会にて発表と表彰を行う。
4. 黒磯クラブのホムページの活性化を図り、クラブの諸奉仕活動の状況を内外のアピールするように努める。今使われているホームページは秋の室堂の景色です。

☺ ニコニコボックス　鈴木久雄君

荒井　昌一君　誕生祝いありがとうございました。来年は古希を迎えます。
新井　聖一君　開院 10 年を経過しました。
田村　吉興君　秋間年度船出を祝して。

● 7 月 11 日欠席（敬称略）
植竹一裕・髙木慶一・橋本佳明・藤村聡・室井次男
高根沢邦夫

○ 前回 7 月 4 日分メークアップ（敬称略）
黒澤洋一・相馬征志・高根沢英司・津久井誠一
橋本佳明・室井次男

次回例会　7 月 18 日　クラブ奉仕（新年度計画説明）

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５４６回　秋間年度　第３回　会報　２０１２-７-１８　司会　時庭　稔君

会長挨拶　秋間忍会長

それでは第３回目の会長挨拶をさせて頂きます。皆様ご存知のように去る7月14日～16日かけてRI第2550地区の地区大会が開催され、14日の記念ゴルフ大会、15日の指導者研修会、RI会長代理歓迎晩餐会、16日の地区大会本会議と世界で一番早い地区大会が無事終了いたしました。

黒磯ロータリークラブは、米山記念奨学会寄付で3,000万円を達成したクラブとして、また100%PHFクラブとして表彰を受けました。また、相馬征志さんが奉仕部門功労者賞、半田久一さんがロータリー財団大口寄付者表彰（10,000ドル以上）、福島泰雄さんが長寿会員（80歳以上）、大森貞男さん、佐藤　博さんが30年100%皆出席の表彰を受けました。おめでとうございます。

覚悟はしておりましたが、本会議の開始は午前９時30分開始と聞いておりましたので朝7時30分に石山出発、それからというもの宇都宮グランドホテルに着いてからずーと座りっぱなしで、午後の５時過ぎまで過酷とも思われる大会本会議のスケジュールを健気にこなして参りました。貴重な連休を裂いてご参加いただいた皆様には心より御礼申し上げます。

長時間の肉体的不自由から解放された喜びか、反省会では忌憚のない意見交換ができました。月江直前ガバナー補佐、半田パストガバナー始め、皆様にお引き立ていただいて地区大会が無事終了し、なんとか会長役を務めることができました。もしロータリークラブの会長になるならやっぱり、人材、人情ともに厚い黒磯クラブの会長だと実感しました。ご協力ありがとうございました。

先週の挨拶でも述べましたが、「結局、自分は何をやりたいのか？」「我々は何処から来て何処へ行こうとしているのか？」そんな自問自答しながら、自ら納得のゆくような人生のヒントを探しつつ、いろいろな方々のお話を聞かせていただきました。時には冷房と薄暗い照明の中で居眠りをしてしまい、周囲の拍手に慌てて目を覚ますこともありましたが、概ね模範的な聴衆であったと思います。

取り分け、工業デザイナーの奥山清行氏の記念講演「“超”モノづくりへの挑戦?これからの100年をデザインする」では、若き日にエンジニアを目指し、流体力学、材料力学、機械設計の分野にこそ自分を活かす道があると信じていた私にとって、今の苦悩にぴったりの回答をいただきました。

さて、今日は二つ程提案があります。

その一つは、8月22日に我がクラブが迎える第2550

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月18日	42(2)	36(0)人	6(2)人	90.00%	*	
前　回7月11日	42(2)	36(2)人	6(0)人	85.71%	6人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

回例会（国際奉仕担当）と8月29日に吉成ガバナー補佐を迎えて行うクラブ協議会の持ち方です。

先ず、第2550回の例会ですが、これは我々のクラブがRI2550地区にあって、来る8月22日には創立から2550回目の例会を迎えるという記念すべき日です。

いろいろ考えてみましたが、

1) 当日全会員で記念撮影を行う。（SAA、会報さんにお願いする。）
2) 全会員で、「拝啓　鈴木ガバナー殿」というメッセージを書き、文集にして鈴木ガバナーに送る（吉成ガバナー補佐経由で）。
3) 黒磯高校からの１年交換学生磯杏子さんに、彼女が台湾でお世話になるホストクラブへのバナー、ッセージ、土産を用意する。（1万円～2万円程度）

次に、吉成ガバナー補佐を迎えて行うクラブ協議会ですが、各委員長さんに今年度の事業計画を説明して頂くことも考えましたが、発想を転換し、クラブ協議会のテーマをクラブが抱えている課題にしぼり、これに関る委員会さん、又はこれに意見のある会員から発言を頂くという形態を取りたいと考えます。そこで、今度のクラブ協議会で取り上げてみたのが、特別会計（ニコニコボックス）の使い道です。

これまで、外部への寄付は社会奉仕委員会が担当しておりましたが、個人の自由意志に基づく寄付という前提なら（財団、米山については、ほぼ半強制的ですが）それらを含め会員から集めた浄財の使い道は我々のクラブ全員の善意で決めたいというのが本音です。お金に色や感情はありませんが、そんな視点で全ての外部寄付を公平に見直したことはこれまでありませんでした。最終決定は理事役員会に託すとしても、クラブから外部への寄付についてここで公平に議論をしてみてはいかがでしょう。

そして、我々は外部（世の中に）一体どれだけのことができるのかについても謙虚に考えてみてはいかがでしょうか？

例えば、インターアクトへの資金援助、ボーイスカウト、ガールスカウトへ寄付金は、スマイルBOX委員会、新世代委員会、社会奉仕委員会の事業とも関係し、先ほどの、一年交換学生学生への小額支援も新世代委員会、国際奉仕委員会にも関係します。

クラブに発生する案件を「それは○○委員会の担当だ」で終わらせず、関係する委員会同士のコミュニケーションを増やし、小さなことでも我々のクラブが結果的に最大限、世の中のお役に立てるよう総力で対応してみてはいかがでしょう。ご検討よろしくお願いします。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆さんこんにちは。去る7月15日、16日の両日宇都宮グランドホテルにて鈴木ガバナー年度地区大会が開催されました。参加された皆様お疲れ様でした。

当日配布されましたロータリークーポン、案内、記念タオルをレターボックスに入れましたので、ご確認下さい。

○ ロータリー米山記念奨学会からハイライト米山が電子メールで配信されましたので、高木慶一委員長に転送しました。
○ ボーイスカウト那須塩原第１団35星霜記念式典が7月15日、高木慶一団委員長、大森貞男実行委員長のもと開催されました。

現在回覧しています資料の案内をします。

○ 当クラブ推薦のもと8月から台湾に派遣されます一年交換留学生の磯杏子さんのご両親から挨拶状を頂きました。
○ アジア学院より理事長丹羽章様が逝去されまして、新理事長に大津様が就任されました。
○ 8月5日に開催されますインターアクト年次大会の開催要項を回覧しています。
○ 大田原ロータリークラブから週報が届いています。

以上でございます。

委員会報告　　澤田吉夫副会長

○ 髙木慶一君

社会奉仕委員会から支援金をいただいています、ボーイスカウト黒磯第1団35星霜、団名変更那須塩原第1団1周年記念式典が、平山博副会長のご出席のもと東原地域活動センターで開催されました。

ロータリークラブ会員からの多数の協賛広告を戴きこの場をお借りしてお礼申し上げます。お蔭さまで7月15日に盛会裏に終了できました。ありがとうございました。初代育成会長は故山田一典氏でした。

黒磯ロータリークラブからも多額の協賛広告を戴き感謝申し上げます。

○ 大森貞男君

去る7月14日（土）に2550地区ゴルフ大会に黒磯ロータリークラブより高根沢邦夫、和気勝利、大森貞男の3名が参加をして参りました。

グランドシニアーの部で高根沢邦夫氏が第3位に入賞。シニアーの部で大森貞男氏が10位でした。一般の部で和気勝利氏は不本意な結果でした。団体戦は4名からですので残念ながら順位は付きませんでした。以上報告いたします。

卓話　新年度計画説明 クラブ奉仕委員会

○　澤田吉夫副会長

先週に引き続き今週もクラブ奉仕委員会の事業計画の発表をさせていただきます。

先週は、広報ITで終わりましたので、残りのニコニコから会員選考までの７クラブの発表を順次していただきます。よろしくお願いいたします。

○　ニコニコボックス委員会髙木慶一委員

鈴木久雄委員長が所用のため欠席と成りました。委員長から原稿をお預かりしていますので、代読させて頂きます。

秋間年度スマイルを担当する鈴木です。副委員長に高根沢邦夫さん、委員に高木慶一さんの三人です。

黒磯ロータリークラブ細則第10条、委員会の任務で、ニコニコボックス委員会は：

1. 「奉仕活動に要する資金を調達するために会、員にニコニコボックスへの喜捨を推奨する。」となっておりますので、よろこんで寄付をしていただきたいと思っております。
2. 「ニコニコボックスに関する経理を管理し、随時会員個人に実績を知らしむる。」となっております。

秋間年度方針では：

1. 災害支援、ボランティア活動をしている団体をより積極的に支援する。
2. 特別会計の推移を分かりやすくして資金の充実、有効活用を図る。

となっておりますので、ニコニコボックスは、対外的奉仕活動資金の根幹となるため、会員の皆様方のご協力が頼りですので宜しくお願い致します。

又、会員への特別会計情報の共有化を進めたいと思います。一人当たり年間30,000円以上の善意の寄付金を切にお願い致します。目標額を忘れそうな会員の方には、ニコニコと笑顔で目標不足額をお知らせ致します。

○　会報委員会植竹一裕委員長

秋間年度会報を担当致します植竹です。

副委員長に齋藤武久さん、委員に鳥居さん、新井さん、秋葉さん、更に影で協力していただいている田中さん、儀さん、村山さん、高木さんと運営してまいります。

本年度の計画としましては：

1. 原則をデジタル配信と考え、ペーパレスの徹底を行ないます。既に皆様にはご協力をお願いしておりますが、限りある経費の有効利用を目的にペーパーレスでの管理する為に、PC内部へ会報の保管することへのご協力を改めてお願い致します。
2. 会員の皆様への会報の速やかな発行を行なう為の要望事項として、皆さんにご協力をお願いしたい事が３項目程ございます。
   1) 例会担当委員の皆様は、例会翌日の木曜日までにデジタルデーターによる原稿の提出。原則として、使用するソフトをテキストドキュメントというソフトでの提出をお願い致します。
   2) それが困難な場合のみ手書き原稿にて提出をお願い致します。目安は400字詰原稿用紙2枚程度とお考えください。
   3) 外来卓話の場合につきましては、事前に担当委員会サイドで、卓話をお願いする方へ原稿の依頼をお願い致します。外来の方にデジタルデータを強要する事は出来ませんので、どちらでも結構です。
3. 会報の保存ファイルの作成及び配布。
4. 現在使用しているソフトがウィンドウズXPまでの対応となる為、2～3年先を見据えた今後の対応方法を早急に検討していく。
5. 更なる完成度を求めクラブへの貢献度を高めていきたい。
6. 特に、秋間年度に於いて会報委員の中に初心者が入る為（私自身です。）、編集会議・講習会の開催を前倒しに行ない、スムーズな運営を心掛ける。

○　クラブ史料委員会檜山達郎委員長

（本年度の計画）

1. 前年度までの引き継ぎ資料のチェックを行い、クラブ資料を整理し保管に万全を期す。
2. 従来からの引き継ぎである史料の電子ファイル化を推進する。
3. 当然のこと倉庫内の整理並びに整頓に勤める。

○　雑誌委員会深町彰委員長

雑誌委員会委員長の深町彰です。副委員長の須藤舜生さんと二人でやっております。秋間年度の計画を申し上げます。

まず従来していたことを、続けて行く内容としましては、次のようです。

1. 黒磯市内の公共施設に、ロータリークラブの活動を地域社会の皆さんに理解していただくため、雑誌「ロータリーの友」を配布いたします。
2. ロータリー情報委員会に「ロータリーの友」、「ガバナー月信」を提出し、新入会員の研修時に利用していただきたいと考えています。
3. クラブ史料委員会に、秋間年度末に「ロータリーの友」、「ガバナー月信」をまとめて提出します。

次に、お願いがあります。黒磯ロータリークラブの多士済済の会員の方々に、「ロータリーの友」に日ごろ考えておられることを、卓話の泉、ロータリー俳壇・歌壇・柳檀、友愛の広場等のコラムがありますので、是非ご投稿していただきたいと存じます。＜ロータリーの友＞、あるいはロータリー活動そのものを、より身近のものにしていただけたらと思っております。重ねてよろしくお願いいたします。

○　ロータリー情報委員会月江寛智副委員長

委員長　篠崎勝則、副委員長　月江寛智、委員　田村吉興。

＜本年度の計画＞

1. ロータリーに関する情報を収集し、会員に提供する。
2. 会員候補者に対して速やかに適切な情報提供を行う。
3. 本年度は3年に一度の規程審議会が開かれる年なので、立法案について情報を提供する。さらに、採決された制定案、決議案を説明をする。
4. 新入会員には「ロータリー入門」などの資料を配付し理解を深めてもらう。

○　会員増強委員会石山桂子委員長

会員増強委員会、委員長の石山でございます。副委員長に瀬尾紀夫さん、委員に斎藤武久さんと３人の構成になります。

秋間年度がスタートするにあたり、秋間会長より「奉仕の理想、未来の夢を共に語り、現状を知って頂いて新入会員を拡大して頂きたい」又、ただ「ロータリーに入って下さい」とお誘いするのではなくて、金額的な事もきちんと御説明申し上げてお誘いして下さいとのお話がありました。

今年度、新入会員が拡大出来る様努めて参りたいと思います。

目標としまして：

1. 本年度、新入会員１名以上を目指します。
2. 入会者の推薦者、又は勧誘者を表彰します。
3. 退会の防止策を検討し、理事会に提案します。

以上３点掲げました。

１年間、皆様の御協力を頂きながら努めて参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

○　会員選考 / 職業分類委員会荒井昌一委員長

委員長・荒井昌一、副委員長・田村吉興、委員・鈴木久雄・相馬征志

＜本年度の計画＞

1. 会員選考について：会員候補に選考された入会予定者について会員として適正であるかについて、理事会に報告いたします。
2. 職業分類について：前年度の職業分類表は、この地域の現状に即したもので、大幅に見直す必要はないのではないかと思います。未充填分野の部分については、会員増強委員会と連携して補充につとめます。

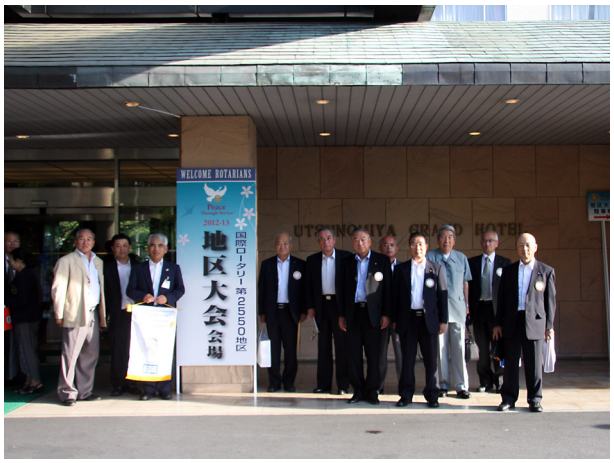
☺　ニコニコボックス　髙木慶一君

秋間　　忍君　地区大会が無事終了いたしました。ご参加ご協力有難うございました。

髙木　慶一君　ボーイスカウト那須塩原第１団35星霜、無事終了しました。協賛広告有難うございました。

黒磯第１団々名変更のため旧隊旗返納。常盤隊長より髙木団委員長へ、その後新那須塩原第１団新隊旗が隊長へ渡された。

地区大会



2012-2013年度地区大会が７月14～16日の日程で開催された。黒磯ロータリークラブのメンバーが、会場の宇都宮グランドホテル玄関前で記念写真。

一年交換学生として台湾に派遣される磯杏子さんの自己紹介。

● ７月18日欠席（敬称略）
篠﨑勝則・鈴木久雄・高根沢英司・室井次男
田村吉興・佐治鐵造

○ 前回７月11日分メークアップ（敬称略）
植竹一裕・髙木慶一・橋本佳明・藤村聡・室井次男・高根沢邦夫

次回例会　　７月２５日　　職業・社会・国際奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５４７回　秋間年度　第４回　会報　２０１２-７-２５　司会　時庭　稔君

お客様

大田原中央ロータリークラブ会長　　天野雅彦様
大田原中央ロータリークラブ会員増強委員長 川永作衛様

こんにちわ。お世話になります。大田原中央ロータリークラブ第24代本年会長の天野でございます。本日は例会に参加させて頂き、また、貴重な時間を頂き、誠にありがとうございます。

恒例の「与一祭り」が８月３日・４日の金曜日・土曜日にありますので、そのお知らせを兼ねて本日、会員増強委員長の川永委員長と2人で伺わせて頂きました。つきましては、手ぶらでは来られませんので、ビール券をお持ち致しましたので、是非当日いらして、ご使用になって下さい。お願い致します。できるだけ多くの方にいらして頂きたいなーと思っております。

お店の場所は大田原信用金庫本店前です。昨年の与一祭りの売上は100万円を超えております。本年は、例年通りにポリオ撲滅キャンペーンと大田原市子育て支援基金への寄付の他、新たに那須赤十字病院の高度救命救急への寄付を約束してしまいました。今年は目標を110万円に設定しておりますので、ご協力お願い致します。

大田原中央のメインの予定としまして

1) 本年方針「あなたの大切な人は今、笑っていますか」としております。家族・クラブのメンバー・お取引先のお客様・地域の人々、私たちに関わるすべての人が、より幸せな気持ちで、より笑顔になれるよう、クラブのメンバーと一緒に「気づかい」・「心づくし」の気持ちを大切に過ごして行きたいと思い、決めさせて頂きました。実は川永会員から頂いた言葉であります。
2) 友好クラブの締結。前根本ガバナーを輩出しました郡山西ロータリークラブとの締結を目指します。
3) 羽田ミヤコタナゴ生息保護活動への参画。地元の保存会・環境省・栃木県・大田原市と、会としての関わり方として、放流の際の資金援助及び、堀りざらいへのボランティア参加等を現在検討しております。
4) 市内公園等の未除染箇所を減らす為に、ボランティアの実施を考えております。

個人的な話になりますが、平成18年に入会し、まだ6年目ですので何も解らないのですが、ロータリーの素晴らしい先輩方が大勢いらっしゃいますので、この機会を有効に利用して勉強して行きたいと思っております。また、50歳から一人前であると、私の考えの中にあります。現在49歳ですので、この1年間を天から与えられたチャンスと考え先輩ロータリアンの皆さん

出席報告　出席委員会　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日7月25日	42(2)	32(2)人	10(0)人	76.10%		
前　回7月18日	42(2)	36(0)人	6(2)人	90.00%	4人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

から勉強し、吸収して素晴らしい50歳を迎えたいと思います。

実は私の娘が黒磯高校に通学しており、買い物をドンキホーテやイオン等で買い物する事が多く、親近感のある場所であります。

最後になりますが、他のクラブの会長と比べまして、大田原中央の会長は、体が小さいと言う事もありますが、いまひとつ頼りがなさげに感じられると思いますが、第１グループのロータリアンの仲間として今後ともご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。また、与一祭りへのたくさんの参加を心よりお待ちしております。本日は参加させて頂き、誠にありがとうございました。

会長挨拶　秋間　忍会長

梅雨が明けましたのであらためて暑中見舞いを申し上げます。体力を消耗するこれからの季節は、食事、休養、水分を十分にとって、ただし、ビールは飲み過ぎないようにして、体調管理にはくれぐれも気をつけましょう。

お陰さまで地区大会も無事終わり、次は8月29日（クラブ協議会、夜間例会）に吉成ガバナー補佐をお迎えするのが目先の行事となりました。

そこで、今日は私の体験が意外にも那須野が原に纏わる近代史に繋がっていたという話を紹介させていただきたいと思います。と申しましても、私は郷土史家でも何でもありませんので、私の話に誤りがあるといけないと思い、那須塩原市図書館にある貴重な本を読み直しました。

その本は、故小木曽滝男先生が執筆された中・短編小説集「那須岳の眺め」です。小木曽先生は確か月江先生の義理のお父様に当たられるとお聞きしております。

同書の書き出しの部分に「黒磯高校」という見出しがありまして、県立黒磯高校開校当初、小木曽先生が教頭、小木曽先生と同じ年配の山田先生、細小路先生がいたと書かれています。私は黒校の卒業生ではありませんが、この山田先生、細小路先生の両先生には大変お世話になりました。

後日、細小路先生には大田原高校で美術を教わり、山田先生には黒田原の自宅が隣だったこともあって、学生時代には東京のご自宅に下宿までさせていただきました。

記憶の糸を辿れば、山田先生の想い出はいろいろあります。以下断片的ですが・・・私の母が「山田先生は市川歌右衛門と長谷川一夫足して二で割ったようないい男」と絶賛していました。黒田原の長老は山田先生のことを「伯爵」とか「殿様」と呼んでいました。山田家は、黒田原幸町１区にあって、近所の人は「やまだはく」と呼んでいました。山田家にあった古井戸の近くを掘ったら日本刀が束になって出てきました。私が小学校低学年の頃山田家は高崎に引っ越し、私は先生の息子、顕喜ちゃんの住む高崎まで一人で遊びに行きました。その後山田先生は東京に引っ越し、日大の教授になってフランス語を教えていました。山田先生が理工学部なら日大を受験してみないかと言ってくれました。日大に入学してから、週に何回か私が先生の車、トヨタコロナを運転して、一緒に世田谷から水道橋まで通学していたことがありました。その頃だと思います。山田先生が日本大学を創設した山田義顕の孫であることを知りました。

山田先生が亡くなって、葬儀に参列したら、神式の祭壇に「秩父宮」の御印が飾られていました。それからだいぶ経って、山田先生の祖父、山田義顕のことに関心を持つようになりました。幕末の長州藩士山田義顕は、高杉晋作が病床で「市、市」と呼んでいた山田市之允であり、村田蔵六（大村益次郎）が京都で暗殺された後、官軍を率いて「五稜角を落とした男」でもあります。山田義顕の娘、梅子と最後の会津藩主、松平容保の三男、松平英夫（山田英夫）が結婚して山田先生（顕貞）が生まれたことになります。そして、山田英夫があの乃木将軍の副官を務めた松平中将であることを知りました。

「那須岳の眺め」には、山田先生の生い立ちや人柄が書かれていて、私の幼い日々の記憶が、幕末に活躍した長州や会津の人々の子孫に繋がっていたのかと改めて感じました。その後も、山田顕義に関する小説や伝記を読んだり、曾孫にあたる山田顕喜氏から直接お話を伺ったりして、だいぶ山田家の幕末から明治、大正、昭和が私の頭の中で繋がるようになってきました。

戊辰戦争から会津藩の悲劇、近代と薩長華族達と那須野が原の関わりに興味がある方は、先ほど話しました小木曽滝男著「那須岳の眺め」の一読をお勧めします。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。幹事報告を申上げます。

○　クラブ米山委員長会議開催の案内が地区から届きましたので髙木慶一米山委員長にお渡ししました。

○　5、6月の会員増強報告が地区から届きましたので石山桂子会員増強委員長にお渡ししました。

○　8月のロータリーレートは80円と、地区から連絡がありました。

○　ふれあい広場実行委員会から、実行委員会開催の案内が届きましたので、村山社会奉仕委員長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　村山　茂君

皆様ご承知の私の職業でありますタクシー事業が、来る8月5日をもって、生誕100周年を迎えることとなりました。大正元年に有楽町にてT型フォード6台で営業が開始されたそうです。これを記念いたしまして、全国で様々なイベントがなされておりますが、栃木県では、那須塩原駅にてその記念イベントが開催されることになりました。黒磯巻狩太鼓、福原餅つきうた、ロンドンタクシー及びユニバーサルデザインタクシーの試乗会、牛乳の無料配布、フラダンス、栃木県発行の宿泊券（抽選で10名様）など、単にタクシーのPRということばかりでなく、地域の特色である農業や観光事業にも配慮した内容になっておりますので、お子様あるいはお孫さん、友人知人等お誘い合わせのうえご来場いただければ幸いです。

卓話　新年度方針説明

○　職業奉仕委員会　秋葉秀樹委員長

本年度の職業奉仕委員会委員長を仰せつかった秋葉秀樹です。メンバーは副委員長相馬征志さん、委員に須藤舜生、同じく委員に大森貞男さんの計4名で運営いたします。

職業奉仕はロータリーの根幹をなすものであるので、原点に返って職業奉仕の在り方を見直す絶好の機会としたい。会員皆様の理解とご協力を頂き、意識の向上を図っていきたいと考えます。

〔本年度の計画〕

1.　新入会員へ『四つのテスト』を配布する
2.　会員手帳の作成・配布する
3.　職場訪問の実施
4.　その他、職業奉仕として必要な活動

また、会員の皆様には「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」を繰り返し読んでいただき、職場や私生活のあらゆる場面で、倫理的行動を実践していただきたいと思います。

○　社会奉仕委員会　村山　茂委員長

秋間年度社会奉仕委員会の事業計画等について説明いたします。当委員会は、私と、副委員長遠藤清和君、委員に黒澤洋一君、植竹一裕君、津久井誠二君の5名で組織されております。

事業計画の基本的な考え方は、秋間会長の方針に基づき地域社会への奉仕を重点に据え、これらの活動を通して地域との連携を図り、クラブの活性化に繋げて参りたいと考えております。

また、昨年の東日本大震災による被災並びに福島第一原子力発電所による放射能汚染問題、全国あるいは世界中で様々な災害が発生しておりますが、それらに対してどのような支援を行うことができるか。他の委員会とも連携して具体化し、理事役員会に提案して参りたいと考えております。

さらに、ロータリー財団による「未来の夢計画」（新地区補助金とグローバル補助金）について、関連各委員会と連携して、その有効活用と地域発展に繋がるアイデアを検討して参りたいと考えております。

以上、基本的な考え方を述べてまいりましたが、主な活動の実施計画につきましては、次の通りです。

1.　ふれあい広場　　平成24年8月26日（日）
2.　那須野巻狩まつり　　平成24年10月27（土）、28日（日）
3.　足尾植樹　　平成25年3月

4．　ボランティア団体支援金贈呈
平成25年3月（例会にて）
5．　那珂川水質調査　　平成25年5月
6．　関連委員会との炉辺会議　　随時
以上で2012-13年度社会奉仕委員会の事業計画の説

明といたします。

○　国際奉仕委員長　鳥居輝一委員長

国際奉仕委員会は鳥居輝一、副委員長室井次男、委員深町彰、委員藤村聡会員の四名の構成です。
〔本年度の計画〕
1.　今年度は東日本大震災発生後2年目を迎えるに当たり、引き続き軸を国内に目を向けて、重点的に社会奉仕委員会と歩調を合わせて活動をする。
2.　地区の行事には積極的に参加をし､情報を収集する。
3.　これからの国際奉仕のあり方について研究する。
尚、国際大会が2013年6月23日から26日、ポルトガルのリスボンで開催されますので、ロータリー・ファミリーの絆を深める最高の機会ですので是非ご出席下さい。

☺　ニコニコボックス　田中徹君

大田原中央ロータリークラブ天野雅彦会長　本日はありがとうございます。与一祭り宜しくお願い致します。
大田原中央ロータリークラブ川永作衛会員増強委員長　黒磯RCの皆様お世話になります。大田原与一祭りお待ちしております。

高根沢邦夫君
母の実家で収穫した「夕顔」です。
干瓢は夕顔の実を紐状に剥き、真夏の太陽に当てて干し上げた乾物食品です。

● 7月25日欠席（敬称略）
新井聖一・月江寛智・篠﨑勝則・深町彰・黒澤洋一
大森貞男・鈴木久雄・平山博・藤村聡・室井次男

○ 前回7月18日分メークアップ（敬称略）
篠﨑勝則・鈴木久雄・高根沢英司・室井次男

次回例会　　8 月 1 日　新年度計画説明：新世代・米山・財団

近隣クラブ例会日
◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５４８回　秋間年度　第５回　会報　２０１２-８-１　司会　高根沢英司君

お客様

○　ロータリー米山記念奨学生　朱　雅雯 様

表彰状伝達

○　半田久一君：2011-12 年度ロータリー財団
メジャードナー・レベル１

７月 16 日、鈴木年度の地区大会が宇都宮グランドホテルを会場に開催されました。その本会議に於いて、国際ロータリー財団大口寄付者として４名を代表して登壇し、比企達男直前ガバナーより表彰の伝達を受けました。

顧みて、1966 年４月６日に黒磯ロータリークラブに入会させて頂いてから 46 年の時がたち、ポールハリス・マルチプルフェローとマルチプル・ポール・ハリス・フェロー７回、ベネファクター２回で 10,000 ドルになりました。

2000～2001年度のガバナーとして、クラブの推薦をいただき、その任を終え、地区諮問委員として現在があります。それを記念して、2000 ～ 2001 年度創設の「遺贈友の会」のチャーターメンバーとして、夫妻で米貨10,000ドル以上の遺産の受取人としてロータリー財団を指名して誓約をしております。

この度の表彰には、妻京子と共に神に深く感謝しております。

○　相馬征志君：ロータリー奉仕部門功労者賞

先ごろ地区大会の席で「奉仕部門功労者賞」を頂き、本日の例会で伝達されました。

私がなぜこのような表彰を受けるのかにわかに思い

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日8月1日	42(2)	38(2)人	4(0)人	90.4%	*	
前　回7月25日	42(2)	32(2)人	10(0)人	76.1%	10人	100%

欠席の場合は当日９時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

あたりませんが、日ごろ一ロータリアンとしての有り様が評価されたのかなと思っております。有難う御座いました。

会長挨拶　秋間忍会長

お陰さまをもちまして秋間年度も１ヶ月が過ぎて、なんとかそれなりの流れになってきたような気がしております。これも皆様の献身的なご協力による賜物と改めて感謝申し上げます。

さて、8月の29日（水）は今年度初めての夜間例会です。年度方針でも説明させていただきました通り、夜間例会、それに続く懇親会共にSAAが担当し、懇親会の飲食費については追加徴収をしないことになっておりますので、安心して楽しい宴をご堪能ください。（もちろん､飲食費は会費である一般会計からの支出で賄われます）

また、この夜間例会の前（午後4 時から）には、吉成ガバナー補佐にご同席いただいてクラブ協議会を開催いたします。

これまでのクラブ協議会は各委員長がそれぞれの事業計画を説明し、ガバナー補佐からアドバイスを頂くという進め方が多かったように思いますが、今回のクラブ協議会では、テーマを当クラブの懸案事項､「特別会計の使い道」に絞り、出来るだけ多くのメンバーから意見を頂きながら、明日につながるより効果的な奉仕活動を模索してみたいと考えております｡実りある、そして楽しい集会にしたいと思いますので、出来るだけ多くのご参加をお願い申し上げます。

また､第二回目の例会で提案させて頂いた通り､8月22日（第2550回）の例会までに、皆様から「拝啓 鈴木ガバナー様」と題した短いメセージをお寄せいただき、これを文集にしてガバナー補佐経由で鈴木ガバナーに届けることで､黒磯ロータリークラブの第2550回例会達成記念にしたいと思います。

今日は、私もまだ乗ったことがないのですが、必ず一度は乗ってみたいと思っているジェット旅客機「ボーイング787」の話をさせていただきます。それというのも、つい昨年までボーイング社に日商岩井からの派遣社員として勤務していた友達と、今もANAの子会社で代表取締役を務めている友達がおりまして、飲み会で「大幅に遅れている」「ANAに足をむけられない」「やっと本番フライトにこぎつけた」等々､断片的な話を聞いておりましたが、あの美しい機体の映像を見て今さらながら話が見えてきたような気がしてきたからです。

改めて「ボーイング787」に関する情報を紹介させていただくと、2011年7月3日、日本の空港設備との適合性を検証するために、シアトルから787が初来日し、羽田空港に到着しました。

2011年7月13日、グアム国際空港に飛来した787の垂直尾翼には、まだテスト中でしたがANAのマークが塗装されていました。

2011年9月28日、全日空向けボーイング787の第1号機が東京国際空港に到着しました。受注開始から実に4年越しのできごとでした。

2012年1月14日、全日空は、羽田 - 北京線で世界初のボーイング787による国際線定期便運航を開始しました。

ボーイング787は、ボーイング767の後継機と位置づけられていて、767と比較して航続距離や巡航速度は大幅に上回るとともに燃費も向上されています。炭素繊維（カーボン）強化プラスチック等の複合材料の使用比率が約50%であり、残り半分が複合材料には適さないエンジン等で、実質、機体は完全に複合材料化されています。

ちなみに、炭素繊維強化プラスチックは同じ重量なら鋼鉄の10倍の強度があり､繰り替えし加重による金属疲労はありませんが、炭素繊維を固めている樹脂は紫外線によって劣化するため､UVカットコーティングや塗装が必要です。

ボーイング787の巡航速度はマッハ0.85、マッハ0.80の767、マッハ0.83前後のライバル機エアバスA330､A340より長距離路線での所要時間が短縮されると言われています。ちなみに、マッハ１は音速のことで、音は地表で１秒間に約340mの速さで進みますが、高度１万ｍの上空では、気温がマイナス40～50度Cですので音速も300m前後になります。これを時速に直すと1,000Km、ボーイング787はこの85%で飛行することになりますから、地面に対する対地スピードは、約時速850kmということになります。

ボーイング787基本型の787-8は座席数223座席(3クラス制）であり、航続距離は最大で８，５００海里(15,700km)、地球の半周が20,000kmですから、ロサンゼルスからロンドン、あるいはニューヨークから東京路線をカバーするのに十分であり、東京からヨハネスブルグへノンストップで飛ぶことも可能です。767と

比較すると燃費は20%向上され、最大旅客数も若干増加しています。

これは複合材（炭素繊維素材）の多用による軽量化、エンジンの燃費の改善、及びこれらの相乗効果によって空力特性が著しく改善されたためです。

787のランディングギア（脚）にはブリヂストン製のタイヤが使用されていて、トイレには、TOTO株式会社、株式会社ジャムコ、ボーイング社との共同開発による温水洗浄便座がオプションで採用され、全日空もこれを採用しています。

ついでに、ボーイング社と日本のメーカーとの関わりを見ると、ボーイング787は機体の70%近くを米国外メーカー約70社に開発させている国際共同事業です。これによって開発費を分散できるとともに、世界中の最高技術を結集した機体になったと言われています。参加企業は下請けを含めると世界で900社に及び、イタリア、イギリス、フランス、カナダ、オーストラリア、韓国、中国といった国々のメーカーが分担生産に参加しています。

日本のメーカーも、上述のブリヂストン、TOTO、三菱重工業を始めとして数十社が参加していて、日本の企業が担当する比率は合計で35%になります。この比率は787がこれまでの最大で（767は15%、777は20%を担当）、この35%という数字はボーイング社自身の担当割合と等しい比率ということになります。

私の話の中に意外性があり、日本の製造業もまだまだ見捨てたものではないと、未来に期待（機体）をもって頂けたらたら大変嬉しく思います。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。

○ 7月30日に会長、副会長、会計、幹事による会計に関する炉辺会議を開催しました。

○ ガバナー事務所から第4、5グループ合同IMの案内が届いています。8月26日真岡市のグランドホテル静風で開催されます。秋間会長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○ 大森貞男広報/IT委員長

秋間忍年度のデジタルフォトコンテスト題目募集について。

恒例のデジタルフォトコンテストも開始以来12回目を迎えることになりました。

本年度は皆様からの題目（テーマ）をいただきたいと思いまして、アンケートを用意いたしましたので、８月２２日（水）の例会までに大森、福島委員にアンケート用紙をお渡し下さい。

○ 髙木慶一ゴルフ愛好会々長

秋間年度会長を務めます高木慶一です。宜しくお願いします。委員に鈴木久雄さん、遠藤清和さん、和気勝利さん、礒勝彦さんです。宜しくお願いします。

ゴルフ愛好会々員は昨年の27名とします、退会新入会希望者はお申し出下さい。

年会費10,000円を8月20日に引き落としさせて戴きます。年度計画を作りましたのでお知らせします。

・第1回10月 8日(月)祝日　那須ちふり湖CC
・第2回11月15日(木)　那須クラブとの懇親ゴルフ大会。主幹那須クラブ。
・第3回 4月 7日（日）　那須黒羽GC
・第4回 5月30日（木）　那須ゴルフ倶楽部

会員にはレターボックスに日程入れておきます。

特に５月の那須ＧＣは躑躅（つつじ）の見ごろの週にしましたので、今から是非日程に入れて下さい、お願いします。

卓話　新年度方針説明

○ 新世代委員会鈴木隆子委員長

秋間年度　新世代委員会は、黒澤洋一副委員長と委員の時庭稔さん、橋本佳明さんと委員長の鈴木の４人で運営してまいります。

青少年交換に関しましては、今年も昨年に続きまして福島原発事故による放射能汚染のため、留学生の受け入れはありませんが、黒磯高校から磯杏子さんが一年交換留学生として今月から一年間台湾に留学します。有意義な留学生活を送り国際親善のことや世界理解についてm肌で感じ深めて来られるようサポートしていきたいと考えています。

また、6月20日に開催されました第2回地区インターアクト合同会議で、次年度からこちらの地区でも交換学生の受け入れを再開する予定との事で、ホストファミリーの確保の難しさが大きな課題であり、その解決に向けて様々な連携やネットワークの活用を考えていかなければならないとのことでした。

このことに関して当クラブでも色々とご苦労されていた事で、次年度に向けて心積もりをしていかなければならないことと思っています。

8月5日に　インターアクト年次大会が白鳳大学足利高等学校にて開催されます。今年は黒磯高校からは3名のインターアクターと顧問の先生が参加します。黒磯クラブからは月江さんと鳥居さんと私の3人が参加いたします。

今年は黒磯高校のインターアクトのメンバーが、上級生の卒業によってかなり減ってしまったそうで、8月26日の「ふれあい広場」の模擬店の出店等についても顧問の先生と連絡を取り合いながら、サポート体制をとり協力していきたいと考えています。

また、3月に行われる予定の高校生RYLAセミナーにも、多くの方たちの参加が得られるよう協力していきたいと思っています。

恒例となっています「足尾鉱山植樹」の奉仕活動参加についても、積極的に協力し参加したいと考えています。

来週の8日の例会に磯杏子さんが御挨拶に参りますので、どうぞよろしくお願いします。

○　ロータリー米山記念奨学会髙木慶一委員長

委員長に高木慶一、副委員長に佐治鐵造さん、委員に高根沢英司さんの3名です。

年度計画として：

1. 寄付目標1人18,000円達成に努めます。普通寄付5,000円、特別寄付13,00円。
2. 米山功労者、準米山功労者の増員に努めます。
3. 今年度米山記念奨学生であります宇都宮大学の朱さんのカウンセラーとして国際交流に励みます。以上が秋間年度の計画です。

米山記念奨学制度は、ただ単に奨学生に奨学金を渡せば良いと言う事業では有りません。国際交流を目的としたプログラムと言えます。奨学生はロータリアンとの交流を通してロータリーを知り、日本の文化を知る事が大切と思います。奨学生は積極的に黒磯ロータリークラブの会員と交流してもらいたいと思ってします。また会員は朱さんに話かけて戴きたいと思っています。

○　ロータリー財団委員会和気勝利委員長

今年度の委員会は、村山茂副委員長、半田久一委員の3名で、委員会活動を行ってまいります。

今年の活動計画ですが、まず昨年までと同様に：

1. 財団寄付目標1人当たり130ドルの達成、
2. ベネファクター増員1名、
3. ポリオプラスの支援とさせていただきました。
4. さらに今年は4番目といたしまして、今年度から新たにスタートする「未来の夢計画」の実施を計画いたしました。

この「未来の夢計画」の主たる部分は、財団補助金制度の大幅な変更にあります。

今年は、昨年度までの財団の活動をそのまま継承していく年と、まったく新しい「未来の夢計画」が始まる新しい年が同時に進行していく年度となります。今年度の財団補助金は、地元社会と海外における小規模なプロジェクトを支援するため、地区に一括で支払われる新地区補助金制度と、多大な影響をもたらす持続可能な大規模プロジェクトを支援する、グローバル補助金との二つの補助金制度に移行していきます。

今年の委員会では、昨年まで実施しておりました制度に近い新地区補助金制度を研究・立案等考査・実施をしたいと考えております。まだわからない部分も多々ありますが、今後の審議・研究・立案等を活動の課題として、委員会の枠を超えた黒磯RCの皆様のお力が不可欠かと感じておりますので、会員皆様のご支援・ご協力等お力をいただきますよう、お願い申し上げます。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

時庭　　稔君　誕生祝い有難うございました。
平山　　博君　誕生祝い有難うございました。
瀬尾　紀夫君　黒磯神社の夏越祭（なごしまつり）のお手伝いが無事済みました。

半田　久一君　2011-12 年度ロータリー財団メジャードナー・レベル 1 として、7 月 16 日に行われた地区大会に於いて、直前ガバナー比企達男氏より伝達を受けました。
相馬　征志君　ロータリー功労者賞を頂き有難うございました。
鈴木　久雄君　2 周連続欠席済みません。

誕生祝

時庭稔君・平山博君・瀬尾紀夫君

○　時庭稔君

本日は誕生祝ありがとうございます。
私は昭和 26 年 8 月 29 日に生まれました。今年で 61 歳になります。幼少期は黒磯の上黒磯で過ごしました。
幼少期の驚きの思い出としましては、冬の雪が降ったある日、大人たちがウサギを捕ってきて食べていたこと、また、飼っていた羊を食べたことなど、今ではあり得ないことですが、懐かしい思い出として記憶に残っております。

○　平山博君

昭和 23 年 8 月 16 日生まれ、64 歳になります。瀬尾君と同じ（24 年 8 月 16 日）誕生日です。
瀬尾君の方が貫録があり、私は年下に見られがちです。実年齢よりも少し若く見られているようです。8月 16 日は、送り盆で何かと忙しく、誕生日のお祝い事は忘れられているようで , 寂しい日です。
病気にならなように、健康に留意し頑張ります。

○　瀬尾紀夫君

昭和 24 年 8 月 16 日白河の厚生病院で生まれました。名前は黒磯神社の月江先生のお父様からいただきました。

● 8 月 1 日欠席(敬称略)
荒井昌一・秋葉秀樹・植竹一裕・室井次男

○ 前回 7 月 25 日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・月江寛智・篠﨑勝則・深町彰・黒澤洋一
大森貞男・鈴木久雄・平山博・藤村聡・室井次男

次回例会　　平成 1 2 年 8 月 8 日　　会員増強委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５４９回　秋間年度　第６回　会報　２０１２-８-８　司会　福田逸男君

お客様

○　東京中央ロータリークラブ　　坂口　　功様
○　東京中央新ロータリークラブ　坂口美代子様

皆さんこんにちは、東京中央ロータリーから参りました坂口です。

東京中央ロータリーは、会員数 240 名おります。今度 25 周年をむかえますが、その時に 250 名を目標としております。会員数が多いため顔と名前が一致する前に退会される方も多くメンバー全員は覚えきれませんがいたしかたないでしょう。

東京中央は古い考え方のロータリークラブでメンバーは全員男性であります。10年ほど前に子会と称して東京中央新ロータリークラブを開きました。女性も入会出来るようにするためです。初代の会長は、今同席しております私の妻です。といっても婿ですので主導権は・・・。

黒磯ロータリークラブは長い歴史を持ちながらこれだけの繁栄をもたらせている事に感銘を覚えております。古い考え方が多い東京中央に新しい風を吹き込みたいのでどうぞよろしくお願い致します。

○　那須塩原市企画情報課長　　藤田輝男様
○　那須塩原市企画情報課　　国井　悟様

○　一年交換留学（県立黒磯高校）磯　杏子様
○　お母様　　磯　恵子様

鈴木隆子新世代委員長

19日から台湾の高雄に向け出発します磯杏子さんとお母様の恵子さんが、ご挨拶に来て下さいました。どうぞ宜しく御願いします。

○　磯　杏子様

お久しぶりです。磯杏子です。私は 8月19日に台湾の高雄に出発します。今回、台湾の3510地区Kaohsiung Chung Hsin(高雄中興社)に受け入れてもらうことになりました。留学までの日にちが迫り、毎日準備に追われています。

留学までの日にちが迫っている中で思ったことは、留学するには自分のひとりの力ではできないということです。ロータリーの方々にサポートしてもらっていること、親や教師に手伝ってもらっていること、全てに感謝したいと思います。

また人と人が繋がることの楽しさ、大切

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日8月8日	42(2)	37(2)人	5(0)人	88.0%	*	
前　回8月1日	42(2)	38(2)人	4(0)人	90.4%	4人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

さを改めて実感しています。留学すると決めてから、今まで会ったことのないたくさんの人と会うことができました。同じ派遣学生だったり、ロータリアンの方だったり、きっとこの出会いは私の今後の人生にも関わってくると思います。たくさんの人と出会うことでより多くのお話を聞け、自分の狭い価値観が広がっていく気がします。台湾に行ったらもっと広がるのかなと思うと本当に楽しみです。何事もまずは楽しむことから始めていき、充実した留学生活を送りたいと思います。

これまで黒磯ロータリークラブをはじめ、青少年交換委員の方々には本当にお世話になりました。これからもサポートをどうぞよろしくお願い致します。本日はお招きいただき、このように発表する場を設けていただき本当にありがとうございます。

○　磯　恵子様

こんにちは、磯と申します。黒磯ロータリークラブの皆様には、娘の杏子が日頃から大変お世話になっており、感謝申し上げます。

娘は今月の19日に台湾の高雄に出発することになり、毎日慌ただしく過ごしています。

娘がこの青少年交換プログラムに応募したい言ったときに、海外に行くことは、とても勉強になると思い、はじめは軽い気持ちでOKしました。けれども、1年の留学やホームステイに関しては、未知の世界でした。いろいろ調べてみると不安要素も多くありました。反面ロータリークラブのこのプログラムはとても信頼のおけるプログラムだということもわかり、行けるものなら行かせてあげたいと思いました。試験後内定をいただき、オリエンテーションのあと、台湾に派遣されることになりました。

オリエンテーションに、娘と一緒に何回か参加させていただき、帰国した学生の方々のお話を聞いていますと、皆さんとてもしっかりしていて感心するばかりでした。娘も大変なことは、たくさんあるかと思いますが、それを乗り越え、いつも感謝の気持ちを忘れず、1年後、成長した姿を見せてくれることを信じて、帰国を楽しみに待ちたいと思います。

このような、機会を与えてくださったロータリークラブの皆様には感謝の言葉しかありません。これからの子どもたちのためにも、このプログラムがずっと続くことを願っています。また、微力ながらお手伝いできることは協力したいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

本日は、このような場を設けていただきありがとうございました。

会長挨拶　秋間忍会長

今年の立秋は8月7日なので、時候の挨拶もすでに「残暑厳しきおり云々・・・」ということになりました。これから日一日と涼しくなるのは結構なことなのですが、「ひぐらし」の声を聞きながらこれで今年の夏ももう終ってしまうのかと思うと、ちょっぴり寂しい気もいたします。

さて今日は、会員増強委員会担当で那須塩原市企画部 企画情報課課長 藤田輝夫様をお迎えしての例会となります。この後の市行政についてのお話が伺えるとのこと、藤田課長様宜しくお願い申し上げます。

8月19日に出発し、一年交換学生として台湾（高雄市）に留学する黒磯高校の磯杏子さんとお母様の磯恵子様をお迎えしております。私も厚かましくFacebook上で磯杏子さんとお友達ということにさせていただき、素敵な花火や浴衣姿の写真を拝見させていただきました。今日は台湾留学の抱負などを聞かせてもらえるとのこと、楽しみにしております。

8月5日（日）、RID2550のインターアクト年次大会が白鴎大学足利高校で開催され、黒磯高校のインターアクター2名、顧問の真淵千果先生、当クラブから鳥居輝一インターアクト地区委員、鈴木隆子新世代委員長が出席しました。暑い日のご参加ご苦労様でした。

8月22日（水）、お盆明けの次回例会は当クラブの第2550回例会になります。当地区（栃木県）が国際ロータリー第2550地区のあることの偶然を祝い、記念の集合写真、地区ガバナーへのメッセージ、磯杏子さんが台湾でお世話になるホストクラブへのバナー手配等をクラブ創設第2550回例会の記念行事としたいと考えております。皆様のご協力宜しくお願い申し上げます。

さて今日は、私の職業奉仕について話をさせていただこうかなと考えておりましたが、この後、藤田課長様のお話がありますので、会報だけの記事掲載、又は次回以降のテーマとさせていただきます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

先週の理事役員会の内容をご報告します。

○　9月プログラムの件、承認されました。

○　9月26日に観月会があります。奥様は無料招待ですので、奮ってご参加をお願いします。

○　8月8日外来卓話の件、承認されました。
○　8月29日ガバナー補佐来訪夜間例会の件、承認されました。
○　8月8日一年交換留学生磯杏子さん例会出席の件、承認されました。
○　那須クラブ合同例会の件、11月15日開催で承認されました。同日那須クラブとの親睦ゴルフ大会を開催しますので、ゴルフ愛好会の皆様宜しくお願いします。尚、前日の11月14日が水曜日ですが、振替休会となります。
○　四役会議開催の件、報告いたしました。
○　会費一部免除の件、承認されました。
○　新入会員推薦の件　余一砂利　鈴木剛平様承認されました。推薦者はもとより、クラブ一同入会に向けて宜しくお願いします。
○　四大奉仕部門功労者の件、8月29日夜間例会にて労を労う件、承認されました。
○　ガバナー事務所から、9月9日に米山カウンセラー講習会開催の案内を頂きました。髙木慶一カウンセラーにお渡ししました。
○　ガバナー事務所から、財団地区補助金の件の案内が来ましたので和気財団委員長にお渡ししました。
○　ガバナー事務所から、お盆休みが8月13日～15日と連絡を頂きました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　鈴木隆子新世代委員長

新世代委員会よりご報告いたします。

8月5日、足利にて第16回インターアクト年次大会がありまして、黒磯高校から2名参加いたしました。

一年間の活動報告をパワーポイントを使ってわかりやすくしっかりと報告していました。以上でございます。

○　髙木慶一ゴルフ愛好会長

昨日配信の会報には年会費10,000円を8月20日引き落としとなっていましたが、9月20日に変更しますので、宜しくお願いします。

○　和気勝利親睦委員

9月26日(水) 石山にて観月会を催します。ただ今出欠表を回しています。多数の皆様の出席をお願いします。

○　村山茂社会奉仕委員長

恒例の「ふれあい広場」も第32回を迎え、来る8月26日（日）に那珂川河畔公園にて開催されることとなりました。ハンディを持つ人・持たない人、子供もお年寄りも全ての人々が一堂に会し、相互理解の促進と仲間意識の高揚をめざして実施されるものです。

つきましては、黒磯クラブ会員の皆様には、時節柄ご多用のこととは存じますが、参加協力あるいは、ご家族、友人知人等お誘い合わせの上ご来場くださるようご案内いたします。

なお、開催にあたりまして、前日準備25日（土）、当日26日（日）、翌日後片づけ（月）の日程が組まれております。社会奉仕委員会が中心となり活動してまいりますが、皆様のご協力が不可欠でございます。従いまして、下記の事項をご確認のうえ、別紙（FAX）確認書にてご連絡いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

卓話

○　会員増強委員会石山桂子委員長

皆様今日は、会員増強委員会、委員長の石山でございます。8月は、会員増強拡大月間となっております。会員の皆様より１人でも多く推薦をして頂きまして、会員拡大に努めて参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

又、本日は外来卓話をお願いしてあります。市役所の方で「街づくりの出前講座」を行っているとお聞きしまして、お伺いしました所快くお引き受けをして下さいました。

卓話をして下さいますのは、那須塩原市・企画部・企画情報課・課長でいらっしゃいます藤田輝夫様です。テーマは「キャンプ那須」構想の実現へ向けてのお話です。では、藤田様宜しくお願い致します。

○　藤田輝男様（那須塩原市企画情報課長）

首都機能バックアップ・キャンプ那須構想について

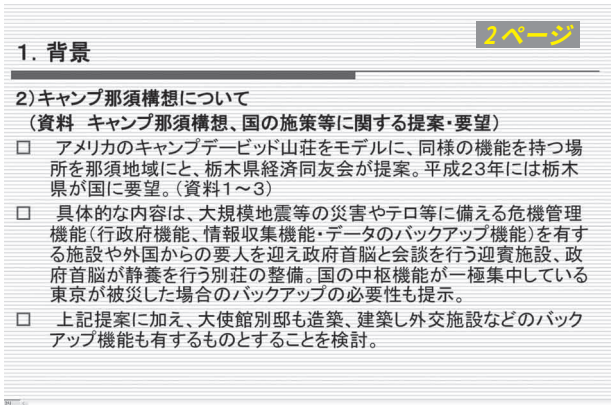
はじめに、何で本市が首都機能のバックアップなのか？キャンプ那須構想って何なのか？について、今までの経過を踏まえて簡単に説明させていただきます。1ページをご覧ください。こちらに首都機能移転の主な経緯をまとめておりますが、皆様、ご案内のとおり首都機能の移転、国会等の移転につきましては、「首都東京の一極集中の是正」「国の災害対応力の強化」等を眼目として、平成2年の衆参両院の国会決議に端を発し、平成11年12月の国会等移転審議会による移転先候補地の選定・答申に至るまで、国会及び、内閣総理大臣の諮問機関である国会等移転審議会において、今すぐにでも移転かといった

勢いで、活発な議論が展開されたところであります。

このような国の動きに対し、栃木県としては県内の官民を挙げて、本市の東北自動車道の西那須野塩原IC周辺を中心とする那須地域を移転先候補地として、PR等の取組を進めてきたという経過がございます。もちろん本市も中心となってさまざまな取組を進めてきたということでございます。

その中で、先ほどもお話しましたが、平成11年12月20日に審議会の答申が出され、15ページをご覧いただきたいと思いますが、10地域ありました移転先候補地の中で「那須・阿武隈地域」が最高評価を、そして単独の那須地域が2番目の評価をいただいたところでございます。

国会等移転法という法律に基づく移転先の選定であったことや、当時の所管官庁である国土庁が示した移転スケジュールでは、移転先地において、第1段階として10万人程度の新都市の建設を、平成16年度を目途に着手し、概ね10年後の平成25年度に新都市において、第1回目の国会開催を目指すとしたことから、あとは実行あるのみ、とんとん拍子にいくと思ったところ、東京都の反対や財政状況の悪化などから話はどんどん後退して、ついにはそんな話はあったの的なところまでいってしまいました。そこで、危機感を感じた栃木県経済同友会が平成21年8月に、もともと知事が発案したところのキャンプ那須を具体的な構想として取りまとめ、県に提言。それを受けて毎年、県が国に要望していますが、依然として、国会等の移転もキャンプ那須の実現もはかばかしくない状況にあるということでございます。


2ページ

1. 背景

2)キャンプ那須構想について

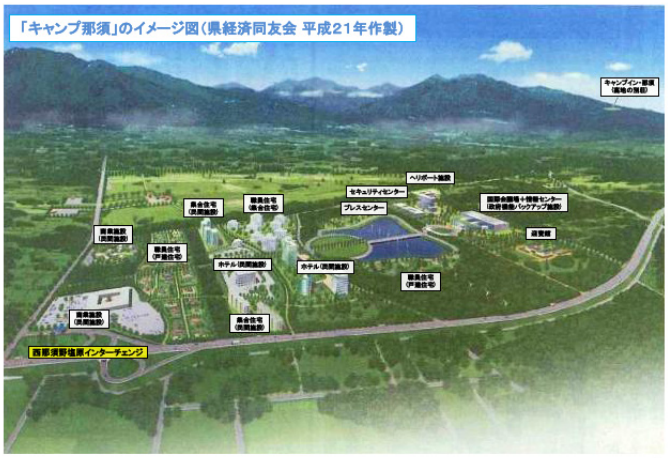
（資料　キャンプ那須構想、国の施策等に関する提案・要望）

- □ アメリカのキャンプデービッド山荘をモデルに、同様の機能を持つ場所を那須地域にと、栃木県経済同友会が提案。平成23年には栃木県が国に要望。（資料1～3）
- □ 具体的な内容は、大規模地震等の災害やテロ等に備える危機管理機能（行政府機能、情報収集機能・データのバックアップ機能）を有する施設や外国からの要人を迎え政府首脳と会談を行う迎賓施設、政府首脳が静養を行う別荘の整備。国の中枢機能が一極集中している東京が被災した場合のバックアップの必要性も提示。
- □ 上記提案に加え、大使館別邸も造築、建築し外交施設などのバックアップ機能も有するものとすることを検討。

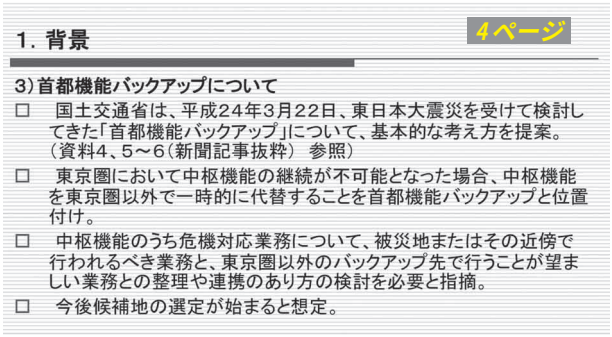
ちなみに、経済同友会のキャンプ那須構想については、2ページをご覧いただきたいと思いますが、さきほどの西那須野塩原IC周辺の国公有地等を対象に、アメリカのキャンプデービット山荘をモデルとして、大規模地震等の災害やテロ等に備える危機管理機能を有する行政施設や、外国の要人を迎える迎賓機能、政府首脳等が静養する別荘等を配し、首都東京が、いざ有事の時にはバックアップ機能を担う役割を持ち合わせた内容の構想となっております。

具体的には、10年間で国際会議場、情報センター、迎賓館などを約1,800億円の事業費規模で建設する内容となっております。

なお、3ページにはイメージパースを、そして詳細については資料の1～3に記載しておりますので、後ほど、ご覧いただければと思います。



話は戻りますが、このように国会等の移転やキャンプ那須については、遅々として進まない、あるいは、なかった話とされかねない状況にある訳でありますが、このような中、不幸なことではありますが、昨年の3.11に東日本大震災が発生し、加えて、その直後に文部科学省により「M7クラスの地震の発生確率が今後30年で70%」とする予知データが示されたことから、その切迫性にかんがみて、4ページになりますが、国土交通省が設置した「東京圏の中枢機能のバックアップ検討会」において、今年の3月22日に2次とりまとめが示され、「東京圏の中枢機能である国会・行政・司法の3権のほか、金融・経済、情報・報道、大使館等のバックアップのあり方（特に行政）について、基本的な考え方が公表されたところでございます。


4ページ

1. 背景

3)首都機能バックアップについて

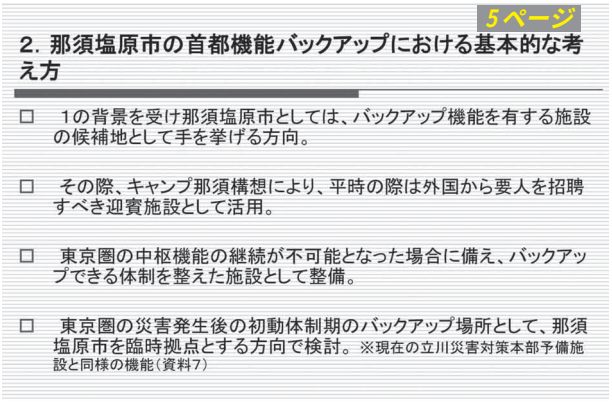
- □ 国土交通省は、平成24年3月22日、東日本大震災を受けて検討してきた「首都機能バックアップ」について、基本的な考え方を提案。（資料4、5～6（新聞記事抜粋）　参照）
- □ 東京圏において中枢機能の継続が不可能となった場合、中枢機能を東京圏以外で一時的に代替することを首都機能バックアップと位置付け。
- □ 中枢機能のうち危機対応業務について、被災地またはその近傍で行われるべき業務と、東京圏以外のバックアップ先で行うことが望ましい業務との整理や連携のあり方の検討を必要と指摘。
- □ 今後候補地の選定が始まると想定。

詳細の内容については、資料の4に記載しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

次に5ページをご覧いただきたいと思いますが、

今まで、お話したとおり、本市は、この問題については、ことの始めから取組んできた経過があり、国会

表


5ページ

2. 那須塩原市の首都機能バックアップにおける基本的な考え方

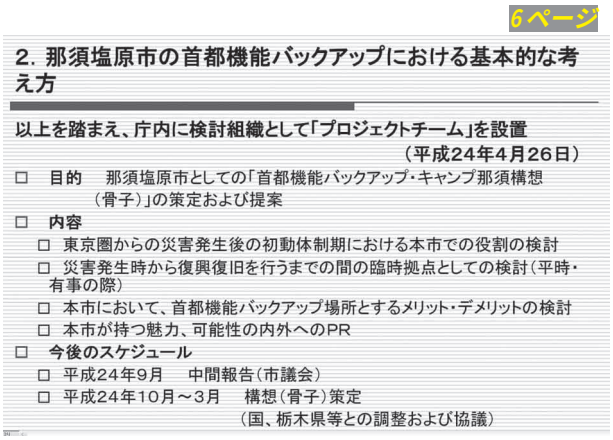
□ 1の背景を受け那須塩原市としては、バックアップ機能を有する施設の候補地として手を挙げる方向。

□ その際、キャンプ那須構想により、平時の際は外国から要人を招聘すべき迎賓施設として活用。

□ 東京圏の中枢機能の継続が不可能となった場合に備え、バックアップできる体制を整えた施設として整備。

□ 東京圏の災害発生後の初動体制期のバックアップ場所として、那須塩原市を臨時拠点とする方向で検討。※現在の立川災害対策本部予備施設と同様の機能（資料7）

等移転審議会の最高評価を得ている実績があることから、今回の国の動きについても、当然のこととして、1番の権利者としてバックアップ機能の受け皿を担うべく手を挙げたということでございます。


6ページ

2. 那須塩原市の首都機能バックアップにおける基本的な考え方

以上を踏まえ、庁内に検討組織として「プロジェクトチーム」を設置
（平成24年4月26日）

□ 目的　那須塩原市としての「首都機能バックアップ・キャンプ那須構想（骨子）」の策定および提案

□ 内容
- □ 東京圏からの災害発生後の初動体制期における本市での役割の検討
- □ 災害発生時から復興復旧を行うまでの間の臨時拠点としての検討（平時・有事の際）
- □ 本市において、首都機能バックアップ場所とするメリット・デメリットの検討
- □ 本市が持つ魅力、可能性の内外へのPR

□ 今後のスケジュール
- □ 平成24年9月　中間報告（市議会）
- □ 平成24年10月～3月　構想（骨子）策定
（国、栃木県等との調整および協議）

そこで、今後、どのような取り組みを進めていくかということについてですが、6ページになりますが、庁内に設置したプロジェクトチームにより、災害発生後の初動期におけるバックアップのあり方や、災害発生時から復旧復興を行うまでの臨時拠点としてのあり方、さらには本市を首都機能バックアップ場所とした場合のメリット・デメリットの検討を行い、経済同友会が作成したキャンプ那須構想をベースに、国が考えるバックアップのあり方を織り込むとともに、本市のオリジナリティである自然再生可能エネルギーの活用による自給自足のスマートシティの発想など加えた「首都機能バックアップ・キャンプ那須構想」を９月頃を目途に策定し、その後、県や近隣市町村・経済界との連携により、関係省庁、国会議員、関係団体等に直接、働きかけたり、新聞・テレビ等のマスメディアを活用したりして、本市の存在を広く発信していきたいと考えております。

なお、参考までに８～13ページにかけて本市のメリットを記載しておりますが、この売りの部分を前面に出して、国にPRすることにより首都機能バックアップを糸口に、キャンプ那須を実現し、ひいては国家100年の大計である国会等移転の実現を本市からの貢献として国に働きかけていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　黒磯テニスクラブ、栃木県北部地区クラブ対抗戦において優勝。決勝戦では和気さんとダブルスのペアを組みました。

東京中央新ロータリークラブとバナー交換

磯杏子さんに黒磯クラブバナーを託しました

● 8月8日欠席(敬称略)
新井聖一・高根沢英司・橋本佳明・深町彰
室井次男

○ 前回8月1日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・秋葉秀樹・植竹一裕・室井次男

次回例会　　平成２４年８月２２日　　国際奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５０回　秋間年度　第７回　会報　２０１２-８-２２　司会　福田逸男君

会長挨拶　秋間忍会長

先週の水曜日が休会で、２週間ぶりの例会となりますが、皆様それぞれ静かなお盆休みを迎えられたことと推察申し上げます。

今日は記念すべき当クラブ第2550回目の例会となります。後で出席者全員による記念撮影を行いますのでご協力ください。それからもう一つの記念事業、ガバナーへのメッセージ「拝啓鈴木ガバナー様」も例会終了までにご提出いただければ大丈夫ですので、第2550回目の例会に出席していたことの証に、一行でもメッセージをお書きくださるようお願い申し上げます。

８月26日（日）には例年通りふれあい広場が開催されます。前日準備、当日、後片付けとありますが皆様のご協力をお願い申し上げます。

８月29日（水）は吉成ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会、夜間例会です。クラブ協議会は当日午後4時から始めますので奮ってご参加ください。

さて私事ですが、たまたま、８月15日の夜、栃木テレビに生出演させていただき、私どもの会社の事業活動および製品を紹介させて頂きました。ちなみに業務用のソフトを開発している会社、システムエンジニア、IT産業の実態は意外にもあまりよく知られておりません。そこで、今日は私の職業奉仕、業務用ソフト開発について少しお話しさせていただきます。

業務用ソフト開発の課題を突き詰めれば、ITを駆使していかにお客様の経営効率を改善するかということになります。ソフト開発はITを支える一つの分野かも知れませんが、ITの全てをカバーするものではありませんし、業務用ソフト開発の分野だけでも相当に広いものがあります。経営コンサルタント、税理士さんとは全く別の視点になりますが、我々はITを駆使してお客様によりよい経営環境や道具を提供すべく日々精進しております。よくこの分野で優秀なエンジニアになるにはどんな能力が必要かと問われることがありますが、そんな時は「ITを駆使する能力は勿論、IT以外の業務を広く理解しようとする努力と見識」と答えております。

ITは文字通り、情報技術のことであり、人間が目標を達成しようとする時に使う道具の一つです。つきつめれば、情報自体も人間が行動を決定したり、同じ目的を達成するなら楽な行動を選択するための道具なのかも知れません。

高機能、安価で身近になったパソコンはITを駆使した素晴らしい道具ではありますが、活かすも、殺すも

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日8月22日	42(2)	35(1)人	7(1)人	87.8%	*	
前　回8月8日	42(2)	37(2)人	5(0)人	88.0%	5人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

道具に対する人間の考え方次第です。時々、クラブの皆様からもパソコンのトラブルなどについて質問を受けることがあります。

私に出来ることならば、職業奉仕の一環としてなんとかお役に立ちたいとは思っていますが、ご利用の目的や期待されていることを把握しきれず、突然の質問にはどう答えてよいか分からない場合もあります。

パソコン、携帯電話、自動改札機、デジカメなど好むと好まざるとにかかわらず、新しい道具が社会に浸透してゆくと人々の動きが変わり、それにともなって世の中の仕組みまで変わってきたという史実はたくさんあります。しかし、一般には人間が新しい道具と出会い、それが自分の想定に当てはまらない場合、好奇、拒絶、同化という過程を経て新しい道具の存在を認識すると言われています。手短に言えば新しい道具が一般社会で受け入れられるためには相当の時間がかかるということです。それまでの間、いち早く恩恵を受けて得する人と、いつまでも受けられないで損をする人が生まれ、ITではデジタルデバイド（情報格差）と呼ばれる社会問題まで引き起しています。

身近な社内業務の改善について最新の事例を紹介します。通常の中小企業では購買業務と会計処理の仕事は別々の担当者によって管理されていて、いつ、どこから、何を何個、いくらで買ったかについては購買部門の担当者がチェックし、締日までに届けられた請求書に間違いがなければ、これを経理担当者にまわし、この依頼に基づいて支払処理がなされるという手順がとられています。しかし、購買品の中には現金で購入するものがあったり、一回限りの品物を通販から前払いで購入するなどの事例が発生すると、会計処理と購買業務が交錯して業務が煩雑になります。

そこで近年、道具（IT）の利用を前提に、購買担当者と会計担当者が同じデータを共有し、それぞれの業務を独立、並行、かつ同時に進めるというやり方を採用しつつあります。すなわち、購買担当者と会計担当者が同じ台帳を同時に利用しているにもかかわらず、お互いが邪魔にならず、両者が相互に相手の書いたものを見ながら仕事を進められるといったイメージです。このような方式の採用により、経営者、会計担当者は常に変化する会社全体の資金や未払金を把握することができ、購買担当者による請求書チェックや集計報告を待つ必要がなくなります。また購買担当者も会計担当者との行き違いや、コミュニケーション不足によるトラブルを避けることができ、低コストで円滑な業務分担を実現しながら、自然なやり方で企業の効率改善を進めることができます。

また、会計担当者が操作する場合には、現金預金の動きや残高を参照できるのは勿論、現金預金のデータを直接操作することもできますが、購買担当者が操作する場合は、現金預金のデータを直接操作することはできず、必要に応じて現金預金の操作そのものも見えなくすることもできます。さらに、会計担当者と購買担当者とがそれぞれ別々の場所にいても、担当者間の連携プレーを問題なく行える仕組みを構築することもできますし、ケースによってはどちらか仕事を、どちらか一方に集約することが可能になります。（黒磯RCが今年度進めている会計処理の改善もこのような考え方に基づいています。）

これら選択、採用には経営者の経営者たる判断が必要になりますが、コンピュータのことは担当者に任せてあると言い放って、経営上重要な判断を回避してしまう経営者も少なくありません。これも前にも述べた通り、活かすも、殺すも道具に対する人間の考え方次第です。

本音を言わせていただけば、稀には自社の課題を解決するためにはどうしても道具（IT）を活用するしかないと決めてからソフト開発会社に来られるお客様もいらっしゃいますが、一般には新しい道具（IT）を採用した時、社内がどのように変わるのかという構想を初めから練り直す必要があり、これに相当時間と労力がかかります。またこれとは全く逆に「注文した通りのソフトさえ作ってくればいいんだ」というお客様もおられますがこれにもリスクがあると思われます。信頼に足るソフト開発会社を交えてお互いが納得できる戦略を共有し、ITを事業繁栄のパートナーとされることをお勧めいたします。

視力が弱った時には眼鏡を、足が弱った時には車いすを、記憶力が衰えた時にはメモを使うのはごく自然なことです。事業に活力を与えるためならたとえどんな道具でも使うという意気込みの中で、今使えそうな道具（IT）に対する考え方を根本から見直されてはいかがでしょう。

ご清聴ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。

○　回覧物について：

- 現況報告書を回覧中です。訂正箇所は添付の赤ペンで修正し、修正者が分かるよう記入下さい。
- 来週のガバナー補佐来訪の際「拝啓ガバナー殿」を渡します。記入頂けますようお願いします。
- 先日のインターアクト年次大会の報告書を添付しました。
- 10月4日ガバナー公式訪問の出欠表を添付しました。

記入頂き回覧下さい。

○　ガバナー事務所から9月のロータリーレートは80円と連絡がありました。
○　少年の主張那須地区大会の案内を受領しました。
○　全国ロータリークラブ野球大会のお礼状を受領しました。
○　交通安全週間パレードの打ち合わせ会の案内を受領しました。会長に渡しました。
○　黒磯高校 IAC から案内が届きました。鈴木新世代委員長にお渡ししました。
○　地区 IT 委員会からお知らせが届きました。大森広報 /IT 委員長にお渡ししました。
○　2013-14年度一年交換留学生の案内が届きました。平山会長エレクト、鳥居国際奉仕委員長、鈴木新世代委員長にお渡ししました。
○　リレーフォーライフとちぎ2012の案内が届きました。村山社会奉仕委員長、鈴木新世代委員長にお渡ししました。
○　那須塩原市国際交流協会から案内が届きました。鳥居国際奉仕委員長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　齋藤武久前年度会報委員

檜山年度の会報集成が出来ました。レターボックスに入れておきましたのでご覧ください。

会報は齋藤年度から檜山年度までを収め、過去の検索の助けに致しました。また、写真集は檜山年度の行事の写真を納めてあります。サービス版に焼けるようにトリミングしてあります。

○　大森貞男広報 / IT 委員長

恒例のフォトコンテストのお題を募集していましたが、今日が締め切り日です。24時までメールで受け付けていますのでよろしくお願いします。

卓話　国際奉仕委員会

○　鳥居輝一委員長

本日は記念すべき2550回の例会に国際奉仕委員会の持ち時間となり、これも何かの御縁と感謝申し上げます。

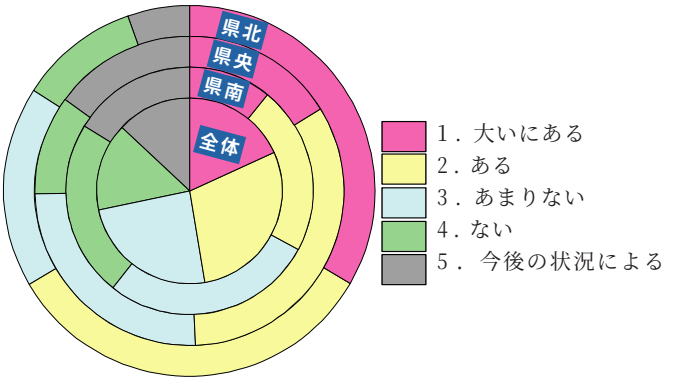
さて、国際奉仕に関するお話は、7月25日での秋間年度の計画説明のとおりでしたので、これより私の職業の不動産取引業に関するお話をパワーポイントを使って持ち時間を務めます。

さて、昨年3月11日に発生した東日本大震災は関東地方に及ぶ広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。本県は地震による被害のほか、福島第一原発事故が県内の地域社会に大きな影響を及ぼしました。そこで、私が所属している社団法人栃木県宅地建物取引業協会が被害の実態を把握するため、全会員に対し「原発事故に関するアンケート」を平成23年8月23日から8月26日まで実施いたしました。そのアンケート調査の結果概要をお話しいたします。

1．原発事故による自社の業績への影響について

1) 原発事故による自社の業績への影響について

	1. 大いにある	2. ある	3. あまりない	4. ない	5. 今後の状況による
県北	33. 3%	33. 3%	17. 5%	10. 5%	5. 4%
県央	16. 1%	33. 3%	25. 3%	10. 4%	14. 9%
県南	10. 9%	22. 1%	27. 9%	23. 2%	16. 3%
全体	18. 2%	29. 1%	24. 4%	15. 3%	13. 0%



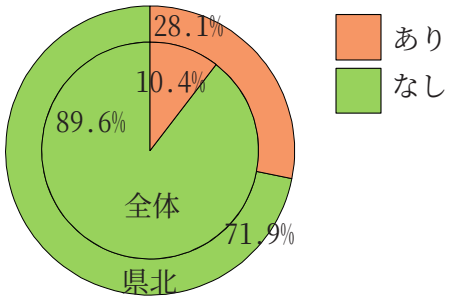
このグラフから影響が一番多いのが県北支部会員で原発事故が会社運営に支障を来たし、経営を圧迫した事が見受けられます。

次に福島第一原子力発電所からおよそ150㌔の位置にある県央支部会員も1. 大いにある2. あるを合わせ50パーセント近くの回答で多少なりとも仕事に支障があったことが分かります。

また、県南支部の会員は県北支部会員と比べて、さほど影響を受けずに不動産業を経営していた事がアンケートで分かります。

2）風評による被害状況について

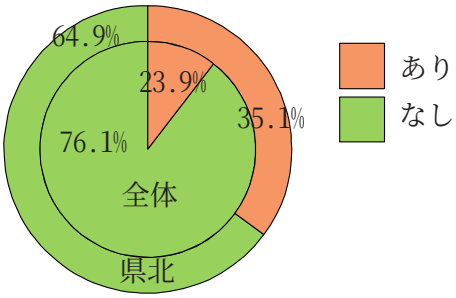
1）原発事故を理由とした契約済み物件の解除



契約解除の主な理由

- 放射線量の数値を見て今後、子育てができないとの理由で解除する。
- テレビ、新聞報道を見て契約解除する。
- 会社を解雇されたことを理由に売買契約を解除する。
- アパート入居者の賃貸借契約の解除が急増した。
- アパートに入居していた外国人が一斉退去する。

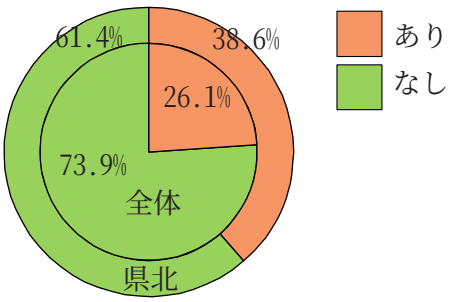
2）原発事故を理由とした契約前物件のキャンセル



キャンセルの主な理由

- 田舎暮らしを希望していた顧客が、放射線量の理由でキャンセルした。
- 土地買付証明書を受領するも、すべてキャンセルになる。
- 顧客の会社の経営状態を懸念して、土地購入をキャンセル。
- 購入したいが、半年間様子を見たいという理由で契約を延期する。

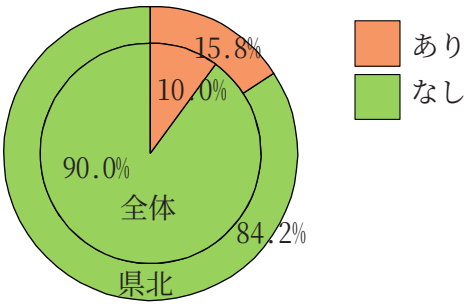
3）資産価値の下落について



≪主なもの≫

- 那須地域の土地は資産価値が激減した。
- 分譲地の販売価格の急落する。
- 買い控え傾向から販売価格の値引きになる。

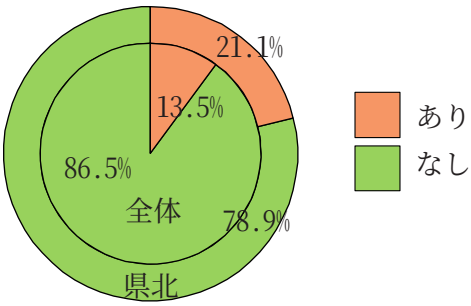
4）原発事故を理由とした契約金額の減額



≪主なもの≫

- 少ない顧客に対して、大幅な価格の値下げ。
- 分譲地の価格を下げても、買い手が付かない。
- 買主は放射線量を理由に平気で値引きに入る。
- 被災者へ住宅用地を売却したが、業者から値引き。

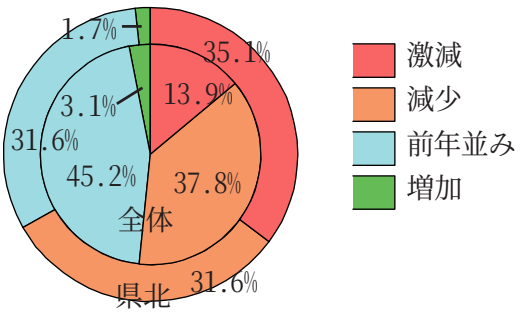
5）原発事故を理由とした経営環境の変化



≪主なもの≫

- 運転資金の不足。

6）原発事故以降の問い合わせ



県北地区の問い合わせ状況は、激減・減少を合計すると66.7%と突出して悪い数字だ。

≪主なもの≫

- 激減している。（回答多数）
- 広告を出しても反応がない。
- 那須の別荘地の問い合わせがない。（回答多数）

3．今後の見通し、不安材料、顧客の反応など

《主なもの》

- 風評被害が心配。
- 原発事故に対する国の対応が問題。
- 原発事故の収束が見えない限る何とも言えない。
- 一般企業の経営環境悪化により個人所得が減少。不動産取得の意欲も低下。
- 家賃滞納者が急増。
- 首都圏からの顧客が激減。
- 那須地域の別荘地需要が全くない。
- 顧客の放射能に対する意識が異常に高く、説明に苦慮。
- 法人契約の社員向けアパート、駐車場契約が軒並み解約。
- 放射線量の高い地域で生産された建築資材の使用に対する顧客の不安。

このアンケートの結果から、原発事故の影響により実際に契約解除などが出ていることが分かりました。

また、放射線量により風評被害を心配される声が多く見受けられました。依然として、不動産を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。

○ 県北支部の所属市町村：249 社
那須塩原市、大田原市、那須町、矢板市、さくら市、那須烏山市、高根沢町､塩谷町、那珂川町

○ 県央支部の所属市町村：628 社
宇都宮市、上三川町、鹿沼市、日光市、真岡市、芳賀町、茂木町、益子町、市貝町

○ 県南支部の所属市町村：459 社
小山市、下野市、野木町、栃木市、壬生町、岩舟町、佐野市、足利市

○ 栃木県全体：1,336 社（平成 23 年 8 月現在）

☺ ニコニコボックス　髙木慶一君

髙木　慶一君　会員の皆様、残暑お見舞いし申し上げます。

吉光寺政雄君　第 2550 回例会を祝して。

例会終了後、地区の番号と同じ2550回を記念して、出席者が記念撮影を行った。

● 8 月 22 日欠席(敬称略)
植竹一裕・鈴木久雄・高根沢英司・田中徹
時庭稔・室井次男・田村吉興

○ 前回 8 月 8 日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・高根沢英司・橋本佳明・深町彰
室井次男

次回例会　　平成１２年８月２９日　　クラブ協議会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５１回　秋間年度　第８回　会報　２０１２-８-２９　司会　時庭　稔君

会長挨拶　秋間忍会長

去る８月26日（日）、今年で第30回を迎えた「ふれあい祭り」が開催され、黒磯ロータリークラブはこれも恒例になりました鮎の塩焼き、焼きおにぎり、生ビールの販売を行うことでこの祭りに参加いたしました。村山社会奉仕委員長、社会奉仕委員を始め、当クラブ全員のご協力を賜り、立派に地域社会の福祉事業を支援する事が出来ました。残暑厳しい中でのご参加、ご協力をいただきました方々に敬意を込めて心より感謝申し上げます。

暑かったと言えば特に、８月27日（月）の後片付けにご参加頂いた鳥居さん、黒澤さん、植竹さんにはご本人達の平均年齢にも配慮せず、炎天下での机、椅子、テントの荷揚げ、荷下ろしを約３時間もさせてしまいました。思わぬところで「年寄りの冷や水」ならぬ「VIPの熱中症」を心配しながら、そのご苦労に頭が下がる思いです。本当にありがとうございました。

さて、今日は待ちに待った吉成ガバナー補佐をお迎えしての夜間例会であり、クラブ協議会が開催されます。当クラブは宇都宮から距離的に遠いということもありまして、心して地区に関心を寄せていないとなかなか地区の活動を把握できていないというハンデキャップもありますが、今日は吉成ガバナー補佐から直接地区の最新情報をお伺いできるものと期待いたしております。また当クラブの今年度事業方針や課題、それにまつわる発想もお聞きいただき、何らかのかたちで地区と連携が図れる可能性があれば、忌憚の無いご指導を賜りたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご多用中にも拘らず、当クラブの日程に合わせてご参加いただきました吉成ガバナー補佐に感謝の意を表して会長挨拶とさせて頂きます。

当クラブへのご来訪誠にありがとうございます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様、早い時間からご参集頂きましてありがとうございます。本日はクラブ協議会です。幹事報告は次週に回させて頂きます。

委員会報告　澤田吉夫副会長

なし。出席報告次週回し。

クラブ協議会に先立ち，吉成ガバナー補佐を囲んで記念撮影が行われた。

吉成ガバナー補佐をお迎えしての第１回クラブ協議会

秋間忍会長挨拶

改めてお伝えするまでもなく、クラブ協議会は、会員全員が、クラブの運営について話し合うための会合で、通常は以下のようなテーマを話し合うのにクラブ協議会は最適な場となります。

1) 活動のアイデアについて自由な意見やアイデアを出し合う。
2) 各委員会の活動の連携を図る。
3) クラブの特色、長所、短所について検討する。
4) ロータリーに関する知識を深める。

今回は、今年度最初のクラブ協議会という事もありまして、RI会長テーマ、第2550地区ガバナー方針、当クラブの会長方針、並びに事業計画を再認識し、各事業計画遂行のためには各委員会がどのように連携していったらよいかを話し合って頂きたいと思います。

また、これも全ての委員会に関係するテーマになりますが、スマイルBOXに喜捨して頂いた浄財（特別会計）を外部に支出する場合の価値判断について皆様の忌憚のない発言をお願いします。

これまでは、外部団体から支援や寄付の依頼がある度にその都度理事会で審議し、適宜支出しておりますが、一年を振り返ると依頼が無いという理由だけで支援や寄付をしてない団体があったり、分配に若干の不平等感が残るような気がしております。

もちろん、クラブ協議会は採決の場ではありませんが、皆様のご意見がクラブの意志として十分反映されるような仕組み作りをしたいと考えております。

それでは、お話をいただくにあたりましては従来のように委員会ごとに事業計画を順番に・・・ではなく、勝手ながら議題に沿って私の方からスピーカーを指名させて頂きます。戸惑われるかも知れませんがよろしくお願いします。

ガバナー補佐御挨拶

2012～2013年度RI第2550地区
第1グループガバナー補佐
吉成慶司様（黒羽ロータリークラブ）

鈴木宏年度の第1グループガバナー補佐の黒羽ロータリークラブの吉成です。

ガバナーから委任されるクラブの管理責務、研修、コミュニケーション、指導者としての役割を遂行することが与えられた任務です。本日は、ガバナー補佐によるクラブ協議会です。クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員の会合です。クラブの全会員の出席が要請されます。クラブ協議会の議長は、クラブ会長、もしくは指定された他の役員が務めます。

本年度のRI田中作次会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」と、第2550地区の強調事項に沿って当クラブの一年間の事業計画について協議していただきますので、よろしくお願い致します。

田中作次会長は、ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先すれば、自分よりも他者のニーズが優先され、考え方ががらりと変わり、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。人々を助けよう、人々がもっと幸せになるよう自分にできることをしよう、という気持ちがさらに湧き上がります。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもさらに心を開くことができます。それは、他人をかえようとするのではなく、すべての人やものが自分に何かを教えてくれること、毎日、新たな成長の機会が与えられることを認識することになると言っています。

このことが良くわかる事例を紹介します。聖路加国際病院理事長の日野原重明先生の60歳から始まる新しい人生への挑戦の話です。先生は、1911年（明治44年）生まれ101歳で今でも現役でご活躍しています。

60歳から始まる新しい人生への挑戦

よど号事件一還暦を目前にして日本初のハイジャック事件に遭遇1970年（昭和45年）3月31日、日本航空ボーイング727ジェット旅客機（愛称「よど号」は午前7時21分に乗員乗客138名を乗せて羽田を飛び立ち、福岡に向けて順調に飛行を続けていた。

午前7時30分過ぎ、富士山上空を飛行中に事件は起きた。「突然9人の男たちが立ちあがってね。日本刀を抜刀し、ダイナマイトを振りかざしながら『我々はこの飛行機を占拠して、北朝鮮の平壌（平城）へ行く。動くな』と叫び、乗客全員の手を麻縄で縛ったのです」。福岡での日本内科学会に出席するために機中の人となっていた日野原重明氏（当時58歳）。共産主義者同盟赤軍派による、日本初のハイジャック事件の現場に居合わせたのだ。「日本でもとうとうこんなことが起きたのかと思った瞬間、とっさに自分の脈をとってね。「普段よりも少し脈が速いな、緊張しているな」と思いながら、「隣の婦人もそうなのだろうか？脈を測って確かめてみたいな」などと考えて･･･。非常時にそんなことを思うのですから、やっぱり私は根っからのお医者さんなのですね」。操縦室に押し入り、平壌に向かうように指示した犯人グループに対し、よど号の故・石田真二機長は「機体は国内便用であり、北朝鮮に向かうには燃料が不足している」として燃料補給目的に福岡の板付空港に着陸する。ここで、3時間以上にわたる政府の説得が行われ、女性や子ども、病人や高齢者など人質23名が開放された。そして午後1時58分、よど号は日野原氏ら乗客99名を乗せたまま、板付空港を離陸し朝鮮半島へ向かった。

死の恐怖を前に出会った「カラマーゾフの兄弟」の一説

「対馬海峡に入ると犯人グループが、読み物を持ってきたから読みたい者には貸すと言い出した。赤軍派の機関紙や金日成の伝記、親鸞の文庫本、伊東静雄の詩集、カラマーゾフの兄弟などがありました」。日野原氏は乗客の中で唯一、手を挙げた。「もし北朝鮮で拘留されても、長編のカラマーゾフの兄弟をゆっくり読めばこころが落ち着くのではないかと思ってね。でも、夜には軍隊が突入してきて銃撃戦になるかもしれない。そうなると赤軍派はダイナマイトに火を付けると言う。寝るのが怖い。昼はウトウトしながら、夜はこの本を読んで･･･。頁を開くと新約聖書からの引用の一説が載っていたのです。一粒の麦臥地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」。ここで死んでしまったら、私の人生は何か実を結ぶのだろうか、と･･･」。石田機長はひそかに管制塔と交信し、午後3時18分、犯人グループを欺いて韓国・金浦空港に着陸する。「窓からのぞくと赤軍歓迎というプラカードを持った人たちがいる。ところが、遠方にノースウエスト機のウイングが見えて、私にはピンときた。田宮というリーダーはまだ気付かず、『我々は降りるが、あなた方は折り返して日本に帰ることになる。皆さんにはご迷惑をかけた』と言うわけです。

彼らが降りようと準備を始めると、赤軍派のいちばん若い青年が『ストップ！』と言った。そして、『ここは平壌じゃない。外にシェルのガソリンスタンドがあり、フォード車が見える。だまされるな』と叫んだのです」。激怒した犯人グループは乗客と共に北朝鮮に行くことを頑なに主張する。長い交渉の末、運輸政務次官の故・山村新次郎氏が身代わりになる条件で乗客と乗員4人の解放が決まったのだ。

大地を踏みしめ思う

－これからの私は“与えられた私”

開放が決定すると機内は奇妙なムードに包まれたという。「赤軍派が乗客に何か質問はないかと言った。すると、一人が『ハイジャックとはなんですか？』と聞いたのです。彼らは誰も答えられない。そこで私がマイクを受け取り、『ハイジャックをした人がハイジャックの説明ができないのはおかしいですね』と言ったら、みんなが一斉に笑った。それを契機に乗客の表情もようやく和み、そして、一体感のようなものが生まれた。

赤軍派が『北朝鮮からキューバに行き、革命戦術を学んでから日本に帰って革命を起こす』という話をすると、乗客がそれに応えて革命歌を一緒に歌ったり･･･。これをストックホルム症候群と言います。被害者が犯人と一時的に時間や場所を共有することで連帯感、好意などを持ってしまうのですね」。どこか穏やかな空気が漂った解放前の機内。対照的に、間近に死を感じた経験は日野原氏の何かを変えていた。

「明くる日の4月3日にタラップを降りた時、足裏で大地を踏みしめた感触を今も鮮明に覚えています。その時にね、こう思った。『一度、死を覚悟した。これからの私は“与えられた私”だ。単なる医者ではなく、どう生きるか。誰かのために生きる、という使命感とミッションをもとう。今日を第二の人生の出発点にしよう』。還暦を前にそう決意したのです」。

東京に戻った日野原氏はまもなく一冊の書物と出会う。「哲学者のマルティン・ブーバーです。そこには『人は創(はじ)めることを忘れない限り、いつまでも若くある』とありました。未知への挑戦を続ければ、こころの若さは続く。この言葉がパワーになりました」。新しいことにトライしながら、自らのいのちを人のために使っていく。日野原氏は60歳を前に、生まれ変わったのだ。

いのちを救うために--　理想の医療への挑戦

「創めることへの挑戦」－日本にはない環境を創り、日野原氏は医療人としての理想を具現化していく。1974年に聖路加看護大学学長に就任。1988年には同大に国内初の大学院博士課程を設置する。81歳となった1992年には、理事長として聖路加国際病院の新病院棟を設計。ロビー、ホール、廊下など全ての空間を広くし、各所に酸素供給口を設置する。

この構造は落成時に過剰投資との批判さえ受けた。しかし、日野原氏には「大規模災害発生時に大量の患者を受け入れられる病院づくり」という揺るがぬ信念があった。すでに医師として活躍していた昭和20年、東京大空襲で多くの人々が野外で亡くなっていく様子を目の当たりにした経験。病院内のあらゆる場所が緊急時の医療処置の場になり、どこでも救命医療が行える病院ーその必要性を確信していたのだ。かくして完成の3年後（1995年）、地下鉄サリン事件が発生する。

病院から近い築地駅に倒れる200人以上の人々をはじめ、聖路加国際病院は全ての患者を受け入れ、軽症患者から重症患者まで事件当日に640人の治療にあたった。こうして救われた多くのいのち…。先見の明は遺憾なく証明されたのだ。よど号事件を転機として、一個人としても活動領域を広げていった日野原氏。90歳までに235冊の著書を記し、2001年発売の「生き方上手」は130万部以上を売り上げ、最高齢のミリオンセラー作家となった。そして、現在も全国で講演を行いながら、内科医であり続ける。「昭和12年の京都大学卒業後、私は内科医を70年あまりやってきました。聖路加だけでも69年です。今も診察と回診を行い、往診もしています。私の同級生はみんな亡くなり、90歳を超えて現役なのは私ぐらいしかいない。不思議に健康を許されている。私は特権に感謝しながら、いのちある限り、創めることにチャレンジしていこうと思うのです」

生き方は、死にかた。

どう生きるかはどう死ぬか

これからの私は“与えられた私”だーよど号のタラップを降り立った瞬間から、与えられた第二の人生を歩み出し、他者に与えることを使命としてきた日野原氏。「仏教ではね、人は死ぬと誰もが閻魔様の前に立たされると言われています。天秤棒を持った閻魔様に『あなたは生きてきた時間のうち、どれくらいを自分のために使って、どれくらいを人のために使いましたか？』と尋ねられるのです。キリスト教でもやはり、死ぬ直前に神が現れてそこで最後の審判がなされると言われます。同じことなのですね。人のために使った時間が少ないとなると、天国に行けるか怪しくなる。人間は必ず死にます。しかし、意味のある生き方をすれば、死も意味のあるものになる。生き方も死に方も、ひとつの線上にあるのです。そう思って毎日を誠実に、真摯に生きること。人から与えられることばかりを考えるのではなく、与える人間になること。現代では多くの方が『自分が努力した結果、財産を得た』、『たゆまぬ努力をして地位を勝ち得た』、『実力を持って生まれたから今日がある』などとおっしゃっています。けれども、その多くは他者から与えられ、教えられ、助けられた結果獲得したものであり、自分だけの力ではない。自らを評価する時も、『人から与えられたんだ』と謙虚な気持ちで思いだし、誰かに何かを提供することを考えるべきです。テイク＆ギブではなく、与えることが先にある生き方ですね。そして、日々新たな気持ちを持ちながら、節目の時にはもう一度生き方を見つめ直してみる。私が60歳にして生き方を変えたように、40歳でも50歳でも80歳でもいい。けじめの年齢で新しい生き方を始め、創めることにチャレンジする。そうして、人は生き方上手になれるのです」

最後に、田中作次RI会長は、ロータリーにおいて奉仕とは、片手間にすることでも、たまに取り組んでみることでもありません。奉仕とは生き方です。それは、思いやりの心を重んじることであり、調和へといたる道です。生活のあらゆる場面で奉仕を実践することによって、私たちは分かち合いの精神を育み，友好を見出し、平和の道を選ぶことができる。とも言っています。

ロータリーの奉仕に対する考え方は、いつの世になっても変わらないと思います。皆様も十分にご理解して頂き、今後の活動を行って頂きたいと思います。

○　秋間忍会長

米山奨学生について髙木慶一君を指名

○　ロータリー米山記念奨学会

奨学生カウンセラー　髙木慶一委員長

図らずも今秋間会長が言われた通り奨学生はクラブ全体で受け入れると言う考えが大切だと思います。板橋敏雄理事長は「国際理解と親善、人を通じて平和をもたらす」これが米山の哲学と言っておられます。先日尖閣諸島の中国人の上陸事件がありました、また竹島に李明博韓国大統領が上陸をしました。これらを国際紛争として先鋭化するとナショナリズムが台頭して来ます。ナショナリズムが戦争を招いた。交際交流を通じて日本を良く知ってもらう、ロータリーのことを知ってもらうことが大事なことだと思いますし、奨学生にも努力して頂いています。奨学生に自分たちでは出来ない何かをしてくれる、そんな期待を持っています。ロータリーだからこそ乗り越えなければならないことだと思います。米山奨学生は中国人が多すぎるとのことは、日本に来ている留学生で中国人が87,000人で6割を占めています。1ケ国に偏らないよう選考委

員会や指定校へ呼びかけています。2011年で47%に抑えています。他の国籍に比べ、中国人奨学生は狭き門をくぐり抜けて採用されています。

米山奨学会の寄付は普通寄付と特別寄付があります。普通寄付は全てのロータリアンから定期的にいただく寄付で、米山奨学会の安定財源です。以前は3,000円でしたが、私が会長の時に5,000円になりました。黒磯クラブは伝統的に年間１人当たり18,000円を寄付してきていますので一般会計（年会費）から普通寄付5,000円を送金し、会員全員から13,000円を徴収して米山奨学会に送金しています。今年７月の地区大会で黒磯クラブが３千万円達成クラブで表彰されましたのはこのようなことからです。

休憩

○　秋間忍会長

有難うございました。それでは、各委員会等との連携のお話しに入りたいと思います。只今、ガバナー補佐から地区の財団補助金のお話も出ました。今回も１年交換学生を送り出すということもやっておりますが、地区との連携も、どうしても必要になります。いろんな意味で、横、縦、委員会どうし、それから地区との関係いろんな意味でその辺の連携が必要になります。各委員会からその辺のお話しを聞きたいんですが、先ず、RI会長の方針。それから、鈴木宏ガバナーの今年度の方針。で、私どもは、それを背景にして当クラブの今年度の事業計画を立てましたので、改めてこれを読ませていただきます。

- 災害支援、ボランティア活動をしていく団体をより積極的に支援する。
- 特別会計の推移を解りやすくして、資金の充実、有効活用を図る。
- クラブ内の会計情報を的確に伝え、クラブ運営に係る情報の共有化を図る。
- 各委員会どうしのコミュニケーションを密にして、奉仕活動の連携を図る。
- グローバル化する世界経済にあって、地域発展に繋がるアイデアを熟成させる。
- 奉仕の理想、未来の夢をともに語り、現状を知っていただいて新入会員を拡大する。
- ロータリー財団の補助金を活用し、人道的支援が適うような事業を模索する。
- 会員、家族の皆様に心から喜んでいただける親睦行事を企画実践する。

これを年度当初に決めさせていただきました。今日のクラブ協議会、時間の制限もございますので、少し絞って、今日は先ず、具体的な事業について、例えば、黒磯高校インターアクトクラブを支援する。あるいは、クラブ内の会計情報の共有化とか、我々が扱っているお金を、赤、青、黄色じゃありませんが、三色に分けたとします。ひとつは、クラブが存在する以上、それを運営するための費用は必ず発生します。組織ですから、RI、地区に我々が所属している分の負担金、これもクラブを運営するための費用だと考えております。

○　佐藤博会員

いわゆる3.11の災害の後、これがあてはまるかどうか判りませんが、財団にしろ米山にしろ、一応決まり事はあろうかと思いますが、その上に立ってこの東日本大震災、原発事故も含めて、その支援のためのお金を幅広く集めて、国外では無く国内に支援する。災害により離ればなれになった子供たちも多勢いる訳です。

そういう環境の中にいる子供たちに対して、何らかの形でそういうものを使えないかなと考えておりますので、地区でもその辺のことを、是非、検討していただけたらなと考えております。

○　秋間忍会長

大変貴重なご意見ありがとうございます。実はですね、今、私がお話ししていることが終わりましたら、先程、ガバナー補佐が触れてくださいました、地区補助金とロータリー財団とのコンビネーションでですね、そういう大きなプロジェクトを模索することに入れればと思っておりましたが、取り敢えず今はクラブ内のお金の話しについて、これを大きく三つに分けたとしまして、ひとつは、全くクラブ運営に必要なお金、これは会費の中で負担するのは当然でございます。次がですね、会費としては徴収していないお金です。

今まで徴収していたお金というのは、スマイルボックスみたいに全く皆さんの自由意思で、目標額はございますが、これは浄財として寄付したいというお金を受けております。これもお金でございます。

もうひとつはですね、懇親会それから特別な行事を開いた時に、当然、会費からの支援だけではやれないので、参加者に受益者負担をして欲しいということで、簡単に言うと、飲み会の追加徴収です。こういうお金も実際には会計に入ってまいります。

この３色をある程度きちんと色分けして、いわゆる浄財、我々が本当の善意で他の人のために使えるというお金の額。それから、予算をきっちり運営したらど

うかというのが、私の今年度の事業計画の中に入っております。是非ですね、この特別会計という概念を、我々の意思で、我々の善意を世の中のために生かせる金額と、いうふうに考えていただけないだろうかと思います。その中には当然、米山も入りますし、ロータリー財団も入ってくる。それは総額表示であるということで、額は大きくなりますが、我々がどれだけのお金を動かせるのかということを、会員全員が理解する点では解りやすいのではないかと考えております。

それでは、地区補助金が我々のクラブの意思に入ってくるとすれば、今年度、次年度、財団、これも大きな意味では特別会計の運営の範囲と考えて、ロータリー財団委員長の和気さん、その辺のご意見はいかがでしょうか。

○　和気勝利ロータリー財団委員長

ロータリー財団の話しをする前に、にこにこボックスの活用といいますか、その点について、私は、秋間年度以前までのやり方が、細かいところは是々非々あるかと思いますが、基本的には、国際、職業、社会それから新世代ということで、予算を組んで皆さんから30,000円×人数の範囲内で、各活動計画の中で使っていきましょうというやり方で、私はそれでいいと思います。それで今まで支障もなかったし、細かい、先程の社会奉仕をどういうところに使うとか、それを理事会にかける前に毎年のことで、皆さん分かっていることだから、早く決めればいいでしょうといった細かいところは、その年度の会長さんの方針でご自由にやられればいいと思います。それが拙ければ次年度の会長が直すでしょうし、いいことは継続していけばいい。ですから、私は今までのやりかたで、それ程問題視しておりません。

それと、ロータリー財団ですが、正直、私も昨年までは本当に解りませんでした。

昨年度末から一生懸命勉強しているんですが、実は、これが終わってからガバナー補佐にお時間をいただいてお話を伺おうと思ってたくらいです。このスマイルに入れるか入れないかということも含めて、それも会長さんのやり方でいいと思うし、ロータリー財団それから米山に関しては、皆さんから集めたものそれイコール支出ということですから、それはそれで分けてもよろしいかと思います。それが会長のご希望であればおやりになってもいいと思います。

ただ、今度の新地区補助金については、先程、ガバナー補佐がおっしゃってたことの重複になりますが、地域社会にも使える。人道的補助金以外にも使えるということを考えると、先程の会長がおっしゃってた、スマイルボックスを地域に有効に使うということに関しては、かなり門が開いたと思います。

私個人としては、結論から言いますと、財団と米山はスマイルと分けてもいいと思っております。特に、これからやる新地区補助金とグローバル補助金は、地区に主導してもらってロータリー財団委員会という大きな所からお金をもらうという性格上の違いから、スマイルボックスという特別会計とは分けた方が、分けなくてもいいとは思うが、判り易いとは思います。

○　秋間忍会長

ありがとうございます。本当はまだまだご意見をいただきたいのですが、次は、質疑応答の時間を設けます。質疑応答の答える人が誰になるのかは、質問する人が決めてください。

直前会長、パストガバナー、もちろん吉成ガバナー補佐もおられます。その前に、先程おられなかった社会奉仕委員長はですね、実は、今までの慣例に従うと我々が集めたスマイルボックスのお金をどこに寄付するか、地域社会のどこに使ったらいいかその辺の意見を伺いたいと思います。

○　村山茂社会奉仕委員長

これからお話しすることにつきましては、まだ、委員会の内部でまだ打合せしておりません。それから、さきほど来お話がでております、ロータリー財団のグローバル資金あるいは新地区資金、また、その中でガバナー補佐の挨拶の中でおっしゃられた、日本が放射能汚染ということで、日本が補助を受けるということを実は私も考えておりました。

本日の新聞報道ですが、那須町で住宅街を除染する。それに数十億円かかります。高レベルの汚染地域、原発周辺の地域と同じやり方をしてください。低レベルだから、違うやり方で、効果が疑われるやり方ではなくて、高レベルの地域と同じやり方で除染をやっていただきたい。そうすると数十億円かかります。こういう報道がありまして、グローバル資金、最高40万ドルですか、これでも全然足りません。ですから、それくらいこの地域の除染については必要性が高いと考えておりますし、スマイルボックス程度のお金では問題になりません。ですから、是非、その辺のところを社会奉仕委員会としてまず検討させていただいて、勿論、

和気さんのロータリー財団のグローバル資金の使い方ということでご相談させていただきますが、それらを中心にやっていきたいと考えております。

それから、地元でアジア学院さんがございますが、これも震災で大きな被害を被っておりまして、まだ復興途上のようにお話を伺っております。しかも、アジア学院さまには、以前、米山奨学生として6名だったと思いますが、当クラブで受け入れております。そういった関連もございますので、米山、国際奉仕にも関連してまいりますので、真にクラブを挙げて、会長がおっしゃられる地域との連携を密にしたプランを、社会奉仕委員会としてはこれから練っていきたいと考えております。

その点でガバナーアシストにお伺いしたいのですが、グローバル補助金を受けるための要件はどうしたらいいのかという点について、お話しいただければと思います。

○　吉成慶司ガバナー補佐

先程お話ししたように、グローバル補助金の重点分野は6分野になっており、原則的にはそれに関わるものということで、その中のひとつに疾病予防と治療という分野があるんです。その分野は、恐らく、放射能に該当するのではないかと思っております。

地区の方もそういうことで、実は日曜日に第3，4グループのIMに出席してまいりましたが、その時に鈴木ガバナーから、秋間会長がロータリー財団の研修会の時に出された、放射能災害にあった地元の子供達などのケアの問題について、現地区補助金を使って、人道的プログラムに対して、目の前にある最大の懸案ではないかということで、その件に対して黒磯クラブさんとお話ししてきてくれとの指示がありました。

もちろん、グローバル補助金に手を挙げて、他の国のクラブが受けてくれれば一番いい訳ですので、地区としてその辺のところを、今、模索しております。グローバルの場合は、申請はいつでもOKなんです。それに関連して、地区として東日本大震災、放射能も含めまして、実は6月24日に鈴木ガバナー、飯村ノミニー、ガバナー補佐8名、地区社会奉仕委員長等で、宮城県の現場を視察してまいりました。なぜ、宮城県かといいますと、地区大会にご出席された方はお判りと思いますが、コーディネーターの桑原先生が宮城県です。鈴木ガバナーが、どこか、栃木県の2550地区として震災被害に対してご協力、ご援助できるところはないかとお話ししましたら、桑原先生は、テレビに出る所は大船渡、陸前高田、気仙沼といった所は、非常に援助が来るそうです。

ところが、そうでない所は未だに厳しい状態である。その中でどこだということで、宮城県第8分区阿武隈ゾーンというところですが、閖上、岩沼、名取、山本町そこら近辺の所が第8分区ですが、そこの会長幹事さんとお会いいたしまして、仙台空港の南、福島県堺の相馬に至る海岸線を約6～7時間、実際に視察してきました。テレビで報道された通りです。本当にひどいです。瓦礫の処理もまだ充分にはされておりません。船も海岸線から4キロメートルほど内陸に揚げられたままになっております。もちろん、塩害で田植えもできません。地盤も1～2メートル位沈下しておりますから、海水が引きません。それをどうするか。

また、テレビで放映された病院、浜中中央病院といいますが、屋上で被災した方が人文字でSOSを書いて、ヘリコプターに救助されたということがありましたが、その現場も視てきました。そこには、14メーターの津波が来たそうです。ところがその病院は2階建てなんです。ところが助かったんです。津波はその屋上ギリギリまで来たんですけど、なぜ助かったかというと、病院の海側の方に篠というか竹というか、それがU字型に囲ってあったんです。病院はその内側にあったもんですから、津波が来てもなんとか保った訳です。病院側は、津波を想定してそういう対応をしていたとのことでした。

ここはもう復興して業務を行っていますが、復興しているのはここぐらいです。あとはみんな基礎しか残っておりません。軒並みやられている。そうした現状で、7クラブから要望を聞いてきました。いろいろありましたが、こちらに戻って地域社会委員会で何が出来るか検討いたしました。その中で、今協議しているところですが、これはあくまで地区がリードし各クラブにご協力を願うことになると思いますが、仙台空港南側の荒地になっている所にひまわりの花を植える。

それから、菜の花を植える。こういったことを考えております。これに対して50クラブにご協力をお願いする。あとは放射線の風評被害のために人が全然こない町もあります。そこへ1,000人くらいを目標に誘客のお手伝いをするとか、お祭りに「頑張ろう東北」といったTシャツを送るとか、いろいろ意見は出ていますが、全てお金が必要です。お金だけ渡すというのも如何なものか。

また、福島の原発問題については全然解決されておりません。これからまだまだ続きますので、ある程度のお金はどうしてもかかります。したがって、せっかくこういう制度が出来たのですから、基本的には私達が寄付したものですが、本当に有効に活用出来るように地区としてしも検討してまいります。

ただ、現地区資金については、心のケアといった人道的支援にも取り組んでみてもいいのかなと思っております。鈴木ガバナーは、森パストガバナーにも声をかけて、そういうカウンセリングを出来るような方を探しているんだということもお聞きしております。

○　秋間忍会長

図らずも質疑応答に入ってしまいましたが、時間もあまりございませんので、ここで先程やってない、最後の質問になってしまうかもしれませんが、お一方かお二方、何方にでも結構ですのでこの機会に質問、意見等がございましたら挙手をお願いいたします。

○　相馬征志会員

先程、にこにこボックスについてお話がでましたが、調べると何年も継続してやっているものがあります。先ほど出た国際交流協会については、私が国際交流協会の理事長をやっていた時にロータリーから協賛金を貰ったり、会員になっていただいたという経過ですから、20数年前の話しなんです。

今の実態は、当時と全く違ってきておりまして、はっきり言えば、あまり意味がないと思います。それ以外にも、よく調べてみるとこちらの想像と実際のところはかなり違いがあってみたり、また、ボックスから補助を出すことを決めた経緯が、会員の誰かが口をきいたから出すようになったとか、この人、断りづらいから今年も出しておこうとか、失礼な言い方ですが、恣意的なことでもって会員の浄財を支出しているとすれば、これは問題であると言わざるを得ません。

ですから、今まで出してきた団体、グループについても一度洗い直しする必要があるのではないか。また、ロータリーの考えに相容れるものであれば、新しいものについても支援すべきであると、私は考えております。

○　秋間忍会長

貴重な意見ありがとうございます。もう一方、時間がございますので、挙手を願います。

○　月江寛智会員

先程会長が米山と財団について触れられましたが、黒磯の会計の場合、財団は一人当たり30ドルですか、米山については一般会計から5,000円出してる訳です。このように分けていますが、これは、いろいろ今までの経過があったと思います。

私がロータリーについて問題点として感じたのは、会計の内容がクラブの皆さんがよく理解できないということ。これが一つの問題だと思います。地区にどれだけのお金がいって、どういうふうに使われ、どうなっているんだ。例えば、私も地区のインターアクトの委員長をやりまして、これは、一人当たり年間4,800円いただいているんです。そういうお金でインターアクトの活動を、数百万円の活動をやっております。こういうことも、皆さんがもう少し会計について興味を持っていただく必要があるし理解してもらう必要があります。　それで、今年度の会長さんが複式簿記を取り入れる。簿記のことは私も素人ですから、わかりませんが、それらをマニュアル化して解り易く、見える会計にしようという努力をされていることについては、私は大変大切なことだと思っております。それで、またちょっと戻りますが、米山と財団が一般会計と特別会計に分けられて支出されているということについて、半田パストガバナーにお伺いしたいと思います。

○　半田久一パストガバナー

米山記念奨学会に対する普通寄付というのは、従来から皆さんの会費の中から出されております。従来は3,000円でしたが、現在は5,000円ということで一般会計から支出する。これはそれでいいんだと私は思います。　それ以外の18,000円を目標にしているから、13,000円については、各自から別途引き落としをしていると記憶しております。

○　高木慶一会員

米山奨学会への寄付は、二つの形態を併せたものになっております。普通寄付と特別寄付。普通寄付というものは、それを基礎として安定的に予算を組める。これは皆さんの会費の中から支出される。これはもともと3,000円だったんですが、運営が厳しいということで、2,000円上げてくださいということになり、5,000円になりました。

ところが、黒磯クラブは、総額で18,000円を毎年寄付しておりました。ですから、普通が3,000円の時は特別が15,000円。今度普通が5,000円になったので、特別が13,000円になるだけの話しです。そういう意味で、会費から普通寄付として5,000円。

それから、本来なら特別寄付というのは、各々の判断で額を決めるものですが、併せて18,000円をずっと継続しておりますので、特別会計から13,000円×人数

分を支出している訳です。

○　半田久一パストガバナー

そういうことなので、普通寄付を年会費から支出することは何の支障もないことで、本年の鈴木ガバナーは、それにプラス1,000円ということを要請している訳です。それと財団については、長いこと目標額は130ドルだったと思います。詳しいことは判りませんが、黒磯クラブは一人100ドルを各会員からいただいて、30ドルについては、特別会計から送金をしていると思います。

それがいいかどうかは別にして、そのような処理をしていると思います。それで黒磯クラブは、100%財団の友クラブであると同時に、ロータリアンエヴリイヤーとして、檜山年度の実績は来年度表彰されることになっていると聞いています。

○　秋間忍会長

はい、ありがとうございます。この辺の所は、本日の協議会に出られなかった方は解らないぐらい貴重な情報だと思います。

○　檜山達郎直前会長

ロータリーの会費とかスマイルボックスについては、税務上の経費として認められない。先ごろ10年ぶりに税務調査を受けました。そしたら、全部だめなんですね。

奉仕に使われているのに何故だめなのかと伺ったところ、税務署としては、ロータリーにしろライオンズにしろ、経費として認めないということでした。これらが経費として認めていただけるのであれば、私個人としてはもっといろんな寄付をしてもいいと考えています。皆さんどうでしょうか。

○　半田久一パストガバナー

ロータリーの年会費が認められるどうかについては、それぞれの事業所で対応されていると思います。ロータリー財団への寄付は、免税になります。

そのための証明書が財団からクラブに来ることになっており、それを見せれば課税されないと思います。それが何処かに滞っているかもしれませんので、確認をしてください。

○　吉成慶司ガバナー補佐

補足しますが、財団、米山とも特別寄付は免税の証明書が来ます。

普通寄付金は来ません。

○　秋間忍会長

証明書については、後日確認いたします。それでは、時間もオーバーしておりますので、講評をお願いいたします。

○　吉成慶司ガバナー補佐

講評ということですが、長時間にわたりまして活発なご意見ありがとうございました。これを機会に今年1年間、さらには、先程申しましたようにこの1年間をスタート台にしていただいて、また来年、再来年とロータリー活動は続く訳でございます。皆様のご協力をお願いいたしまして、講評とさせていただきます。

それから、最後に、もうすでに各クラブにご通知しておりますが、10月4日（木）鈴木宏ガバナーの公式訪問がございます。今回は初めての試みで7クラブ合同開催ということで、会長幹事会を午後1時30分から、各30分ずつ行います。今回は会長幹事とガバナーだけで、補佐は入りません。その辺を心して臨んでいただきたいと思います。

それから、一泊ということになっておりますが、皆様の多くのご参加をお願いいたします。懇親会の中締めは一応午後9時になっておりますが、最終打ち上げは10時ということで、それに合わせてバスも手配しておりますので、会員全員のご参加を最後にお願いいたしまして、私の講評とさせていただきます。本日はご協力ありがとうございました。

秋間忍会長　それでは以上をもちまして、第1回のクラブ協議会を終了といたします。ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

第1グループガバナー補佐吉成慶司様　本日は宜しく御願いします。

髙木　慶一君　吉成ガバナー補佐を歓迎して。

村山　　茂君　ふれあい広場おかげさまで盛会の内に終了いたしました。皆様のご協力有り難うございました。

懇親会

檜山前会長による乾杯

半田 PG によるメの挨拶

吉成ガバナー補佐を囲んで

一段落したのでビールが格別ですね

次回例会　　平　成　24 年　9 月　15 日　　新世代委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５２回　秋間年度　第９回　会報　２０１２-９-５　司会　福田逸男君

お客様

地区新世代奉仕委員長　喜内敏夫様
（宇都宮南ロータリークラブ）

花束贈呈　奉仕部門功労者賞受賞者

写真左より：
メジャードナーレベルワン受賞　半田久一会員
2008～09　福田逸男会員、2010～11　須藤舜生会員
2011～12　相馬征志会員、2009～10　高根沢邦夫会員
元会員：故山田一典会員、　故瀧田仁会員

以上のクラブ功労者にたいし、檜山達郎直前会長より花束を贈呈致します。

会長挨拶　秋間忍会長

前回例会では、吉成ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会にご参加、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

９月に入り朝夕はめっきり涼しくなったような気がします。今月の26日（水）には親睦委員会担当の観月会があります。何度も申し上げております通り、会員はもちろん、配偶者が参加されても追加徴収が無い今年度最初の親睦行事となります。出来るだけ多くの方にご参加いただき、大切な人に「あなたが黒磯ロータリークラブに入っていてくれて良かった」と言わせたいと思います。親睦委員会の皆さんにはご苦労をお掛けしますが、ご準備の程よろしくお願い申し上げます。

さて、先ほどもご紹介させていただきましたが、本日は新世代委員会の卓話ということで、地区新世代委員長の喜内敏夫様をお迎えしております。喜内様は宇都宮南ロータリークラブに所属されておられますが、地区の青少年交換委員会、RYRA委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会を統括する重責を担ってご活躍中です。お忙しい中、当クラブの例会にお越しいただき誠にありがとうございます。新世代に関する最新情報をお聞きできると楽しみにしております。後ほどご登壇いただきますので宜しくお願い申し上げます。

「君子厨房に入らず」の本来の意味は、「正しい情を持った立派な君主であれば、たとえ家畜であっても、生きているのを見ていると、それを殺すところを見るのは忍びない気持ちになります。ましてや、その声まで聞いてしまうと、食べるのに忍びなくなってしまいます。しかしそんなことでは、国を治めることはできません。だから、君主たるものは、そのような気持ちになってしまわないように、調理をするために動物を殺している厨房には近づかないほうが良いのです。」

黒磯ロータリークラブの台所（お金の情報）について皆さんはどのようにお考えでしょうか？　クラブの実態を知り、出来ること、出来ないことを皆さんに納得していただくためにも、メンバーには台所を覗いていただきたいと考えております。今年度のクラブ方針にもあります通り、会計情報の共有化を図り　逐次公

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日9月5日	42(2)	35(2)人	7(0)人	83.3%	*	
前　回8月29日	42(2)	35(2)人	7(0)人	83.3%	6人	100%
前々回8月22日	42(2)	35(1)人	7(1)人	87.8%	6人	100%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

開（会員のみ）の意義とその方法についてお話します。

黒磯ロータリークラブに限らず、会計処理のように日々変化しているものを逐次多くの人に報告することは難しいとされていますので、通常年に一回、現況報告書とか総会資料の中に決算報告書を添付するというのが一般的でした。出来上がった資料をいくら眺めてもその団体が活動した一つ一つの内容まではなかなか浮かび上がらず、結果だけが集計された数字として記載され、監査報告があれば、結果的に問題はないということになります。

これまでの活動や会計処理が誤りだったとかやり方がおかしいと言うつもりはありません。事実、私の年度でこれまでのやり方を特に変更することは無いと思いますが、クラブ内で日々変化しているお金の情報を逐次会員に見える状態を提供したいと考えています。このような「見える化」に取り組む目的は、出入りする寄付金や経費、資金の情報を共有し、会計処理をスピードアップすることで、クラブ全体の運営がより円滑になり、より効果的な資金運用ができるようになると考えているからです。

見方を変えれば、常時変化しているクラブの会計情報をいつでも会員が共有出来るようになったとしたら、それによってクラブ運営はどのように変わるかという課題にも取り組んでいるとお考えください。

それでは、この原稿が会報委員会の記事になることを想定し、皆様がその日、その日のクラブ会計情報を簡単に参照する方法を説明します。まず、ご自分パソコンがインターネットに繋がっていることを確認し、Windows 初期画面の右下ある「スタートボタン」を押します。次に、「すべてのプログラム」を押します。

プログラムの一覧が表示されたら「アクセサリ」を押します。アクセサリの一覧が表示されたら「リモートデスクトップ接続」を押します。　リモートデスクトップ接続の窓は開いたら、

次の接続情報（＊１、＊２、＊３）を入力します。（＊１）「コンピュータ（C）」：を入力します。「▼オプション」を開いて、（＊２）「ユーザー名」を入力し、「接続」ボタンを押すと「パスワード」を要求されます。（＊３）「パスワード」を入力して「OK」ボタンを押します。

接続情報は会員各位にそれぞれに手渡しますので、広報／IT推進委員会にお申し出ください。（事務局、会計、広報／IT推進には入力用、一般会員には閲覧用の接続情報を渡します）

これだけの操作で、黒磯ロータリークラブ会計について、全ての動きを見ることができるようになりますので是非お試しください。会計情報を共有することでクラブ運営に対する認識が変わるかもしれません。お金の情報を共有し、会計処理をスピードアップすることで、クラブ運営がより円滑になり、より効果的な資金運用ができるようになることを切に念願いたしております。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　ガバナー補佐から10月4日ガバナー公式訪問の案内を頂きました。

○　塩原ロータリークラブから現況報告書を頂きました。地区IT委員会から講習会の案内を頂きました。大森委員長にお渡ししました。

○　地区第3グループIMの案内を頂きました。RYLAセミナーの案内を頂き、鈴木委員長にお渡ししました。

○　会長、幹事財団委員長会議の案内を頂きました。和気委員長にお渡ししました。地区から半期報告書の書式を頂きました。

○　台湾へ一年交換留学生として派遣している磯杏子さんから月例報告を頂きました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　鈴木隆子新世代委員長

8月19日から台湾に留学しています、磯杏子さんから月例報告のメールが届きました。台湾での写真も添付されていましたので、一緒に回覧しています。

元気にいい刺激を受けながら、留学生活がスタートしているようです。どうぞご覧になって下さい。

○　村山茂社会奉仕委員長

社会奉仕委員会よりご案内いたします。来る9月22日（土）吉光寺幹事の結婚式の日の午前9時30分集合にて、那須塩原市交通安全協会黒磯支部により行われる、交通安全週間パレードへの参加をご案内いたします。本日、参加確認書を回覧いたします。多数の皆様の参加をお願いいたします。

○　植竹一裕会報委員長

第2551回会報配信が協議会を含め、中身が充実している為に、配信が遅れています事をお詫び申し上げます。as soon as possible で早めの配信するよう努力致しますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

○　佐藤博会計

9月20日栃木銀行より次の引き落としを致します。

・地区大会記念ゴルフ登録料(参加者)　5,000円
・旅行会積み立て(会員のみ)　12,000円
・ゴルフ愛好会年会費(会員のみ)　10,000円

卓話　新世代委員会

○　鈴木隆子委員長

本日は、新世代委員会担当のクラブフォーラムという事でしたが、地区新世代委員長の喜内敏夫様においでいただきまして、「地区新世代奉仕の現状と展望」と題しましてお話を頂き、今後の新世代について関心を新たにし、考えて行くきっかけにして頂ければと思います。

それでは、喜内敏夫様をご紹介させて頂きます。

喜内様は、昭和22年12月のお生まれで、石川県金沢市のご出身です。山梨大学土木工学科をご卒業後、昭和52年に「芙蓉地質株式会社」を設立され、代表取締役でいらっしゃいます。

公職としましては。「栃木県環境審議会理事」、現在は副会長。また、「(財)栃木県環境保全公社理事」をなさっていらっしゃいます。

ロータリーの方では、宇都宮南ロータリークラブの会員で、ロータリー歴は24年でいらっしゃいます。

2006～2007年の落合年度は第3グループBのガバナー補佐を務められ、羽石年度は地区ライラ委員、森年度は地区ローターアクト委員。そして、瀬下年度、比企年度、現在の鈴木年度は地区新世代奉仕委員長と、まさに新世代のエキスパートでいらっしゃいます。

ロータリー以外の社会貢献活動も数多く参加され、知的障害のある人たちに自立と社会参加を応援する国際的スポーツ団体であります、NPO法人スペシャルオリンピックス日本・栃木会長、栃木県山岳連盟会長、(社)栃木県経営者協会　地域環境委員会副委員長、日本防災士会栃木県支部副支部長、栃木石川県人会会長(いしかわ観光特使)など幅広くご活躍なさっていらっしゃいます。それでは、喜内様宜しく御願いします。

○　喜内敏夫地区新世代奉仕委員長

今月で創立52年となられる、歴史ある黒磯ロータリークラブで卓話の機会をいただき、誠にありがたく、感謝申し上げます。当クラブは黒磯高校インターアクトクラブのスポンサークラブとして活躍され、インターアクトの磯杏子さんが本年8月から台湾に1年交換学生として派遣されています。先日は私のところにも月例報告をメールでいただきました。

今回の卓話をするに当たり、クラブのホームページを見させていただきました。支援団体の中で「那須山岳救助隊」が目に留まりました。私の趣味は登山です。先日の9月2日（日）は降雨の中でしたが、栃木県山岳連盟の恒例行事でもある「那須山系清掃登山」に参加した際に、那須山岳救助隊長の大高さんにもお会いしました。私も栃木県山岳連盟会長として当クラブのご支援に感謝申し上げます。

地区新世代奉仕の予算は一人当たり年4,800円で816万円です。地区会員は現在は1,700名に減少し、昨年よりも予算も減少しています。委員会別の予算は青少年交換；340万円（交換受入1クラブ80万円×3クラブを含む)、ライラ；100万円、ローターアクト；77万円、インターアクト；260万円、全体会議費；39万円です。

1．青少年交換委員会：委員長；白相淑久(馬頭小川、第2グループガバナー補佐)

以前は1年度に10名程度の交換を行った実績もありますが、会員の減少による予算の削減により、現在は3名規模の交換となっています。今年度の派遣は4名（アメリカ、フランス、タイ、台湾）で、タイとはワンウェイとなって受入はなし、フランスはまだ放射能の拒否反応から派遣なしで、受入は2名（アメリカ、台湾）のみです。アメリカのダニエル君は佐野ロータリークラブが世話クラブで佐野日大高校、台湾のアレン君は宇都宮陽北ロータリークラブが世話クラブで宇都宮北高校に通っています。

震災の時は4名の受入でしたが、本国から「すぐに帰国させよ！」との通達がありましたが、ガソリン不足の中で成田空港までの輸送手段の確保は大変でした。また「こんな時だから日本に残って、役立ちたい！」と残留を希望するアメリカからの交換学生を説得して帰国させましたこともありました。

昨年7月からの年度ではアメリカ、カナダ、台湾の青少年交換を実施しましたが、第2550地区には実際に

は滞在しないことになり、他地区（鹿児島・大阪・埼玉）で世話クラブとなってもらいました。こうしたことも全国のロータリーアンのネットワークのおかげでした。

また青少年交換プログラムに関しては「虐待とハラスメント」の認識の強化、加えて「自然災害に関しての危機管理体制」の整備が課題となっています。

現在、次年度（飯村年度）の一年交換学生の募集中です。応募締切が9月28日です。黒磯高校インターアクトの磯さんに続く学生のご推薦をお願いします。

2.RYLA委員会:委員長；森　容子(小山中央)

RYLA（ライラ）はRotary Youth Leadership Awards(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の頭文字です。14歳から30歳までの新世代を対象にしていますが、当地区ではライラセミナー（18歳～30歳）と高校生ライラセミナー（14歳～１８歳）と２回開催しています。（この２年間は高校生ライラセミナーは中止）

今年度の第36回ライラセミナーは平成24年11月23日(金)･24日(土)･25日(日)の2泊4日、鹿沼市(ニューサンピア栃木)で開催いたします。定員30名で参加申込期限は9月30日です。本年度は鈴木ガバナーもライラセミナーには力を入れており、各クラブから１名の自分の社員さんや、ご近所の青少年のご推薦をお願いしています。また、クラブ会長・幹事・新世代委員長の開講式参加もご検討下さい。

3.ローターアクト委員会[委員長；島田将行(足利東)]

ローターアクト・クラブは近隣地区内に居住、就職、就学している18歳～30歳までの青年によって構成されるクラブです。ロータリークラブが提唱して設立されます。

当地区ではクラブ数2クラブ、会員数は10名ほどで、大変厳しい状況です。しかし近県のローターアクトも大勢参加して年次大会を開催し、地区内での活性化を模索中です。まだ成果は上がっていませんが、大学内の設立への働き掛けや、現在のローターアクトクラブに地区のグループでの支援の試行もあります。

ライラセミナー受講生への働き掛けが最も現実的ですが、年齢が30歳の制限ががあり、少なくとも２７歳程度までの青年の確保は大変です。

4.インターアクト委員会:委員長；二十二　修(宇都宮北)

現在のクラブ数は14校で、来年は塩谷高校が廃校に伴って矢板高校インターアクトと合流し、13校の予定です。

インターアクト年次大会が毎年行われており、本年8月5日に白鴎大学足利高校インターアクトクラブ主管で主管、提唱クラブの足利東ロータリークラブの支援もあり、盛大に行われました。また3月の海外研修(台湾)の実施や､高校生ライラセミナーの参加要請も行っています。

新世代奉仕は幅の広い活動です。地区の役割は４委員会が連携して、質の高いプログラムを提供すると共に、クラブ独自のプログラムの展開の助言をすることだと思います。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

大森　貞男君　日々元気で過ごせるのも健康のおかげです。本日が誕生日です。

佐治　鐵造君　ようやっと自分の会社の取締役会長になれました。

秋葉　秀樹君　誕生祝いありがとうございました。

佐藤　　博君　誕生祝いありがとうございました。

誕生祝

秋葉秀樹君・大森貞男君・佐藤　博君

次回例会　　平成２４年９月１２日　　プログラム委員会

● 9月5日欠席(敬称略)
橋本佳明・藤村聡・高根沢英司・荒井昌一
髙木慶一・深町彰

○ 前回8月22日分メークアップ(敬称略)
髙木茂・藤村聡・高根沢英司・津久井誠
新井聖一・橋本佳明

○ 前回8月22日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・鈴木久雄・高根沢英司・田中徹
時庭稔・室井次男

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５３回　秋間年度　第１０回　会報　２０１２-９-１２　司会　福田逸男君

お客様

○　米山奨学生　朱雅雯 様

皆さん、こんにちは。八月五日に、私は一度帰国しました。先週の土曜日に日本に戻ってきました。久しぶりに帰国して、お母さんと家族の皆に会って、とても嬉しかったです。

この一ヶ月は、ずっと家にいたのではありません。半月ぐらいは山東省と遼寧省へ旅行しに行きました。大連市の水上遊園地、発見王国、海辺などへ行って、とても楽しかったです。

残りの時間はずっと故郷にいました。私の故郷では海外で留学している人はあまりいないので、人にあったら、日本のことはよく聞かれました。その時、私も詳しく紹介しました。

例えば、日本のきれいな街づくりとか、普段の留学生活とか、学校で先生から受けた指導など。もちろん、遊ぶために、帰国したわけではありません。一番重要な任務は、修士論文を書くために資料と文献を集めることでした。中国では、言語学に関する文献はとても少なくて、本を五冊しか買いませんでした。こういう点では、ちょっと残念でした。これからは卒業論文を書くためにがんばります。

会長挨拶　秋間忍会長

申請期限が迫っていたため9月5日の理事役員会で、急遽黒磯ロータリークラブが今年度地区補助金を申請する、しないについての審議がなされました。今年度の会長方針にも「ロータリー財団の補助金を活用し、人道的支援が叶うような事業を模索する。」と記載されております。

和気勝利ロータリー財団委員長の企画によれば、「放射能が人体に与える影響について」（仮題）という演題で茨城大学名誉教授の久保田護氏を招き、市民を対象にした講演会を開催し、このイベントに対して地区補助金を申請するという内容です。

インターネット上で調べた久保田護氏の略歴をご紹

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日9月12日	42(2)	34(1)人	8(1)人	82.9%	*	
前　回9月5日	42(2)	35(2)人	6(0)人	83.3%	6人	97.6%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

介させて頂くと、「チェルノブイリの子供を救おう会」代表、茨城大学名誉教授（工学博士）、人体に入った放射性セシウムが人の健康に与える影響と、体内に取り込まないための防護手段をまとめた翻訳冊子「人体に入った放射性セシウムの医学的生物学的影響」を自費出版、チェルノブイリ原発から数百ｋｍ離れたベラルーシ、ゴメリ医大元学長ユーリー・バンダジェフスキー医学博士の研究論文を翻訳。とありました。マスコミが何と言おうと那須塩原市民は市内の放射線量を鑑み、家族と子孫を守るための正しい知識を必要としています。かけがいの無い命を守るために気の遠くなるような防衛戦を挑むとしたら、黒磯ロータリークラブが同氏の講演会を企画することは、これをもって人道的支援と呼べると考えました。

図らずも、理事役員の皆さんからも異口同音の反応をいただき、講師謝礼、会場費、パンフレット作成費他の費用35万円を地区補助金として申請するということで、承認されました。補助金が前提条件でも、申請の採択を希望しての事業となりますので、皆様のご理解とご承認をお願い申し上げます。

さて私事ながら、9月9日（日）に行われた那須塩原市の秋期市民ダブルステニス大会、男子シニアの部（60歳以上）でパートナーにも恵まれ、みごと優勝させていただきました。参加選手は殆ど定年を迎えておりますので、ある意味でテニス中心の生活ができるセミプロを相手に勝つというのはそう簡単ではありません。もちろん、炎天下の試合中に熱射病や痙攣を起こせばその場で敗退、体温調節や水分補給も試合のうちです。テニスの上手、下手もありますが、私は健康で怪我や故障をせず、体全体のパフォーマンスをいかに向上させるかということにこだわっているつもりです。

今日は、私がテニスを始める前に実践しているウォーミングアップ、ストレッチの理論的背景を紹介します。そしてその考え方お伝えするため、「さわり」だけでも皆さんにここでやって頂こうと思います。お薬を飲んでいる方や腰痛にお悩みの方も大丈夫です。毎年公認テニス指導員の単位を取るための研修も受けておりますから、それほどいい加減なものではありませんし、皆様に無理はさせませんのでご安心ください。血行が良くなり、肩こりが直って、あまりの気持ちよさに癖になるかもしれません。それでは、できるだけ心臓から遠いところから始めます。

先ず、「手」から始めます。私が10を数える間おなじことを繰り返してください。

＜左手の親指と人差し指の付け根を右手の親指と人差し指で摘み、揉みます＞＜左右交代、以下同じ＞＜左手小指の付け根を右手で揉みます＞＜左手中指だけを右手で握って手のひらを上に向けて返す＞＜左手親指だけを右手で下から握って手のひらを上に向けて返す＞＜胸の内側で両手を交差させて組み、組んだまま前方に伸ばす＞＜手を交差させて組む時、人により左右どちらかが優先的に前後してしまいますが、この前後を入れ替え、同じく組んだまま前方に伸ばす＞

次に本当は「足」と行きたいのですが今日は皆さん椅子の上なので、首から上、特に「耳」の周囲を集中的にやってみます。＜両耳を左右に引っ張ります＞＜両耳の直下を指で押し、くぼみが感じられまで口を大きく開けます＞＜数回繰り返す＞＜右手の指先で左耳の直ぐ上を抑え、口を開きます。数秒待って、口を結びながら腕の重みを指先に伝えたまま首筋の力も抜きます＞＜左右交代＞

ご気分は如何でしょう？もし良かったらご家族にも教えてあげてください。

ご協力ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　大田原中央、那須の各クラブから現況報告書が届きました。
○　ロータリー全国野球大会の案内を頂きました。
○　大田原ロータリークラブから週報を頂きました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　村山茂社会奉仕委員長

社会保険委員会より、来る10月28日（日）開催の「那須野巻狩まつり」における役割分担の連絡が届いております。

救護美化部警備救護班に秋間忍会長が、交通部輸送班に植竹一裕君及び遠藤清和君が配置されましたのでご報告するとともに、ご協力をお願いいたします。

○　相馬征志君

10月14日（日）、奥日光へ　ハイキングの予定です。参加希望者はお知らせ下さい。

○　大森貞男君

9月22日（土）交通安全協会への参加について。

卓話

○　新井聖一プログラム委員長

プログラム委員会は新井聖一、副委員長・半田久一さん、委員・佐藤博さんの三名の構成です。

プログラムの作成は5月中旬より行い約1ヶ月かかりました。作成にあたり委員の他、齋藤先生にもより美しく仕上げるため、御協力を頂きました。ありがとうございました。

プログラム委員の仕事はこれでほぼ終わり、安堵し

ている状況です。時間が余りましたので、本職である皮膚に関する話をしたいと思います。

＜皮膚について＞

皮膚は身体の表面をおおっている人体最大の臓器です。面積は成人で平均1.6㎡。重量は体重の約16%になります。

人体は表層から下層に向かって、表皮、真皮、皮下脂肪組織、筋膜、筋肉、骨からなりたっています。

表皮、真皮、皮下脂肪組織の3層を「皮膚」として取り扱います。

皮膚の主な働きは保護作用、体温調節、分泌作用、吸収作用、免疫反応、知覚作用、ビタミンDの生成などがあります。

1. 保護作用：外界からの機械的刺激、温熱・寒冷刺激、化学物質、微生物、紫外線から生体を防御しています。
2. 体温調節：体温上昇時には血管が拡張し、汗を分泌し熱を放散させます。体温下降時には血管・立毛筋が収縮し、汗の分泌を抑制し体温低下を防ぎます。
3. 分泌作用：脂腺から皮脂の分泌を行います。皮脂は皮脂膜形成により皮膚の保護作用があります。汗腺からは汗が分泌され、体温調節作用に役立っています。
4. 吸収作用：表皮経路・毛包脂腺系経路があります。外用薬の経皮吸収の度合いを考えるうえで重要です。
5. 免疫反応：外界からの異物の侵入に対して、好中球、リンパ球が動員される抗原抗体反応による防護作用の役割があります。
6. 知覚作用：触覚・痛覚・温冷覚・かゆみを感じます。
7. ビタミンDの生成

皮膚科では痒みで来院する人が多いですが、その他手術・レーザー治療・光線療法等も行っています。

爪・毛髪も皮膚科領域の疾患です。（巻き爪・脱毛症など。）

＜スキンケアの基本＞

1. 皮膚の洗浄・清潔保持
2. 皮膚の保湿
3. 紫外線からの防御
4. メンタルケア（ストレスの軽減）

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

新井聖一君　サッカー日本代表・イラクに勝利
秋間　忍君　男子シニアテニス優勝！

● 9月12日欠席(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・齋藤武久・高根沢英司
時庭稔・橋本佳明・室井次男・藤村聡

○ 前回9月5日分メークアップ(敬称略)
橋本佳明・藤村聡・高根沢英司・荒井昌一
髙木慶一・深町彰

次回例会　　平成12年9月19日　　クラブ史料委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５４回　秋間年度　第１１回　会報　２０１２-９-１９　司会　福田逸男君

会長挨拶　秋間忍会長

遅ればせながら、お陰さまでクラブ現況報告書が完成いたしました。原稿の提出、校正など皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、編集を担当した吉光寺幹事を労いたいと思います。間もなく新郎になる吉光寺幹事の心労は大変なもので、印刷依頼に漕ぎ着けるまでは、文字通り寝食を削っての作業を粘り強くやってくれました。後で本人から本音のところを聞き出したいと思っていますが、寝食を削るのと彼女に合う時間が削られるのとどっちが辛かったって・・・。いずれにしましても吉光寺幹事はこの22日に、晴れてお気に入りの彼女と結婚式を挙げ、これまでの苦労が報われます。現役のクラブ会員が結婚するのも珍しいと思いますが、その会員がその年度の幹事というのもめったにあるものではありません。一足早いのですが、このような機会に恵まれた会長としましては、彼の前途を祝し、皆様の前で花束を贈呈したいと思います。皆様にも祝福の拍手をお願い申し上げます。

良いことは重なるもので、今日は室井次男会員が久しぶりに出席してくれました。

昨年度の理事会でちょっと時間を置いてから、室井会員の意向を確かめる役を澤田吉夫副会長と私が仰せつかり、何度かご自宅に訪問させていただきました。確かに大変な闘病生活をされたとのことですが、気力体力ともに日々充実しつつあり、会員存続の意志も確かめることが出来ました。つきましては、今年の12月までは例会出席について逆申告による在籍を認めるという特例を適用させていただくことになっております。つまり、室井会員から例会前に出席の申告が無ければ欠席、逆に例会前に出席の申告があれば、食事を用意して、その食事代をその都度徴収するという特例です。これは、今年度の理事会承認を既にいただいておりますが、まだクラブ定款細則検討委員会の審議を経た細則変更には至っておりません。近々細則の改訂案を提出いたしますので、会員の心と体の変化に柔軟に対応できる解決策としてご審議頂きたいと思います。

それでは、自宅では奥様に「少しはじっとしていればいいのに・・・」と諫められている室井次男会員に近況を２～３分でお話して頂きたいと思います。

繰り返しになりますが、26日（水）は観月会です。親睦委員会の皆さんが楽しい宴を準備してくれておりますので、奥様には「貴方がロータリークラブに入っていてくれて良かった」と言わせてみたいと思います。皆様共々奥様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

【理事会報告】

○　10月プログラムの件、承認されました。
○　ふれあい広場収支決算の件、承認されました。
○　あったかハート号の会への活動支援金贈呈の件、

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日9月19日	42(2)	35(1)人	7(1)人	87.8%	*	
前　回9月12日	42(2)	36(2)人	6(0)人	83.3%	6人	95.2%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

承認されました。
○　会費一部免除の件、細則等検討委員会に諮ることで承認されました。
○　新入会員推薦の件、引き続き勧誘することで報告です。
○　秋間年度奉仕部門功労者申請の件、佐藤博会員を推薦することで承認されました。
○　財団地区補助金の件、地区への申請時期の件で今月の理事会に上程されました。和気委員長を中心にお骨折り宜しくお願い致します。

【幹事報告】
○　現況報告書が完成しました。皆様のレターボックスに入れましたのでご確認下さい。
○　大田原ロータリークラブから現況報告書が届きました。
○　大田原ロータリークラブから会報が届きました。
○　あったかはーと号の募集と一緒に回覧中です。
○　ハイライト米山が電子メールで届きました。後程高木委員長にお渡しします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　ゴルフ愛好会　会長高木慶一

秋間年度第1回ゴルフ大会を10月8日（月）体育の日に那須ちふり湖カントリークラブで開催いたします。
出欠の回覧を回してますのでご記入下さい。

○　齋藤武久君

芋煮会のご案内です。ただ今芋煮会の出欠表を回していますのでご記入お願いします。
・　日時：10月11日(木)午後5時から。お手伝いの方は3時から。
・　場所：宮町和気勝利邸の庭
・　会費：2,000円

○　大森貞男黒磯ロータリークラブ旅行愛好会長

・　日程：12月6日(木)～8日(土)2泊3日
・　方面：長崎方面(平和島、南地区、軍艦島、長崎カステラ、ハウステンボス平戸観光、伊万里焼き、唐津観光等。)

来週にはパンフレットが出来上がりますので、同時に申込みもお願いいたします。

○　那須塩原交通安全協会黒磯支部　支部長大森貞男君

秋の交通安全週間の一環として9月22日（土）に啓発パレードを実施いたしますので、当日は9時30分までに保健センターにお集まり下さい。

○　秋葉秀樹会報委員

会報委員会よりご連絡いたします。先日お送りしました第2552号のメークアップの日付が9月29日が9月22日になっておりました。訂正の程よろしくお願いします。

○　会計長　田中徹君

例年年会費及び種々の費用を引落させて頂いております。引落完了後申し出があった会員のみに領収書を発行させて頂いております。本年度も例年通りと致しますが領収書の必要か否かを確認させて頂きますので確認表が廻りましたらご記入願います。

卓話　クラブ史料委員会

○　檜山達郎委員長

皆様今日は。本日(9月19日)はクラブ史料委員会が卓話を担当する事になります。クラブ史料委員会は委員長に檜山達郎・副委員長に高木茂の2名で担当いたすことになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

今日は旧黒磯の事について少々話を進め、其の後に私の幼少の頃の街の医療について知るところについて話を進めてみたいと思います。

黒磯は広漠たる草原に続き原野であったと云われています。奈良、平安朝時代にこの地の南方、いわゆる旧奥州街道と思いますが[東山道]が通じてより以後、武家政治となって、この辺一帯は那須氏一族の支配下にあったと云われています。其の後、幾多の変遷を経て明治維新をむかえた。

明治元年(1868年)五箇条の御誓文の交付、この事は諸外国いわゆる欧米列強国に追いつくための改革であり、この改革の方針は慶応4年(1868年3月14日)に公布され具体的に明文化されました。此のことは思想的には自由民権運動が理想とされ、この運動のスローガンとして（富国強兵）（殖産興業）が頻用されました。

明治22年（1889年）には大日本帝国憲法が公布されアジアで最初の立憲君主制、いわゆる議会制国家が完成されました。此のことには歴史上においては、伊藤博文の貢献は多大なものであったと云われています。

さて、話を振り出しにもどしまして、この広漠たる

原野は、新国道や鉄道が開かれるまでは全くただの草刈り場にすぎなかった。この地は水の恩恵にも恵まれなかった。其のためか自然のなりゆきで那珂川や熊川沿いには人家が点在し、主な街道筋には小さな宿場町もあったと云われています。

寛永四年（1627年）には旧奥州街道が市の南部を西から北に抜け、正保二年（1645）には、これに平行に原街道が那須の原野を横切り、元禄八年（1695）には会津中街道が北部山岳地帯をつらぬいて、この三街道が明治までの主要動脈として大きな役割をはたしてきた。

明治18年旧4号が開通、19年には東北線が開通し黒磯駅が開設、21年には東那須野駅、今の那須塩原駅が開設された。さらには、明治18年には那須疎水が通水した。

このころから全国各地から開拓を希望する開拓者が移住、この人たちにより開かれた町と云われています。昭和31年1月の町村合併により旧黒磯、鍋掛村、東那須村、高林村の一町三カ村が一つになり新しく黒磯町が誕生しました。

昭和35年、東北線の電化と国道四号線の改修により京浜と東北地方との時間的な短縮により、各産業の水準も向上、地域的にも関東と東北を結ぶ要所となった。

那須塩原市文化財保護審議会長の磯忍氏の著書「那須野自然と農村と歴史文化」と題しての書籍のなかで幕末から明治へとして、日本の夜明け即ち、近代への幕開けの礎を築いた先人たちの証が、那須野の大地に広がっていると云っています。

軍事、財政、外交と、明治維新の頃に手腕を振るった人達が、相次いで大農場を開拓、又別荘を持ち、憩いの場とした。総理大臣の山縣有朋、陸軍大将の大山巌、外務大臣を務めた青木周蔵。この様に開墾の跡は、今では牧場や自習農場に、そして近年では道の駅など、人々になじみやすい所となっている。それぞれの土地で一角に建つ別荘を前にすると、名をはせた巨人達の息遣いが、伝わってくるかのようだ。と磯忍氏は言っています。

さあ、ところで、後半の私の幼少時代の旧黒磯の医療の姿はどうであったかに就いて話を進めたいと思います。

時は昭和10年～昭和20年の後半の頃と考えてみればと存じます。歯科医院は多分3軒（中村歯科医院、成田歯科医院、檜山歯科医院）医院及び病院は4軒（藤田産婦人科病院、渡辺病院、中川医院、金沢医院）何と言っても最初に知っておきたい方は、大正の初めに開業いたしました、現在の金沢正邦先生の祖父知弥氏についてであります。知弥は独学で医師の資格を取得し、その強健な体で数少ない内科医として地域の医療に奉仕をする、一方、内助の功もすばらしく、5人の男の子、2人の女の子に恵まれ、中でも4人の男子がすばらしく長男知正氏は東大医学部を卒業し現在の金沢医院を2代目として継ぐ、二男知義氏は京大医学部を卒業し東京で開業、三男知博氏は東北大医学部を卒業、四男知礼氏は東北大医学部を卒業後、皆様ご存知の板室に診療所を開設し、それぞれがその道で立派に御活躍でありました。

また、内科系として中川医院の中川昌一郎氏は東北大医学部卒業でこれまた素晴らし方で、銀時計組と云われています。先生は少々蕃カラなところがありまして、往診は全て下駄ばきで体の大きな方でありました。

一方、外科系になりますと、なんと云っても町の為と思い町長選に出馬し、現職の真島町長を破って町長に就任いたしました、渡辺先生。彼は東大医学部の塩田外科の出身で、今の栃木銀行、ホテルトップスの所にあり渡辺病院といい、病院の入り口は前に池がありそれを回るようにロータリーになっていまして、往診はスチュドベーカー車。自宅の裏にはミニテニスコートがあり、子供心に羨ましく思ったことをおもいうかべます。

もう一方は藤田病院の藤田三次右衛門先生であります。先生は茨城県の大子の御出身と聞いております。先生は千葉医学専門学校を卒業し、東大で医学博士を取得と聞いております。4人の先生の中で唯一学位をお持ちでした。先生は私の記憶でありますが、せっかちで、少々あわてますとどもりました、中庭で遊んでいますとよくどもって叱られました。

所で先生は、四人の男の子と多分一人の女の子がおられたと記憶しています。長男の三一氏は慈恵医大を卒業し東京で開業、二男久二氏は実業家、三男完吉氏は東北大医学部を卒業し医院を継ぐ、四男俊介氏は教育界へと。

このように旧黒磯の場合、内科系は金沢（内科）中川（小児科）、外科系は渡辺病院（外科）は藤田病院（産婦人科）と分れていたようであります。

これをもちまして、今日の私の卓話とします。有難う御座いました。

☺　ニコニコボックス　髙木慶一君

瀬尾　紀夫君　本町自治会の敬老の行事が無事済みました。

室井　次男君　お心遣い有り難うございました。

誕生祝いエピソード

○　大森定男君

1938年9月5日生まれで74歳になりました。

生まれて間もないが暑い所におりまして、今年の猛暑では、そんなに苦にならないが、寒さでは、大変なおもいです。

○　秋葉秀樹君

1974年9月11日生まれの38歳になりました。2001年の9月11日はアメリカ同時多発テロ事件が起きた日となりました。自分の誕生日が最悪の事件と重なったことは残念です。また、尖閣諸島の問題に端を発した中国の反日デモ等は平和に解決してもらいたいです。

○　佐藤博君

誕生日は、昭和22年9月7日とわかりますが、その日がどうだったかは記憶にございません。

花束贈呈

結婚を祝して、秋間会長より花束が贈られた

吉光寺君の結婚式

9月22日（土曜日）ホテルエピナール那須に於いて、吉光寺家・石塚家の結婚式があった。披露宴には多数のロータリークラブ会員を含め300人を超える招待客が招待された。おめでとうございます。

新婦、春香さんは壬生町の出身。タイの昆布締めが大好きという。吉光寺君は誰もが認める肉好き。二人で譲り合えば、丁度良い食生活になるのではないかな？　美人の伴侶を射止めて満面の笑みです。

◎　交通安全週間のパレード

秋の交通安全週間の啓発パレードが去る22日に行われた。黒磯ロータリークラブからも多数参加した。那須塩原交通安全協会黒磯支部支部長の大森貞男君（上）と秋間黒磯ロータリークラブ会長が出発に先立ち挨拶した。

● 9月19日欠席(敬称略)

新井聖一・篠﨑勝則・高根沢英司・平山博
深町彰・藤村聡・田村吉興

○ 前回9月12日分メークアップ(敬称略)

植竹一裕・遠藤清和・齋藤武久・時庭稔
橋本佳明・藤村聡

次回例会　　平成２４年９月２６日　　親睦委員会（観月会）

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５５回　秋間年度　第１２回　会報　２０１２-９-２６　司会　福田逸男君

会長挨拶　秋間忍会長

９月22日(土)に行われた交通安全パレードにご参加いただいた皆様、大変ご苦労さまでした。前後にパトカーを従えて、国道４号線を赤信号でも堂々と歩けるなどということはめったにできません。共英小学校の鼓笛隊が演奏するリズムに合わせて、楽しい体験をさせていただきました。

９月24日(月)に行われた地区のFaceBook 講習会に福島泰雄さんが出席されました。当クラブ最高齢者福島さんの向学心に敬意を表します。

10月４日(木)はRI第2550地区、第一グループのガバナー公式訪問です。今年は例年とやり方が異なりますが、皆様のご参加ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんばんは。幹事の吉光寺でございます。本日は観月会ですので、手短に行います。

10月４日にガバナー公式訪問があります。当日は3時30分に石山発のバスがでます。午後5時から例会点鐘。懇親会は午後７時からになります。

会場は、塩原温泉湯守田中屋となります。お時間ご注意下さい。

委員会報告と、出席報告は次週回し。

観月会特集

秋間会長の挨拶。

秋草の向こうには大きな月が。

総合司会 藤村聡君、晴れがましい顔。

秋間忍会長挨拶

会員の皆様、そして奥様方、黒磯ロータリークラブの観月会にようこそお越しくださいました。

我々会員が、天下国家、世界の奉仕活動を語り、ロータリー活動を続けられるのは、ご家族の皆さんのご理解をいただいているからであります。別な言い方をすれば、ご家族、特に奥様のご理解がなければ、ロータリークラブの活動そのものが成り立たないと言っても過言ではありません。

そこで今日は、いかに我々の表現力が乏しく、特に人前では家族に対する感謝の気持を口に出せない動物であるかを、よくよく観察していただきたいと思います。そしてこの無愛想で他愛もない動物を、今後ともよろしくお願い申し上げる次第でございます。

毎日お世話になり、すべてに気遣ってくれるご家族、とりわけ最愛の奥さまに同行していただいて、内心では一番嬉しい会員になり変わりまして、奥様方のご出席を心より歓迎申し上げます。

苦楽を共にしてあれからうん十年、ここで皆さんと一緒に歓談できる幸せをかみしめながら、今宵はしばしこの世の雑事を忘れてお楽しみください。

ご出席本当にありがとうございました。

平山博会長ノミニーの音頭で乾杯。

和気さん、料理を食べる時間ありましたか？

料理のお味はいかかですか。

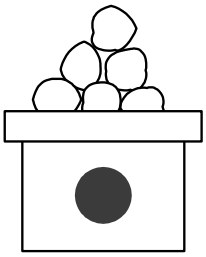
美女４人そろっての乾杯。

村山さん、美女に囲まれ上機嫌です。

アトラクション司会　和気勝利君。

クイズ大会の始まりです。皆さん緊張しています。

クイズ大会、Ｄ組が見事な逆転優勝。盛り上がりました。



石山桂子会員が特別注文の「お月見」ケーキ。

澤田さんの１本締めで中締め。

次回例会　　平成２４年１０月３日　　米山記念奨学会

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５５６回　秋間年度　第１３回　会報　２０１２-１０-３　司会　荒井昌一君

お客様

ロータリー米山記念奨学生　朱雅雯様

会長挨拶　秋間忍会長

今日は一部幹事報告と重複しますが会長報告をさせていただきます。

9月30日（日）には、RI2550地区の第一回会長幹事会、並びに地区ロータリー財団セミナーが開催され、黒磯クラブから半田パストガバナー、吉光寺幹事と私の３名が出席いたしました。ロータリー財団の新地区補助金につきましては、後日また説明、討論の場を持ちたいと考えますが、今年度申請しました旧地区補助金については、当初考えていたより採択される可能性が高いような気がしてまいりました。

明10月４日（木）は、既にお伝えしている通り塩原の湯守田中屋で、第一グループのガバナー公式訪問が開催されます。元気なクラブを唱える鈴木ガバナーと直接対話できる機会を大切にしたいと思います。ご参加の皆様宜しくお願い申し上げます。

10月28日（日）に那須野巻狩まつりが開催されます。当クラブ会長が実行委員に指名されていて、担当は警備救護です。間近になりましたら、村山社会奉仕委員長から詳細な説明があると思います。

11月11日（日）馬頭小川ロータリークラブの創立40周年記念式典があります。当クラブ会長宛に招待状が届いておりますので、私が出席いたします。

来年の6月23～26日、ポルトガルのリスボンで2013年国際ロータリー年次大会が開催されます。鳥居国際奉仕委員長に取りまとめをお願いしておりますが、円高メリットを活かした海外旅行のチャンスかも知れません。

当クラブの今年度事業計画で、「見える会計処理」を掲げておりますが、9月末日現在の財務状況（暫定版の決算書）を本日回覧しておりますのでご覧ください。まだまだ会計処理のルール、手法が定まらず試行錯誤の段階ですが、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日10月3日	42(2)	35(1)人	7(1)人	87.8%	*	
前　回9月26日	42(2)	33(1)人	9(1)人	82.9%	5人	90.2%
前々回9月19日	42(2)	34()人	9()人	80.9%	4人	92.6%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　去る9月30日会長幹事会並びにロータリー財団セミナーに参加してきました。その際の資料を回覧中です。

○　インターアクトクラブ台湾研修報告書、ロータリー文庫案内、麻薬覚醒剤乱用防止センターからのニュースレター、さいたまユネスコ協会からの案内、ボーイスカウト日本連盟からの案内です。その他、ロータリー国際大会の案内、巻狩祭りの案内、交通安全協会パレード参加のお礼状、クラブの９月末時点での仮決算書を回覧中です。

○　第７回那須塩原市ハーフマラソン実行委員会開催の案内を頂きました。秋間会長にお渡ししました。

○　ガバナー事務所から、2014-15 年度に大田原ロータリークラブの長嶋一郎会員がガバナーノミニーに選出された旨連絡がありました。2013-14地区委員推薦の件、本日の理事会でお諮りします。

○　10 月のロータリーレートは１ドル 80 円です。

○　ロータリー米山記念奨学会ニュースがメールできました。髙木委員長にメールでお送りしました。

○　本日の例会終了後、理事役員会を開催しますので理事役員の方はお願いします。

○　明日 10 月４日はガバナー公式訪問です。午後３時30分石山発でバスが出ます。会場は塩原湯守田中屋です。例会点鐘午後5時、懇親会は午後7時からです。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

秋間年度第１回大会を 10 月８日（火）体育の日に那須ちふり湖カントリークラブで開催します。8 時 30 分集合です。お待ちしています。

○　村山茂社会奉仕委員長

去る９月 28 日（金）第 32 回ふれあい広場第３回実行委員会が開催され、本年の実施報告並びに収支決算報告がなされ、報告の通り承認されました。その中で、参加各団体からの収益金の総額は 207,402 円（内：黒磯ロータリークラブは 15,848 円）となり、募金箱募金2,075円と併せた総額209,477円を被災地支援の活動費として那須塩原市社会福祉協議会に贈呈されました。以上、ご報告いたします。

卓話

○　ロータリー米山記念奨学会委員会
髙木慶一委員長

今月のRI月間は社会奉仕と米山記念奨学会となっています。今日の例会担当はそのような事から米山記念

奨学会となりました。米山奨学会は髙木慶一、佐治鐵造さん高根沢英司さんと３人です、今日は委員長の髙木慶一が担当いたします、宜しくお願いします。本来ですとロータリー米山記念奨学会の発足からの話をしなければならないのかも知れませんが、時間が有りませんので、朱雅雯さんのスピーチと最新版のCD放映で米山担当の例会としたいと思います。

私は朱さんのカウンセラーも務めていますので、先日朱さんにメールを送りました。「こんにちは、お元気ですか。先日の例会の会報ができましたので送ります。今中国のデモがテレビニュースで流れています。朱さんにとっても私にとっても辛いニュースです。でも日本に居る時の日本のニュースを見るのは勉強になると思います。言語の勉強の他にも折角日本に留学しているのですから、さまざまな事がらも勉強して行って下さい、そして日中友好のために頑張って下さい。」すぐに返信メールが届きました。「髙木先生へ　メールを拝見しました。ご連絡ありがとうございました。今、日中関係が緊張状態に陥っているけど、日中友好を促進するために努力することは依然として大切です。私もがんばります。」とメールが届きました。

朱さんの歓迎会でも話しましたが、奨学金を渡すだけでなく、留学の間ロータリーの方々と色々話をして、相互理解を深め国際親善を果たすことが米山の務めと思います。

○　朱　雅雯様

日本と中国は、一衣帯水の隣邦の国として２千年余にわたる歴史をもっています。しかし、過去には不幸な日中戦争などの悲劇的な時代がありました。そのた

め、日本と中国との相互理解という道には、数多くの障害物が存在しています。それは、まるで、魚の骨がのどに刺さったように、もどかしく感じます。特に最近、日中関係が非常に冷えて込んでいます。

日本人と中国人の中には、日中両国の関係について、悩ましい思いをしている人は少なくないです。日中友好は夢だと思っている人もいます。このような関係がいつまで続くか、疑問の中心となっているのは戦争責任と領土などの問題です。それについての議論はいつまで経っても絶えません。しかし、それがどれほど悩ましくて、やっかいでも、また、解決のためにどんなに時間がかかるとしても、避けて通れない問題です。日中両国の友好関係を促進するために、いつかは必ず心通じあい、理解しあえることを信じて、地道な努力を積み重ねることが必要です。

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて、世界理解、親善、平和を推進することです。私は、ロータリー米山記念奨学会が支援している在日中国人留学生として、その使命を果たして、日本と中国の友好親善に力を尽くす義務があります。ロータリークラブからの支援を受けて学業を達成すると同時に、カウンセラーや世話クラブとの心のふれあいを通して、ロータリーの奉仕の心を学んで、文化交流および相互理解を深めて、日本と母国との架け橋となるために努力します。

「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもそのとおりせよ」これは米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏の願いでもあって、ご自身の生涯そのものでした。日中両国の相互理解を促進するために、この話も適用できると思います。相手に理解してほしいと要求する前に、先に相手を理解し、さらに自分の考え方や意見を詳しく表すことも結構大事です。これから、私もできるだけこのように行動して、日中両国の相互理解と友好の促進ならびに日本と中国の平和と繁栄に貢献できるように努力します。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

髙木　慶一君　今日はロータリー米山記念奨学会担当です。よろしくお願いします。

黒澤　洋一君　9月30日、6人目の孫が誕生しました。また女の子でした。男１人女５人の女系家族かな？

吉光寺政雄君　ようやく結婚できました。有り難うございました。

村山　　茂君　結婚祝い有り難うございました。

誕生祝いとエピソード

髙木慶一君・須藤舜生君・相馬征志君・橋本佳明君・藤村聡君(高根沢英司君)

○　相馬征志君

この10月は、私の誕生月であり又結婚月でもあります。親睦担当委員長はこれ等についてコメントを求めておられますが、結婚についてはこの時代きわめて一般的なプロセスを経たにすぎず、特別申し上げることはありません。75年前、親は私を「征志」と名付けました、この名前は生を受けた昭和12年と云う年に由来しているようです。

この年7月、盧溝橋事件をきっかけに「支那事変」と言われた日中戦争に突入しました。「征」の字は征服・征伐・遠征等に表されるように「敵を倒す」の意で、それに「志す」の字を組み合わせた訳ですから、この時代的には"クール"な名前だったんだろうと思います。

それから75年、いままた日中関係がギクシャクしてきたことに心を痛めつつ、己の生れた時代に関心を深めております。

○　髙木慶一君

誕生祝いありがとうございました。私の誕生日は昭和21年10月20日です

誕生日を忘れてしまう時がありますが、私の誕生日は皇后陛下と同じです、新聞やテレビで皇后陛下の誕生日のことが出ますのですぐ思い出します。今日は米山の担当例会です。米山梅吉翁が亡くなったのが1945年です翌年1946年に私が生まれましたことになり、良く覚えています。

○　須藤舜生君

明後日80になります。先日のお月見のクイズ大会、また本日の誕生祝い、私の最近の極端な物忘れの多さ、体力のなさ等、すべて80という言葉に納得です。

今後「アンチエイジング」頑張ります。

結婚祝

村山茂君・秋間忍君・相馬征志君・福田逸男君・佐治鐵造君・深町彰君

ガバナー公式訪問

10月4日ガバナーの公式訪問が催された。今年度は今まで例がない形で、第1グループ7クラブが合同で鈴木ガバナーをお迎えする事となった。会場は塩原の湯守田中屋で、合同例会は5時から、懇親会は7時から開催された。

鈴木ガバナーとバナー交換をする秋間会長

黒磯ロータリークラブからの出席者

● 10月3日欠席(敬称略)
高根沢英司・篠﨑勝則・檜山達郎・室井次男
大森貞男・福島泰雄・田村吉興

● 9月26日欠席(敬称略)
荒井昌一・鈴木隆子・高根沢英司・田中徹・
津久井誠一・橋本佳明・深町彰・室井次男
佐治鐵造

○ 前回9月26日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・鈴木隆子・田中徹・津久井誠二
深町彰

○ 前々回9月19日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・篠﨑勝則・平山博・深町彰

次回例会　　平成24年10月10日　　クラブ協議会　会長担当

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2557 回　秋間年度　第 14 回　会報　2012-10-10　司会　時庭稔君

会長挨拶　秋間忍会長

お陰さまで去る 10 月 4 日（木）、塩原の湯守田中屋で行われましたガバナー公式訪問が滞りなく終了いたしました。前日の例会、連日の夜間例会に出席していただいたメンバー各位に心より感謝申し上げます。ご苦労様でした。

今年度の公式訪問が異例のやり方であったにせよ、遠路塩原の地に一泊され、会員との直接交流を目指された鈴木宏ガバナーの熱意に敬意と感謝の意を表したいと思います。また、湯守田中屋で７クラブ合同例会を準備するということもありまして、吉成慶司ガバナー補佐の気苦労は大変なものであったと思います。当クラブにもいろいろお気遣いをいただきましたことに対し、吉成ガバナー補佐にも厚く御礼申し上げます。

鈴木ガバナーの説明によれば、国際ロータリーの構成員は各クラブであり、公式訪問は各クラブの代表である会長、幹事とガバナーだけで行う会談がイベントの中心とのことでした。文字通りと鈴木ガバナーと直接お話をすることができ、ロータリーにかける本人の強い意気込みを感じることができました。

鈴木ガバナーとの話し合いの中でどうしても皆様にお伝えしておかなければならないことがあります。話は半年程前にさかのぼりますが、地区の次年度会長、幹事会及びロータリー財団研修会の席で私が「ロータリー財団が行うべき人道的支援は海外ばかりではない！例えば、東日本大震災によって放射能不安に怯える母親、出稼ぎによる家族離散の危機等、ロータリーが手を差し伸べなければならない状況は存在し、ロータリー財団の資金でやるべきことはある！」そのようなことを述べたと思います。

鈴木ガバナーはこれ言ったのが黒磯クラブの次年度会長だったことをどうやら忘れなかったようで、公式訪問当日、鈴木ガバナーから「そのような草案（プロジェクト）をなるべく早く出してください」と言われてしまった。私の頭の中では、「子どもの将来を守る放射能の講演会」をロータリー財団の旧地区補助金で開催することがその対応になると考えておりましたので、その旨を告げると「その話とは別」と否定されてしまいました。（鈴木ガバナーがどのような企画、構想の中で私の草案を取り上げるつもりかはよく分かりませんでした。）

しかし、日本国内にも人道的支援を必要としている事例はあると主張した私にも責任があると考え、的外れになっても私なりの「たたき台」を鈴木ガバナーに提出してみようかと思っております。今日の例会は奇しくも、会長担当のクラブ協議会です。「ロータリー財団が行うべき人道的支援は海外ばかりではない！」と主張するだけではただの不平、不満になりかねません。

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 2 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日10月10日	42(2)	32(1)人	10(1)人	80%	*	
前　回10月3日	42(2)	35(1)人	7(1)人	87.8%	4人	95%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

もしかすると、2550地区もアイデアの枯渇に苦しんでいて、良い企画があれば東日本大震災の復興支援のために何らかの動きをするつもりなのかもしれないということも視野に入れながら、我々県北の視点で具体的提案（アイデア）考えてみたいと思います。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

【理事会報告】

○　11月プログラムの件、承認頂きました。
○　那須クラブとの合同例会の件、エピナール那須で行われますが会費が7,000円となります。例会扱いなので個人負担無しで進めて参ります。
○　米山記念奨学生の件、一人13,000円づつ引き落としさせて頂きます。
○　2013-14年度、地区委員の件、時庭会員を推薦することで承認頂きました。
○　ロータリー財団委員会寄付の件、一人130ドル引き落とさせて頂きます。併せてベネファクターに秋間会長をお願いしました。
○　黒磯高校IACから￥50,000の援助申請がありました。承認されました。

【幹事報告】

○　先日行われたガバナー公式訪問お疲れ様でした。参加頂いた皆様に御礼申し上げます。
○　一年交換留学生磯杏子さんから9月月次報告を頂きました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　大森貞男旅行愛好会会長

本日で閉め切りますが、まだ余裕がありますので、参加が出来そうな方はどうぞお申込み下さいますようお願いをいたします。

○　田中徹会計長

・米山記念奨学会　特別寄付　　\13,000
・ロータリー財団　個人寄付　　\8,000（$100）

10月22日(月)に栃木銀行より引き落としを行いますのでご確認願います。

○　石山桂子会員増強委員長

会員増強委員会からお知らせいたします。遅くなりましたが、会員推薦用紙を皆様のレターボックスに2部ずつ入れておきましたので、何方か推薦する方がいらっしゃいましたら宜しくお願い致します。

卓話　クラブ協議会

○　秋間忍会長

会長担当のクラブ協議会を始めます。先ほどの会長挨拶で、鈴木ガバナー公式訪問時の様子をお伝えしながら東日本大震災に対する人道的支援の話をさせていただきましたが、引き続きこのテーマについて本日のクラブ協議会を進めて参りたいと思います。

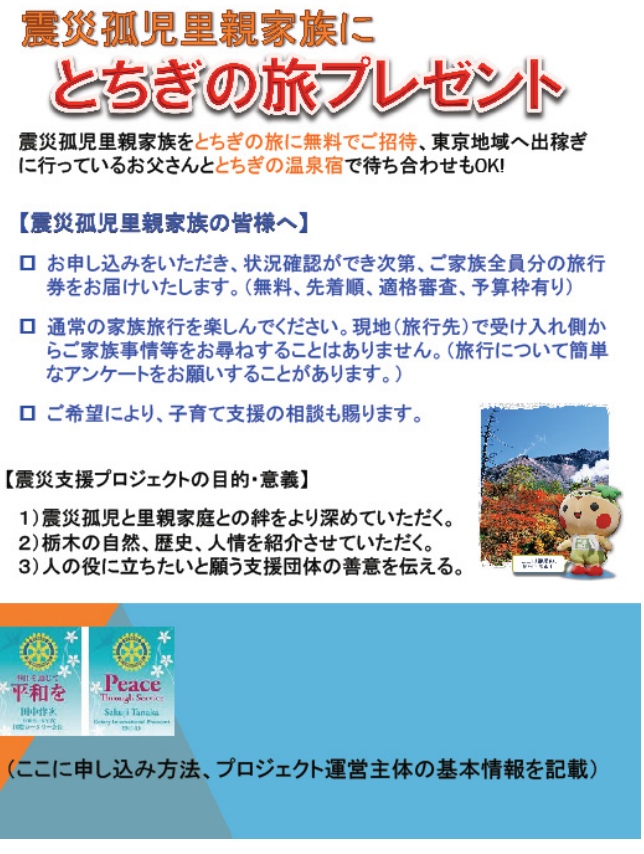
それでは、お話し合いの共通認識としてTV-Tokyoの番組をご覧頂きたいと思います。

東日本大震災から間もなく9ヵ月、死者は1万5,840人、行方不明は3,529人となっています。こうした中で、親をなくした子どもの数というのは1,567人に上っています。親をなくした子どもたちの多くは、里親のもとで暮らしています。こうした子どもたちの現状を取材しました。

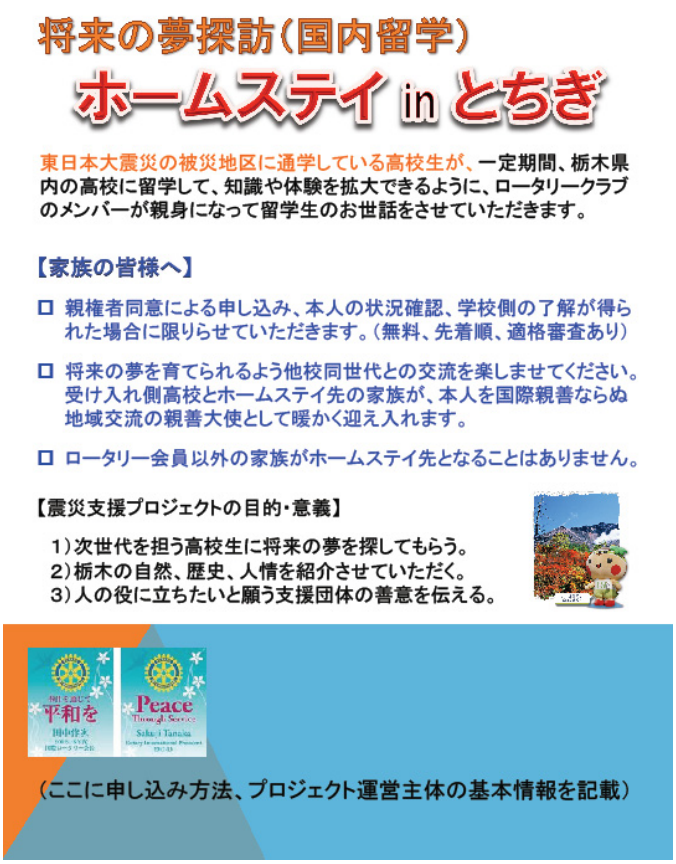
番組「里親と暮らす震災孤児の今」鑑賞

ご覧頂いた通り、この子達のために我々も何か出来ないかと痛感いたします。そこで、不備を承知で素案「たたき台」を作ってみました。

以上、プロジェクターで二つのプロジェクト案、「里



里親家族に栃木の旅プレゼント



被災地高校生のホームステイ in とちぎ

親家族に栃木の旅プレゼント」、「被災地高校生のホームステイ in とちぎ」を紹介させていただきました。

これらの検討材料をご覧頂いた感想等、皆様からのご意見をいただきたいと思います。

○　礒勝彦君

秋間会長の意図するところには、ロータリーの活動が基本にあるかと思います。

それならば、私たちが行っているロータリーの活動の基本、例えば夏季交換学生プログラム、WCS活動などのノウハウをそのまま生かせたら良いのではないかと考えます。

ロータリーで支援している「あったかハート号」に長年携わっている和気会員にも良い考えがあるのではないかと思いますが如何でしょうか？

○　和気勝利君

鈴木ガバナーの要請と今日披露させていただいた「たたき台」を総合して、地区、又は鈴木ガバナーの期待を測ることができるでしょうか？　半田先生、よろしくお願いします。

○　半田久一ＰＧ

会長による二つのプロジェクト案を至急に立案し、委員会による検討を加え、計画案をまとめるべきと思います。

○　秋間忍会長

突然のテーマに対して、皆様のご協力ありがとうございました。これで本日のクラブ協議会を終了いたします。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

田中　　徹君　何で100を切ってしまったのでしょう。悔やまれる一日でした。
佐治　鐵造君　結婚記念の写真有り難うございます。
深町　　彰君　結婚祝い有り難うございました。
相馬　征志君　誕生祝い、結婚祝い有り難うございました。
秋間　　忍君　ガバナー公式訪問、ご協力ありがとうございました。

誕生祝・結婚祝に一言

○　橋本佳明君

誕生日のエピソードと言われましても思い浮かびませんので､忘れてはならないものの話しをさせて頂きます。

それは妻の誕生日であります。これを忘れると大変な事・夫婦円満にもなりませんので、私は毎年妻の誕生日の朝７時に携帯電話が知らせてくれる様にしてあります。私を含めましてみなさんも年々物忘れが酷くなっていると思いますので、この様な仕掛けをしたら良いとお話しをさせて頂きました。

○　村山茂君

私たちは、職場結婚ということで、最初の新年会に彼女が和服を着ていました、一番目立っており、一目惚れでした。新婚旅行は、マレーシア、シンガポールにいきましたが、その時のガイドさんは若くて独身の男性で、ツアー全員が新婚さんでしたので、大変お気の毒に感じたことを憶えております。

○　福田逸男君

昭和43年10月ですから､44回目の結婚記念です。披露宴は石山でした。当時は厳粛で謡曲、民謡が多く現在の様な騒がしさはなかった。

新婚旅行は紀州、京都で、那智の滝、京都の時代祭を観光したことが記憶に残ってます。家内は弱冠二十歳でした。

ゴルフ愛好会表彰　鈴木久雄君

田中徹君に会長から優勝トロフィーが手渡された。

10月8日開催､秋間年度第１回ゴルフ愛好会結果報告。

優　勝　田中徹

準優勝　福田逸男

参加者15名ちふり湖カントリークラブにて。当日は好天に恵まれとても良いゴルフ日和でした。

○　優　勝　田中徹君

秋間年度第１回ゴルフコンペにてスコアメイクの失敗から優勝と相成りました。優勝賞金は家内の財布に収まり､スマイルボックスには私の財布から出て行く､ああ無情！

● 10月10日欠席(敬称略)

荒井昌一・植竹一裕・篠﨑勝則・髙木慶一・髙木茂・高根沢英司・月江寛智・檜山達郎・藤村聡・田村吉興

○ 前回10月3日分メークアップ(敬称略)

大森貞男・篠﨑勝則・福島康雄・檜山達郎

次回例会　　平成１２年１０月１７日　　社会奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2558回　秋間年度　第15回　会報　2012-10-17　司会　時庭　稔君

会長挨拶　秋間忍会長

先月の29日にひばりケ丘保育園の運動会がありまして、その開会式でガス入り風船を飛ばしました。この風船にはひまわりの種と短いメッセージが括り付けられていましたが、強風もあって絵に描いたようには飛んで行きませんでした。ところが意外にもそのうちの一つが風に乗って県境を越え福島県南相馬市にある高平幼稚園に届き、高平幼稚園の園児と園長先生からのお手紙をいただいて、ガス風船の大飛行を知りました。ひばりケ丘保育園の園児達共ども予期せぬ出来事にびっくりしています。

この話は先週10日の例会でご紹介させていただこうかとも考えましたが、私とひばりケ丘保育園の園長が「南相馬市まで行ってお手紙をくれた高平幼稚園の園児と園長先生にお逢しに行こう」ということになり、南相馬市の現況報告も含めて今週の話題とさせていただきました。

自宅を朝７時に出て、福島市、相馬市を経由して南相馬市の高平幼稚園に着いたのが10時過ぎでしたので片道３時間以上かかったことになります。それでも、常磐自動車道が相馬～南相馬間だけは開通していて、通行料は無料でした。高平幼稚園は市立小学校に隣接した公立幼稚園で、去年の震災以降今年の３月まで休園していたとのことです。現在の園児数は全学年でも20名前後で、震災後、南相馬市の人口が概ね半減したため震災以前の通園区を越えて登園している子どもいるとのことでした。聞くところによれば、津波は幼稚園の100m手前まで押し寄せ、全員が小学校に非難したそうですが、三階からは周囲に何も無い光景が広がっていたそうです。後になってそれが津波と知り、その恐ろしさを知ったそうです。幸いにも高原幼稚園には大きな被害も無く、遅れた再開園も私立幼稚園の開園を優先させたためとのことでした。

気になる園庭の放射能ですが、意外にも高原幼稚園の園庭での線量は0.1マクロシーベルト前後と那須塩原市の平均値より低いものでした。物々しく園庭に設置された放射能測定器を何度見ても表示される数字は目を疑う程低いのですが、福島第一原発から距離的に近いということもあって除染作業を始めとする放射能対策には相当の行政力とお金が注ぎ込まれたように思えます。その点、那須塩原市内の放射線量を知っている我々にはちぐはぐな対応と危機感に矛盾を感じましたが、南相馬市の幼稚園児が戸外で安心して活動している様子を見られたことは今回の収穫でしたし、園長先生の話も予想より楽観的だったことをご報告いたします。

帰りは、わざわざ６号線を北上して相馬市に立寄りました。相馬市の沿岸部の津波による被害も確かに相当なものだと実感しましたが、もし松川浦が無かった

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日10月17日	42(2)	32(1)人	10(1)人	80.0%	*	
前　回10月10日	42(2)	32(1)人	10(1)人	80.0%	7人	95.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

ら津波の被害はもっと拡大したのではないか考えました。素人考えですが相馬市は松川浦のお陰で津波の直撃から免れたように思えるのは私だけでしょうか･･･。

我々も今後どのような姿勢で社会問題や災害、放射能とどう向き合うべきか、現実を冷静に受け止め、孫子のために今できることを今やっておかなければいけないという思いを新たにした次第です。

話は変わります。先週の例会で東日本大震災に対する人道的支援について鈴木宏ガバナーから草案の提出を期待されているという話をしましたが、会長卓話、並びにクラブ協議会の内容を会報委員会さんが立派にまとめてくださったので、当クラブの会報をそのまま鈴木宏ガバナーに送り、返答を待っておりましたところ、時を移さず鈴木宏ガバナーから「着想Good！積極的に進めて欲しい」という回答がありました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。先輩方の結婚のエピソードは大変興味深く拝聴いたしました。

○　ハイライト米山が配信されてきました。髙木慶一ロータリー米山奨学会委員長にお渡ししました。
○　27～28に開催される巻狩祭の案内を頂きました。村山社会奉仕委員長にお渡ししました。
○　大田原ロータリークラブから週報が届きました。回覧中です。
○　那須クラブとの合同例会、出欠表を回覧中です。那須クラブから頂いた書式で取りまとめています。出席頂ける方は記入をお願いします。尚、会費が7,000円となっていますが､今年度は秋間会長の方針で徴収はしませんので是非ご出席下さい。
○　那須町文化センターで明日、佐賀市長の講演会があります、回覧中です。
○　来週、24日例会終了後に臨時理事役員会を開催します。秋間年度理事役員の皆様はご出席をお願いします。
○　11月7日18時30分から石山にて次年度理事役員選考委員会を開催します。後程ご案内をさせて頂きます。

委員会報告　澤田吉夫副会長

なし

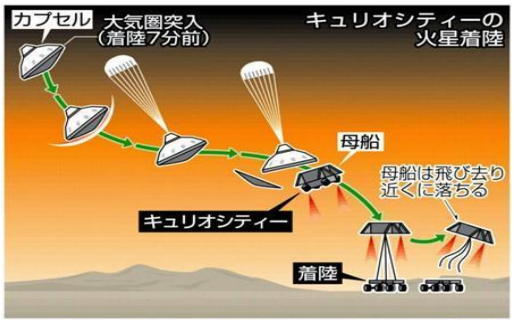
卓話　社会奉仕委員会

○　村山茂委員長

本日は社会奉仕委員会の卓話ということで､お話しさせていただきます｡秋間年度の社会奉仕委員会の活動方針等につきましては、7月例会において、また、現況報告書に記載しておりますので、本日は省略させていただきます。本日は、最近のニュースの中から私の独断と偏見で興味をもった事柄について、何点かお話ししたいと思います。

(1)　アメリカの火星探査機キュリオシティー

本年8月5日（タクシー生誕100周年の記念すべき日といっしょ！）に火星に着陸しましたが、その着陸の方法が前代未聞です。火星の大気圏突入後、パラシュートで降下し、地表上空で母船から切り離されたキュリオシティーは、さらに逆噴射で上空に留まり、ワイヤーで重さ900kg、長さ3mもある探査機を地上に下ろすという離れ業をやってのけたのです。



キュリオシティー着地の概念図
msn産経ニュース2012.8.24より

これを見守るNASAでは「恐怖の7分間」と表現して、それこそ固唾を飲んでいた訳ですが、これが見事に成功しました。以前は、探査機を丈夫な風船の中に保護して、パラシュートで落下させていましたが、探査機の大きさが限定されるとか、保護材が探査機に絡まるとか、正確な場所に降下できないといった問題がありましたが、これらを一挙に解決して、思い通りの地点に探査機を降下させることが出来るようになりました。

火星は地球と同じ年代（46億年まえ）に生成されたそうで、現在の平均気温は－50度と極めて低いが、数十億年前は温かく、川や湖があったと考えられており、生物が存在しても不思議ではないそうです。ただ、「火星人」はいないそうです。微生物のようなものと考えられているようです。オバマ大統領は、「火星人がいたら連絡して。」と言われたそうです。今後の2年をかけて土壌や岩石を直接調べ、生命の痕跡となるアミノ酸などの有機物の存在を調査するようです。もし化石が見つかれば地球外生物の初証拠発見となる訳です。なお、この探査機にはロボットアームやカメラ、岩を溶かすレーザーなど10種類の観測機器を搭載しているそうです。アメリカの宇宙開発へ賭ける情熱は、凄まじいですね。日本でも小惑星探査機「はやぶさ」の感動的な成功がありましたが、アメリカのそれとは趣を異にします。フロンティアスピリットという言葉がありますが、日本語に訳すと「開拓魂・精神」？間違いではないと思いますが、フロンティアはフロンティア、スピリットはスピリットで日本人の感覚には無い精神構造が存在していると思っています。

(2)　尖閣諸島問題

この問題について、中国と日本は明らかに見解を異にしています。共通の認識は、双方とも自分の領土であるとの主張のみです。今までの経過からすると、収束するまでには相当な時間が必要と思われます。不思議でならないのは、そうでなくても大きな国土をもてあまし、多くの少数民族問題を抱え、共産党による独裁的な権力行使でのみ統治可能な国が、無理筋で領有権を主張し、尚且つ、各地の暴力的な反日運動を黙認するのか。これも、先程のアメリカ人ではありませんが、報道されている範囲では、中国人の感覚がどうしても理解できません。昔から、日本文化は中国文化に大きく影響されています。現在でも思想書、歴史書、詩などの様々な中国に関する書物が多数発行され、しかも、かなりの読者が教養を深めるためなどに読まれているように思っております。したがって、私を含め多くの日本人は、古代中国は文化と歴史の国であり、それこそ教養あふれ、知性と理性を兼ね備えた尊敬すべき国であった。そう思われている方が少なくないと思います。そんな古代中国でも、争いは頻発していました。広大な国土故に、周辺少数民族の侵入、隣接他国との争いなどなど。しかし、あくまでその争いは、中国本土内陸での紛争であり、中国国内、いわゆる中原の覇権争いであったというのが特徴でした。今般の紛争はそれからすると、海外への覇権拡大という感じがします。国を挙げてこのようなことを行うのは、かつてないのでは？と思っています。当事者である我々日本人の困惑は、このようなことも一因にあるように思いますし、アメリカを始めとする諸外国でも、少なからずこのような感覚をもっているものと思います。中国がこのような行為に走る原因は、報道等により様々な指摘がなされていますが、中国指導部自身はどのように考えているのでしょうか。この先何れにしても、いったん事を起こした以上何らかの収束点を見出す必要があります。この責任は、中国が半分以上あると思っています。

(3)　矢板市「指定廃棄物」の最終処分場候補地選定

福島第１原発事故に伴う「指定廃棄物」最終処分場の候補地に矢板市の国有林が選定され、当然のことながら、地元市民はもとより周辺地域にとっても、現時点ではとうてい受け入れ難い事態となっています。これが那須塩原であったらどうか、那須塩原にも広大な国有地等があります。矢板市を含め県北地域は、風光明媚で首都圏から近く道路・鉄道も整備され、絶好の観光エリアで多くの観光客をお迎えしています。そうした中で、残念ながら、昨年の事故以来観光客の足は遠のき、現在も回復はしているものの、以前の状態には回復しておりません。また、まき散らされた放射能は、その殆どが手付かずのままです。市街地、農地、森林、河川等々汚染されたままです。一刻も早く除染する必要があるのは明らかです。放射能除染については、国が全責任を負うのは当然ですが、地元住民も被害者ではありますが、解決に向けて出来る限りのことをするのも、また、当然ではないでしょうか。だからといって、今の時点で最終処分場を受け入れる訳にも参りません。一体どうしたらいいんでしょう？いま、皆様も同じような思いをなされていると思います。そうした意味で、矢板市の候補地選定問題は、他人事では無く、我々の問題であると思います。放射能の人体への影響は？膨大な面積を全て除染できるのか？いくら費用がかかるのか？どうやって安全に保管するのか？などなど解らないこと、難しいことだらけです。ここで我々ロータリアンの出番？この問題の本質は何処にあるのか。そしてそれはどう対処すべきか。そのために我々はどうすべきか。大変難しい問題ですが、ある時点に至れば反対するばかりではなく、解決に向けて前向きに考え、行動することも必要ではないでしょうか。

以上、社会奉仕委員会の卓話ではありますが、最近の出来事に対する私の意見を述べさせていただきました。これに対する皆様のご意見等があれば、伺わせていただきたいと思います。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

篠﨑　勝則君　10月18日天皇皇后両陛下ご臨席の下、最高裁判所長官表彰を受ける事になりました。
荒井　昌一君　篠崎さんの最高裁判所長官賞の表彰を祝して。
植竹　一裕君　本日、那須塩原市全域でお米の安全宣言が発表されました。
佐藤　　博君　芋煮会で齋藤先生、和気さんのご夫妻には特にお世話になりました。芋良し、酒良し･･･有り難うございました。
齋藤　武久君　芋煮会温かな晴天に恵まれ大盛況でした。
須藤　舜生君　80歳になりました。今後も宜しく御願いします。アンチエイジング頑張ります。
檜山　達郎君　しばらくぶりです。

結婚・誕生祝いエピソード

○　相馬征志君

東京オリンピック開会式の5日前が結婚日でしたから、4年に1度くらい結婚当時のことを思い出すことがある程度で皆様にお話するものは御座いません。

昨今は、結婚相手の選択権は女性の手中にあり、男性は選ばれることを願ってひたすら努力するのが当たり前のようです。小生の場合半世紀近くも昔のことであり、当然選択権は「私にありました」と申し上げおきます。

○　藤村聡君

みなさんこんには。黒磯ロータリークラブに入会しましてから、この演台に立たせていただくのが始めてのことで幾分緊張致しております。

私は昭和39年10月4日に香川県高松市の赤十字病院で生まれたと聞いております。それでは、私は、香川県民？かというと、香川には半年しかおりませんでした。それは、私の父が、銀行員であったため、父の転勤に合わせて兄は札幌、妹は高知とそれぞれ生まれているところが違うのです。

私はといいますと、高松で産声を上げた後、東京都杉並区へ引越し、昭和47年には高知に、そして昭和49年にはまた、東京都港区、昭和50年に千葉県柏市で自宅を建てたのをきっかけに、そこからは千葉県民として歩み始めました。子供の頃からの引越し癖が社会人になっても影響したのでしょうか。昭和63年の入社直後には札幌、そして函館、それから水戸、東京、鬼怒川、函館の隣町の漁師町である鹿部、そしてこの那須塩原へは、3年前から住まわして頂いています。

話をもとに戻しますと、私の生まれました昭和39年10月は東京オリンピックの年。私も名乗っている聡という名前は、当時の流行の名前だったそうです。先ほど、そんな話をしていましたら、オリンピックを見るためにカラーテレビを買ったとか、いやいや、それは、4年後のメキシコオリンピックの時だとか、各家庭でのお家の事情もあるのでしょうが、オリンピックを境にテレビを買い換えるご家庭が多かったようですね。

私はこの10月で48歳を迎えました。年男でもありますので、昇り龍になれるよう、チャレンジの年にしたいと思います。

○　秋間忍君

私は東京の大学を卒業した後神戸の鉄鋼メーカーに就職し、妻とはそこで知り合って結婚しました。所謂、職場結婚です。当時は今とはだいぶ違っていたなと想い出すのは、神戸で結婚式と小さな披露宴を挙げた後、六甲山、伊豆、日光にそれぞれ1泊してから黒田原で2回目の披露宴、それからまっすぐ神戸に戻るだけの新婚旅行だったことです。

●　10月17日欠席(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・和気勝彦・深町　彰
高根沢英司・室井次男・篠﨑勝則・津久井誠一
髙木慶一・佐治鐵造

○　前回10月10日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・植竹一裕・篠﨑勝則・髙木慶一
髙木茂・月江寛智・檜山達郎

次回例会　　平成24年10月24日　　会報委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2559回　秋間年度　第16回　会報　2012-10-24　司会　荒井昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

前々回の会長挨拶、クラブ協議会でご紹介したTV-Tokyoのドキュメンタリーにも出てまいりました東北大学災害子ども支援室に、当クラブの企画について相談を申し入れたところ、室長の加藤道代教授（東北大学大学院教育学研究科教授・臨床心理士）が時間を割いてくださることになりました。10月30日（火）に仙台まで行ってお目にかかる予定です。

お手元に配らせて頂きました資料（別添）は、黒磯ロータリークラブの当期期首貸借対照表に訂正しなければならないところがありましたので、それをご説明するためのものです。同表の左側に記載されている現金、及び銀行口座ごとの金額（資産）は、佐藤事務局さんに預金通帳をコピーしていただいて確かめたものですので、どんなことがあっても過去に遡って変更されることはありません。しかし、同表の右側に記載されている負債の明細は、今期がスタートしてからも前年度分の支払や立替があったりしていますので、それらを十分に精査しないと正確な数字が掴めませんでした。訂正後（上段）の期首貸借対照表はこれらを丹念に調べ上げて算出したものです。この左右両方をそれぞれ確定できたことで、この期首貸借対照表を会計上の起点として使うことが可能になりました。

例えば、これを確認できたことで、利用目的別にい

期首貸借対照表（2012/7/1現在、2012/9/30訂正）

資産科目名(借方)	期首残高		負債科目名(貸方)	期首残高	備考
★現金	0		★未払金	424,920	石山
★一般:栃銀(9196082)	841,083		仮受金	140,000	米山奨学金
特別:大信(0180348)	1,380,904		記念行事引当金	400,000	WCS積立
積立金:栃銀(9497281)	1,113,326		特別会計(スマイル)基金	1,380,904	
臨時:栃銀(9236991)	72,334		旅行愛好会預り金	1,367,237	
米山一般:足銀(23715)	180,003		ゴルフ愛好会預り金	43,465	
ゴルフ:足銀(209243)	43,465		―流動負債計―	3,756,526	
旅行:足銀(3104817)	1,355,237		―負債の部合計―	3,756,526	
―現金・預金計―	4,986,352		基本金	1,229,826	
―資産の部 合 計―	4,986,352		―負債・基本金合計―	4,986,352	

訂正

期首貸借対照表（2012/7/1現在）

資産科目名(借方)	期首残高		負債科目名(貸方)	期首残高	備考
★現金	0		★未払金	346,000	石山
★一般:栃銀(9196082)	841,083		記念行事引当金	400,000	WCS積立
特別:大信(0180348)	1,380,904		特別会計(スマイル)基金	1,380,904	
積立金:栃銀(9497281)	1,113,326		旅行愛好会預り金	1,355,237	
臨時:栃銀(9236991)	72,334		ゴルフ愛好会預り金	43,465	
米山一般:足銀(23715)	180,003		―流動負債計―	3,525,606	
ゴルフ:足銀(209243)	43,465		―負債の部合計―	3,525,606	
旅行:足銀(3104817)	1,355,237				
―現金・預金計―	4,986,352		基本金	1,460,746	
―資産の部 合 計―	4,986,352		―負債・基本金合計―	4,986,352	

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日10月24日	42(2)	29(1)人	13(1)人	73%	*	
前　回10月17日	42(2)	32(1)人	10(1)人	80%	5人	93%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

くつもの銀行口座を設ける必然性が無くなりました。また、それぞれの愛好会から現在どれだけの金額を預かっているかという質問に、何時でも即座に答えられます。さらに、委員会別の支出や勘定科目ごとの明細、残高もいつでも簡単に確かめられるようになりましたので、予算の進捗状況を判断するのも楽になったと思います。もちろん、秋間年度から平山年度に引き継ぐ時にも、期末（次年度期首）貸借対照表を確定からして次年度に引き継ぎたいと考えております。皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○ 那須塩原市をきれいにする市民運動から案内を頂きました。村山社会奉仕委員長にお渡ししました。
○ GSE の案内を頂きました。和気財団委員長にお渡ししました。
○ 11 月のロータリーレートは 1 ドル =80 円です。
○ 第 6、7 グループ IM の案内を頂きました。11 月 17 日に開催されます。詳細を知りたい方は私までお願いします。
○ 犯罪被害者支援センターから集いの案内を頂きました。回覧中です。
○ 那須クラブとの合同例会の件、回覧中です。出席される方は名前を記入下さい。会費はクラブで負担しますので、皆様からの追加徴収はありません。是非ご参加下さい。
○ 来週は夜間例会となります。午後 6 時点鐘、こちら石山さんで開催となりますのでご注意下さい。
○ 本日例会終了後、臨時理事役員会を開催します。理事役員の方はお残りをお願いします。
○ 先日お渡しした現況報告書について誤字脱字、内容の記載漏れがありました。大変申し訳ありません。半田会員のご指導を頂き、正誤表を作成しました。ついては、半田会員から皆様にご説明を頂きます。
○ 半田久一君より現況報告書の記事訂正につき説明があった。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　鈴木隆子新世代委員長

新世代委員会よりご連絡致します。ただいま 1 年交換学生の磯杏子さんから月例報告が届いておりますので、本日回覧しています。

現地の方々ともよく馴染んで元気に楽しくしている様子や、客観的に物事をとらえ、頑張っている様子が良く伺えます。どうぞご覧ください。

卓話

○　植竹一裕会報委員長

秋間年度会報委員の植竹です。本年度の会報委員は齋藤副委員長を中心に、鳥居さん、秋葉さん、新井さんの五名と影の会報委員の礒さん、田中さん、村山さん、高木慶一さんの四名と、最も大切なページメーカーさんの 9 名と 1 ソフトで構成されております。ご存知のように会報委員の役割は、毎週の例会を会報に落とし込み、ロータリーメンバー皆様への配信を行なうこととなります。現在は、秋葉さんと新井さんが、齋藤先生から例会終了後に送られる例会情報をベースに、週毎に会報の叩き台を作成し、それを残りのメンバーで添削するという方法をとっております。本来ならば私もその叩き台を作成する係を担うべきなのですが、何せ初めての経験でまだ、お手伝い出来ていない状況であります。更にこの時期は年間で最大の繁忙月の為、例会参加もままならない状況でして、会報委員の皆様にご迷惑をお掛けしている次第です。この場を借りましてお詫び申し上げます。

さて、会報作成のポイントは、例会でお話しいただいた原稿を早く入手する事です。これには、発言された原稿を早々に頂けると助かります。特に外来卓話を依頼された場合は、その担当の方が責任をもって原稿の提出をお願い致します。

これを基に叩き台を作成し、添削、構成を行なう事になります。今使用しているページメーカーは、この会報作成に大切なソフトとして活用させてもらっております。問題は、私自身がこのソフトを使いきれていない事です。齋藤先生をお師匠として勉強会を行ない打開したいと思っております。

完成された会報を皆さんへメール配信を私の方でしておりますが、不慣れなものでデータ添付を度々忘れご迷惑をおかけしております。添付漏れが有る場合は、こっそり教えて下さい。再配信致します。

今後の課題として、ページメーカーが、XP までのパソコンだけに対応という問題です。現在販売されているパソコンを XP に変更する事も可能との事ですので、対応方法を検討していこうと考えております。次から次へとパソコンもソフトも進化しており、一年単位で

改善するべき事と、今後中期計画で改善するべき事が発生する可能性も高いと思います。気が早いのですが、次の担当される方へスムースな継承が出来るように努力したいと思います。

会報委員会としては以上ですが、最近出席率が悪く、早退も多い事はご存知でしょうが、仕事が米穀集荷業を営んでおり、関係上一年一作の為今の時期がピークとなり、例会参加が思うようにできませんでしたが、やっと峠を越えたと思います。今年は昨年以上に放射能に対して敏感になっており、検査も厳しいものとなりましたが、大田原市は9月25日に、那須塩原市も遅れておりました塩原地域も10月16日に安全が確認されました。残るは那須町です。両郷地区や、芦野地区の安全が確認され、残るは旧那須村だけとなりました。旧那須村は大きな地域となるので、大字単位で10か所に細分化して、その地域毎に安全宣言が発表されます。今暫くはバタバタするとは思いますが、モニタリングサンプル採取も残すところ僅かとなってきました。また、現在検査が済んでいるサンプルについても問題無い状態であると聞いており、ホッと胸を撫で下ろしているところです。

実際に今年のお米の状況は、田植え後の低温と晩夏の高温で生産者さんの作り方次第で豊作と凶作がハッキリ分かれる年となりそうです。結果は今月末に農水省が発表する作況指数がベースとなるでしょう。

ここでちょいとだけ作況指数のお話をすると、多くの方が昨年と比べての数値と思われていますが実は違います。作況は、前年の収量と比べるのではなく、過去7年間の収量の最大と最低を除いた5年間の平均値との対比をいいます。更に比べるお米は、1.7mm以上のお米を対象としており、不思議なのは現状全国に流通しているお米は小さくても1.85mm以上の大きさの米が流通しています。それ以下のお米はお味噌や、お醤油、煎餅などの加工食品に利用されるのが大半です。ご飯としてのお米の生産量とは若干実態が異なる様な気がします。実際に1.70mm以上のお米と1.85mm以上のお米では、約4～5%程数量が減少致します。暫くすると新聞紙上に今年の収穫状況が発表されると思いますが、ちょっと見比べてみて下さい。報道で発表されるよりは24年産のご飯になるお米は少ないと思います。

栃木県北部に位置するこの地域は、300m～500mくらいの標高ですので昼夜の気温差が大きく、お米が登熟するには最適な地域です。我々は気がつかない内に美味しいお米を食べているものと思います。ですから、社員旅行など旅先の旅館で出されたお米への批評が厳しく成る事が多いです。手前味噌の部分もありますけどね。

お米は生き物です。より美味しく召し上がる為には保存環境も大切な条件です。特に精米されたお米は表面がすぐに酸化しますので食味が極端に落ちてしまいます。理想は玄米で15℃くらいの日のあたらない場所で保存して必要な分を精米する事が良いのですが、中々そんな事は出来ません。ですから簡単な保存方法としては、残った精米は冷蔵庫で保管して下さい。お米は生き物ですから、冷蔵庫の中で休眠状態にしておいた方が鮮度を保つ事が出来ます。この時大きめのペットボトルを使うと管理し易いでしょう。是非お試しを！ご静聴ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　髙木慶一君

髙木　慶一君　篠﨑勝則会員の裁判所長官表彰を祝って。
檜山　達郎君　先日の芋煮会では齋藤先生、和気さんご夫婦には大変お世話になり有り難うございました。美酒、美酒、最高でした。

結婚祝に一言

○　佐治鐵造君

過日の医師の診断で脊髄小脳変性症でしたが、お陰さまで39回目の結婚記念日を「れん」でお祝する事が出来ました。10月17日を忘れずにいたことに感謝致します。

●　10月24日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・遠藤清和・大森貞男・黒澤洋一
篠﨑勝則・須藤舜生・高根沢英司・橋本佳明
福田逸男・深町彰・室井次男・藤村聡・田村吉興

○　前回10月17日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・和気勝則・津久井誠二
髙木慶一

次回例会　　平成12年10月31日　　夜間例会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2560回　秋間年度　第17回　会報　2012-10-31　司会　荒井昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

皆さんこんばんわ！今日は夜間例会、そして18時開始を周知できていなかったようですが、定刻を過ぎてしまいましたので始めさせていただきました。先ほどの幹事報告にもありましたとおり、残念ながら先週の理事役員会で、高根沢英司さんが10月31日付けで退会と言うことが決まりました。本人ともいろいろ話しましたが、やむをえない事情があると判断し、退会届を受け取ることにいたしました。これで黒磯ロータリークラブの会員数は明日から41名になります。

話は変わりますが、昨日東北大学大学院教育学研究科にお邪魔してまいりました。みなさまご存知のとおり、東日本大震災で被害に遭われた方々のために我々が何かできないかと考えました末、孤児になってしまった子どもとそれを育てている里親の家族を、那須への1泊旅行に招待しようと企画を立てました。この企画の実現性、有効性を相談するために同研究科の加藤教授にお目にかかった次第です。突然不躾な相談をお願いしたにもかかわらず、加藤教授は大変親切に対応してくださり、貴重なご指導をいただきました。

今日はおいしいお酒が待っている夜間例会の前で手早くお話を終えたいのですが、1つだけ皆様にお伝えしたいことがございます。それは今回の相談で、この企画で最も難しいポイントが話しあわれたことです。私もうすうす感じてはいたのですが、加藤教授から指摘された事は、どのようにして災害に遭われた方々に我々の企画や想いを伝えるかということです。例えば、「震災孤児を預かっている里親の方はこの募集要項に書かれた企画に応募してください」というようなことを新聞に載せるわけにはいきません。また仮に対象者の名簿を入手することができて、郵送とか電話でお話を呼びかけたとしたとします。この場合には本人側にすれば、我々がそういう対象者であるかという事をどこで知ったのかという、プライバシーに関わる問題が発生してしまいます。それから色々お話をさせていただきました。

そこで素敵な提案がありました。那須塩原市にも児童相談所がございます。今回被災された宮城県沿岸部の市町村にも当然同様な児童相談所がありまして、そこでは震災孤児の里親がそれらの児童相談所との関係を持っているとお聞きしました。「里親サロン」と言うそうです。ここで我々の企画をご紹介していただけたら、先程のようなプライバシーや広報の問題がなくなるという点で素晴らしいことです。

それからもう一つ貴重な情報を入手してまいりました。それは両親とも失った孤児以外にも片親だけを失った遺児がいて、そして遺児の数は孤児の約8倍に上るそうです。これまで私たちの企画では、孤児の里親家族を対象にしておりましたが、遺児と遺児親子を対象にしてゆきたいと考えるようになりました。実際被害に遭われたご家族を支援している様子を相談員本人から直に聞くこともでき、お邪魔してよかったと思っております。これからどのような展開になるかはまだはっきりしませんが、東日本大震災で深刻な被害に遭われた方々のために、我々ができることがあれば、できるだけの支援をしてまいりたいと考えております。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆さんこんばんは。夜間例会なので手短に行います。先週、臨時理事役員会が開催されました。

○　高根沢英司会員から退会届が提出された件。
審議を頂き承認されました。本日、10月31日をもって退会となりましたので御報告いたします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　深町彰雑誌委員長

雑誌委員会から、お伝えしたいことがあります。11月号の「ロータリーの友」に、黒磯ロータリーからの那珂川水質調査の一文がロータリーアットワークに載っております。皆さまには、是非ご一読をお願い申しあげます。

卓話　SAA委員会

○　時庭稔委員長

先程、秋間会長、吉光寺幹事より髙根沢英司会員の退会のご報告がありました。

髙根沢英司会員は副ＳＡＡで一緒に運営していただけに大変残念です。退会によりＳＡＡは福田会員、荒井会員と私の３名になってしまいます。このことを踏まえ１名の補充をお願いいたします。

本日は夜間例会です。別室に宴席を設けてありますので、秋の夜長を美味しいお酒を飲みながら親睦を深めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○出席報告次週回し。ニコニコボックスなし。

結婚祝に一言

○　深町彰君

急に本日、話をせよとのことで、戸惑っております。記念日は確か10月8日ですが、何年だったか、、、（昭和４７年でした）。

医学部を昭和43年に卒業した後は、学生運動のあおりで、混乱の中に過ごしていました。何とか入局後2,3年して、昭和48年山梨県立中央病院に出張せよとの話があり、見合いで結婚することとなりました。比較的急いでいた事情もあり、すでに良き日の予定は、どの式場もいっぱいだったため、何と、仏滅の日に式を挙げました。カレンダー業界に挑むようなこととなりましたが、皆さまのご支援もあり、どうにかやっております。孫も３人になりました。以上です。

懇　親　会　：　司　会　時　庭　稔　君

10月の最終例会を夜間例会にしましたところ、皆様にご参加いただきましてありがとうございます。さっき石山さんに暖房をお願いしたくらい、このところ肌寒い日が続いております。このような日にはお酒を交えて、ゆっくり積もるお話をしていただきたいと思います。

例会の挨拶でも申し上げました通り、昨日は仙台まで車で行ってまいりました。

1人で行くのもちょっと寂しいかなと考え、福島さんに同行していただけないかとお願いしましたところ、快く引き受けてくれました。とても天気が良かったこともありまして、車中から東北の美しい景色を見つつ、お陰さまで楽しいドライブをしながら仙台まで行って来ることができました。考えてみれば、「最近車に乗り降りする時ちょっと苦しいんだよね！」と言われているご本人に無理なお願いをしたような気がしております。福島さん、ご同行ありがとうございました。

私も近々の身近なお話をさせていただきましたがこんなことをきっかけに皆様が楽しい宴を持っていただければ大変嬉しく思います。どうぞ心行くまでごゆっくり楽しんでください。ありがとうございました。

檜山直前会長の音頭で乾杯

福島君嬉しいことがあったの？

礒君どこを見てるのかな？

佐治君次の料理は何ですか？

和やかな懇親会風景

半田久一PGによる中締め

次回例会　　平成２４年１１月７日　　職業奉仕委員会

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５６１回　秋間年度　第１８回　会報　２０１２-１１-７　司会　時庭稔君

- お客様
- ○　朱雅雯様　ロータリー米山記念奨学生
- 会長挨拶　秋間忍会長

本日夜、次年度のための理事役員指名委員会が開催されます。半田久一パストガバナー、福田逸男さん、髙木慶一さん、檜山達郎直前会長、平山博会長エレクト、それに私、以上７名で開催いたしますので委員の方はご出席ください。

先週金曜日の夜、鈴木宏カバナー、それに吉成ガバナー補佐から電話がありまして、急遽黒磯ロータリークラブの口座に130万円余のお金が振り込まれるとの知らせがありました。このお金は私が以前からお話している震災遺児、孤児とその家族を対象にした震災子ども支援ツアー（仮称）プロジェクトに対して支給されるもので、東日本大震災の義援金として地区に集められたものの一部だそうです。従いましてロータリー財団の地区補助金とは全く別のものです。

資金の用意が出来ているという思いがけない急展開に対して、当クラブの対応も急ぎ進めなければならないと考え、東北大学様、宮城県内の各児童相談所様との連携を少しずつ進めております。最初の関門であった震災遺児孤児の保護者をどのようにして募り、その後のコミュニケーションをどう取るかという問題はほぼ解決できそうで、既に先方からの質問や意見が当方に入ってくるようになりました。例えば、「保護者がついていけない場合でも対応してもらえるか？」「受け入れ側は医療機関と連携が取れるか？」「4月は職員の移動があったりしてあまり望ましい時期ではない。」等、既に実行を前提にした話が進みつつあります。これらの反応はこのプロジェクトの手応えであり、やれば必ず被災者の皆さんに喜んでもらえると信じられるようになってまいりました。私としましてはこれを着実に実行するため、当クラブ内にプロジェクトチームを立ち上げたいと考えておりまして、本件を本日の理事役員会に諮ります。

今年度の後半は特に大きな行事もなく、これから少し気が楽になるかなと思っていた矢先でしたが、旧地区補助金の事業も採択され、これら２つのプロジェクトを進めてまいりますと、当クラブに相当の負荷がかかると予想されます。私もなり振り構わず皆様にお力添えをお願いすることが多くなると思いますが、喜んでもらえたことを共に喜べるよう、改めて皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日11月7日	41(2)	34(2)人	7(0)人	82.9%	*	
前　回10月31日	42(2)	29(2)人	13(0)人	69.0%	9人	90.5%
前々回10月24日	42(2)	29(1)人	13(1)人	73%	8人	90%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　那須クラブとの合同例会の出欠表を回覧中です。未記入の方は記入をお願いします。併せて12月に開催されますIMの出欠表を回覧しております。

○　ガバナー事務所から次年度会長幹事の名簿提出の依頼がありました。平山副会長にお渡ししました。

○　一年交換留学生の磯杏子さんから月例報告を頂きました。

○　地区世界平和フォーラムの件。鈴木隆子新世代委員長にお渡ししました。

○　11月のロータリーレートは1ドル80円です。

○　本日理事役員会が開催されますので理事役員の方はご参加をお願いします。

委員会報告　平山博副会長

○　和気勝利ロータリー財団委員長

・　クラブのロータリー財団委員会より当地区へ申請しておりました今年度の地区補助金(旧地区補助金)が、満額資金を配分いただくという連絡をいただきました。早速委員会を立上げて活動していきたいと考えておりますので、来春の講演会開催に向けて皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

・　2012-13年度のGSE派遣プログラムの派遣団員を募集いたします。今年は2013年5月9日～6月5日までフランス・リヨンのRI D-1710へ派遣しますので、派遣推薦メンバーがいる方は、11月25日までにクラブのロータリー財団委員会まで推薦してください。

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

那須ロータリークラブとの親睦ゴルフ大会と、秋間年度ゴルフ愛好会第2回の大会のダブルコンペの最終案内です。

11月15日（木）那須ちふり湖カントリークラブ
集合時間　9時00分
ご参加の方は遅刻しないようご集合下さい。

○　鈴木隆子新世代委員長

台湾に派遣中の一年交換留学生磯杏子さんから10月の月例報告が届きました。回覧中ですのでご覧下さい。(5pにレポートあり)

○　津久井誠二君

本会に類しないご案内で恐縮です。

先程パンフレットをお配りしましたとおり、私の所属する大田原信用金庫が共催する講演会についてご案内させて頂きます。

来たる11月21日（水)、那須塩原市三島ホールにて株式会社日本総合研究所の高橋進理事長を講師に招き、経済講演会を開催する予定です。400人収容可能なホールのため、お席に若干のゆとりがございますので、ご興味のある方は是非ともご参加賜りたくご案内致します。申し込みに際しましては、津久井まで申しつけ下さい。

○　半田久一君

現況報告書の再訂正の資料を提示された。各人に資料がわたったので内容は省略。

○　秋葉秀樹職業奉仕委員長

会員手帳が出来上がりましたので、皆様のレターボックスに入れてあります。ご確認のほどよろしくお願いします。

卓話　職業奉仕委員会

○　秋葉秀樹委員長

秋間年度の職業奉仕委員長を仰せつかっています秋葉秀樹です。

本日の担当卓話は経済事情や時事問題に関するお話をしようと考えておりましたが、時間の関係でロータリーに関して思う事などをお話させていただきます。

私はロータリーに入会して8年目になりました。入会時の年齢は20歳台でしたが。今ではおじさんと呼ばれるまでになりました。皆様もその分、年を積み重ねたかと思います。

今までははは漠然と例会に出席しているだけでした。しかし、黒磯の先人方がつくりあげた黒磯ロータリークラブが永続するためには、変化が必要だと思いお話をさせていただきます。

先月末で1名の退会がありました。非常に残念です。今までは退会防止の強化が重要でしたが、今後は会員を増やすことを優先しなくてはならないと思います。

ただ会員を増やすといっても非常に困難です。しかしながら、景気が悪いから、景気が回復するまでといった悠長なことは言っていられないです。

また、ロータリークラブと入会希望者とのジェネ

レーションギャップや価値観の相違などがあり、入会までは漕ぎつけられないのが現状だと思います。

私は、会報委員会も兼任しております。会報委員会の叩き台作成は例会回数から入力が始まります。今日で第2561回になります。次の大きなメモリアルは第3,000回例会になります。

それまでには約十数年を要します。現状では会員の自然減などで辿りつけないと思います。

今年度、秋間会長は単式簿記だった会計を複式簿記に変えました。非常に画期的で感銘をうけました。今まで、ロータリーの規則にそって活動するだけでいいと思って活動しておりました。

ぜひ秋間会長にその複式簿記に変えたいと思った経緯等をお話して頂けませんか？

○　秋間会長

奉仕の理想を実現するためにはお金が要ります。そして我々ロータリアンは企業の経営者などの職業人でもあります。しかし、黒磯ロータリークラブの会計処理をクラブ運営という観点から見直してみると、運営を支え実際の活動を把握してゆけるようなものではないと考えました。

そこで人類最大の発明と言われる複式簿記を採用し、我々の活動が誰にでもよく分かる、見えるようにしたいと考えた次第です。今回地区から130万円余のお金が振り込まれますが、当然その使い道について報告が必要になります。幸いにも、このような場合にもこの４ヶ月間で改革された後の会計処理体制で臨めば、どこに出しても心配ない決算報告ができると考えています。

○　秋葉委員長

今後、黒磯ロータリークラブが永続するためには、会員からの会費が必要です。収入は会費のみの団体です。永続するためには会員からの会費が糧です。だから会員を増やさなくてはなりません。ただ、現状のロータリー活動では入会者増は難しいので変化が必要です。

ロータリークラブの大局を変化させるのではなく、活動の選択と集中をしなければならないと思います。

そのためには、単年度で終わる委員会ではなく、会員増強プロジェクトチームなどを立ち上げ、中長期的計画作成、活動の共感・共有等を持って頂ける広報活動などをしていかなければならないと思います。もちろん、私は前線で活動していくつもりです。

そこで半田パストガバナーに質問です。ロータリークラブの変化は可能ですか？

○　半田パストガバナー

はい半田です。規定審議会は，国際ロータリーの立法機関で、3年ごとに開かれます。2013年4月に米国シカゴにて、世界532地区より選ばれた532人の代表議員により提出された立法案件のすべてについて審議されます。その内容は、クラブの定款、国際ロータリーの定款・細則、財団です。その決定が私たちのクラブの運営とその活動に反映されます。

前回2010年には、出席規定の免除、4大奉仕が5大奉仕部門等がありました。

又、若い会員を増強するとき、クラブ理事会により会費の軽減等を決定することも出来ます。会員増強はクラブ運営にとって最大のテーマですから。

○　秋葉委員長

今後、黒磯ロータリークラブを永続させていくためのディスカッションをしたいと思いますので、ぜひ担当例会を譲っていただける委員会は一報願います。

本日はご清聴ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　髙木慶一君

髙木　　茂君　誕生して60年になりました。
深町　　彰君　誕生祝いありがとうございました。
齋藤　武久君　誕生祝いありがとうございました。
黒澤　洋一君　誕生祝いありがとうございました。
高根沢邦夫君　結婚祝有難うございました。
檜山　達郎君　家内の誕生祝いそして私どもの結婚祝二重の喜びです。
佐治　鐵造君　巨人軍優勝バンザイ。
植竹　一裕君　佐治先輩の巨人軍への熱き思いに敬服します。

誕生祝

齋藤武久君・黒澤洋一君・鈴木隆子君・髙木茂君・吉光寺政雄君・深町彰君・(鈴木久雄君)

誕生祝コメント

○　鈴木隆子君

エピソードは何も分からない時でしたので何もありませんが、私は長女で両親にとって始めての子供でしたので、男の子が欲しくて男の子の名前しか考えてい

なかったそうです。

父が九州の出身ですので、西郷隆盛のように逞しくて強い子になるように隆（たかし）と決めていたら、女の子だったのでとてもがっかりして、女の子の名前が考えられなくて隆子（たかこ）でいいかと言うことになったそうですが、その頃福島に住んでいまして、磐梯山をいつもみていて、その隆々とした姿に感銘していたので、隆子(りゅうこ)と読むことにしたそうです。

子供の頃は学校でいつも＜たかこさん＞と読まれてしまって、その度に＜りゅうこ＞ですと言わなければならないのが恥ずかしくてちょっといやでしたが、今はこの＜りゅうこ＞と言う名前が大好きで両親に本当に感謝しています。

○　黒澤洋一君

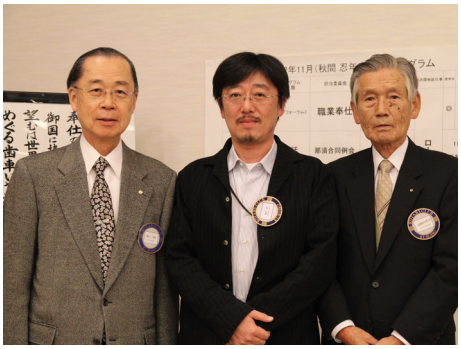
誕生祝い有難うございました。私は昭和18年11月18日生まれです。来年で70歳と成ります。私のラッキーナンバーは1818と決め込んでおりまして、車のナンバーも1818であります。名前の由来は太平洋戦争の洋、長男の一を取って洋一と名付けられました。生まれた所は旧黒磯町旭町4丁目で、石川材木店さんの製材工場の所にあった家で生まれました。今後共よろしくお願いします。

○　齋藤武久君

誕生の頃のエピソードと言われましても、全く記憶がありませんで困ってしまいました。そこで誕生の日、昭和11年11月28日に何か良いことがあったかどうか記録を調べることにしました。「お誕生日新聞」というのがあります。これは過去のある日付の新聞を頼むと配信してくれるサービスです。ネットで注文したものを見ると、特別なニュースはありませんでした。一面はいわゆる三面記事、二面はすべて広告で埋め尽くされていました。その日は何事もない平和な日だったのでしょう。

そこで昭和11年はどんな年か調べてみましたら、226事件があった年でした。2月26日陸軍の青年将校を中心とした人達が政府の要人を暗殺しクーデターを試みた事件です。この試みは失敗に終わりました。翌年は盧溝橋事件があり、日本が戦争への道を歩み出したターニングポイントになる年だったのですね。

結婚祝



檜山達郎君・植竹一裕君・高根沢邦夫君・(室井次男君)

● 11月7日欠席(敬称略)
荒井昌一・澤田吉夫・鈴木久雄・須藤舜生・橋本佳明
室井次男・藤村聡

● 10月31日欠席(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・大森貞男・鈴木久雄・須藤舜生
髙木慶一・髙木茂・高根沢英司・津久井誠二・藤村聡
橋本佳明・村山茂・室井次男

○ 前回10月31日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・大森貞男・鈴木久雄
須藤舜生・髙木慶一・髙木茂・津久井誠二・村山茂

○ 前々回10月24日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・遠藤清和・大森貞男・須藤舜生・黒澤洋一
橋本佳明・福田逸男・深町彰

次回例会　　平成12年11月15日　　那須合同例会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

１年交換学生月例報告書（10）月度　R.I.2550 地区 YEC

報告日　2012 年 11 月 4 日

学生名 磯杏子　　国名 台湾
日本出発日 2012 年 8 月 19 日
ホスト地区、ホストクラブ名D3510地区、Kaohsiung Chung Hsin ロータリー・クラブ
現在のホストファミリー
氏名 Yeh　家　＊ロータリアン(Yes)
住所 802 高雄市苓雅區建國一路 ****
TEL+886-7-******　E-mail:*****@art101.tw
現在のホストでの滞在期間 2014 年 8 月 19 日～ 11 月　日まで

１．最近参加したロータリー活動について（地区大会、クラブ例会など）

25日にInboundで佛光山佛陀紀念館という場所に行きました。たくさんの施設があり、ブッダについて知ることができました。3回目なのでみんなもう打ち解けているなと感じました。

２．学校での生活について（授業内容、テスト、学校行事、友人のことなど）

今月に中間テストがありましたが留学生は受けずに、その日は休みでした。 英語の授業では毎回テストがあるのですが、何とも言えない点数です･･･。　あと、ほかの学校に時々授業を受けに行くことになるかもしれません。

３．現地の言葉の習得状況について（日常会話や、授業の理解度など）

ここ最近、人の話していることがなんとなく分かるようになってきました。知っている単語が増えたことでより明確に言っていることが分かるようになって嬉しいです。でも、たくさんある単語のうちのまだほんの少ししか理解していないのでより一層勉強していきたいと思います！

４．参加した旅行、行事、興味のあったことなどあったら書いて下さい。

１年に１回、1週間のみ行われる高雄の左営万年フェスティバルというイベントに行ってきました。長年続いているこの行事は伝統的なお祭りで、民間の宗教信仰を分かることができるというものです。私は留学生、友達、ホストシスターと計 3 回行きました。1 回でも十分楽しめます(笑)

５．ホストでの生活、ホストファミリーについて。

楽しくのびのびと過ごさせてもらっています。11 月中に 2 軒目に移動になりそうです。

６．親善大使として何かやったこと、心がけていることを書いてください。

日本代表というとちょっと大げさかもしれませんが、私と関わる人は私のことをみてこれが日本人なのだなと認識すると思います。だから少しでも日本にいいイメージをもってもらいたいので、いつも笑顔で、明るく元気でいたいと思います。そして日本の良い所を少しずつでいいから教えていけたらいいなと思います。

７．健康状態、食事について。（　けがや体調に異常はありませんか　）

特に異常はありません。

８．生活全般について、また委員会へのメッセージなど自由に書いて下さい。

努力して報われるのは本当に嬉しいです。これからも努力し続けていきたいと思います。時間が過ぎるのは本当に早いので、一日一日を大事に過ごしていきたいです。

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2552 回　秋間年度　第 19 回　会報　2012-11-15　司会　福田　　逸男君

【那須・黒磯 RC 合同例会】

会長挨拶挨拶 那須 RC 堀江泰平会長

本日は、親クラブである黒磯ロータリークラブとの合同例会を、小所帯である那須ロータリークラブがお招きする合同例会でございます。何かと不行き届きがあるかと思いますが、友情に免じてご容赦ください。

さて、政治の世界では、明日、衆議院が解散するとのことですが、決める政治に変わるかどうかが心もとなく感じます。日本経済も迷路に入ったような状況で、中々先が見えてこないようで、何とかならないものでしょうか。

心もとないといえば、私どもの那須ロータリークラブの会員数は、黒磯ロータリークラブに比べますと何とも心もとない人数でございます。5～6年前には30名程の会員がおりましたが、今や12名でございます。来月には会員が1名入会いたしますので、13名になるところでございます。

小所帯ゆえ、大したこともできませんが、こぢんまりとしたクラブになったことで、お互いの顔を突き合わせてしっかりとコミュニケーションが取れることと、何かと決めることが速いのがメリットでございます。

日も沈み放しではないでしょう、地道に努力して存続を図りたいと思っております。

これも黒磯ロータリークラブの後ろ盾がありますので、何かと力強く感じている次第です。機会あるごとにご叱責とご指導を賜りたく存じますので、よろしくお願いいたします。

また、本日は意義のある合同例会にして参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんばんは。那須クラブの皆様ご設営ありがとうございました。秋間会長から幹事報告はしっかりやるようにとのご指示なので、しっかりやらせて頂きます。先週の理事役員会の報告をいたします。

【理事会報告】

○　12月プログラムの件、承認されました。
○　震災遺児・孤児に対する支援、「震災子ども支援ツアー」（仮称）実行委員会の立ち上げと同プロジェクト（予算130万円以上）の推進について。承認
○　地区補助金（旧）の採択決定に伴う、市民を対象にした講演会、「チェルノブイリ放射能汚染対策とその後」（仮称）実行委員会の立ち上げと同プロジェクト（予算13万円以上）の推進について。承認。
○　馬頭小川ロータリークラブ40周年記念式典お祝い金の件（11月11日。於那珂川町小川総合福祉センター）。承認。
○　副SAA選任の件（高根沢英司会員退会に伴い、村山会員を副SAAに選任）。承認。
○　新入会員二名推薦の件。承認。

【幹事報告】

○　地区からハイライト米山が配信されましたので髙木委員長にお渡ししました。
○　本日は諸般の事情によりまして二次会は開催しませんのでお願いします。

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

会長挨拶　秋間忍会長

皆さんさんこんばんは！

今年度黒磯ロータリークラブの会長を務めさせていただいております秋間忍と申します。那須ロータリークラブ様との合同例会は、両クラブが１年置きに交代で担当をすると決まっていて、今年は那須クラブ様が担当とは言っても、例会場、懇親会の設営からゴルフコンペの段取りまで、 心を込めて準備していただき誠にありがとうございます。

先ほど幹事から二件の実行委員会についての話がありましたが､それについて私からご説明申し上げます。皆様ご存知の通り平成 22 年の 3 月 11 日に東日本大震災がありました。黒磯ロータリークラブはちょうど創立50周年を迎え、高木慶一会長が式典の準備に余念がない頃でした。あれから１年以上の時間がたち、復興も軌道に乗ってきたようにみえておりますが、消し去ることができない傷跡も残されています。例えば、テレビ東京の番組で、震災で親を亡くした孤児のドキュメンタリー番組が放映されました。震災で親を亡くした孤児たちの多くは、親戚に引き取られることが多いそうです。

その番組に登場した震災孤児は、やはり大変な被害を受けた叔父、叔母に引き取られ、高校では普通の子供たちと同じように野球をやっていましたが、番組のアナウンサーから質問された時の答えには胸が詰まりました。将来の夢は？という質問に対して､「早く働きたい！いろいろお世話になっているから…」と答えていました。きっとドキュメンタリーの対象として高校生未満の中学生や小学生、ましてや幼児ではあまりにも残酷過ぎて番組にならなかったのではないかと思われます。

両親を亡くした子を孤児、片親を亡くした子を遺児と呼ぶそうです。この子ども達のためにできることを何かしてあげたいと思いました。時間的にはこの番組を見るずっと前のことでしたが、鈴木ガバナー年度第一回目の会長、幹事研修会で、東日本大震災支援のために我々はもっとできることをやって、困っている日本国内の人々を支援すべきではないかということを申し上げました。

そのことを鈴木ガバナーが覚えていたらしく、今年度に入ってから東日本大震災のための支援事業を立ち上げてくれという話がありました。私も最初はお金の出処がわからなく、ロータリー財団の地区補助金のことだと思っておりましたので、鈴木ガバナーに「地区補助金申請のことでしょう？」と聞きました。答えはノーで、お金のことはあまり心配しないで企画に専念して欲しいとの事でした。やっと最近分かったことなのですが、皆さんが災害支援の義援金を地区に送ったお金が残っていて、それをこの企画に当ててくださるとのことでした。そこで震災に遭遇した孤児、遺児それにその子達を預かっている里親も含め、被災者の皆さんを那須温泉に招待したいと考えています。すでに被災地の児童相談所から、子供たちだけで行かせても良いか？そちらには医療体制はあるか？等の問い合わせも入っており、皆さんに喜んでいただけそうな状況が見えてまいりました。

それからもう一つ不思議な出来事がありました。私が関わっているひばりヶ丘保育園で運動会があり、その開会式でひまわりの種を付けた風船を飛ばしました。

その風船がなんと 160 キロも離れた南相馬市の幼稚園に届いたのです。そしてその幼稚園の子供達からからお礼の手紙が届いたものですから、私も嬉しくなり南相馬市まで行ってまいりました。お土産を持ってお邪魔したのですが、幼稚園の入口にあった立派な放射線測定器を見て目を疑いました。南相馬市は震災直後、福島第一原子力発電所の放射能汚染地区として避難命令が出た街ですが、現在南相馬市に行ってみると、実際の放射線量は 0.1 マイクロシーベルト前後です。放射線量が低い事はいい事なのですが那須塩原市の放射線量を知っている私は園長先生にも確かめましたがやはりその数値に狂いは無いとの事でした。

改めて我々が放射線量の高い地域に住んでいることを自覚いた次第です。正直我々の年齢になりますと多少ガンの発生率が高くなっても怖くはありませんが、小さい子供達、特に 0、1、2 歳の子ども達にとりましてはこの放射線量が大変気になります。行き過ぎた心配もいけませんが無知、無関心もいけません。そこで事実を認めた上で、放射能汚染対策についての正しい知識を共有すべく、大学教授等の専門家をお呼びして市民を対象にした放射能対策講演会（仮称）を開催したいと考えております。これにつきましては今年度の旧地区補助金を使わせていただくということで既に採択されております。

ここで貴重なお時間をいただいて誠に大変申し訳ご

ざいませんが、先程の震災遺児孤児支援事業と、この放射能対策講演会の２つの事業を推進する実行委員会が、今日ここで発足したという証に、実行委員長への委嘱状伝達式を行わせていただきたいと思います。それでは放射能対策講演会実行委員長をお願いします半田久一様、それに震災遺児孤児支援事業実行委員長を務めてくださる秋葉秀樹様、こちらまで出てきていただけますでしょうか？

委嘱状伝達式

放射能対策講演会実行委員長　半田久一君

震災遺児孤児支援事業実行委員長　秋葉秀樹君

これから実際に活動を始める２つの実行委員会につきまして皆様のご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げまして会長挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

本日はありません。
出席報告は次週回し。

☺　ニコニコボックス　高根沢邦夫君

本日はありません。

懇　親　会

那須ロータリークラブの薄井さんの乾杯でスタート。

黒磯ロータリークラブの皆さん。

名刺交換の模様です。

懇　親　会　（　於　エ　ピ　ナ　ー　ル　那　須　）

黒磯ロータリークラブ礒君と那須ロータリークラブ会長の談笑。

那須ロータリークラブ・サッポロビール(株) 小松一郎工場長の美味しくビールを頂く注ぎ方の説明。ビールは三回に分けて注ぎ泡を大切にすること。

薄井正明ゴルフコンペ実行委員長から成績発表。懇親会が始まる前から妙に機嫌が良かったのは、成績表を見て納得。

那須ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ堀江泰平会長がアカペラでの「オ・ソレ・ミオ」。

ゴルフ成績

那須ロータリークラブとの合同コンペの成績

		グロス	HDCP	NET
優　勝	薄井　正明	90	16.8	73.2
準優勝	佐野　知行	95	20.4	74.6
3　位	齋藤　武久	93	18.0	75.0

黒磯ゴルフ愛好会の成績

優　勝	高根沢邦夫	87	10	77
準優勝	齋藤　武久	93	16	77
3　位	和気　勝利	82	5	77(ベスグロ)

順位は年齢上位者が上位

黒磯ロータリークラブ半田PGの一本締めでお開き。

次回例会　　平成２４年１１月２１日　　広報 / ＩＴ推進委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５６３回　秋間年度　第２０回　会報　２０１２-１１-２１　司会　時庭　稔君

会長挨拶　秋間忍会長

那須ロータリークラブとの合同例会では大変お世話になりました。合同例会で話せなかった報告を一つだけ、させていただきます。去る11月7日に理事役員指名委員会が開催され、原案通り次年度理事役員候補が指名されました。来る12月5日に開催される当クラブの総会で、この議案が審議されることになります。

さて、本日の例会は広報IT推進委員会の担当です。同委員会の名称につきまして今までは「広報IT推進委員会」となっておりましたが、これを変更して「広報IT委員会」とすることが検討されています。これも12月5日の理事役員会で結論を出させていただきますが、皆さんからのお考えも取り入れたいと思いますので、ご意見のある方は遠慮なくお申し出ください。

このところ広報IT委員会の活動が多様化し、いろんな場面での活躍が目立ちます。

デジタルフォトコンテスト：今年のお題は「仲間」です。年末年始にかけて出展作品の募集、投票依頼、集計、そして表彰と一連の活動が続きます。

ホームページ改装：主に月江寛智委員が担当してくださっているようなのですが、デザインも一新し、仕上りと更新スピードが売りになっています。

Facebook：地区が開催したFacebookの講習会に福島泰雄委員が参加して、今日はその講習会で勉強してきた内容が聞けるそうです。

会計処理：伝票入力や会計システムの運用についても積極的に関わってくれています。

今や広報IT委員会の活動無しには黒磯ロータリークラブ運営が考えられないくらい、重要な役割を果たしてくれています。各メンバーのチャレンジ精神、ご努力に感謝しております。

私事ですが今日はここにiPad miniを持ってきています。

会報副委員長の齋藤先生には結果的に大変ご迷惑をおかけしましたが、これ（iPad mini）を使って前回例会の会長挨拶原稿を作成し、旅先からなんとか期日までに送ることができました。これもiPad miniに付いている音声入力機能のお陰です。もし全ての文章をキーボードでタイプしていたら多分間に合わなかったかもしれません。つい最近までの音声入力機能はほとんど使い物にならず、それから比べると大変便利になったと思います。

一方、今まで使っていたiPad（音声入力はできません）をこれからは毎回例会場に持ってきて、回覧のように会場内を回しますので、ホームページの参照、会計処理確認等に各自ご自由にお使いください。ただし、

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日11月21日	41(2)	32(2)人	9(0)人	78.0%	*	
前　回11月15日	41(2)	25(1)人	16(1)人	65.0%	10人	85.0%
前々回11月7日	41(2)	34(2)人	7(0)人	82.9%	4人	93.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

例会終了後は私まで戻してください。それでは、広報IT委員長さん宜しくお願いします。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。先週の那須クラブ合同例会にご参加頂いた皆様、お疲れ様でした。回覧中の資料から報告します。

○　過日、秋間会長、半田会員で参加頂きました。馬頭小川ロータリークラブ40周年周年事業の記念誌を回覧中です。

○　錦町で牧師をされている阿見様から「ロータリーの皆様でご覧ください」、という資料を回覧中です。

○　12月9日に迫りましたIMの出欠を回覧中です。期限が迫っていますのでお早目に記入をお願いします。

○　12月のロータリーレートは1ドル80円です。

○　国際ロータリー日本事務局から奉仕室臨時ニュースレターを頂きました。

○　第8回小学校対抗駅伝大会役員委嘱の案内を頂きました。秋間会長にお渡ししました。

○　ロータリー財団地区補助金として13万円が当クラブに振り込まれました。資料を半田特別委員会委員長にお渡ししました。

○　ロータリー財団より当クラブが100%財団の友会員クラブ、毎年あなたも100＄をという二点で表彰されます。来年度、2013-14年地区大会で表彰されます。

○　アジア学院卒業式の案内を頂きました。西那須野、大田原両クラブから週報を頂きました。次週回覧します。

○　地区大会の記念誌を頂きました。今年は紙資料は無で、データのみの配布となっていますので、大森広報/IT推進委員長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　秋葉秀樹震災遺児孤児支援事業実行委員会

来週11月28日の例会終了後、実行委員会を開催しますので委員の方々はお残りください。

○　鈴木隆子親睦委員

新年会の出欠表を回していますのでご記入願います。

○　半田久一放射能対策講演会実行委員長

本日の例会終了後、委員会を開催しますので委員の方々はお残りください。

卓話　広報/IT推進委員会

○　大森貞男委員長

本日の卓話は広報/IT推進委員会副委員長の福島泰雄氏から、Facebook についてお話しいただけますので、宜しくお願いをいたします。

尚フォトコンテストの題材（仲間）の受け付けは、12月にはいりましたなら、受付を開始いたします。

又那珂川試水を採取する記事はロータリーの友11月号26ページに掲載されております。

○　福島泰雄広報/IT推進副委員長

9月24日宇都宮グランドホテル内にあるガバナー事務所にて、地区IT研修会が開催されましたので、黒磯クラブより私が参加いたしました。

皆様すでにご存知の如く、今年度の鈴木宏ガバナーはITについては大変造詣が深くて、今年度開始直ぐに、2550地区Facebookページの立ち上げを発表され、地区IT委員会をロータリー活動情報の発信基地とされたのであります。

研修当日の参加者は、地区IT委員長の鈴木修司さん(宇都宮陽東ロータリークラブ)、酒井誠さん(宇都宮ロータリークラブ)、明賀一博さん(宇都宮ロータリークラブ)、吉成容一さん(氏家ロータリークラブ)、関根則次さん(宇都宮北ロータリークラブ)、私（黒磯ロータリークラブ)の6名でした。

研修会は鈴木委員長の司会で、配布された「FACEBOOKアカウント作成から投稿までの手順書」とい

うテキストに基づき進行されました。テキストは詳しく書かれておりますが、字が小さくて読み取るのに苦労しましたが、何とか付いていけたと思っています。私の右隣りに座られた氏家ロータリークラブの吉成さんは、アメリカ・ミネソタ大学を卒業されている方ですが、PCには大変お詳しくて、始めてFacebookに取り組む私のため、小声ながらいろいろとアドバイスを下さりました。

皆さんご存知の通り、私の右耳は殆ど聴こえないので大変困り、吉成さんにもご迷惑をお掛けしてしまいました。今日は配布されたテキストのコピーを取って皆様にお渡ししようかとも考えましたが、先ほど申し上げたように字が小さく読みづらいことから、私なりに要点を読み易く、字を大きく書き直したものを皆様のお手元に配布しております。

文書の説明に入る前に、皆様にお知りおき頂きたいことがあります。Facebookには、個人ページとFacebookページという二つがあります。この二つは見た目は非常に似ていますが、機能や使い方が大きく違います。個人ページは、「知り合いだけで情報交換する場」という位置づけです。

・本名のみ登録可能。
・5000人まで友達申請ができる。
・友達になった人の個人ページに「いいね！」や書込みができる。
・自分が「いいね！」をしたFacebookページに書込みができる。
・広告は出せない。
・Facebookにログインしている人しか見れない。
・投稿した内容は、YahooやGoogleに基本的には引っかからない。

Facebookページは、「医院の看板などPRのために活用可能なツール」という位置づけで、ホームページやブログなどとは違うジャンルの新しい情報発信ツールです。

・本名以外で登録可能(医院名や商品、サービス名などもOK)。
・友達申請はできない。
・Facebookページの「いいね！」を押してくれた人は、友達ではなく「ファン」として扱われる。
・ファンの数は無制限。
・Facebookページに投稿した内容は、ファンのニュースフィード(お知らせ欄)に表示される。
・他の人の個人ページに書込みはできないが、自分のFacebookページに投稿された書込みに対して返信コメントを書くことはできる。
・他の人のFacebookページに書込みができる。
・Facebookの広告が使える。
・インサイト(アクセス数や「いいね！」数を調べる機能)が使える。
・Facebookにログインしていない人でも閲覧できる。
・投稿した内容は、YahooやGoogle等の検索エンジンの検索対象になる。

今日現在までに、秋間会長や私の個人ページ及び地区Facebookページに観月会、芋煮会、地区合同公式訪問などの写真がコメントと共に掲載されていますので、アカウント登録を済ませた上ご覧いただきたいと思います。そのためにもこれからご説明いたします個人ページのアカウントの登録をお願い致します。

○ Facebookアカウント作成から投稿までの手順書

1. 検索エンジン(Yahoo、Google)より「facebook」と入力し検索クリック。沢山の検索項目のうち「フェイスブック・ログイン(日本語)」クリック。
2. アカウント登録画面になります。(情報の公開範囲を設定できます）以下の必要事項の入力を行ないます。姓(ローマ字)名(ローマ字)必ず本名をローマ字で入力します。メールアドレス(日頃お使いのメールアドレスが良いと思います）メールアドレスの再入力パスワード(任意の英数字を自分で決めて入力します）備忘用にメモを取っておくと良いでしょう。性別(性別を選択できるようになっています)誕生日(年月日を選択できるようになっています)

   すべての登録が終わりましたら「アカウント登録」ボタンをクリック
3. 画面に「セキュリティチェック」のため読みづらいローマ字(２つの単語)が出たら、その２つの言葉をスペースで区切って下段の入力欄に入力します。

   テキストの単語が読めない場合は、別の単語を表示できる様になっていますので利用して下さい。

   再度「アカウント登録」をクリックして下さい。
4. アカウント登録が完了すると「スタートガイド」(友達さがしましょうとかプロフィール情報を入力など)が表示されますが、面倒であれば「スキップ」をクリックして飛ばすことができます。
5. 登録したメールアドレスに「Facebookの登録を完了して下さい」というメールが届き「登録プロセスを完了するには、下のURLをクリックして下さい」という文の下にURLがありますので、それをクリックして下さい。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　iPad Mini を買いました。
鈴木　久雄君　三週連続欠席ですみません。
鈴木　隆子君　誕生祝いありがとうございました。いくつになっても嬉しいです。
齋藤　武久君　那須ロータリークラブとの合同コンペで3位、同時に行われた当クラブのコンペで2位、いずれも惜しい結果でした。
和気　勝利君　先週の日曜日、あったかハート号で馬頭・小砂方面に無事行って参りました。黒磯ロータリークラブの皆様のご協力ご援助心より感謝いたします。

結婚・誕生祝いエピソード

○　鈴木久雄君

誕生日の頃のエピソードと言われても何もありません。ただ言えるのは、昭和22年生まれは終戦後のベビーブームであり言ってみれば団塊の世代であります。

65歳の誕生日を境に健康に十分気を付けて行きたいと思います。誕生祝い有り難う御座います。

○　吉光寺政雄君

私は昭和53年11月29に生まれました。当時は女の子より男の子が強く望まれていたようで、一年前に姉が生まれていたこともあり私が生まれたときに父は大変喜んだそうです。母にネックレスか何かをプレゼントしました。

ただ、当時は何かと物入りで大変な時期だったようで母から「こんなものより現金のほうが嬉しいわ」と言われて私を挟んで大ゲンカをしたそうです。

秋間年度 第2回ゴルフ愛好会コンペ

ゴルフ愛好会　会長　高木慶一

11月15日に那須ロータリークラブとの親睦ゴルフコンペが開催されました。秋間年度黒磯ロータリークラブゴルフ愛好会第2回コンペを同時開催いたました。

愛好会の優勝は高根沢邦夫さんでした。秋間会長からトロフィーを授与いたします。因みに準優勝は齊藤武久さん3位が和気勝利さんでした。

秋間忍会長より優勝のトロフィーを受ける高根沢邦夫君

● 11月21日欠席(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・黒澤洋一・津久井誠二
福田逸男・深町彰・藤村聡・室井次男・髙木茂

● 11月15日欠席(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・黒澤洋一・佐藤博・髙木茂
篠﨑勝則・鈴木久雄・須藤舜生・髙木慶一
津久井誠二・時庭稔・橋本佳明・深町彰
室井次男・高根沢邦夫・田村吉興

○ 前回11月15日分メークアップ(敬称略)
遠藤清和・黒澤洋一・佐藤博・鈴木久雄
須藤舜生・髙木慶一・髙木茂・津久井誠二
時庭稔・高根沢邦夫

○ 前々回11月7日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・澤田吉夫・鈴木久雄・須藤舜生

次回例会　　平成24年11月28日　　鳥居地区委員（新世代奉仕部門）

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５６４回　秋間年度　第２１回　会報　２０１２-１１-２８　司会　時庭稔君

お客様

○　地区インターアクト委員長
二十二　修様（宇都宮北ロータリークラブ）

○　宇都宮文星女子高校インターアクトクラブ
篠原　朋子様
中谷　雅弘様

米山功労者表彰

第三回マルチプル　佐治鐵造君
第二回マルチプル　檜山達郎君

会長挨拶　秋間忍会長

昨年度地区インターアクト委員長を務められた二十二修様、宇都宮文星女子高等学校の中谷雅弘先生、そして同校で昨年度インターアクトクラブの会長を勤められた篠原さん、遠路県北の黒磯ロータリークラブにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

黒磯ロータリークラブも黒磯高校にインターアクトクラブを設立した経緯もありまして、今日皆様からお話しをお聞きできるのを大変楽しみにしておりました。それでは短い時間ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。幹事の吉光寺です。回覧中の資料から。

○　西那須野、大田原クラブから週報が届いています。
○　先日秋間会長、半田先生に行って頂きました馬頭小川クラブ 40 周年式典のお礼状です。
○　次に、米山記念奨学会から特別寄付明細が届きました。髙木委員長にお渡ししました。
○　地区から地区内クラブの例会プログラムが届きました。私が保管していますので、ご覧になりたい方は私までお願いします。
○　巻狩祭り実行委員会の案内を頂きました。村山委員長にお渡ししました。
○　先々週、皆様に報告した新入会員推薦の件ですが、異議はありませんでしたので、推薦者の皆様は活動をお願い致します。クラブとしてもお手伝いも致しますので、みんなで一丸となって入会に向けて頑張りましょう。
○　最後に、12月9日に黒羽のホテル花月でIMがあり

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数 2 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日11月28日	41(2)	36(2)人	5(0)人	88.0%	*	
前　回11月21日	41(2)	32(2)人	9(0)人	78%	6人	93%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

ます。午後1時石山発のバスを用意しています。直接行く方は2時点鐘ですのでよろしくお願いします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　高木慶一ロータリー米山記念奨学会委員長

11月21日に特別寄付金1人又は1企業13,000円を会員数42名で合計546,000円を送金いたしました。

板橋理事長から、米山奨学マルチプル3回で佐治鐵造会員が表彰され、檜山達郎会員が2回で表彰され秋間会長から伝達されました。

○　大森貞男広報/IT推進委員会委員長

黒磯ロータリークラブ　恒例のフォトコンテストが12月1日より15日までの期間に一人3枚までの提出です。

大きさは450×580でサイズは、こちらで修正をいたします。

提出先は広報/IT推進委員会副委員長福島泰雄様にメールで送信を下さい。

12月15日が締切ですので、宜しくお願いをいたします。

○　災害遺児孤児支援事業実行委員会・秋葉秀樹委員長

本日、例会終了後実行委員会を開催しますので、実行委員の方は参加お願いします。

○　放射能対策講演会実行委員会・半田久一実行委員長

国際ロータリー第2550地区(栃木県)
ロータリー財団地区補助金プログラム
第1グループ黒磯ロータリークラブ主催

- プロジェクト名：放射能について基調講演とシンポジウム「放射能より子供達を守ろう」(仮題)
- 基調講演：茨城大学名誉教授　久保田護先生
- シンポジウム：講演者6名
  クラブ代表として秋間忍会長。
  市を代表して市長様又は担当課。
  幼稚園を代表して西那須野幼稚園、福本光夫理事長。
  保育園を代表して市内の女性園長。
  ヨーロッパより日本を見る立場から、澤田高師。
  汚染地域外の立場から、神奈川県平和学園・夏村充元理事長。
- 日時：2013年3月9日(土)午後2時～4時
- 会場：黒磯文化会館小ホール

以上の計画案を11月21日の例会後実行委員会を開き、計画を協議し、承認されました。

今後の進め方として、講演者の日程の確認、シンポジウムの方々の確認、定員400名の小ホールですのでその整理券の配布の方法、・・・当日のクラブ会員の奉仕の役割などに付いて実行委員会で協議し進めて参りたいと思いますので、今後共ご協力の程よろしくお願いします。

卓話

○　2550地区インターアクト委員会　鳥居輝一委員

本日の担当卓話は地区委員です。そこで地区インターアクト委員長の二十二修様に地区情報の卓話をお願いしましたところ、快く引き受けて頂きました。委員長には感謝申し上げます。それでは、二十二委員長のロータリー歴を申しあげます。

2001年7月	宇都宮北ロータリークラブ入会
2005-06年度	クラブ幹事
2009-10年度	クラブ会長
2007-09年度	地区インターアクト委員
2010-13年度	地区インターアクト委員長
2012-13年度	地区副幹事
	地区研修委員

以上現在に至っております。それでは、地区情報のお話をお願い致します。

○　二十二　修様

皆さん、今日は。ご紹介いただきました地区IAC委員長の二十二と申します。黒磯ロータリークラブの皆様には、日頃より地区インターアクトの活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、インターアクトとはInternational Action（国際的活動）を意味し、年齢12～18歳までの青少年のために、ロータリー・クラブが提唱する奉仕クラブで、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加する機会を与えるものです。現在、世界で160以上の国に1万1,800以上のクラブがあり、当地区では、15クラブ400名以上のインターアクターが積極的に活動しております。

インターアクト・クラブは独自の定款細則を持ち、高校を基盤に結成される場合は、学校の課外活動の規則に従い、学校の協力の下に提唱ロータリー・クラブが指導監督することとなっております。各クラブごとに独自の活発的な活動が展開されることを期待申し上げ

ます。地区委員会としましては、その活動のお手伝いをさせて頂くこととなっております。具体的には、クラブ単独で行うのが困難な海外研修、地区内インターアクターが一堂に会する年次大会や、足尾の植樹活動などのお手伝いをさせて頂いております。

本日は、宇都宮文星なでしこIACの直前会長に来て頂き、日頃の活動内容等についてお話頂きたいと思います。黒磯IACの更なる活発な活動のお役にたてればと思います。

本日は、貴重な時間を頂き誠にありがとうございます。

○　篠原　朋子様

インターアクト・クラブに入ってからの3年間

皆さん、こんにちは。宇都宮文星女子校なでしこインターアクト・クラブ前会長の篠原朋子です。今日はインターアクト・クラブの活動紹介に来ました。お話をするのはあまり上手ではありませんが、頑張って話をするので温かい目で見守ってください。

インターアクト・クラブという名前は高校に入るまで聞いたことはありませんでした。入学式のあとのクラブ紹介のときに、国際交流とボランティア活動をするクラブであると聞いて、興味を持ちました。そして先輩方のこれまでの活動や台湾の人たちとの交流、ローターリー・クラブの人たちとの活動など、実際の活動内容は魅力的でした。高校生が社会と接点をもち、社会に発信できるクラブは他にありません。これは入学したての私の好奇心をかき立てるのに十分な情報でした。ほどなくインターアクト・クラブに入部し、先輩たちについていろいろな活動をしました。２年生では会長をやらせていただき、3年生の今は、取り合えず進学先も決まったので、インターアクト・クラブから完全引退はせず、ローターアクト・クラブとかけもちで活動を行っている状況です。

それでは、この３年間の活動で印象に残っているもの、代表的な活動や国際交流などについてお話をしていきたいと思います。

まずは入部してすぐに行われた足尾植林ボランティアです。毎年４月に「足尾の山を緑に」をキャッチフレーズに、銅の精錬所から出る亜硫酸ガスの公害で失われてしまった緑を、再び足尾の山に取り戻そうとする活動です。一人が植える苗木は２～３本でも、参加者が1000人集まれば2000本以上の木を植えることができます。そして、それを10年続けると２万本以上の木を植林したことになります。継続は力なりといいますが、本当にそう思います。私は９歳のころJR主催の足尾の植林活動に参加したことがあります。その頃の足尾銅山の山肌はむき出しになっていて、まさに禿山でした。しかし、6年ぶりにインターアクトの活動で足尾銅山を訪れると見違えるほどに緑が増えていました。これでもまだまだ、禿山は残っており、植えては鹿に食べられ、まるで鹿のえさを植えているかのような活動だったといいます。現在では鹿の食性を研究し、鹿の嫌いな味の若木を植えるようになったことで着実に緑が増えています。年に一度訪れると、苗木が山に根づいているのを実感できます。

このボランティア活動を通して、一人ひとりの力は微力でも、大勢で協力して行う、継続して活動をすることで、大きな成果を得られるということを身をもって経験しました。森は私たちの手で作る。いつか必ず森は作れるのだ、と信じて活動しました。10年後、20年後の足尾の森がどのように変わっているか、今から楽しみにしています。

続いてスペシャル・オリンピクスの大会の運営をお手伝いしたことについてお話しします。この大会は知的障害を持つアスリートが、日ごろのトレーニングの成果を発表するものです。1年おきに開催され、国内だけでなく、世界大会もあります。1年生と3年生のときにこのボランティア活動に参加しました。どちらも水泳競技の大会運営の補助でしたが、私は障がいを持つアスリートが全力でプレーする姿に釘付けになりました。そして、障がいを持つアスリートの家族の温かい目や、養護の先生方が親身にサポートしている姿に心打たれました。それだけでも十分に感動したのですが、最後にアスリートの方とそのご家族、養護教員の方が私たちにお礼の言葉を言って下さり、胸が熱くなったのを今でも覚えています。そして、このときのボランティア活動をいっしょにされていた方から、その働きぶりを評価していただき、イベントに力を貸して欲し

いと声をかけていただきました。その活動は、がんの啓発と予防を目的とした、日本対がん協会のリレー・フォオー・ライフでした。全国各地で行われているイベントですが、栃木県で行われるのは初めてです。事前にオリエンテーションとして国立栃木病院の先生から活動の意義をお伺いし、やりがいのある活動だと皆で感じ、クラブ挙げて協力することになりました。まれなことかもしれませんが、一つの活動がまた次の活動へと繋がって行くことのおもしろさ、人との出会いの大切さを改めて学びました。

一つの出会いが次の活動に繋がったといえば、私達が独自で活動しているカンボジア学校建設プロジェクトでも新たな出会いがありました。カンボジアへの理解を深めるために「僕たちは世界を変えることができない」という映画をインターアクトの部員で見に行ったとき、宇都宮でカンボジアに支援をしているご婦人方の「カンボジアっこ支援の会」の会員の方に声を掛けていただきました。そのことがきっかけでカンボジアにピアニカを送る支援のお手伝いなどをさせていただいています。これをきっかけに活動の範囲が確実に広がりました。先日、23日にもピアニカの清掃活動をしてまいりました。1月にはカンボジアの子供たちのもとへ届くそうです。

インターアクターとしてボランティア活動をして良かったことは沢山の人と出会えたことです。高校に通っているだけでは、どうしても同年代の友人との関わりしかありませんが、活動を通じて目上の方や障がいのある方など普段関われない方と出会うことができるということです。私は出会った人の数だけ優しさや刺激に触れ、成長できたと思います。

そして出会いといえば、台湾研修で台湾の方と触れ合えたことは私にとっての宝物です。第1回目の台湾研修はちょうど昨年の東日本大震災直後で、研修に参加する本校のインターアクト・メンバーの中にも、自宅が全壊した被害を受けているような生徒がいる状況でした。不安を抱えながら台湾へ降り立った私たちを、台湾の方々はとても温かく迎えてくれました。私たちの訪れた台南にある六信という高校では、被災した日本の高校生のために、生徒が募金箱を設置してくれていました。これだけではありません。ご存知のことだと思いますが、台湾から現在まで届けられた震災の義援金の総額、200億円以上だと言われています。台湾は国をあげてたくさんの方が日本に募金をしてくれています。メディアでは日本と中国、日本と台湾、そして中国と台湾の関係を憂慮しているのか、台湾からの援助についてあまり取り上げられない事が残念です。また、台湾のホテルに泊まっていた時のことですが、どのチャンネルも震災の現状をまるで自分の国の出来事かのようにニュースで取り上げていました。台湾訪問中に、台湾の多くの方々が日本を思い、国をあげて日本を支援しようという気持ちが伝わり感動しました。また、台湾に行って良かった事は、事前に練習していた中国語が通じた事です。私にとって初めての海外旅行で、台湾に行くまではあまり外国人と話したことがありませんでしたし、まして英語もできないのに中国語を話すのはとても緊張していました。しかし、つたない中国語でも一生懸命日本で覚えてきてことをわかってくれてか、とても喜んでくれました。私が自己紹介でチョコレートを食べることが好きだ、と言うとデザートについていたチョコレートのかざりをプレゼントしてくれました。心がぽかぽかと温かくなりました。他にも中国語を使うことで、一緒に写真を撮るときや、昼食会でぐっとお互いの距離が近づいたように感じました。台湾の高校生は日本のことをたくさん知っていたのでジャニーズのKAT-TUNや嵐の話をしたり、漫画のナルトやワンピースの話しをしました。私は台湾のことを何も知らなかったので衝撃を受けたのを覚えています。私はこの機会がなければ中国語を学ぶことも、台湾という国に行くことも無かったと思います。本当に貴重な体験ができました。

そしてボランティア活動、国際交流の魅力に取り付かれた私は将来、看護師としてJICAの青年海外協力隊に参加したいと考えています。また、おばあちゃんになっても生涯学習としてボランティアを続けることに決めました。高校に入学していつの間にか、生涯に渡ってやりたいことが見つかったことに自分でも少し驚いています。

これからもボランティアを続けていきたいと考え、学校内ではインターアクト・クラブを、学校外では今後、ローターアクターとして活動に参加していきます。高校を卒業してもボランティアに参加できる環境があり、私はとても恵まれているなぁと感じています。

3年間、このように充実した活動を行うことができたのは、ロータリー・クラブの方々のご支援やご協力、ご尽力があったからこそだと思います。インターアクト・クラブに入部しなかったらできなかったさまざまな貴重な体験をさせていただいた事を、心から感謝しております。

最後に、2550地区のインターアクト・クラブが、これからもますます充実し活気ある活動が出来ますよう、ローターリー・クラブの皆様にも引き続きご支援、ご協力をお願いしたいと思います。インターアクト・クラブを是非温かい目で見守ってください。

ご清聴ありがとうございました。

随行の中谷雅弘教諭

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

半田　久一君　ロータリー財団メジャードナー顕彰午餐会が27日お台場のホテルグランパシフィックでで開かれ、田中作次RI会長と2007～2008年度RI会長ウイルキンソン財団管理委員長との記念撮影に行って参りました。

誕生・結婚祝いに一言

○　髙木　茂君

私が生まれたのは、本日の例会日60年前11月28日であります。当時は、助産師（産婆）さんの助けをかりて自宅で出産したそうです。

小学校1年の時、東京タワーが完成し、家族で登ったことを覚えております。空から眺めた東京はなんて建物が多いのかと驚きました。

小学校6年の時の時には、東京オリンピックが開催され教室の白黒テレビで開会式を見ました。

高校2年の時には大阪万国博覧会を友人と見に行き多くのパビリオンをみて感動いたしました。今思えば日本の高度成長とともに育ってきたのかと思います。

成人してからはオイルショック、列島改造論のもとバブル時代を迎え、低成長時代、不況時代と生まれてからいろいろ社会が変化してきました。本日60年の還暦を迎えました。以上、わたしの育ちました時代の社会の変化について話しました。

○　檜山達郎君

皆様今日は、私の結婚記念日は昭和39年11月29日です。丁度、時も時、東京オリンピックの年になります。東京の街には今の首都高が出来、あらゆる所は大変な変貌をきたし、近代都市へと踏み出した頃と記憶しています。

小生は大学は出たものの5年経ちましても無給の時代、今考えますと苦しい時の結婚でありました。でも、常に前向きに夢と希望は忘れることなく、目的を持って生きてきました。

もう私も、80の年を迎える人間になりましたが、これからも常に初心を忘れることなく、末永く黒磯ロータリーの皆様にお世話になりたく存じます。どうぞ宜しくお願い致します。本日は大変有難うございました。

●　11月28日欠席(敬称略)
荒井昌一・植竹一裕・遠藤清和・深町彰・室井次男

○　前回11月21日分メークアップ(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・黒澤洋一・津久井誠二
福田逸男・髙木茂

次回例会　　平成　24　年　12　月　5　日　　会　長

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５６５回　秋間年度　第２２回　会報　２０１２-１２-５　司会　村山　茂君

お客様

ロータリー米山記念奨学生　　朱　雅雯様

会長挨拶　秋間忍会長

今日はとても素敵なタイミングの年次総会です。なぜなら、明日からの旅行愛好会の旅行に私も参加させていただきますが、今日の総会で次年度の理事役員が確定すると思いますし、平山博会長エレクトともゆっくりと時間を過ごすことができます。文字通り後顧の憂いなく、心置きなく旅行を楽しんでまいります。

さて、先週の例会では時間が切迫してしまい、せっかく宇都宮から二十二さん達が来てくれているのだからと考えて用意してきた原稿を使いませんでした。今日は先週用意した原稿に沿ってお話をさせて頂きます。

去る 11 月 21 日（水曜日）の夜は、大田原信用金庫の津久井誠二会員から頂いたご案内で、だいしん経営塾講演会に行ってまいりました。

日本総合研究所理事長の高橋進氏による「日本経済の展望と課題」(副題：世界経済の転機は日本のチャンス)という講演会でした。会場入口で偶然平山次年度会長に逢い、一緒に勉強させていただきました。久しぶりに世界経済の話を聞かせていただき、このような機会をいただいた幸運に感謝しております。

中でも役に立つと思ったのは、消費税値上げの前には駆け込み需要が発生して一時的に経済が活性化するとのこと、また、消費税1パーセントの増税で年間2兆円の税収増になるという話もありますが、消費税増税後は個人消費の衰退で税収は計算通りには伸びないという話や、電力危機を乗り切るためには市場原理を活かせるスマートグリッドが必要で、そのスマートグリッドを適切に運営するためには、発電・送電の分離が必要になるということも理解できました。また、日本国の累積債務が約1千兆円にもなる日本の財政再建は時間との戦いで、年間1兆円に及ぶ社会保障費を負担しながら、もし対策が遅れれば何時日本で財政破綻が起きてもおかしくない状況と聞き、納得せざるを得ませんでした。

ただ、悲観的な話だけでなく、日本では当たり前のことが外国では意外なほど当たり前でなく、これらが

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 2 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日12月5日	41(2)	33(1)人	7(1)人	85.0%	*	
前　回11月28日	41(2)	36(2)人	5(0)人	65.0%	3人	95.1%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

けっこう役に立ち、これから有効なビジネスにつながるという話も聞きました。

日本のエネルギー、医療、介護、農業、保育、教育、観光産業の品質水準はどれをとっても世界に比べて高いそうです。

例えば､日本の水道で途中の配管から漏れる漏水は、全体の数パーセントだそうですが、外国のそれは数10%から、ひどい場合には半分以上に及ぶこともあるそうです。もちろん、日本の新幹線は事故のない安全な高速鉄道としてよく知られています。

益々グローバル化する世界経済の中で「製品輸出だけにこだわらず、日本のすばらしい技術や文化、サービスを世界に紹介しながら生きてゆく」という可能性を示していただき､少しだけ楽観することもできました。

ここからは、私の私見ですが､「日本のすばらしい技術や文化､サービスを世界に紹介しながら生きてゆく」ということになれば、TPP に関しても農産物を守るために日本が経済的鎖国をすると言うことではなく、お米を代表とする農産物については（例外的な流通も他国に認めさせ）これを守りながら世界と共存共栄してゆくという考え方が肝要だと思います。

どんな政権が日本の主導権を握ろうと、中国、北朝鮮の軍事的な脅威を考えて、国際的なバランスを取ろうとすれば、今すぐ、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシアとの信頼関係を崩すわけにはいかないと考えるでしょう。

このような環境下で､TPPを考えれば､アメリカを始め環太平洋の国々と経済的な交流を拒否し続けることは、非常に難しい選択になると思います。

ちなみに環太平洋経済協定の加盟国になろうとしている国々は、アメリカ、シンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランド、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、ペルー、カナダ、メキシコで、それぞれが関係国との協議に入っています。

中国、北朝鮮、韓国はTPP の協議に入ってないですね、恥ずかしいながらつい最近になって認識した次第です。

それでは、年次総会につきましても、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

皆様こんにちは。

○　12 月のロータリーレートは￥80 円です。

○　本日の例会終了後理事役員会がありますので

○　理事役員の皆様はお残り下さい。

○　今週の日曜日12月9日に第一、二グループのIMがあります。午後1時石山発でバスをご用意していますのでどうぞご利用下さい。また、直接行かれる方は午後 2 時にホテル花月で点鐘となりますのでよろしくお願いします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　大森貞男広報 / IT 推進委員会

先週申し上げたフォトコンテストのデジタルサイズは 800 × 600 ピクセルまでといたします。サイズを間違いましてすみません。

12 月 15 日が締切です。テーマーは「仲間」です。

○　田中　徹会計

12 月 20 日(木) 旅行会会員のみ 10 月～ 12 月分の積立金を栃木銀行より引落致しますので、宜しくお願い致します。

○　半田久一放射能に関する講演会実行委員長

プロジェクト名：放射能について基調講演

シンポジウム:「放射能より子供達を守ろう。」(仮題)

- 基調講演　茨城大学名誉教授　久保田　譲先生
- シンポジウムメンバー　6 名
- クラブ代表して　秋間　忍会長
- 市を代表して　市長又は担当課
- 幼稚園を代表して　西那須野幼稚園　福本光夫理事長
- 保育園代表して　市内の女性園長
- ヨーロッパより日本を視る立場から　アッシジ市市議会参与　沢田高師
- 汚染地域外よりの立場で
  神奈川県平和学園　夏村　充元理事長
- 日時：2013 年 3 月 9 日（土）午後 13 時 30 分から 16 時
- 会場：黒磯文化会館小ホール

※展示室を利用して「世界のこども絵画展」を行う

以上の計画案を 11 月 21 日の例会終了後実行委員会を開き、計画案を協議し、承認されました。今後の進め方として、講演者の日時の確認。シンポジウムへの方々の確認。定員 400 名の小ホールですのでその整理券、チラシ、ポスター等の配布方法。当日のクラブ会員の奉仕の役割について、実行委員会で協議し、進めてまいりますので、今後共ご協力の程、よろしくお願い致します。

放射能に関する講演会実行委員会

実行委員長	半田久一
副委員長	村山　茂
委員	月江寛智、鈴木隆子、秋葉秀樹 津久井誠二、和気勝利
顧問	秋間　忍会長 吉光寺政雄幹事

年次総会

○　吉光寺政雄幹事

只今より、黒磯ロータリークラブ年次総会を開催させて頂きます。規定により議長は会長が務める事となっておりますので、秋間　忍会長よろしくお願い致します。

○　秋間　忍会長

黒磯ロータリークラブ細則第５条（会合）第１節により、本クラブの年次総会は、毎年12月第１例会に開催されるものとし、次年度の役員及び理事を選出すること、また、第３節により会員数の３分の１をもって、定足数となっております。本日の出席数は33名ですので、年次総会は成立致します。また、本日の年次総会議事録作成にあたり、議事録署名人に相馬征志君、田中徹君、お二人にお願い致しました。

本日、ご審議頂く議案は「次年度理事・役員賛同」でございます。去る11月７日理事役員指名委員会が開催されました。その結果、平山博君、秋間忍、澤田吉夫君、和気勝利君、石山桂子君、田中徹君、鳥居輝一君、髙木茂君、荒井昌一君、時庭稔君、髙木慶一君、村山茂君の12名が候補者として選出されましたのでご審議をお願い致します。

****

拍手多数。よってご承認頂けたものと致します。では、次年度理事役員として承認された方々は、別室にて担当職務を決定して頂きます。その間、暫時休憩と致します。

（休　憩）

○　秋間　忍会長

それでは総会を再開致します。まず、平山　博次年度会長より担当職務とお名前を発表して頂きます。

○　平山　博会長エレクト

それでは、理事役員の職務分担を発表いたします。

（役　員）

・会長	平山　博君
・会長ノミニー（副会長兼務）	澤田吉夫君
・副会長（クラブ奉仕兼務）	和気勝利君
・幹事	石山桂子君
・SAA	鳥居輝一君
・会計	田中　徹君
・直前会長	秋間　忍君

（理　事）

・クラブ奉仕委員長（副会長兼務）	和気勝利君
・職業奉仕委員長	髙木　茂君
・社会奉仕委員長	荒井昌一君
・国際奉仕委員長	時庭　稔君
・新世代委員長	髙木慶一君
・ロータリー財団委員長	村山　茂君

以上、宜しくお願い致します。

○　秋間忍会長

それでは、平山博会長エレクト、澤田吉男副会長、和気勝利次年度副会長、石山桂子次年度幹事の順にご挨拶をお願いします。

○　平山　博会長エレクト

それでは、ご挨拶申し上げます。

本日の年次総会に提出致しました新年度理事役員さん全員のご承認をいただきました。心よりお礼申し上げます。来年７月より、黒磯ロータリークラブ会長を務めさせていただきます平山　博でございます。

ロータリー歴は19年になります。その間皆様方に支えられ、いろいろな役職を経験させていただき、なおかつ前年度の檜山会長、今年度の秋間会長にお仕えさせていただいております。

ロータリーに関しては、十分に理解していたと思っておりましたが、ロータリーの、奥の深さに今更ながら驚き、あらためて自分の、未熟さ無知さに、ただただ反省の毎日であります。

そこで、ベテランの澤田さん、和気さんを副会長に、そして経験豊富な多くの会長経験者に役員をお願いをさせて頂きました。そして、黒磯ロータリー初の女性幹事、石山桂子さんには、心優しく穏やかに、時には厳しく、何事にも動じない、会の運営をお願いしております。

次年度の会長勉強会は３月３日予定されております。飯村ガバナーの方針に従って計画を立て、理事、役員力を合わせ又、会員お一人お一人のご意見に、耳を傾け、まずは７月の平山年度船出に向かって準備を整えて参りたいと思っております。

不行き届きのこと多々あると思いますが、どうぞ、皆様のご支援、ご協力宜しくお願い申し上げます。

○　澤田吉夫度会長ノミニー

ただ今の役員会において、次年度会長ノミニーと言うことで、ご推薦をいただきました、澤田です。

ロータリーに入会するときは、たしか楽しいロータリーライフを送りましょうと言われた覚えがありますが、入会をしまして、14～15年になるかと思いますが、いざ入って活動をしてみますと、大変奥が深く、難しいもんだと思っております。

会長を支えて、次年度活動をしていきたいとおもっておりますので、よろしくお願いいたします。

○　和気勝利次年度副会長

今年は黒磯ロータリークラブに入会させていただき15年目にあたります。この度副会長の大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。会長・幹事を盛り上げていきながら、次年度を更に充実させていきたいと考えております。諸先輩・会員皆様のご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

○　石山桂子次年度幹事

平山年度、幹事を仰せつかりました石山でございます。ちょうど１年前になりますが、平山さんのほうか

ら幹事をというお話がありました。ロータリー歴は長いのですが、委員長経験は浅く、いきなり幹事と言うことで戸惑いを感じながら、暫く考える時間を頂きました。

お店と家庭とロータリー・・・果たして両立出来るのかと悩み、１度はお断りしましたが再度説得をされまして、引き受ける決心を致しました。

ロータリーの事は、まだまだ分からないことが多く、自分自身至らない所も多々ありますが、これから、皆様の御指導を頂き７月から努めて参りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

○　吉光寺政雄幹事

以上をもちまして黒磯ロータリークラブ年次総会を終了させて頂きます。

☺　ニコニコボックス

なし

○　勢揃いした次年度理事役員

● 11月21日欠席(敬称略)
遠藤清和・齋藤武久・篠崎勝則・橋本佳明
室井次男・檜山達郎・福田逸男

○ 前回11月15日分メークアップ(敬称略)
荒井昌一・植竹一裕・遠藤清和

次回例会　　平成２４年１２月１２日　　クラブ奉仕

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2566回　秋間年度　第23回　会報　2012-12-12　司会　村山　茂君

お客様

○　那須塩原市副市長　　渡邉泰之様

会長挨拶　秋間忍会長

先週6、7、8日と黒磯ロータリークラブ旅行愛好会の旅行があり、私もこれまで長崎方面には縁が無かったこともありまして喜んで参加させていただきました。三日間で長崎、平戸、福岡をまわるバス旅行はちょっと疲れましたが、いろんな意味で収穫がありました。楽しい旅行を企画していただいた旅行愛好会の皆様に心より感謝申し上げます。

我々が訪れた地域にまつわる歴史を想い起こせば、風景も少し違って見えてきます。特に我が国最大級の負の遺産ともいえる原爆投下の地、長崎では、目の前に動かぬ遺跡や記録をつきつけられ、今日の平和な生活が、過去の尊い犠牲によって築かれてきたものだということを改めて痛感いたしました。

一方、8日（日）には黒羽の花月で国際ロータリー第2550地区第一、第二グループ合同のインターシティミーティング（IM）がありました。休日にもかかわらずご参加いただきました皆様、大変ご苦労様でした。各クラブの現況報告がありましたので、黒磯クラブが2つの実行委員会を立ち上げ、これからやろうとしている事業を紹介させていただきましたところ、他のクラブの会長さんからも賞賛と励ましの言葉をいただきました。

さて、今日は那須塩原市副市長、渡邉泰之様をお迎えしての例会です。貴重な時間を割いて我々のクラブ例会にご出席を賜りましたこと、心より歓迎し、厚く御礼申し上げます。

ご存知の通りロータリークラブは地域社会を始め、国際社会でも広く善意の輪を広げてゆこうとしている奉仕団体で、一人一人の力は微力でも同士がたくさん集まればきっと何か良いことができると、希望を持ち続けている団体でもあります。

今日は渡邉副市長から市の現況と、これからの方向性を聞かせていただくことで、微力ながら那須塩原市政への理解が深まると信じております。ロータリークラブは高齢者が多くて・・・と諦めず、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

先の見えない時代にも必ず報われる努力と言えば、地域社会が挙（こぞ）って心身ともに健全な子どもを育てることです。それができれば、やがて街は発展し、国も栄えます。

もちろん義務教育になってからの勉学やスポーツも大切ですが、三つ子の魂百までもと言われる通り、先ず幼児期に健全な魂を育てることが最も重要です。那須塩原市が保育行政に夢と情熱のある人材を投入し、10年、50年、100年後の成果を期待することこそ最良、

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数2名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日12月12日	41(2)	34(0)人	7(2)人	92.0%	*	
前　回12月5日	41(2)	33(1)人	8(1)人	85.0%	4人	90.0%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

最短の道であること信じております。

時流に流されれば、仕事の都合で子育てをしてしまう親が当たり前になりつつある時代、心の荒廃から幼い我が子を虐待してしまう親まで出現しています。後追いの施策は行政にとりましてもコストがかかります。

どうか那須塩原市の子育て環境を一から見直し、健全で素晴らしい魂の持ち主を育てるため、保育行政の改革にご尽力くださるよう切にお願い申し上げます。

最後に重ねて渡邉副市長のご臨席に感謝申し上げ、会長挨拶とさせて頂きます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

先週のIMご参加頂いた皆様ありがとうございました。また、お疲れ様でした。

○ IMの次第を回覧中です。また大田原ロータリークラブから週報が届いていますので回覧中です。

○ 宇都宮女子高校で新たにIACが設立されることになりました。設立総会が同校で行われます。案内を鈴木隆子委員長にお渡ししました。

○ 先週の理事役員会の報告を行います。1月のプログラム承認されました。

○ 平成25年3月に行われますIAC台湾研修旅行補助として各生徒さんには地区から参加費12万円の半額の6万円が支給されます。

○ クラブとして生徒さん一人につき1万円を上乗せするかたちで支給します。顧問の先生には7万円を支給します。承認されました。

○ 特別会計について。周年積立金は別口座で管理します。WCS積立金も別口座で管理します。また、WCSの積立については今年度は行いません。承認されました。

○ 委員会名変更について。広報IT推進委員会の名称について、推進の二文字を削除することで承認されました。次年度の平山年度から変更を行います。

○ 本日のクラブ奉仕委員会の卓話について、外来卓話なので12時35分から例会再開するということで承認されました。

○ 最後にIMの決算についてご報告いたします。クラブ会員41名×5000円を第一グループに支払いました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　大森貞男旅行愛好会会長

12月6、7、8の2泊3日で黒磯ロータリークラブ旅行愛好会の長崎方面に行ってまいりました。

軍艦島は黒い宝石で石炭が採れたそうです。

グラバー園、大浦天主堂キリスト教の礼拝堂、平和記念公園、原爆資料館ー生々しい写真や展示品等を見学ハウステンボスー敷地の広さにびっくりいたしました。

佐世保西海パールシーリゾート九十九島を回りました。聖フランシスコ、ザビエル記念教会、オランダ橋、平戸城も見学。伊万里焼き、大宰府天満宮等沢山の観光をして無事終了いたしました。

○　福島泰雄広報/IT推進委員会副委員長

秋間年度の第12回デジタルフォトコンテストの応募締め切りは明後日15日（土）で、残すところ後2日となりました。お題は「仲間」ですので是非ご応募ください。

○　半田久一放射能に関する講演会実行委員長

例会後に会議を行いますので委員の方はお残りください。

卓話　クラブ奉仕員会

○　澤田吉夫副会長

過日（11月4日から1週間）の予定で各方面の代表の方々9名と市役所の関係者5名の総勢14名にて、フランスの海外視察に参加させていただきました。塩原温泉、板室温泉の関係者を始め、商工会、観光協会など各界の代表者で構成されました。

私は地元の農業の代表として参加させていただきました。その中で副市長の渡邉泰之さんも参加されておりました。長道中の中で、いろいろとお話を伺いまして、これは私一人でお聞きしては、もったいないので、後日卓話としてお話いただけないでしょうかとお願いし、本日の運びとなったわけです。那須塩原市の今と将来ということでお話をしていただきます。

渡邉泰之様のプロフィールをご紹介いたします。

慶応義塾大学大学院法学研究科をご卒業なさいました。

平成10年4月　総理府入府

平成22年7月　大阪府高槻市副市長

平成23年3月　総務省行政評価局評価監視調査官

平成24年2月　那須塩原市政策統括監

平成24年4月　那須塩原市副市長

以上です。それでは渡邉様よろしくお願いします。

○　渡邉泰之那須塩原市副市長

只今ご紹介いただきました、渡邉でございます。20分程のお時間ということで、駆け足になってしまいますが、お話をさせていただきます。

まず、講演資料にありますように、「那須塩原市の今と未来」、それから、「無い袖は振れない」、「あれが先か、これが先か」、「選ばれるマチへ」。これは実は、私が大阪の高槻市にいた時にいろいろな所で講演をした時の資料をベースに、今回、那須塩原市ではどうかということで作ったものです。基本的に私と阿久津市長は、今から申しあげるようなスタンスで市の運営をしているということをご紹介したいと思います。

那須塩原市の今と未来

まず、那須塩原市の今と未来ということなんですが、那須塩原市の統計資料編を見ていただければお解りになると思いますが、那須塩原市の人口は、今、12万人を若干割っております。本日は、人口の問題を中心に説明したいと思っておりますので、それ以外の資料については説明を割愛いたしますが、その人口が今後どうなっていくかといいますと、その統計資料編の４ページに少子高齢化対策と書いてありますところでございます。2005年におきましては、115千人。これが30年後ですと、社会保障人口問題研究所という厚生労働省の外郭団体の推計によりますと、112千人と、トータルではそれ程減らないだろうという推計が出ております。

人口推計から見た本市の姿

単位：千人

	2005年	2020年	2035年	対2005年％
日本	127,768	122,735	111	86.62
栃木県	2,017	1,934	1,744	86.47
宇都宮市	502	509	479	95.42
那須塩原市	115	118	112	97.39
大田原市	79	75	68	86.08
那須町	27	24	21	77.78
矢板市	36	32	28	77.78

実際、今、那須塩原市は栃木県下でも非常に珍しい、微増ではありますが、人口が増えている。隣の大田原市とか那須町、矢板市と比べますと非常に特異な状況であります。そういったことで、推計ですとそれ程人口は減らないということになっておりますが、それでも減っていくことは間違いのないところです。

それから、特に大きい話ではあるんですけれども、5ページ目のところを見ていただきますと、老年人口、この言葉は好きではありませんが、いわゆる生産年齢人口といわれるのは、15歳から65歳まで。65歳以上の方を、厚生労働省の言い方ですと、老年人口といいます。そこをみていただくと判るんですが、2005年におきましては、65歳以上の方が2万人。それで、30年後はそれが倍近くの37千人になる。一方で、75歳以上の方が、2005年は9千人でしたが、2035年は22千人で、2.5倍ということになる。生産年齢人口が78千人から63千人になる。これが一体、市の産業あるいは、市の財政にどういう影響を与えるか。これを簡単に申し上げますと、生産年齢人口であるところの方、実際に働くのは25歳以上の方がメインだと思いますが、その人たちが相対的に減ると、あたりまえなんですが、税収が減っていきます。納税者が減るということです。今現在、那須塩原市の一般会計財政規模が、年間約400億円を超える感じではあるんですが、その中で、市税が占める割合が約180億円で二分の一弱くらい。その市税の中で一番大きい割合を占めるのが、市民税になりまして、個人市民税が一番大きいんですけれども、それが大体50億円。法人市民税を入れますと、合計で68億円くらいになります。特に、個人市民税は、これは税金を納めてくれる人の数×その方の収入の一定率ということでございますから、生産年齢人口が減れば、個人市民税が減っていく。そういったことで歳入の部分については、これから歳入増になるということは全く期待できないという状況です。

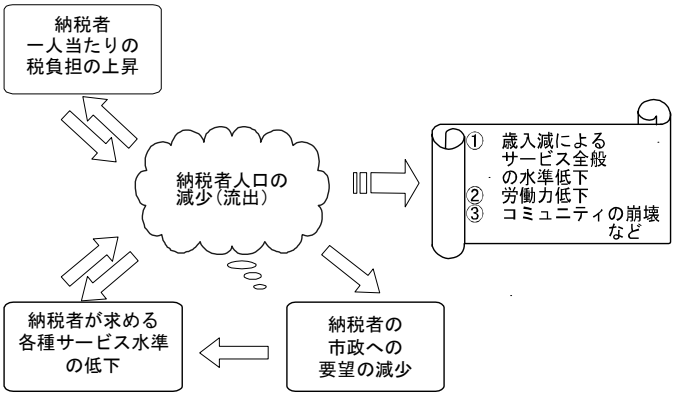
年齢別人口構成

上段2005年、下段2035年　　単位：千人

	年少人口	生産年齢人口	老年人口	75歳以上人口
日本	17,585(13.8)	84,422(66.0)	25,761(20.2)	11,365(8.9)
	10,512(9.5)	62,919(56.8)	37,249(33.7)	22,456(20.3)
栃木県	286(14.2)	1,339(66.4)	392(19.4)	184(9.1)
	171(9.8)	987(56.6)	586(33.6)	357(20.5)
宇都宮市	73(14.5)	345(68.6)	85(16.9)	37(7.4)
	49(10.2)	280(58.5)	150(31.3)	89(18.6)
那須塩原市	18(15.5)	78(67.2)	20(17.2)	9(7.8)
	12(10.7)	63(56.3)	37(33.0)	22(19.6)
大田原市	11(13.8)	53(66.2)	16(20.0)	8(10.0)
	6(8.8)	40(58.8)	22(32.4)	14(20.6)
那須町	4(14.8)	16(59.3)	7(25.9)	3(11.1)
	2(9.5)	10(47.6)	9(42.9)	6(28.6)
矢板市	5(14.3)	23(65.7)	7(20.0)	4(11.4)
	3(10.7)	15(53.6)	10(35.7)	7(25.0)

一方で、歳出の部分ですが、75歳以上の方が2.5倍になるということですけれども、これはどういうことかと言えば、例えば、75歳以上の方の医療費を見ますと、75歳以下の方の医療費の平均と比べますと5倍以上になります。それが全て市の財政負担になる訳ではありませんが、75歳以上の方々が今よりも2.5倍増えるということは、2.5倍増える人の掛けるところの医療費が5倍になるということですから、実際の社会保障費は物凄い量に増えていくということです。それから、介護についても75歳以上の方々になりますと、い

わゆる要介護の割合が物凄く増えていきます。例えば、介護サービスを受けている方の大半は75歳以上です。平成21年度の調査ですと84%。介護サービスは予防サービスに比べてお金がかかります。一人あたりの年間費用が約18万円。で、75歳未満の方は、介護サービスよりは予防サービスが多い訳ですが、これが大体年間4万円弱。そういったことで、いわゆる少子高齢化ということが本市においても相当、産業構造ももちろんですが、市の財政に対しても物凄い影響を与えるという状況でありまして、これがどういうことをもたらすかと言いますと、お手元の資料をご覧いただくと、これが負のスパイラルを招く。いわゆる納税者人口が



減少、流出していきますと、若い人たち、働いている人たちの声が小さくなります。かわりに高齢者、年金をもらっている方々の声が大きくなってくる。そうすると、選挙なり各種いろんな要望を通じて、とにかく年金を増やせ。医療費を十分払え。そういう声がどんどん上がってきます。そうするとどうなるかというと、いわゆる納税者、働いている人、税金を納めている人からすると、その市は非常に住みづらい町になってしまう。そうすると結果的に、また、納税者の人口が減ってしまう。減っていくというのは、単純に少子化の問題だけではなくて、この市から逃げていってしまうということになる訳です。よく足による投票と言われますが、選挙というのは、実際に手で投票してそれによって見える訳ですけれども、実は、その市に住みたくないというのでいなくなってしまう。あるいは、この市に住みたいというので入ってくる。これは選挙では見えないことですけれども、実際にそういうことが行われている。逆に言うと、栃木県の中で本当に人口が増えている市は、5市しかありません。そのひとつが那須塩原市です。この主な理由は足による投票な訳です。那須塩原はご存じの通り、高速のインターが二つあり、新幹線の駅があって、そういう中で駅前の部分を中心に宅地開発が進み、ここに比較的若い世帯が入ってきている。こういうことが、大田原市にはない。矢板市にもない。だから那須塩原だけが、少しではありますが、増えているという状況です。こういう状況がずっと続いてくれればいいんですけれども、残念ながらなかなか、今のまま放って置くと厳しいだろう。そうしますと、結果的には那須塩原も高齢化はどうしても避けて通れない。それは、全国的にどこであってもそうですけれども、我々がある意味強みとしている、新幹線や高速道路のインターがあるというような良さが、打ち消されてしまうような大きなインパクトがこれから起こる。なので、我々としてはこれへの対策を採らねばならない。

で、市の方として何ができるかといいますと、先ずひとつは、行政の中の無駄な部分をカットしていく。カットしたものをなるべく那須塩原市に、若い人たち、働ける人たちが入ってくる政策の方にお金を振り向けていく。これが実際に私が今年の2月にきてから、一貫して市長にもお話をしながらやってきた政策です。そういう目で見ていただければ、解っていただけると思うんですけれども。歳出カット、かなりあちこちの団体からご批判をいただいているんですけれども、原則50%カット、100%カットしたうえで、最終的に見直しをして、全体で10%カットとしました。それによっていろいろなところにお金を振り向けてきたというのが、今の市の状況であります。

ない袖は振れない

じゃ、どういう基準でお金を入れていっているのかと言いますと、次のページに「公益性」と「緊急性」の関係という資料がありますが、簡単に言いますと、公益性の高いもの、緊急性の高いもの、これには、当然ですがお金を優先的に入れます。市役所というのはパブリックな組織ですから、公益性が高いものにお金を入れていくというのは当然のことです。

問題は緊急性についてですが、これまでの役所というのは、これはどこの市役所でもそうなんですけれども、3か年計画を作って、3年前に予算の計画を入れたものは、かなり順番が高い。ですから、緊急性が高いと思っても、「いや、3年前からうちの部局は要望を出していたんだから、こっちを優先しろ。」そういうような形で、かなり硬直的に動いている部分がありまして、それは、私の方でも徹底的に直していきます。例えば、総合計画に載っていなくても重要だと思うものは、どん

公益性と緊急性の関係

	緊急性高い	緊急性低い
公共性高い	i	ii
公益性低い	iii	iv

どん入れていく。一番いい例が除染ですけれども、それは3.11がある前に除染対策などは、当然なかった訳で、計画には載っていない。だけれども、今の市において緊急にやるべき課題でありますから、当然、公益性も高いものですから、それは他の部局から３年前から出されていたものを押し退けてでもやるということで、今年の９月議会では55億円のお金を付けたということでございます。

あともうひとつ、この緊急性と公益性の関係で重要なのが、緊急性が低くても公益性が高いものを優先するべきだということです。我々役所だけでなく、一般的にもそうなんでしょうけれども、遠い将来に問題が起こるであろうというものは、どうしても先送りにしてしまう。これはちょっと語弊があるかもしれませんが、選挙の時に即効性がある。ある意味票が取れそうなものを、どうしても優先してしまう。それではいけないんであって、特に、今申し上げたような少子高齢化というのは、30年後にはこの市も間違いなくとんでもない状況になる訳で、それに向けての対策は採っていかなくてはならない。だから、緊急性が低くても公益性が高いものは、やっていかなくてはならないということで、ここの表にあるように、我々としては、先ず一番にやるべきことは、公益性が高くて緊急性が高いもの。2番目は、緊急性は低いけれども公益性が高いもの。3番目に公益性が低くて緊急性が高いもの。4番目が緊急性、公益性ともに低いもの。こういう風に考えて政策の優先順位づけをしております。なので、最初の講演資料にも書いてあるように、「無い袖は振れない」なかで、あれもこれもでは駄目であって、あれが先か、これが先か、優先順位を付けてやっていかなければならないと考えてやっているところでございます。

もうひとつ重要な視点であるんですけれども、「収益性」ということを重視しております。これはあまり他の場所で言われる話ではないんですが、具体的にどういうものかといいますと、次のページで「自治体の歳入確保策」（直接）って書いてあります。歳入を増やす方法で一番簡単なのは、税金を上げることです。でも、それは短期的には増えますが、長期的には経済にダメージを与える可能性が高くて、それは正直いってやるべきではない。本当にギリギリで、市が潰れるかどうかという時にやるようなものだろうと思います。で、税金を上げる以外の方法として、これは、ある大学の教授があげていたものですけれども、命名権（ネーミング・ライツ）の販売であったりとか、各種広告。市役所もホームページにいろんな企業さんの広告を入れさせていただいて、それの広告収入などもいただいております。ただこれは、直接的なものというのは、案外、額としては少ないものですから、我々としては次のページに書いてあるのようなものを中心にやっていきたいと思っております。

それが何かというと「自治体の歳入確保策」（間接）

自治体の歳入確保策（直接）

1.	独自課税（条例による超過課税と法定外課税	7.	無体財産権の活用（業務改善を通じた特許取得）
2.	滞納整理	8.	命名権（ネーミング・ライツ）の販売
3.	民間セクターの債権回収機構などを活用した電話等による督促手法の導入	9.	遊休資産の売却、貸し付け、活用
4.	コンビニ収納など納税者の便宜に着目した収納改革	10.	寄付金による基金造成
5.	債権整理の工夫（債権回収の一元管理など）	11.	使用料・手数料の確保
6.	広告料の確保		

自治体の歳入確保策（間接）

	費用（歳出）	経済効果	税収（歳入）	費用（ネット）
政策A	1,000万円	1,000万円	100万円	900万円
政策B	1,500万円	1億円	1,000万円	500万円

と書いてありますけれども、仮に同様の効果の「政策A」、「政策B」とありまして、ある政策Aにつきましては1,000万円掛かります。政策Bについては1,500万円掛かります。で、普通に考えると1,000万円の費用で済む政策Aの方を選びがちなんですけれども、この経済効果は1,000万円しかありません。政策Bの方は1億円あります。それで、それによる税収はそれぞれ100万円と1,000万円とした場合には、若干お金が掛かっても、敢えて政策Bの1,500万円の方にお金を支出して、それによって税収1,000万円が返ってくれば、その政策Bにかかるトータルのコストとしては500万円で済む。一方で、政策Aについては100万円の税収しかないということであれば、政策Aはトータルでは、1,000万円引く100万円で900万円かかる。であれば、我々としては、政策Aではなくて政策Bの方を選んでいこう。そういうスタンスでいろんな政策を選んできている訳であります。

あれが先か、これが先か

で、実際のところ政策Bにあたるものというのはどういうものかといえば、一番重要なのは、先程から申し上げているように、若い人たちになるべく多く入ってきてもらえるか。さらに、語弊を恐れずに言えば、どれだけお金持ちの人に入ってきてもらえるか。ということだと思っております。そうすると、お金持ちを優遇するような政策はけしからん、特に、リベラルの方に多いんだと思いますけれども、それは逆なんだと。常にそういう人たちに言ってるんですけれども、本当に社会福祉政策、病院なり、介護施設を維持したければ、誰かがお金を出してくれなければいけない訳で、この政策だけを先にやってしまえば、お金を持っている人たちは、こんなにお金ばかりを取られるような市

にはいたくないと逃げていってしまいます。であれば、お金持ちが住みたい、若い人たちが住みたいと思うような町にして、税金をたくさん納めていただくことで結果的にはいい病院、いい介護施設に税金で補助金を与えていくことができると考えておりますので、そこは、私はそういう人たちから物凄い非難を浴びておりますけれども、そこは確信をもってやっているところです。

選ばれるマチへ

じゃ、どんな形でお金持ちの方たちを集めてくるのか。あるいは、若い人たちを集めてくるのか。そこはいろんな方法がありますが、今この場でこうだと全部決めつけられるようなものではありませんけれども、少なくとも我々市役所としてやらなくてはならないと思っていることは、先ず、本市の強み、弱みというのはどういうものがあるのか。わざわざ、隣の矢板市、大田原市、那須町ではなくて那須塩原市に住みたい。あるいは、東京に住んでいる人が、子育てのためにいい環境で、できれば自然の豊かな場所の中で何処がいいか。温泉もあった方がいい。そうすると、たとえば箱根なのか草津なのか、那須塩原なのか。その時に那須塩原を選んでもらうにはどうしたらいいのか。で、那須塩原の独自性というのは何なのかというのを、今、職員と一緒になって徹底的に考えているところです。

この前のフランスの視察もそういった話の中でできたもので、我々が他の似たような地域にないものを付加価値として付けていかないと、我々の市が選ばれない。それは単に温泉地として観光客を呼ぶというだけではなくて、いわゆる、そういう交流人口が定住人口に繋がっていく訳で、どうやって那須塩原市の独自性を出していくか。そのためには、強みというものを我々は徹底的に考えていかなければならない。で、強みという意味では、例えば、既に新幹線の駅であったり、高速道のインターが二つあったりというのは、物凄いアドバンテージではありますけれども、それ以外に一体何があるのか。温泉もありますし、生乳生産本州一というものも、他が簡単に真似できるものではない。そういうものをどれだけうまく使って各種政策を打っていけるかだと思っています。

それからもうひとつ重要なのは、弱みをどれだけ潰していくか。本市の今の一番の弱みは何かといえば、放射能に汚染されてしまったということです。どんなに那須塩原市はいい場所だと思っても、東京に住んでいる子育て世代が何処に住もうか。例えば、子供には自然が豊かな場所で育ってもらいたい。で、新幹線で都内に通える場所がいい。というと、例えばライバルとして出てくるのは軽井沢があります。これまでであれば軽井沢よりも那須塩原の方が東京にも近かったりしますので、那須塩原を選んでくれた人もあったかと思います。だけど、今、どちらかを選ぶとすれば、申し訳ないけれど軽井沢です。それは何故かといえば、やはり放射能の問題があるからです。そういう観点からも、我々はこの問題を考えなければいけない。だからこそ55億円という物凄い大きな額で、市の方が2億5千万円を自腹で払ってまで、実はやらなければいけないというので動いたのは、そういうところにもあります。完全に3.11前の状況にまで戻すのはなかなか難しいにしても、出来る限りかつての状況に戻していく。さらには、ピンチをチャンスにではないですけれども、これを機に再生可能エネルギーの世界でもモデルとなるような場所にもっていこう。そういうようなことで、弱みをさらに強みに変えていくということで、各種の政策を考えているような次第でございます。

そういった形で、市役所ではある程度戦略的に動いてきたつもりではありますけれども、こういった機会でもないと、なかなか説明が十分に伝わらずに、単に補助金カットしているとか、好き勝手やっているという話が聞こえてきて残念ではあるんですが、当然、批判を受けるべきところは我々あまんじなければいけないと思うんですけれども、正確にこういうような話をしたうえで、そこは違うんじゃないかとか、建設的な議論をできればいいと思います。我々としては、先程の収益性という話しがありましたけれども、とにかく、民間企業、地域の人たちが活力をもって頑張って稼いでくれないと、我々市役所の方も仕事になりませんので、全力で民間企業、団体等の方々の活動をサポートしていく方向で頑張ってまいりますので、引き続きいい形で協力関係を作っていければと思っております。以上、ちょっと駆け足で大変申し訳ございませんでしたが、私の講演とさせていただきます。

☺ ニコニコボックス

大森　貞男君　12月6日～8日2泊3日の黒磯ロータリークラブ長崎方面の旅、無事終了いたしました。大変楽しい旅でした。

福田　逸男君　満73才、健康で過ごしています。

篠﨑　勝則君　少し支援していた気仙沼の大島の民宿の再会記念に行った来ました。南三陸町の防災庁舎にも手を合わせて参りました。

檜山　達郎君　先週の年次総会欠席にてすみません。平山年度の役員理事も決定し、お目出度うございます。

誕生祝

1939年(昭和14年)12月11日、現在地で生まれました。年表によると、第二次世界大戦勃発の年でした。

黒磯町は昭和6年に黒磯駅前通大火(140軒全焼)、生活は貧しかったと思います。子供の頃は近隣の山で野鳥や木の実を取り、那珂川で魚を取りして遊びました。

黒磯町は昭和30年頃まで就職先がなく、兄妹達は新天地へと離れ、私が両親の元で三代目を継ぎました。

現在まで多くの方々と出会い、育てて頂きました。今後共「出会いを大切に」をモットーに生活してゆきます。

IM

12月9日(日)黒羽のホテル花月で第1グループのIMが開催された。当クラブからも秋間会長以下多数の会員が出席した。

長崎方面旅行

平戸城

海に突き出した半島に建立されています。

大浦天主堂

とても九州とは思えないくらい寒い三日間でした。村山さんの服装では風邪を引きます。

軍艦島

一度は見たかった所でしたので夢が叶って大満足です。約40年で建物が崩れており、自然の力の偉大さに驚かされました。

● 12月12日欠席(敬称略)
遠藤清和・時庭稔・深町彰・室井次男
藤村聡・佐治鐵造・田村吉興

○ 前回12月5日分メークアップ(敬称略)
遠藤清和・齋藤武久・檜山達郎・福田逸男

次回例会　　平成24年12月19日　　親睦委員会（クリスマス家族会）

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興・佐治鐵造

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５６７回　秋間年度　第２４回　会報　２０１２-１２-１９　司会　村山茂君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様、こんばんわ！

楽しいクリスマス会を前にした例会ということで、長い話は禁物だと思っております。ただ、どうしてもこの場を借りしてお伝えしておかなければならないことがあります。

それは、昨夜「放射能に関する講演会実行委員会」が開催されたことに関することです。既にお伝えしております通り開催日は来年の3月9日と決まっていて、もう3ヶ月を切っております。 そこで我々が心しておかなければいけないことは、この講演会が過激な政治活動などに利用されてしまわないようにすることだと考えております。

我々のクラブが立っている立場は、市民に必要以上の不安をかきたてたり、被害者意識をむやみに拡大させることではありませんし、真実を隠したり、無知、無関心を装う事でもありません。ただ、ありのままの事実を知っていただき、市民一人一人が放射能に対して正しい判断ができるように、知識や情報を提供したいと考えたこと、特に、乳幼児を持つ保護者の視点で講演会とシンポジュームを開催しなければならないと考えたことが、この事業の総意であります。そこで講演会とシンポジウムのテーマ（演目）が非常に重要になります。昨夜の白熱した討議の結果、講演会とシンポジウムの「テーマ」は、次のように決まりましたのでご報告いたします。「子供達の未来のために、放射能とどう向き合うべきか？」このような背景の中で、３月９日に講演会が開催されますので開催趣旨をご理解の上、皆様のご協力を切にお願いする次第でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

報告事項なし。

委員会報告　澤田吉夫副会長

報告事項なし

出席報告は次週回し

クリスマス家族会 総合司会　藤村聡君

総合司会の藤村聡りんどう湖ロイヤルホテル支配人と担当の福島泰雄親睦委員(右)。

○　開会の挨拶　福島泰雄親睦委員

クリスマス家族会一日限りの親睦委員長の福島です。

今宵を皆様に楽しんで頂くにはどうするのが一番良いか考えました。先ず最初に思い浮かんだのは、子供さんたちが喜ぶ会にしたいと言うことでした。そこで同じ親睦委員であり、当ロイヤルホテル支配人である藤村さんと相談していろいろと企画いたしました。その結果、どのような企画が飛び出してくるか、皆様楽しみにして頂きたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い致します。

○　会長挨拶

皆さんこんばんわ！

今日は黒磯ロータリークラブのクリスマス家族会に多数ご出席いただきましてありがとうございます。今日のクリスマス家族会を開催するにあたりましては、当クラブの親睦委員の方々に大変なご苦労をいただいております。この場をお借りして親睦委員の方々に心から御礼申し上げます。そしてそのご苦労に報いるの

は今夜、我々が心からここで楽しませていただくことだと思っております。昨夜、偶然お聞きしたのですが、当クラブの津久井会員は小さいときにおじいちゃんに連れられて、このロータリークラブのクリスマス家族会に出席したそうです。たった一夜の楽しい思い出が人生でどれほど大きなの財産になるか、おぼえていますか？今宵は、我々ロータリアンが忘れかけてしまったかもしれないとても素敵な夜です。それでは、幼い頃の夢の国に向かってみんなで乾杯しましょう！

メリークリスマス！

高根沢一家勢揃い。今年も賑やかです。

澤田さんも楽しんでいますね。

福田さんお孫さんと一緒は楽しそうですね。

チョンガー組は纏まってアルコールで気炎を上げています。

今年も魅力的なメニュー(右）と
サーモンのサラダ仕立て鎮江黒酢ジュレ（上)。

クラウン登場。風船細工の芸で子供達を魅了してます。フロアでは風船の刀でチャンバラが始まりました。

佐藤さん瀬尾さんロータリーの輪を次々世代に広げてね。好々爺のお二人、顔の良いこと！ホテルのスタッフもサンタ装束です。

じゃんけんに勝たせてくれないかな～

わーいプレゼントだ～

和気千尋トナカイと福島サンタが子供達を訪問です。

○　平山博会長エレクト締めの挨拶

みなさ～ん。

今日のクリスマス家族会楽しかったですか？楽しかった方、手を上げてくださ～い。サンタさんもお帰りになりましたので、私たちもそろそろお家に帰りたいと思います。

今日、りんどう湖ロイヤルのお兄さん．お姉さんに大変お世話になりました。ロータリー親睦のおじさんも有難うございました。又、来年も楽しい企画をお願いします。

♪もういくつ寝るとお正月ですよ～ん♪

風邪などひかずに元気にお正月を迎えてください。それでは、みなさん、気をつけて帰りましょ～♪

次週例会　２０１２－１２－２６　担当　スマイルボックス委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2568回　秋間年度　第25回　会報　2012-12-26　司会　村山　　茂君

米山功労クラブ感謝状贈呈

ロータリー米山記念奨学会委員長髙木慶一

「米山功労クラブ」は個人・法人・クラブ扱い全ての特別寄付金が対象となり、特別寄付金累計額が100万円を超える毎に表彰されます。黒磯ロータリークラブは年会費から普通寄付として5,000円、会員全員銀行引き落としで特別寄付として13,000円を寄付しています。今回23回目の感謝状が板橋敏雄理事長から届きましたので代読して秋間会長にお渡しいたします。累計が2,300万を超えたと言う事になります。

会長挨拶　秋間忍会長

今年も残り少なくなり、今日が今年最終の例会となりました。お陰さまで私の年度も無事半年を越すことができ、ほっといたしております。これも皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

先週のクリスマス家族会では、**同会限り**の福島泰雄親睦**委員長**、親睦委員の皆さま、りんどう湖ロイヤルホテル様のお骨折りで、楽しいクリスマス会を催すことができました。改めて感謝申し上げます。

さきほどの委員会報告で「放射能に関する講演会実行委員会」の半田実行委員長からもご報告がありましたが、同時開催のシンポジウムで、メンバー中那須塩原市からの代表だけが決まっておりませんでした。一昨日これも半田実行委員長の計らいで、阿久津憲二那須塩原市長を訪問、講演会開催の趣旨やシンポジュームの概要を説明させていただく機会を得ました。面談の甲斐ありまして、同シンポジウムには阿久津市長ご自身にご登壇いただけることになりました。大変嬉しく思っております。

一方、今日はスマイルボックス委員会の担当の卓話でございます。鈴木久雄委員長の話によりますと、スマイルボックスで集めた特別会計資金、及びこれまで積み立ててきたお金の使い道について、皆さんにお話し合いをしていただきたいとのことです。本来、会計の田中さんにお願いするところではございますが、今年の行きがかり上、私から当クラブの会計状況を説明

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日12月26日	41(2)	33(1)人	8(1)人	85.0%	*	
前　回12月19日	41(2)	30(1)人	11(1)人	77.5%	4人	82.9%
前々回12月12日	41(2)	34(0)人	7(2)人	92.0%	2人	87.8%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

させていただきます。お手元の貸借対照表をご覧ください。本来貸借対照表は特定時点の資産、負債の状況を示す表でございますが、そこには2012年7月1日～2012年11月30日と表記されています。すなわち、「前残高」の欄には7月1日の状況が、「当残高」の欄には11月末日の残高が示されております。この中で特に着目していただきたいのが、7月1日現在の「資産の部合計金額」が4,988,352円、これが11月末日には5,668,618円になっていること、負債の部では今年度新設された「震災遺児孤児支援事業」（科目）の期首残高はゼロで、11月末日現在の残高は1,337,288円になっていること、また「旅行愛好会預り金」の期首残高は1,367,237円で、11月末日現在の残高はゼロになっている事です。大変細かい数字の話で恐縮ですが、これら貸借対照表の数字をよく吟味していただき、できるだけ多くの資金を震災遺児孤児支援事業に回せたら良いと考えております。ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

黒磯ロータリークラブ	貸借対照表				2012. 7. 1～2012. 11. 30	
科目CD	科目名	期首残高	借方発生額	貸方発生額	期末残高	差額
1	★現金	0	1,961,422	1,961,422	0	0
21	★一般：栃銀(9196082)	841,083	5,433,926	5,350,395	924,614	83,531
22	特別：大信(0180348)	1,380,904	603,607	270,200	1,714,311	333,407
23	積立金：栃銀(9497281)	1,113,326	81	0	1,113,407	81
25	臨時：栃銀(9236991)	72,334	5,102,016	5,173,000	1,350	-70,984
26	米山一般：足銀(23715)	180,003	2,284,300	772,840	1,691,463	1,511,460
27	ゴルフ：足銀(209243)	43,465	270,008	90,000	223,473	180,008
28	旅行：足銀(3104817)	1,355,237	276,095	1,631,332	0	-1,355,237
29	IM：栃銀(1017349)	0	0	0	0	0
40	ー現金・預金計ー	4,986,352	15,931,455	15,249,189	5,668,618	682,266
41	未収入金	2,000	0	2,000	0	-2,000
45	仮払金	0	0	0	0	0
46	立替金	0	15,000	15,000	0	0
50	ー流動資産計ー	2,000	15,000	17,000	0	-2,000
80	ー資産の部 合 計ー	4,988,352	15,946,455	15,266,189	5,668,618	680,266
92	★未払金	424,920	483,220	137,220	78,920	-346,000
93	前受金	0	0	0	0	0
94	仮受金	140,000	705,000	880,000	315,000	175,000
95	国際奉仕事業（WCS）引当金	400,000	0	0	400,000	0
9501	東日本大震災支援預り金	300,000	0	0	300,000	0
9502	○○周年記念事業積立金	0	0	0	0	0
96	特別会計（スマイル）基金	1,380,904	0	0	1,380,904	0
97	行事飲食費預り金	0	0	0	0	0
10001	○ふれあい広場事業	0	0	0	0	0
10002	○那珂川水質調査事業	0	0	0	0	0
10003	○クリスマス家族会事業	0	85,500	0	-85,500	-85,500
10004	○観劇会事業	0	0	0	0	0
10005	○震災遺児孤児支援事業	0	0	1,337,288	1,337,288	1,337,288
10006	○放射能対策講演会事業	0	17,100	0	-17,100	-17,100
104	旅行愛好会預り金	1,367,237	1,631,332	264,095	0	-1,367,237
105	ゴルフ愛好会預り金	43,465	90,000	270,008	223,473	180,008
114	ー流動負債計ー	4,056,526	3,012,152	2,888,611	3,932,985	-123,541
114001	ー負債の部合計ー	4,056,526	3,012,152	2,888,611	3,932,985	-123,541
115	基本金	931,826	0	0	931,826	0
120	ー負債・基本金合計ー	4,988,352	3,012,152	2,888,611	4,864,811	-123,541

幹事報告　吉光寺政雄幹事

回覧中の資料から説明します。

○　マロニエクラシックフェスティバルの案内を回覧中です。

○　青年の主張那須地区大会の小冊子を回覧中です。

○　1月27日世界平和フォーラムの出欠を回覧中です。この世界平和フォーラムは田中RI会長肝いりの事業ということで、米山奨学生、インターアクターにも案内が届いています。それぞれ髙木委員長、鈴木委員長にお渡ししました。

○　次年度米山奨学生受け入れについて案内を頂きました。平山次年度会長にお渡ししました。

○　ガバナー事務所から12月28日から1月6日が休みとの連絡です。

○　那須塩原市役所から巻狩祭りの案内を頂きました。村山委員長にお渡ししました。

○　最後に来年の例会予定をご案内します。

- 1月2日は休会
- 1月9日は新年会
- 1月16日に1月の理事役員会を開催

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　広報/IT推進委員会　大森貞男委員長

フォトコンテストの締切がせまってまいりました。今月29日（土）までで一人が5票が持ち点ですので、奥様も投票が出来ますのでご用意ください。

○　親睦委員会　鈴木隆子委員

親睦委員会よりご連絡いたします。

1月9日は新年会で、**6時30分点鐘**です。楽しい企画もございますので、まだご出席をお決めになっていらっしゃらない方は、どうぞご出席下さいますよう宜しくお願いいたします

○　放射能に関する講演会　半田久一実行委員長

「こどもたちの未来のために、放射能とどう向き合うべきか、放射能について基調講演とシンポジウム」の実施計画書が完成しました。お手元に配布してあるのがそれです。ご覧下さい。

実　施　計　画　書

国際ロータリー第2550地区（栃木県）
ロータリー財団地区補助金プログラム
第1グループ黒磯ロータリークラブ

プロジェクト名

こどもたちの未来のために、放射能とどう向き合うべきか
放射能について基調講演とシンポジウム

・基調講演　茨城大学名誉教授　久保田　護先生

シンポジウムメンバー

・クラブを代表して　秋間忍黒磯ロータリークラブ会長
・那須塩原市を代表して　阿久津　憲二　市長
・幼稚園を代表して　学校法人西那須野幼稚園
　福本光夫理事長
・保育園を代表して　社会福祉法人いぶき会ほし保育園
　星マサ子理事長
・ヨーロッパより日本を視る立場から　アッシジ市
　市議会参与　沢田　高師
・汚染地域外よりの立場から　神奈川県学校法人平和学園
　夏村充元理事長
・日　　時　2013年3月9日（土）午後1時30分～4時
・会　　場　黒磯文化会館　小ホール　定員400名
※展示室を利用して「世界のこども絵画展」を行う。
　午前11時～4時30分
・入場券　整理券を会員事業所・乳幼児施設等にポスター、チラシをもって配布

卓話　スマイルボックス委員会

○　鈴木久雄委員長

秋間年度スマイルを担当する鈴木です。

副委員長に高根沢邦夫さん、委員に髙木慶一さんの3人です。

スマイルボックス委員会の任務なんですが、

・　奉仕活動に要する資金を調達するために、会員にスマイルボックスへの喜捨を推奨する。よろこんで寄付をしていただきたいと思います。
・　スマイルボックスに関する経理を管理し、随時会員個人に実績を知らしむるとなっております。

以上が任務でございます。秋間年度方針で、

第一に、災害支援、ボランティア活動をしている団体をより積極的に支援する。

第二に、特別会計の推移を分かりやすくして、資金の充実、有効活用を図る。

となっております。一人当たり年間30,000円以上の善意の寄付金をよろしくお願い致します。

本日まだ、目標にほど遠い会員の方には、ニコニコと目標不足額をお知らせしますので宜しくお願いします。

本日現在、会員41名スマイルの寄付金は、634,500円です。皆さんもご存知のように、秋間年度、災害支援として、来年5月に東日本大震災の遺児達90名を招待する予定であります。そこで、秋葉実行委員長に予算はどの程度を予定しているか聞いてみたんですが、まだ、検討がつかないと言ってました。とは言え、先だつ物がなければ活動が出来ませんので、そこで、地区からは130万円、クラブからは50万円の複興支援金を予算計上し、合計180万円でありますが、まだ、予算としては、不足の現状ではないかと思われますので、今日は、特別会計、扱う金額の大きい委員会；社会奉仕、国際奉仕、新世代の各委員長さんを中心に各テーブルで討議をしていただいて、対外的奉仕活動資金として稔出出来る資金があるかどうか、話し合っていただきたいと思います。

社会奉仕委員長　村山　茂

社会奉仕委員会の検討結果を申し上げます。社会奉仕委員会の特別会計予算50万円については、各種団体支援金等、使途がほぼ確定しておりますので、震災支援事業に振り向けられる金額は微々たるものです。従いまして、当委員会といたしましては、お手元の貸借対照表をご覧いただきたいと思いますが、地区資金からの133万円と、秋間年度スマイルボックス特別会計予算「東日本大震災復興支援」50万円及び、当クラブの資本金である「基本金」93万円、合計276万円を財源とする。ただし、基本金は、速やかに補てんするものとし、その方法については今後検討する。このようにご提案いたします。

○　国際奉仕委員会　鳥居輝一委員長

関係委員会及び会員との協議の結果を報告いたします。

2001～2012年度のスマイルボックスでの国際奉仕委員会の予算は300,000円で支出は、2011年のタイ大洪水への義捐金で21,500円（会員数43名一人500円）でした。本年の国際奉仕委員会は250,000円で前年より50,000円の減額での予算を組んでおり、当委員会は社会奉仕委員会と歩調を合わせて対外的な奉仕活動を行う計画を立てていますので、委員会といたしましては、予算額（250,000円）満額を東日本大震災復興支援に拠出すればと考えましたが、当委員会のこれからの予期せぬ活動資金も考慮致しまして、200,000円を対外的奉仕活動資金として稔出し、支援することで会員の総意となりました。

○　新世代委員会　鈴木隆子委員長

新世代委員会の予算の件です。

本年度、新世代委員会の予算は35万円です。すでに、5万円をインターアクトの活動資金として黒磯高校にお渡ししました。また、3月の海外研修に黒高から3名参加希望が出ていますので、一人12万円の費用のうち、地区から6万円補助が出るので黒磯ロータリーから1万円づつ補助しますので3万円かかります。

また、引率の先生には地区の補助がないため7万円を会から出します。旅行の保険料が約1万円としますと、11万円予算が必要です。

4月の足尾の植樹の予算として5万円としますと、予備費4万円をとっておいて、10万円を捻出できます。

○　鈴木久男委員長

社会奉仕委員長村山さん、国際奉仕委員長鳥居さん、そして新世代委員長鈴木さんには、熱心な討議をしていただき大変有り難う御座いました。各委員会とも使途がほぼ確定している中での稔出なので大変だろうと思いますが、国際奉仕委員会の200,000円、新世代委員会の100,000円，地区資金1,330,000円、東日本大震災複興支援金500,000円，合計2,130,000円を資金として試算していただくよう秋葉実行委員長に提言したいと思います。

特別会計は、対外的奉仕活動資金としての有効活用が目的なので、秋間会長、理事会の意見等伺い協力して行きたいと思います。スマイルボックス、来年も宜しくお願いします。

○　和気勝利ロータリー財団委員長

本日の卓話の話し合いの中で、特別会計(スマイル)基金を「震災遺児孤児支援事業」に支援金として、振り分ける案がでましたが、今年度は、もう1つ「放射能に関する講演会実行委員会」がございます。第2550地区ロータリー財団委員会より130,000円の地区補助金(旧補助金)が黒磯ロータリークラブへ入金していただけることにはなっておりますが、支出等を考えますとこの金額では不足が予想されますので、こちらの委員会にも特別会計基金の一部を支援金として振り分けていただきますよう、この場をお借りして、黒磯ロータリークラブ会員の皆様と鈴木スマイルボックス委員長にお願い申し上げます。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　お陰様で半分の道程まで進めることが出来ました。

澤田　吉夫君　今年も無事終わりました。来年が良い年でありますように。

● 12月26日欠席(敬称略)

新井聖一・遠藤清和・篠﨑勝則・須藤舜生
髙木慶一・津久井誠二・鳥居輝一・橋本佳明
深町彰・室井次男・佐治鐵造

○ 前回12月19日分メークアップ(敬称略)

須藤舜生・髙木慶一・津久井誠二・鳥居輝一

○ 前々回12月12日分メークアップ

遠藤清和・時庭稔

次回例会　　平成25年01月09日　　親睦委員会　新年会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

秋間年度　第２５６９回　会報　２０１３-１-９　司会　時庭稔君

⚙ 幹事報告　礒勝彦副幹事

幹事報告なし

⚙ 委員会報告　澤田吉夫副会長

委員会報告なし

☺ ニコニコボックス　鈴木久雄君

本日はありません

○ 出席報告　瀬尾紀夫君

次回廻し

新　年　会　：　司　会　進　行　　和　気　勝　利　君

⚙ 会長挨拶　秋間忍会長

新年あけましておめでとうございます。

私の家の洗面所の壁に「あいだみつを」の日めくりカレンダーが吊るしてあります。この日めくりカレンダー、誰がめくることになってるのか決まっていませんが、何故か１月５日で止まっています。

今日は１月９日ですのでしばらくそのカレンダーに書かれている同じ詩を毎日見ることになりました。

「いいことはおかげさま　悪い事は身から出た錆」何故かこの詩が頭から離れなくなり、身の引き締まる思いで今年をスタートしております。

皆様はいかがでしょう。きっと家族団欒の中で和なお正月を迎えられたことと思います。

本日は黒磯ロータリークラブの新年会にご出席下さいましてありがとうございます。

特に奥様方には艶やかなお姿で花を添えていただき、会場がぱっと明るくなっております。前にも申し上げました通り、男は結構ふがいないもので奥様のご理解とご支援があってこそ、はじめて成り立つロータリークラブでございます。どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。

それでは、いよいよ楽しい新年会が始まります。心ゆくまで楽しんでいただきたいと思います。本日はご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

⚙ 鈴木隆子実行委員長挨拶

あけましておめでとうございます。

本日は奥様方にも多数ご参加頂き、華やかに花を添えていただきましてありがとうございます。

今年は巳年で、蛇はとても金運に強いかかわりのある象徴のような存在です。きっと世の中の景気も回復し、いい年になることと思います。

ここにお集まりいただいたみなさまと、ご家族さまが、ますますご健康で本当に幸せな年でありますように、心から願いをこめて、明るく楽しい新年会に致したく企画いたしました。どうぞ皆様、大いに楽しんで素晴らしい年のスタートとしてください。

今回もプロ顔負けの司会でした

和服姿素敵です

平山次期会長の乾杯

楽しんでますか

餅つきお疲れ様でした

3本締め

平山年度の理事役員の皆様

○　フォトコンテスト　大森貞男広報 / IT 委員長

フォトコンテストの結果は上位５名様と佳作２名様の発表します。

- 幹事酒ないぞ　　磯　勝彦
- 撮って　撮って　　秋間　忍
- 仲間と勘違い　　新井聖一
- 35 星霜いやさか　　福島泰雄
- 現在位置は？　　大森貞男

以上５名が決戦投票が同点でしたので、上位優勝といたしました。

次　回　例　会　　1月16日：社　会　奉　仕　委　員　会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2570 回　秋間年度　第 27 回　会報　2013-01-16　司会　福田　逸男君

お客様

ロータリー米山記念奨学生　朱雅雯　様

会長挨拶　秋間忍会長

皆さんこんにちは。

先ほど震災遺児孤児支援事業の秋葉実行委員長より報告がありました通り、明日は震災遺児孤児支援事業の件で秋葉実行委員長、和気副委員長、それと秋間が仙台、石巻方面に行ってまいります。できれば宮城県東部児童相談所、東松島市、石巻市、女川町の各子ども課様にご挨拶させていただきたいと考えておりますが、スケジュール的に訪問時刻が予測できず、どことも面談のアポイントを取っておりません。何とか効率的に行動し目的を達成してきたいと考えております。

話は変わりますが、一昨日の月曜日の今頃の時刻、私と黒磯幼稚園のスタッフ計15名は、沖縄の那覇空港におりました。忘れもしない12時30分発のJAL908便、手荷物検査も終わりラウンジに入って間もなく搭乗開始という時、搭乗ゲイトに制服姿の機長が現れ、「ただいま羽田空港は雪のため着陸できません。那覇を飛び立っても着陸の予定が立たず現在待機中でございます。

お疲れのところ大変ご迷惑をおかけしますがしばらくそのままお待ちください。」という説明がありました。

それからというものは、ラウンジで長い時間待ちました。我々の908便より一つ前に飛び立った羽田行きは、羽田空港直前で折り返し那覇に戻りました。我々より４便後のフライトはしばらくして欠航となりました。予測不能の状態で長い時間待たされていると、いろんな事を考えます。私の息子もおりましたので、明日の業務を考え、職員の数名だけでも名古屋経由で帰すのはどうか？ 万一帰れなかったら場合に今夜の宿はどうしようか？ など不安は尽きません。大学時代の同期で全日空に長いこと勤めていた友人を思い出し、電話をしてみました。「こんな時、羽田の除雪作業はどんな風になるの？欠航はどんな時点で決まる？」大変参考になりましたが結論は出ません。いろいろ考えた末、我々はまな板の鯉、欠航が決まるまでここで待とうい

出席報告　出席委員会　高根沢邦夫君　（出席免除会員数２名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 1月16日	41(2)	33(0)人	8(2)人	84.6%	*	
前　回 1月 9日	41(2)	36(0)人	5(2)人	94.9%	1人	94.9%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

うことにしました。結局その日の午後に那覇から羽田に飛んだ飛行機は、我々が乗った便を含め3便だけ。条件によっては名古屋、関西空港又はでしたが、結果的に幸運と言うより千載一遇の奇跡を感じた次第でございます。

年頭に申し上げました通り、「良い事はおかげさま。悪い事は身から出た錆。」をつくづく感じ、皆様に心より感謝しております。連休を利用して行った職員旅行の報告をもって会長挨拶に代えさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○ 世界平和フォーラムが1月27日に宇都宮文星女子高で開催されます。来週、回覧させて頂きますので奮ってご参加お願いします。

○ ハイライト米山が配信されましたので、髙木委員長にお渡ししました。

○ RI意義ある業績賞の案内を頂きましたので、秋間会長にお渡ししました。

○ ロータリー財団グローバル補助金の案内を頂きました。和気委員長にお渡ししました。

○ 今月のロータリーレートは1ドル82円と連絡がありました。

○ 一年交換留学生の磯杏子さんから12月の月信が届きました。

○ 本日、理事役員会を開催します。別会場になりますのでご注意下さい。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○ 震災遺児孤児支援事業実行委員長　秋葉秀樹

明日17日に宮城県東部児童相談所や石巻、東松島市、女川町の各担当課に事業説明に秋間会長、和気副委員長と私の3名で行ってきます。以上報告となります。

○ 田中徹会計長

・ 年会費(後期分) \100,000

・ クリスマス家族会参加費(参加者のみ) 5,000円(一人)

1月21日に栃木銀行より引落を致しますので準備願います。

○ 半田久一地区諮問委員

次週の卓話は半田が担当ですので、クラブ現況報告書の正誤表について説明したいと思います。各自現況報告書を例会にご持参ください。

卓話　社会奉仕委員会

○ 村山茂委員長

秋間年度の社会奉仕委員会は、副委員長に遠藤清和さん、委員に黒澤洋一さん、植竹一裕さん、津久井誠二さん、村山茂の5名で担当しております。皆様のご協力により、8月には「ふれあい広場」での出店及び収益金の寄付、11月には「那須野巻狩まつり」への協力など実施して参りました。皆様のご協力に対しまして、改めてお礼申し上げます。

また、今後の予定ですが、3月には各種ボランティア団体への活動資金贈呈、4月27、28日（土、日）に開催される足尾の植樹への参加。植樹につきましては、新世代委員会並びに黒磯高校インターアクトクラブとの共同実施となりますが、皆様にも多数ご参加いただければと考えております。さらに、5月以降になると思いますが、那珂川の水質及び放射能残留調査を実施いたします。これにつきましても、地味な作業ではありますが、当クラブが長年実施しているもので、本地域を育む那珂川の源泉から下流域までの調査の重要性は、今後も色あせるものではないと考えております。以上、本年の計画の実施状況および今後の予定を申し上げましたが、今後とも皆様のご協力をお願いする次第です。

さて、本日はクラブフォーラムでございます。今後のクラブ社会奉仕活動について、意見の交換あるいは討論をしてまいりたいと思います。そうは申しましても、一般論ではいかがなものかなと思いますので、3月9日開催予定の「放射能に関する講演会並びにシンポジューム」また5月11,12日（土、日）に実施する予定の「震災遺児孤児支援事業」について、ご意見等をいただければと思います。それぞれ実行委員会を設け、その中で作業が進められておりますので、まずは、その進捗状況を各委員長に報告いただき、それをもとに皆様のご意見をいただきたいと思います。

それでは、最初に「放射能に関する講演会等」について、半田久一委員長よりお願いいたします。

○　放射能に関する講演会実行委員会
半田久一実行委員長

昨年12月12月26日に配布いたしました資料の変更がありましたのでご報告いたします。シンポジウムのメンバーとして那須塩原市長の阿久津憲二様の予定でしたが、都合により来賓としてご挨拶をいただくことになりました。次週の例会にはポスター・チラシ・整理券が出来ますのでお渡しいたしますので、よろしくお願いします。

・開催日時　平成25年3月9日（土）午後1時30分から4時

・開催場所　那須塩原市黒磯文化会館小ホール（入場料無料。ただし定員400名）

開催内容　【基調講演】

演　題　「子ども達の未来のために放射能とどう向き合うべきか？」

講　師　茨城大学名誉教授　久保田　護（まもる）先生

来　賓　那須塩原市市長　阿久津憲二　様

【シンポジュウムメンバー】

- 市内幼稚園代表　西那須野幼稚園　福本光夫理事長
- 市内保育園代表　いぶき会ほし保育園　星マサ子理事長
- ヨーロッパから日本を視る立場で　イタリア　アッシジ市市議会参与　澤田　高（たかし）　帥
- 汚染地域外の立場で　平和学園（神奈川県）　夏村　充　元理事長
- 主催クラブ代表　黒磯ロータリークラブ　秋間　忍会長
- 主　催　黒磯ロータリークラブ
- 後　援　国際ロータリー第2550地区

以上、現在までの進捗状況の報告とします。

○　村山社会奉仕委員長

半田実行委員長、ありがとうございました。それでは、皆様からのご意見等をお願いいたします。特にないようであれば、引き続き震災遺児孤児支援事業について、秋葉実行委員長お願いいたします。

○　震災遺児孤児支援事業実行委員会委員長
秋葉秀樹

支援事業の進捗状況を説明させていただきます。

この事業は、奉仕の理想を掲げる黒磯ロータリークラブが国際ロータリー第2550地区（栃木県）の資金援助を得て、東日本大震災で親を失った震災遺児・孤児の皆さんとそのご家族を那須温泉一泊の旅に無料で招待します。名称は**「なす温泉ドリームバスツアー」**（以下**DBツアー**）です。

事業目的は：

- 東日本大震災で親を失った震災遺児・孤児の皆さんとそのご家族の絆を深めて頂く。
- 東日本大震災の復興を支援したい、何かお役に立ちたいと思う人の存在を知って頂く。
- 栃木県、那須の自然、歴史、そこに住む人々の人情、文化を紹介させて頂く。

宿泊地は栃木県那須町那須りんどう湖ロイヤルホテルになります。

- DB ツアー日時は2013 年5 月11 日（土）～12日（日）の二日間になります。
- DB ツアー応募資格は東日本大震災で親を失った遺児・孤児とそのご家族。
- 遺児・孤児については、3歳以上18歳未満の児童。
- ご家族につきましては、遺児・孤児と同居のご兄弟、保護者（里親を含む）

傷害保険主催者の負担で、保険料一人500 円以上の旅行傷害保険に加入します。

募集人数は遺児・孤児、ご家族合わせて90名ぐらいを予定しております。

その他、個人情報の取り扱い、危機管理、健康管理等におきましても万全の態勢で行いたいと考えています。

この事業を成功させるため、皆様のご協力を賜りたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。

○　村山社会奉仕委員長

秋葉実行委員長有難うございます。それでは、皆様のご意見等をお願いいたします。

○　和気勝利君

震災遺児孤児支援事業費の調達について、過日のスマイルボックス委員会による討議を踏まえ、どのように纏ったのか報告願いたい。

○　鈴木久雄スマイルボックス委員長

秋間年度第25回会報に掲載のとおり、国際奉仕委員会より20万円、新世代委員会より10万円、東日本大震災復興支援金50万円及び地区資金133万円の合計213万円をもとにということで、提言いたしました。

○　和気勝利君

放射能に関する講演会もありますので、それに対する予算についても配慮願いたい。

○　髙木慶一君

東日本大震災の時に会長を務めておりましたが、その際、親クラブである宇都宮ロータリークラブより、神戸ロータリークラブからの震災支援金として、30万円の支援金をいただきました。それを含めて今年度の復興支援金50万円が組まれていると思いますが、事業終了後には、両クラブに報告とお礼状を私と連名にて出していただくことをお願いいたします。

○　村山社会奉仕委員長

確かに承りました。そろそろ時間がまいりましたので、以上で本日のフォーラムを終了させていただきますが、皆様のご支援ご協力を重ねてお願いいたします。有難うございました。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

平山　　博君　結婚祝い有り難うございました。
澤田　吉夫君　雪が思ったより少なくて良かったです。
橋本　佳明君　新年会欠席で申し訳ありませんでした。
　　今年もよろしくお願いします。
秋葉　秀樹君　結婚祝い有り難うございました。
黒澤　洋一君　孫が成人しました。
福田　逸男君　あけましておめでとうございます。

結婚祝

秋葉秀樹君・月江寛智君・平山博君・瀬尾紀夫君・(大森貞男君)

月江寛智君

私は昭和44年（1969年）1月19日に結婚しました。当時は安保反対闘争やベトナム戦争が熾烈を極めていた頃で、結婚した日は東大安田講堂に警視庁の機動隊が入り、全学共闘会議や新左翼と衝突した日であったことを覚えてます。そのような暗い報道の中で、心を和めてくれたのがフィンランドの妖精の森を舞台としたテレビアニメのムーミンでした。その中のスナフキンという釣りばかりしているキャラクターが、時折ムーミンに語りかける人生感や世界観が好きでした。

今日は礒委員長の隣に座ったばかりに、突然の指名で戸惑ってます。この辺で・・・

瀬尾紀夫君

私の結婚は、昭和50年1月29日です。式場は石山さんのまさにこの部屋でした。結婚して驚いた第一号は私が風呂に入るとき、パジャマや下着をきちんと揃えてくれて、結婚してよかったなと思いましたが、いざ風呂に入ろうとすると水でした。当時は給湯器もなくまさに真冬でしたので、とても寒かったのを思い出します。家内をしかる事はできませんでした。なぜなら家内は一度も風呂を沸かした経験が無い温泉旅館の娘でしたから。

誕生祝い

(石山桂子君)

●　1月16日欠席(敬称略)
新井聖一・遠藤清和・津久井誠二・深町彰・藤村聡
室井次男・佐治鐵造・田村吉興

○　前回 1月 9日分メークアップ(敬称略)
月江寛智

次回例会　　平成25年　1月23日　　半田久一地区諮問委員

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区
黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2571 回　秋間年度　第 28 回　会報　2013-01-23　司会　福田　逸男君

会長挨拶　秋間忍会長

皆さんこんにちは。

先ほど吉光寺幹事から退会者について報告ありました通り、残念ながら健康上の理由で昨年末をもって佐治鐵造会員の退会を認めざるを得ないということになりました。去る１月６日にお正月の挨拶を兼ねて最終確認のため、佐治さんを訪問しました。なんでも数少ない難病で有力な治療法は未だ見つかっておらず、病気の進行を止めることが精一杯ということでした。

ところが先週、私が逢った日の翌日７日に佐治さんが心臓疾患で緊急入院したと聞き慌ててまた見舞いに行きました。幸いにも入院検査後の経過は良好で、私が見た１月６日の時より顔色もずーと良く、健康を取り戻したように見えました。心臓の疾患は本人も知らなかったとのこと、これまでの不調はすべて心臓のせいだったのではないかと疑ったくらいです。

「心臓が治れば全て良くなり、今まで思い込みが全部無くなるんじゃない」と言って本人を励ましてまいりました。佐治さんが一日も早く健康を取り戻されることを心からお祈り申し上げます。

さて、震災遺児孤児支援事業については、秋葉実行委員長から先ほど現地訪問等の報告がありました。また、放射能に関する講演会については、半田実行委員長からこれから説明があると思います。実行委員長はじめ、委員の方々が大変なご苦労をして事業を進めてくださっていることに深く感謝申し上げます。

震災の遺児・孤児とご家族にプレゼント！

なす温泉ドリームバスツアー

東日本大震災による遺児・孤児の保護者（里親）各位

逆境にあって希望と勇気をもって未来に立ち向かうには休養が必要です。震災遺児・孤児そして保護者（里親）の方々に元気になってもらいたい、応援している人がいることを知ってもらいたいという願いを込め、なす温泉ドリームバスツアーを企画しました。
奉仕の理想を掲げる黒磯ロータリークラブが国際ロータリー第2550地区（栃木県）の資金援助を得て、震災孤児・遺児の皆さんとそのご家族を那須温泉一泊の旅に無料でご招待致します。

黒磯ロータリークラブ　震災遺児孤児支援事業

＊「なす温泉ドリームバスツアー」の詳細については、別紙「ドリームバスツアー募集要項」をご覧ください。
＊通常の家族旅行を楽しんでください。招待者から特別に個人的事情等をお尋ねすることはありません。（簡単なアンケートをお願いすることがあります。）
＊お申込み多数の場合は先着順、孤児家族優先になります。対象者には後日、行程表、参加証を郵送致します。（ドリームバスツアー当日、各自ご持参ください。）
＊個人情報の保護につきましては、別紙「個人情報保護宣言」をご覧ください。

主催：黒磯ロータリークラブ
2012年7月～2013年6月年度
会長　秋間　忍

後援：国際ロータリー第2550地区
2012年7月～2013年6月年度
ガバナー（地区代表）　鈴木　宏

運営協力：宮城県東部児童相談所

【問い合わせ先】
黒磯ロータリクラブ
震災遺児孤児支援事業実行委員会
実行委員長　秋葉 秀樹
〒325-0051　栃木県那須塩原市豊町13－9
TEL 0287-62-3131　FAX 0287-62-5455
Mail　hideki_akiba@akibacorp.com

出席報告　出席委員会　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 2 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 1月23日	40(1)	33(0)人	8(1)人	84.6%	*	
前　回 1月 16日	41(2)	36(0)人	5(2)人	92.3%	0人	92.3%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

両方の実行委員会に共通して、今やらなければならない大切なミッションがあります。それは我々が今回やろうとしている事業の内容を会員にはもちろん、会員以外の方々にも正確に伝えること、所謂広報活動です。

宮城県東部地区で東日本大震災のために親を亡くされた子供達とそのご家族の方々に、我々の企画した「なす温泉ドリームバスツアー」のことを伝えたい。そして那須塩原市の市民、特に小さなお子様を持つ親に、今回の講演会とシンポジウム「こども達の未来のために放射能とどう向き合うべきか？」が開催されることを知らせたい。

このためにポスターやパンフレット等も用意いたしますが、それ以外の広報活動として例えば、ホームページ、Facebookのいいね！、個人的メールに案内添付など、広報活動にもいろいろなやり方があると思います。

この点につきましては当クラブの広報/IT推進委員会にご協力をお願いいたしました。その他、RI第2550地区、他団体への案内など、いろいろな媒体、方法を駆使して広報活動をやってゆきたいと考えております。

皆様におかれましてもそれぞれの機会をとらえ、今回の2事業につきまして一人でも多くの方々にお伝えいただけますよう、ご協力をお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

【理事役員会報告】

○ 2月プログラムの件、SAA外来卓話の件承認されました。

○ 3月開催のチェルノブイリ放射能汚染対策とその後について報告を頂きました。

○ 震災遺児孤児支援事業について、秋間会長、秋葉委員長、和気委員で石巻まで行って頂きました。その際の交通費、お土産代をクラブで負担する件、承認されました。

○ 退会会員について。佐治会員は12月末時点で退会となります。新井聖一会員から退会願いが出ていますが継続審議中です。

○ 周年事業積立金について昨年度は未積立でした。今年については来月の理事役員会で継続審議となります。

【幹事報告】

○ 今週の日曜日に宇都宮文星女子高で行われます世界平和フォーラムについてご案内します。1月27日正午に石山を出まして、文星女子高に向かいます。お時間間違えないようお願いします。

委員会報告　平山博副会長

○ 震災遺児孤児支援事業実行委員長　秋葉秀樹

先週の1月17日に秋間会長、和気副委員長と秋葉で宮城県東部児童相談所、東松島市、石巻市、女川町の担当課に行ってきました。先方に事業の主旨等を説明させていただきました。好意的に賛同の方向で御理解をいただきました。子供たちは震災から1年ぐらいは現状を理解できずにいたみたいです。今回の支援事業は、時間が経過したからこそ受け入れられる事業です。

クラブのみなさんには進捗状況等を報告していきますので、どうぞご指導と応援のほどよろしくお願いします。

卓話　半田久一地区諮問委員

本日は卓話の時間を頂き有難うございます。黒磯ロータリークラブの現況報告書作成に当たり、その正誤表の文責者として、そのことについてお話しさせて頂きます。

2012～2013年度ガバナー鈴木宏様より、当年度現況報告書の中に二つのことを入れて欲しいとのことです。一つは、「クラブ会員のための」を記載すること、もう一つは、クラブ創立より本年度までの「歴代地区役員・委員名簿」を入れてくれとのことでした。

当クラブは、創立の頃より「会員必携」が記載されており、なじみでありましたが、その様に致しました。「歴代地区役員・委員名簿」は創立よりですので、古い資料現況報告書及び会報等をしらべ、時間と体力がいりましたが、一応まとまりました。尚、チェックと確認がいると思います。会員の皆様には、名簿にもれがあるか無いかを折々に見て頂き、ご指摘頂ければ幸いです。

尚、正誤表と共に訂正張り替え用紙、追加、、記入、削除変更記入、訂正記入等々ページ毎にありますので、折を見て2012～2013年度の現況報告書を正しい情報源として正誤表に従って訂正頂ければ、私は非常にうれしいです。本日はご静聴有難うございました。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

瀬尾　紀夫君　本町自治会の新年会がロータリーメンバー（福田さん、髙木慶一さん、村山さん、植竹さん）に助けられて無事すみました。

結婚祝に一言

秋葉 秀樹君

結婚祝ありがとうございます。私は記念日を覚えるのが苦手なので、絶対に忘れることのない1月1日を記念日にしました。しかし、時が経つのは早いです。来年には宝石屋が数十年前に仕掛けたイベント、スウィート10になります。

気が重いです。

平山博君

結婚祝い有難うございました。38年前の、昭和50年1月23日。まさに今日この日に石山さんのこの例会場で結婚式を上げました。エピソードはいろいろありましたが、忘れた事にしましょう。私達には、子供がおりませんので夫婦喧嘩らしき喧嘩はほとんどありません。

今日は、2人で食事をします。近くの居酒屋で・・・・。

● 1月23日欠席(敬称略)
新井聖一・澤田吉夫・篠﨑勝則・津久井誠二
深町彰・藤村聡・室井次男・田村吉興

○ 前回 1月16日分メークアップ(敬称略)
メークアップ有りませんでした。

次回例会　平成25年01月30日（夜間例会）　SAA委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５７２回　秋間年度　第２９回　会報　２０１３-１-３０　司会　福田逸男君

委嘱状伝達

半田久一君　地区諮問委員・地区運営委員
鳥居輝一君　地区インターアクト委員
田中　徹君　地区 IT 委員
時庭　稔君　地区職業奉仕委員

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんばんは！１ヶ月の間に水曜日が５回ある月に、そのうちの１回を夜間例会にするという今年のプログラムで、今日はその夜間例会の日です。宴会費の追加徴収はありませんので、心おきなく情報交換をして、懇親を深めていただければ誠に幸いです。

さて、先週の幹事報告で新井聖一君から退会届が出ていることが伝えられ、理事役員会では事情不詳のため結論を次月に持ち越すということになっておりました。そのような状況下、植竹一裕君のお骨折りで同君の島流し、又は処払いを考える会が開催されると聞き、私も出席させていただきました。

お酒も入っていましたが、量刑に値する罪状有りや無きやを厳しく問い質しましたところ、「沖縄が好きだ」「恥かしいことはしてない」「家族のことも考えている」「他の医院で働いてみたい」「自らの至らなさも認めている」等々本音を聞かせてくれました。

本来は家族を置き去りにする我侭を咎めて、重く島流しの刑とすべきところではありますが、本人の話に嘘は無く、共感できるところもあるということで情状酌量の上、今回の単身赴任は無冠の王様がビッグダディになるための医療研修と受け止めさせていただくことにしました。

そこで、現在室井次男会員に適用している一定の期間だけ休みを常とする「定期欠席会員」の制度を紹介しましたところ、同君もこれを希望するということでした。

そのような事情で黒磯に戻ったときは、必ず黒磯ロータリークラブの例会に出席するということを条件に、新井聖一君の退会届を却下し、これまで通りの在籍を認めたいと考えております。

正式には２月の理事役員会を経ての決定となりますが、皆様には同君の真意をお含み置きいただき、勇気ある沖縄への単身赴任と当クラブの会員継続を併せてお認めいただきたいと考えます。

今夜は奇しくも夜間例会、とことん論議を交わして皆様のご理解とご支援を賜りたいと考えますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日1月30日	40(1)	30(1)人	10(0)人	75.0%	*	
前　回1月23日	40(2)	33(0)人	8(1)人	82.5%	1人	84.6%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

☸　幹事報告　吉光寺政雄幹事

世界平和フォーラムに参加頂いた皆様ありがとうございました。私は欠席になってしまい、申し訳ありませんでした。

○　2月のロータリーレートは1ドル88円です。

○　次年度会長研修会PETSの案内を頂きました。平山次年度会長にお渡ししました。

○　会員増強セミナー参加の案内を頂きました。石山会員増強委員長にお渡ししました。

☸　委員会報告　澤田吉夫副会長

本日はありません

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

田村　吉興君　連続欠席ごめん

☸　懇親会

○　秋間会長挨拶

私のビジネスの話ですが、どうしても入手したい電子部品が国内では納期的に間に合わず、止むを得ずアメリカ本土から直接購入することになりました。

勿論、発注は英文、決済はカードですが、発注前の問い合わせにもちゃんと返事が来て、いざ発注してみるとその後の出荷、配送体制がとても合理的だと思いました。

IT業界にかかわっていながらいまさらアメリカの出荷、配送体制に驚いてはいられませんが、金額的に2万円に満たない小包が今予定通り配送中で、何時に何処の空港を通過した・・・などの案内がメールで届くと、発注した製品の着荷を待っている側はとしては、何かとても素晴らしいサービスのように思えます。

我々が開発するソフトウェアも皆さんに喜んでもらえるような縁の下の力持ちになるべく、研鑽を重ねなければと改めて思った次第です。

楽しいお酒の席で場違いな話をしてしまいました。

先ほども申し上げました通り、今夜は心置きなく楽しんでください。

澤田副会長による乾杯

穏やかな笑顔すてきです

みなさん輝いていますね

ホームページではお世話になります

新井先生も駆けつけてくれました。

今回は檜山先生の登場が多いですね。

幹事・会長・副会長

檜山直前会長による中締め

コップをもって、はいポーズ

平山さん PETS の案内を頂き忙しくなりますね

● 1月30日欠席(敬称略)
植竹一裕・黒澤洋一・篠﨑勝則・髙木茂
津久井誠二・村山茂・室井次男・礒勝彦
橋本佳明・半田久一

○ 前回1月23日分メークアップ(敬称略)
澤田吉夫

次回例会　　平成25年2月6日　　ロータリー米山記念奨学会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５７３回　秋間年度　第３０回　会報　２０１３-２-６　司会　荒井昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは。私も２月生まれで誕生にまつわるお話をするべきところではございますが、会長の挨拶をもってそれに代えさせていただきます。

通常私が会長挨拶をする時は文章で書かれたものを用意するようにしていますが、今日は原稿の代わりに白黒写真集を用意いたしました。今、回覧中でございますのでそれを見ながら聞いていただければ幸です。

NHKの大河ドラマ「八重の桜」は皆様よくご存知だと思いますが、左上に写っている人はその大河ドラマにも登場する会津藩主松平容保（かたもり）です。そして左下の写真は日本の国定教科書に掲載されていた「水師営の会見」で、日露戦争で乃木希典（のぎまれすけ）が旅順要塞を陥落させた時の写真です。この写真中段左から２番目に映っているのが乃木希典です。

これらの写真に関係があると言うのが今日のお話で、結論から言ってしまえば乃木の後列右から２番目に映っている日本人、陸軍大尉（第三軍司令官付副官）が松平容保の五男松平英雄、後に山田顕義（旧長州藩士）の養子となって山田の娘と結婚し、山田英雄（伯爵）になった人です。戊辰戦争が終わって間もない当時の日本であれほど薩長を憎んでいた会津藩が長州藩と縁組をしていたことになります。

一方、右上の写真は松平容保の孫、勢津子（せつこ）が時の秩父宮と結婚した時の写真です。

松平容保が幕末に京都守護職として天皇家を守ったにもかかわらず、戊辰戦争に負けてから朝敵、逆賊の汚名着せられて苦しんでいた中、会津藩から秩父宮親王妃が誕生したことは、旧会津藩の人たちにとって感激並ならぬものでございました。

今日もきっと会津鶴ヶ城には雪が降って素敵な雪景色だと思われます。八重の桜を見たときにでも、松平家のその後について思い出していただければと考えお話しさせていただきました。

京都守護職時の肖像

晩年の肖像

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日2月6日	40(1)	31(0)人	9(1)人	82.0%	*	
前　回1月30日	40(1)	30(1)人	10(0)人	75.0%	6人	90.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　ロータリー日本財団から案内を頂きました。和気委員長にお渡ししました。
○　米山記念奨学会から案内を頂きました。髙木委員長にお渡ししました。
○　抜草のつづり、皆様のレターボックスに投函しました。
○　那須塩原ハーフマラソンの件､案内を頂きました。村山委員長にお渡ししました。
○　東北大学震災子どもセンターから案内を頂きました。秋間会長にお渡ししました。
○　本日の例会終了後理事役員会が開催されます。ご参加宜しくお願いします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　放射能に関する講演会実行委員会
半田久一委員長

放射能に関する講演会のチラシと整理券及び封筒を皆様の机にお配りしました。チラシ・整理券が不足しましたら私の所にお申し出下さい。

卓話　ロータリー米山記念奨学会

○　髙木慶一委員長

今日は米山奨学生の朱雅文さんは卒業論文作成のため欠席です。2月20日の例会に出席しますので、宜しくお願いします。彼女は3月25日が卒業式です。

そして4月8日帰国予定です。3月27日（水）朱雅文さんの送別会を開催したいと考えてします。詳細が決まりましたら、ご案内しますのでご参加宜しくお願いします。

（財）ロータリー米山記念奨学会は、外国人留学生に奨学金を支給し支援する奨学財団です。最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。奨学生一人ひとりに全国のロータリークラブから世話クラブが決められ、ロータリーとの交流の起点となります。世話クラブ会員から選ばれたカウンセラーは、相談役として精神面を支えます。例会に参加したり、奉仕活動や地域のイベントを体験できるのもロータリーならでは。この制度こそが絆をはぐくむ土壌となるのです。カウンセラーの役目は奨学生に、例会や活動を通じてロータリー精神を伝えて、国際理解、国際親善、国際平和の大切さを理解させることだと思います。中国とは尖閣諸島などさまざまな問題があります。今日の新聞に載っていました､「中国艦船から海上自衛隊の護衛艦に射撃管制用レーダーを照射した」と両国政府間の問題は問題として、民間同士信頼して国際理解、国際親善、国際平和の推進を図らなければなりません。ロータリー情報マニアルの国際奉仕における個々のロータリアンの責務の第1項に､「愛国主義にとらわれず国際理解、国際親善、国際平和を推進する責務を負っているものとみなす。」と書いてあります。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　雪は雪でも立春過ぎです。
福島　泰雄君　誕生祝い有り難うございます。長寿会員を続けたいと思っています。
石山　桂子君　誕生祝いありがとうございました。
月江　寛智君　誕生祝いありがとうございました。
田中　　徹君　誕生祝いありがとうございました。
齋藤　武久君　結婚祝い有り難うございました。

誕生祝コメント

○　和気勝利君

昭和32年2月2日生まれで、今年56歳になりました。生まれた時のことは皆さまも一緒かと思いますが、まだ生まれたばかりで記憶にございません。ただ暗く長いところから出てきたことをボヤーと憶えております???　この場をお借りして屋久島旅行のご案内をいたします。4月の19～21日ハイキングとゴルフ両愛好会主催による屋久島･種子島の旅行を計画いたしました。中日の日に約10時間かけて、縄文杉へのトレッキングを行います。ぜひこの機会にご参加くださいますようご案内申し上げます。また、健康面での不安がある方

は、サポートいたしますのでお気軽にご相談くださいませ。

○　福島泰雄君

私は今年２月８日の誕生日で満85歳を迎えました。出身地は大阪市で、市内西区の靱（うつぼ）と言う処で生まれました。父親は内科医で家の裏にあった靱小学校の校医でしたが私が３歳の時に亡くなり、その後は母親が女手一つで男ばかり４人の私たち兄弟（私は末っ子）を育ててくれました。

大阪は昔から商人の街と言われるほど商業の盛んな土地柄でして私も商人育成には伝統がある大阪大倉商業学校に入学いたしました。この学校の校風に特異なところがあり、私の良き思い出となっていますので、今日はその話を皆様にお聞き頂きたいと思います。

先ず他校と一番違うところは生徒にカバンを持たせず、教材は全て真っ黒な風呂敷に包んで抱え通学させていました。

次に筆記具はと言うと、英語、数学、簿記などは鉛筆を使用しましたが、国語、歴史，修身のほか毎日書くことを義務付けされていた日記は、毛筆を使用していました。毛筆用の墨は墨池という直径３～4㎝ほどの容器に詰めた綿に墨汁を滲み込ませたものを携帯して使っていました。

次は各学年２組づつあったクラス名ですが、これがまた風変わりで1年は礼・智、2年は仁・義、3年は忠・孝、４年は信・悌、５年は１組なので５年組でした。4年悌組の悌の字ですが、これはりっしん偏に弟と書き「年少者が年長者に良く仕えること」を意味しているそうです。その他には、全校生徒が学年に関係なく行うソロバンによる競算会や、甲子園の浜で行う遠泳会（1㎞以上泳げる生徒は白帽、泳げない生徒は例え上級生であっても赤帽着用）などがあります。

この様に思い出の多い学校も、私が卒業する年の春に大空襲があり木造建ての校舎は焼け落ちてしまいました。現在大阪の中ノ島の跡地に「大阪大倉商業学校跡地」の石碑がひっそりと建っています。これで終わらせて頂きます。

○　月江寛智君

誕生祝いありがとうございます。

私の最も古い記憶は３歳のとき母の郷里の上田に初めて汽車に乗り訪ねたことで、汽車の中の様子や初めて会う親類の人々に迎えられた楽しい思い出が残っています。

人は非日常的な事については、記憶に残るものだと思います。戦時中、黒磯には埼玉飛行場があり、そこに繰り上げ卒業の大学生や旧制高校の学生も配属されていて、神社の社務所はその内の３人の宿舎となりました。私たち兄弟は若い３人の軍人によく遊んでもらい、また話しもきき、当時の家庭画報に載ったヒットラーのかっこよさにあこがれたものでした。

戦後、３人の内のひとりは私の従姉妹と結婚し黒磯に残ってやがて市長になり、またひとりは弁護士になり、ひとりは大学教授になりました。その人達と過ごした思い出は懐かしく、また、私たち兄弟に大きな影響を与えましたが、いずれも昨年お亡くなりになり心の支えがひとつ失われました。

○　田中　徹君

私は1950年2月19日生まれで4年前の同じ月日に秋間会長がお生まれになっております。

世間には3-4-3の仕訳があり全体の３割は人に言われずともやるべき事が出来る人。中間の４割は言われれば出来る人。残り３割は言っても出来ないのだからまあ、適当にやってな。・・と。　私は当然ながら残

り３割に属しているわけでそれを自覚できた時生きていく事が楽になりました。

子供時代の記憶はまばらですが、3歳か4歳の頃で覚えている事は８歳上の姉ちゃん(中学生で他界)の背中がお気に入りで、カンガルー宜しく姉ちゃんの背中で育ったようなものです。

また、小学３年頃から竹ひごと紙で作るヒコーキ作りに熱中し肝臓を悪くしてしまいましたので水に入る事を禁じられ、結果今でも泳ぐ事は出来ません。但し体型に恵まれているせいか浮いている事は容易です。

誕生祝

村山茂君・秋間忍君・福島泰雄君・月江寛智君
田中徹君・和気勝利君

結婚祝

礒勝彦君・鈴木隆子君・齋藤武久君

● ２月６日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・植竹一裕・須藤舜生・時庭稔・深町彰
室井次男・新井聖一・藤村聡・田村吉興

○ 前回１月30日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・半田久一・髙木茂・村山茂
礒勝彦・半田久一

次回例会　平成２５年２月１３日　会計

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2574 回　秋間年度　第 31 回　会報　2013-02-13　司会　荒井　昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは。今日は会計の卓話担当ということですが、田中さんのご好意で３月９日に開催される放射能に関する講演会と、５月 11、12 日に実行する震災遺児孤児支援事業のお話もさせていただけると聞いております。

さて、今日はスキーの話をさせていただきます。幼稚園、保育園の冬休みが終り、小学校が一日だけ冬休みが長かった日に、小学３年生の孫を連れてスキーに行きました。平日で風もなく天気にも恵まれましたので、理想的なコンディションでしたが、彼女にとって本格的なスキーを履くのは初めてのことでした。

まず、スキーを片方の足にだけにつけて歩く訓練をしました。それからスキーを反対側の足につけてまた片方の足で歩きました。どちらからとは指示していないのに最初に右足に付けたということは、きっと利き足は右だろうと考え、左足にスキーを付けて歩く練習を少し長くやりました。

それから最初のドリンク休憩は早めに取り、昼食もあまり混まないうちにレストランに入りました。「今日は最初だからお昼を食べたら帰ろうか？」と言ってみましたが「まだやりたい！」ということになり、怪我させないように注意しながら、楽しくスキーをやることができました。

要は、スキーの技術を伝えることよりも、スキーをまたやってみたい、スキーは楽しいということを如何に伝えるかを第一と考えておりましたので 、私のもくろみは功を奏したと思っています。きっと黒磯ロータリークラブのメンバーにも国体クラスのスキーヤーがいらっしゃると思いますが、スキーがうまいことと、他人にうまくス キーを教えられるかどうかとは別問題であることは、誰もが理解していると思います。私も理解していたつもりでしたが、どうやら子育ての時代には見事失敗してしまったようです。

一方、スキーテクニックの話ですが、本能に従えばスキーのスピードが上がって恐怖心が湧いてくると、体重を後に引いて足を踏ん張る体制になるのはごく自然なことです。または車の運転を思い出してもらえば分かりますが、左に曲がりたいと思う時、体重も左に移していくのが自然な行動です。ところがスキーを思いどおりにコントロールしようすると、スピードが出てきても体重を後に移動させてしまってはますますコントロールが難しくなるばかりで、左に曲がりたい時はより右足に体重をかけてゆくようにしなければならなくなるのが一般的です。つまり本能に逆い、理性で本能をコントロールするところに、スキーの面白さが

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 2月13日	40(1)	27(0)人	13(1)人	69.2%	*	
前　回 1月 9日	40(1)	31(0)人	9(1)人	79.4%	3人	87.1%

欠席の場合は当日９時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

あるような気がいたします。
　スキーに限らず理性と本能の戦いはどこにでもあり、頭で考えたようには事が運ばないところに人生の機微があるのかもしれません。
　ご清聴ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

【理事役員会報告】

○　3月プログラム承認の件、承認頂きました。
○　3月に開催されます放射能に関する講演会について、半田特別委員長から説明を受け、協議がありました。
○　5月開催予定の震災遺児孤児支援事業についても秋葉特別委員長から説明を受け､協議がありました。
○　第二回3.11復興イベント協賛について依頼があり、協議をしたところ￥30,000を協賛することで承認されました。これは黒磯駅前活性化委員会が開催する、東日本大震災からの復興を祈念して開催されるものです。
○　周年事業積立金について継続審議となりました。
○　最後に新井聖一会員についてですが、室井会員と同じルールを適用することになりました。例会出席はされませんが籍は残すかたちになります。会費については半期分￥100,000を徴収していますが、￥60,000を頂き、￥40,000は返金させて頂きます。

【幹事報告】

○　次に回覧中の資料ですが2013-14年度の手帳について、購入希望者は〇を付けて回覧下さい。西那須、大田原クラブの会報を回覧中です。
○　ハイライト米山が配信されましたので、髙木委員長に配信しました。
○　一年交換留学生として台湾に行かれている磯杏子さんから月信報告を頂きました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　次年度RI財団　村山茂委員長

セミナー報告

（1）ロータリー財団補助金管理セミナー
- ロータリー財団補助金の概要
- グローバル補助金の立案から報告まで
- 参加資格の認定（本日のセミナーを受講することが第一条件、また、参加資格認定覚書の提出：会長エレクト並びにノミニーの署名）
- 重点分野の目的と目標

（2）第2550地区各委員会報告
- 地域社会奉仕委員会
- ロータリー財団各小委員会
- 補助金推進小委員会
- 財務管理小委員会
- 平和フェロー・奨学金委員会
- 国際交流並びに職業研修チーム委員会（5月19日にGSEにてフランス・リヨンより来訪、20日から25日の間第1グループにて受入予定）
- ポリオ・プラス並びに資金推進委員会
- 学友委員会

　主な内容については以上ですが、次年度以降の地区補助金あるいはグローバル補助金への対応については、関係各委員会にて協議のうえ具体案を作成し、理事役員会にてご審議をいただくという流れになろうかと思います。以上、報告といたします。

卓話　会計委員会

○　田中徹会計長

　本日は会計の担当となっております。本年度から会計処理を複式簿記に変更することになり、支払依頼書の記載に戸惑っておられる方も見受けられますが、書式が変更になっているだけで、記載事項に変更はございませんので今まで通りでOKです。
　仕訳コードの欄などは我々会計担当が記入致しますので空欄のままでOKです。(とは言っても私ではなく事務の佐藤さんですが)加えて単に複式簿記に変更したのみではなく、会員の皆様はインターネット上で何時でも詳細を含めてご覧いただけます。特に委員長さんは御自身の所属する委員会の予算消化状況などを、時折確認されると宜しいかと思います。
　また、今年度は年度終了後皆様に決算書をプリントアウトしてお配りしようかとも考えておりましたが、幸いにしてネット上で開く事が出来ますので、紙の無駄ですのでやめました。この程度しか話す事が無いので、残りの時間は眠気を誘う私の本業であるメッキの話を・・・とも思いましたが本年度実施する東日本大震災関連の事業が2つございます。

3月9日開催の放射能関連講演会、5月11日～12日実施の震災遺児孤児支援事業、この2つの事業は実行委員会にお任せ！ではなくクラブの事業ですから、現在の進捗状況等を説明して頂き、全ての会員が協力して行かねばなりませんので、長い時間ではありませんが宜しくお願い致します。

○　放射能に関する講演会実行委員会
半田久一委員長

放射能に関する講演会事業実行委員会より現況報告を致します。

3月9日(土)も近くなり、例会ごとに会議及び作業を行っています。改めて委員メンバーを紹介いたします。秋間会長と吉光寺幹事をアドバイザーに、月江、村山、和気、鈴木(隆子)、津久井、秋葉、半田のメンバーで準備を進めております。

カラーポスター100枚、カラーチラシ800枚、白黒チラシ800枚、整理券400枚をクラブメンバー中心に、公私保育園22カ所、育児施設6ヶ所、市内公私幼稚園10ヶ所、大田原市内7ヶ所、那須町2ヶ所、第1グループの各クラブ、第1・第2グループガバナー補佐、地区財団補助金管理委員長、補助金小委員長、ガバナー事務所、日伊友好センター4カ所、ギデオン協会栃木北支部のメンバー、黒磯教会の友人、市こども課、その他・・に配布をお願いいたしました。

収客については不安がありますが、放射線、放射能に関する基礎知識を得て、子供達の未来のために、私たちはそれぞれがどう向き合うべきかを得たいと思います。

3月9日には黒磯文化会館で開催いたしますので、当日は会員の皆様方は、役割がありますのでご協力下さいますようお願い申し上げます。

○　震災遺児孤児支援事業実行委員会
秋葉秀樹委員長

震災遺児孤児支援事業実行委員会の秋葉秀樹です。まず、皆さんにお願いがあります。平成25年5月11、12日の予定を支援事業に費やして頂きたいです。早い段階で予定に入れてください。震災遺児孤児が那須に来る際には熱烈大歓迎でお迎えし、お見送りしたいと考えております。よろしくおねがいします。

現在の進捗状況を説明させていただきます。先週、宮城県東部児童相談所、宮城県石巻市市民相談センター、女川町健康福祉課福祉係、東松島市社会福祉事務所、国際ロータリー第2520地区（宮城、岩手）ガバナー事務所、石巻ロータリークラブへ 書類一式（送付状・ ポスター・チラシ・申込書・個人情報保護宣言）をお送りしました。到着案内等を皆さんから連絡を頂きました。役所関係者からは、「考えられる限りの方法により対象者への周知に努めてまいります」等のご協力の言葉を頂いております。

参加して頂ける遺児孤児の年齢が分からないので那須での予定は決まっておりませんが、皆さんのアイディアを募集しております。後日でも構わないので、良いアイディアがあれば秋葉まで連絡頂けると幸いです。

○　秋間忍会長

まだ少し時間があるということで放射能に関する講演会、震災遺児孤児支援事業の話を続けさせていただくことにいたします。

まず放射能に関する講演会の件ですが、半田実行委員長のお骨折りで、茨城大学名誉教授の久保田護氏を講演会の講師として、また阿久津憲二那須塩原市長を来賓としてお招きするということが決まっており、シンポジウムのメンバーも確定しております。現在放射能対策講演会とシンポジウムが来る3日9日にあるということを多くの市民に知っていただくための活動が鋭意進められております。

しかしながら当日の進行、役割分担、タイムスケ

ジュール等についてまだ詳細が決まっておらず、皆様からのたくさんのご意見をお待ちしております。特に、当日の会場における聴衆側の立場でご意見を頂けると大変参考になると考えます。もちろん、シンポジウムのコーディネーターを半田実行委員長に、総合司会を鈴木隆子さんにといった具合で、当日の役割分担もどんどん決めていかなければならないと考えております。

一方、震災遺児孤児支援事業の件ですが、3月中旬に1つの大きな山場を迎えると考えております。と申しますのは、遺児孤児を招待するバスツアーの申し込み期間が3月1日から3月31日までとなっておりますが、3月中旬に申し込みが殺到し、招待者の選考作業が始まっているのか、それとも3月中旬になっても全く申し込みがなく、どうしたら応募者を募れるかと悩んでいるかという岐路がございます。

どちらの事業につきましても、我々黒磯ロータリークラブのメンバーが主体となってこれらを実行するわけであり、どんな小さなことでもお気づきのことがありましたら、実行委員長、又は私までぜひぜひお知らせください。よろしくお願い申し上げます。

黒磯ロータリークラブメンバー各位が、これらの事業をやって本当に良かったという日が必ずや迎えられることを、心から念願いたしております。

☺　ニコニコボックス　田中徹君

鈴木　隆子君　結婚祝い有り難うございました。
村山　　茂君　結婚祝い有り難うございました。
植竹　一裕君　2月11日山形で仕事をしている息子の誕生日でした。私は黒磯で1人祝杯を挙げました。

声をかければお付き合い頂けるとのコメントを頂戴しました。今後素直にお受けしたいと思います。一人酒は寂しいですから！（植竹）

●　2月13日欠席(敬称略)
新井聖一・大森貞男・黒澤洋一・鈴木久雄・髙木慶一・高根沢邦夫・津久井誠二・時庭稔・平山博・藤村聡・室井次男・須藤舜生・田村吉興

○　前回 2月 6日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・植竹一裕・時庭稔

次回例会　　平成25年　　2月20日　　SAA

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５７５回　秋間年度　第３２回　会報　２０１３-２-２０　司会　村山　茂君

お客様

○ 大田原税務署署長　山下　尚志（たかし）様

○ ロータリー米山記念奨学生　朱　雅雯　様

会長挨拶　秋間忍会長

今日は久しぶりに室井次男さんが例会に出席してくださり、何と無く華やいだ雰囲気でございます。私の話の後、ご本人から近況を報告していただきたいと思っております。

さて、今日の例会はSAA担当の卓話ということで、大田原税務署の山下尚志署長様をお招きいたしております。ご公務お忙しい中、我々黒磯ロータリークラブのためにお越しいただき誠にありがとうございます。

山下署長さんを前に大変言いにくいんですが、正直税務署は血も涙もない非情なところと言う印象がございます。きっと正しい知識を持って対応すれば、そんなに恐ろしいことはないと自分に言い聞かせながら、あの時山下署長さんのお話を聞いておいて本当に良かったという日を迎えたいと思っています。

話は変わりますが、NHKの時代劇ドラマで藤沢周平の「蝉しぐれ」を見た後、インターネットで同名の小説を購入しました。紀伊国屋から電子ブックで買うと、小説一冊が手元に届くまで正味一分もかかりませんでした。ちょっとだけあらすじを見ようと思って読み始めましたが、結果的にはあっという間に全部を読み終えてしまい、どうやら時代劇というか藤沢ファンになってしまいそうです。「蝉しぐれ」の中で主人公、牧文四郎が郡奉行の先輩と一緒に山、川、田畑を見回るシーンがございます。強風で倒れた稲の被害を調べてその年の収穫量を予測し、それによって年貢を決めるという設定でした。この取り調べによって年貢が決まってしまう百姓、これによって年貢を取り立てることになる役人も、真剣な気持ちでことに当たったのではないかと勝手に当時を想像してみました。

時代が変わっても税をめぐる議論が尽きることはありません。来年４月には消費税の税率改正があると聞いております。その辺のことも踏まえて、御指南賜わ

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日2月20日	40(1)	31(0)人	9(1)人	79.0%	*	
前　回2月13日	40(1)	27(0)人	13(1)人	69.2%	7人	87.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

れれば誠に幸いです。それでは山下署長様よろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　先週に引き続きロータリー手帳次年度版の購入について回覧中です。購入を希望の方は印を付けて下さい。
○　2011-12 地区年次報告書を回覧中です。
○　5 月に開催される予定の震災遺児孤児支援事業に関し提携している東北大学震災孤児支援室の案内を添付しています。また、ライラの報告書も添付しています。

本日は以上です。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　ロータリー米山記念奨学会髙木慶一委員長

朱雅文さんの今後の日程をお知らせいたします。
2 月 19 日　昨日卒論の提出がすんだようです。
3 月　6 日　例会出席
3 月　9 日　シンポジウムに出席
3 月 27 日　米山記念奨学会委員会主催　送別会
4 月　9 日　帰国

送別会詳細が決まりましたらご連絡しますので、27 日午後 6 時開会で予定に入れておいて下さい。

○　放射能に関する講演会実行委員会 半田久一委員長

例会終了後「放射能に関する講演会実行委員会」の会合を開きます。関係者はお残りください。

卓話　SAA 委員会

○　時庭稔委員長

SAA 担当の時庭です。皆様ご存じとは思いますが、2 月 18 日から 3 月 15 日の間、確定申告の時期となっております。そのようなこともありまして、本日は大変お忙しい中、外来卓話として大田原税務署署長　山下尚志様にお越しいただきました。税に関する貴重なお話をいただきます。

ここで、簡単に山下署長の経歴をご紹介させていただきます。

【　経　歴　】

- **平成 11 年　3 月　慶応義塾大学　総合政策学部卒業**
- **平成 11 年　4 月　国税庁入庁**
- **平成 18 年　7 月　金融庁総務企画局市場課　課長補佐**
- **平成 20 年　7 月　沖縄国税事務所　総務課長**
- **平成 21 年　7 月　国税庁課税部審理室　課長補佐**
- **平成 21 年 12 月　国税不服審判所　国税審判官**
- **平成 22 年　7 月　国税庁長官官房総務課　課長補佐**
- **平成 23 年　7 月　名古屋国税局総務部　総務課長**
- **平成 24 年　7 月　関東信越国税局　大田原税務署長**

それでは山下署長様、よろしくお願いいたします。

○　山下尚志大田原税務署署長

「税務行政について」

移転価格税制は、企業がある国で稼いだ利益を他国へ流出することを規制する税制です。2 つ以上の国に

跨ったグループ企業間の取引で恣意的な価格を設定し、税率が高い国での利益を減らす等の節税行為を規制対象とし、税務調査の対象としています。他方、事前に税務調査の対象から除外するため、国と企業の間で適正な価格を確認する制度も導入しています。

社会保障・税の一体改革の中で消費税は、平成26年4月から8%、平成27年10月から10%に引き上げられ、社会保障の充実・安定化の財源となります。なお、政府においては、価格転嫁対策として、事業者の実態を十分に把握するほか、取引上の優越的な地位を利用した不公正な取引の取締り、監視の強化等を行います。

また、税制改正大綱によれば、相続税は基礎控除が4割引下げられることになるので、課税の対象となる者が現在の4%から6～7%まで増えることが想定されています。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

室井　次男君　欠席ばかりですみません。久しぶりに皆様にお会いできて嬉しいです。

お待ちしておりました室井さん！

お帰りなさい室井さん！

黒磯ロータリークラブ　秋間忍会長

人生長いこと生きていると、健康、経済状況、人間関係などいろいろ山があったり、谷かあったりするものです。室井次男さんは、きっとご本人も想定していなかったと思われますが、このたび健康上のトラブルでしばらくの間入院生活、闘病生活を余儀なくされてしまいました。

しかし精神的にも肉体的にもこれに打ち勝ち、我々の仲間として今回例会に出席して下さったことは、この日を待っていた我々にとりまして大変嬉しいことでございます。理事会の判断で半年をめどに出席より欠席の方が多くなってしまいそうな会員に対し、在籍のまま食事代に相当する会費を減免し、出席できたときにはその実費を負担していただくという制度を採用させていただきました。この制度がどれだけ闘病生活の精神的エネルギーになれたかどうかわかりませんが、今日のようにクラブに戻ると言うイメージがあっただけでもよかったのではないかと考えております。いずれにしましても、健康そうなお顔を見ることができて大変嬉しく思っております。会員全員、室井さんの例会復帰を心からお祝い申し上げます。

● 2月20日欠席(敬称略)
秋葉秀樹・新井聖一・荒井昌一・遠藤清和
鈴木隆子・瀬尾紀夫・田中徹・深町彰・田村吉興

○ 前回2月13日分メークアップ(敬称略)
大森貞男・黒澤洋一・鈴木久雄・髙木慶一
高根沢邦夫・時庭稔・平山博

次回例会　平成25年2月27日　国際奉仕委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2576 回　秋間年度　第 33 回　会報　2013-02-27　司会　荒井　昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは。

黒磯ロータリークラブ主催の「放射能に関する講演会」までの日程がたいぶ迫ってまいりました。どうか皆様の手帳にも３月９日（土）の午後に「RC講演会」とご記入いただきたいと思います。

先週、下野新聞社那須塩原支局長の飯塚様から、3月に開催される放射能に関する講演会について、幾つか聞きたいことがあるということでお電話がありました。整理券が配られるとのですがどこに行けば入手できますか？これにつきましては、パンフレット、ポスターをお願いした市内の保育園、幼稚園を中心に整理券が配られておりますが、当日空席があれば整理券がなくても入場できる旨をお伝えしました。また久保田護先生を講師として選んだいきさつ、著書、略歴等について質問を受けましたので、半田会員のご縁だったこと、一昨年から朝日新聞が長期にわたって連載した「プロメテウスの罠」という記事に久保田護先生の話が載っていましたので、それを紹介させていただきました。

今日は国際奉仕委員会のクラブフォーラムですが、鳥居委員長から少し会長挨拶を長めにしても良いというお許しを得ましたので、「発明」の話をさせていただきます。発明といいましても、鉄腕アトムやドラえもんに出てくる夢のような話ではなくて、特許法で定められた特許発明の話でございます。特許法は工業所有権を定めた法律の中の一つで、実用新案法、意匠法、商標法と並び、技術立国を目指す日本にとりましては大変重要な法律です。

まず、第一章第一条（目的）には以下のようなことが書いてあります。「この法律は発明の保護及び利用を図ることにより、発明を奨励し、もって産業の発達に供することを目的とする。」、そして第二条（定義）には「この法律で発明とは、自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度なものを言う。」と書かれています。

なぜこの特許発明が重要かといいますと、いったん発明に特許権が与えられると、発明を実施する権利について、特許出願をした者には独占的な権利が与えられるからです。つまり自分が取得した特許発明を他人が無断で使用しているような場合、その発明の使用を差し止め、独占を前提にした営みが阻害されたことによる損害を請求することができます。これは市場の独占を禁止した商習慣とは矛盾する意味を持ち、入札時のライバルを排除し、価格競争さえ合法的に無効にすることができます。

それではどのような発明なら特許発明にすることが

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 2 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 2月27日	40(1)	34(1)人	6(0)人	85.0%	*	
前　回 2月 20日	40(1)	31(0)人	9(1)人	79.4%	4人	90.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

できるか、つまり特許要件ついて説明します。

1） 産業上利用できる発明であることが必要です。例えば、人体を構成要件にした健康法などは特許発明になりません。

2） 発明自体が今までになかったものであること、すなわち新規性が問われます。

3） アイディア自体がそれまでの考え方から飛躍的に進んでいると言うこと、所謂、進歩性が問われます。これついては「特許出願の前にその発明の属する分野における通常の知識を有する者が、既存の発明に基づいて容易に発明することができたときはその発明については規定かかわらず特許を受けることができない。」と規定されています。

4） 逆に特許を受けることができない発明についても定められています。「公の秩序、善良の風俗又は公衆の衛生を害する恐れがある発明は特許を受けることができません。」

5） 全く同一の発明が2つ以上出願されている場合、最初の出願に対して特許が付与されます。これを先願主義と言います。

出願された発明がこれらの特許要件を備えているかどうかについて、特許庁の特許審査官によって慎重に審査されます。

特許出願中には特許庁から、こういう理由で特許として認められない旨の拒絶理由通知書が届いたり、それに対していやいやこう言う理由で特許として認められるべきだと意見書を提出したり、場合によっては特許出願時の明細書を修正した手続き補正書（ただし出願時に書いてなかったことについては新たに書き加えることができません）を提出したりします。それでも発明が特許として認められないこともあり、その場合は拒絶査定が確定します。これに不服がある場合は審判制度もあり、審判官の判断を仰ぐことになります。

出願した発明の内容は自動的に公開され、やがて特許発明になるときは、この発明が特許になりますよということが公告なされます。通常これらの手続きには専門知識を要することから、特許出願やその後の手続きなどについて出願人にかわって全ての業務を代行してくれる代理人を専任します。この国家資格を持つ人のことを弁理士とよびます。日本で弁理士資格は弁護士とは独立した資格ですが、外国では弁護士資格を取得している人が、特定の技術分野について修士や博士号を取得してから弁理士になれる制度を採用している国も多いと聞いています。

一方、特許係争となると例えば、アップル、「ピンチ・ズーム特許」に関し、サムスンの回避策は特許侵害を継続と主張「修正されたコードでも特許侵害」、サムスン側は新たな証拠の阻止に挑戦！米国Appleと韓国Samsung Electronicsは来週12月6日、ルーシー・コー（LucyKoh）判事のもと、カリフォルニア州地裁で再び顔を合わせる予定だ。この日に向け、両社は地裁が検討するための新たな証拠を集めているという。Appleは、タッチスクリーンを指2本でピンチして拡大する技術（Pinch-to-Zoom）に関する同社の「915特許」の侵害を回避するため、Samsung側が採用した技術は、同特許の侵害を続けているという証拠を提出する狙いだ。＜後略＞(2012年11月30日)といったニュースがありました。このように、大きな特許侵害事件は国際間の貿易問題にまで発展し、その経済効果は個人の想像を絶する金額となります。

一方、特許権がどのようなものに及ぶかかについては特許出願時の明細書、とりわけ「特許請求の範囲」に記載されています。あくまで一般論ですが、特許請求の範囲が長文で詳しく書いてある場合は特許権が及ぶ範囲が小さく、逆に短文で抽象的概念が書かれている場合は権利の範囲が大きいと考えなければなりません。最後に日本が技術立国を目指す以上、最低でも工業関係の教育機関で特許制度の授業をきちんと行う必要があると思います。そして、これからの若きエンジニアが発明に夢と希望を重ね、新しいアイデアをどんどん実用化してゆくことを期待しております。ご静聴ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

被害者支援センターとちぎからニュースレターを頂いたので回覧中です。

委員会報告　平山博副会長

○　植竹一裕会報委員長

2575回会報ですが、外来卓話の原稿が届いておりません。罰金として延滞税を徴収すると皆様に延滞税を課せられても問題ですので、今暫くお待ち下さい。

○　放射能に関する講演会実行委員会
半田久一実行委員長

例会終了後に会議を開きますので宜しくお願いします。

クラブフォーラム 国際奉仕委員会担当

○　鳥居輝一国際奉仕委員長

本日の卓話は国際奉仕委員会の担当です。暫くの時間お付き合いください。

当委員会は室井次男副委員長、深町彰委員、藤村聡委員と私鳥居の4名で秋間年度を務めております。残りの秋間年度における国際奉仕委員会の活動は、2013年6月23日から26日までの4日間ポルトガル共和国の

首都リスボンで開催されます国際大会の募集があります。ロータリアンは3月31日までの登録料申し込みは15ドル（2月のレート88円＝27,720円）となっております。申し込む期間が4月1日以降は365ドルです。会員の皆様で参加を希望されます方は私に申し出てください。

さて、プログラムを見ますと本日の内容はクラブ・フォーラムとなっております。クラブ・フォーラムとは、ロータリー用語便覧では「クラブ討論会」のことで、「クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の五大奉仕の中から問題を取り上げ、それの実施、推進について全会員が討論して進路を見出そうとする会合である。会員の公式会合。」と記述されています。そこで五大奉仕部門の国際奉仕について、皆様とこれからの奉仕のあり方及び考え方等について討論を進めたいと思います。

まず、私からテーマを絞って進めましょう。

本年私はこの委員長ということですが、個人的な考えを申し上げますと、平成23年3月11日に発生いたしました未曽有の東日本大震災を経験してから前年の澤田国際奉仕委員長の事業実績報告にもありますように、対外的にはタイのバンコクへの水害援助はありましたが、当分の間国内での奉仕活動に重点を置き1年間実施してきました。今年度も私は継続すべきと考えて計画を立てたわけです。本年は私の意に沿った行事になっております。

それは、来る5月11日（土）1泊2日に行われる東日本大震災で親を失った震災遺児・孤児の皆様とその家族を、那須温泉の旅に無料ご招待する黒磯ロータリークラブのイベントがございます。平成24年12月26日スマイルボックス委員会の卓話で、委員会の予算25万円の中から20万円を拠出し協力することに決定いたしました。この部分では本年の計画通りに推移しております。このような計画を立てました秋間会長に敬意を表する次第です。

国際奉仕委員会の活動の考え方を私なりに述べましたが、国際奉仕における個々のロータリアンの責務は世界に目を向けるロータリアンとして愛国主義にとらわれず、自分が国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に持っているものとみなすと記載されています。最近、隣国との領土問題での摩擦があり、そこには日本人のロータリアンの本音と建前があることは事実でございます。皆様の考えをお聞きしたいと思います。それでは何方かご意見をお受けいたします。

○　和気勝利君

その前に国際大会出席に興味を持っていますが、現在まで何方か申込みがありましたか？

○　鳥居輝一君

和気勝利君が初めてです。

○　和気勝利君

わかりました。それでは本題に移ります。

私は、鳥居委員長の意見とは反対で、社会奉仕委員会に全面的に協力していくことには賛成ですが、それと同時に国際奉仕委員会の活動は、並行して実施していくべきと考えます。

五大奉仕委員会がそれぞれの委員会の責任・奉仕活動内容を踏まえて微力でも毎年活動していくべきと考えます。

○　礒勝彦君

以前、WCS活動を継続的に実施しようとしましたが、現在は中断中となっています。当時の委員長の考えで、将来再開した時の為に積立を開始した経過がありますが、今年は活動を再開するお考えはありますか？

あれば、その計画をお聞きしたいと思います。無ければ、このWCS活動の為の積み立てを継続する気持ちはありますか？

○　秋間忍会長

今までにニコニコから20万円を予算に組み入れていましたが本年はどうなりましたか？当クラブが今までWCSのために積み立ててきたお金、40万円が現在、貸借対照表の基金部（負債）に計上されています。

○　鳥居輝一君

本年は東日本大震災の遺児孤児の那須温泉ご招待費用の一部としてお手伝いをいたしましたので、本年度のWCS活動は実施いたしませんので、次年度の申し送り事項とさせて頂きます。

○　半田久一君

それは国際奉仕委員会の計画書*に無いものですのでWCS活動については、クラブとしてまた国際奉仕として検討を加え理事会で審議して頂ければと思いました。

※現況報告書76ページ

○　和気勝利君

クラブ・フォーラムはもともと会員の自由な発言を基盤としてさらに反映していく場所と考えますので、理事役員会で決定することでも、自由な発言はいいかと考えます。

○　半田久一君

今日のようなクラブ・フォーラムは年度当初に会員との協議が必要と思います。

○　和気勝利君

年度始めには、すでにプログラム委員会から年間スケジュールが発表されていて、我々各委員会の卓話では決められた日程に沿ってクラブ・フォーラムを実施するしかないと考えます。

従って半田会員のクラブ・フォーラムは年度始めに行うべきという意見は、我々委員会サイドでは対応出来ないと考えますが、もしその意見をどうしても取り入れるには、プログラム委員会を含めたプログラム作成段階からの検討・改革が必要と考えます。

○　鳥居輝一君

次年度のプログラム委員会の申し送り事項と致します。次期会長にお願いします。

○　平山博君

これについては、次年度国際奉仕委員長とも相談して決定することと致します。

○　鳥居輝一君

それでは他にご意見がないようですのでこれで持ち時間を終了いたします。ご協力誠にありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄 君

田村　吉興君　春よ来い！早く来い!
髙木　　茂君　今年もあと10ヶ月となります。

●　2月27日欠席(敬称略)
新井聖一・澤田吉夫・髙木慶一・津久井誠二
深町彰・藤村聡

○　前回　2月20日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹・鈴木隆子・瀬尾紀夫・田中徹

次回例会　　平成２３年　３月　６日　　会員選考・職業分類委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５７７回　秋間年度　第３２回　会報　２０１３-３-６　司会　時庭　稔君

お客様

ロータリー米山記念奨学生　朱　雅雯様

会長挨拶　秋間忍会長

皆さんこんにちは！

平山次年度会長からPETSのお話を聞くと、もう私の年度も先が見えてきたなという感じがしております。先ほど半田実行委員長から報告がありました通り、土曜日に開催される放射能に関する講演会、シンポジウムでは皆さまにそれぞれの業務分担をお願いしております。我々がこのイベントを行うことで、黒磯ロータリークラブの活動を一般の方々にご理解いただける絶好の機会にもなると思われます。改めてご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

さて今日は、荒井委員長に大変役立つ情報満載の卓話をしていただけると聞いておりますので私の挨拶は手短にしたいのですが、これから当クラブの会計から支出される対外的寄付ついて、その裏づけがあるかどうかを判断していただくためにも、当クラブの現況を手短に説明させていただきたいと思います。それでは配られた資料１ページ目の右上のご覧ください。そこに科目名、期首残高（７月１日）、終了日残高（１月31日）と記載されております。期首残高（７月１日）の欄にご注目ください。この欄には檜山年度から秋間年度にかけて実際どれだけの資金が引き渡されたのかと言うことが書かれています。これを確定するのにほぼ半年の日時が費やされましたが、これこそが複式簿記、発生主義を採用するための起点となる大切な数字です。

先ず、現預金全ての合計は、4,988,352円ありました。この金は７つの口座に分散されていましたが、どの口座に預金されていたから何のためのお金だと簡単に認定できないところが問題です。調査の結果、総額4,988,352円の内訳は次の通りでした。未払金：424,920円、仮受金：140,000円、国際奉仕事業（WCS）引当金:400,000円、東日本大震災支援預り金:300,000円、〇〇周年記念事業積立金：420,000円：特別会計（スマイル）基金：1,380,904円、旅行愛好会預り金：1,367,237円、ゴルフ愛好会預り金：43,465円で、その時点で全く支払等に拘束されない純資金は、511,826円だったことになります。

そして期首残高（７月１日）の右側の欄に記載されているのが終了日残高、当クラブの現況（1月31日時点）です。未収入金を加えると9,163,068円の資産に対して、5,567,493円の支払義務（貸借対照表上の負債）がありますので、純資金は、3,595,575円になります。こ

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日3月6日	40(1)	31(1)人	9(0)人	77.5%	*	
前　回2月27日	40(1)	34(1)人	6(0)人	85.0%	2人	90.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

の中から、残り２～６月分のクラブ経費と特別会計へ支出が執行されることになります。

また、1ページの左側には当クラブの期間収入、支出が書かれています。これを見ていただければ各勘定科目ごとにどうゆう収入がいくらあり、どういう支出がいくらあったかが表記されていますので、秋間年度のこれまでの動きをご理解いただけると思います。つまり昨年の７月１日から今年の１月31日までの間にこれらの収入、支出があった結果として、右側のような資金変化があったことになります。

よくよくご検討いただくと「見えてくる」と思いますが、皆様から会費として徴収したお金だけで、親睦行事、及び例会の食事代はもちろんのこと、その他クラブの運営に必要不可欠な経費は年度末までなんとか賄えると思います。とゆうことは、皆様からスマイルボックスにご喜捨いただいた浄財（120万円が目標）をほぼ全額、対外的活動の資金として使えると考えてよいように思います。本日の理事役員会で、地域の各ボランティア団体対する寄付贈呈額を決定させていただきますが、放射能に関する講演会、シンポジウム、震災遺児孤児支援事業へのクラブ自己負担を視野に入れても、平山年度の次年度資金をも十分残せると見込みでいます。

もしお手元の資料を見ていて、不明なこと、お気付きのことありましたら遠慮なく私までお申し付けくださるようお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　2013-14 年度の地区協議会、財団研究会の案内を頂きました。平山次年度会長、石山幹事、村山委員長にお渡ししました。

○　ガバナー事務所から RI 会長賞の案内を頂きました。秋間会長にお渡ししました。

○　３月のロータリーレートは１ドル 92 円です。

○　台湾に行かれている磯杏子さんから１月の月次報告を頂きました。

○　本日は例会終了後、理事役員会がありますので、理事役員の皆様はご参加をお願いします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　田中徹会計長

本日、１月末までの予算消化状況を配布致しますのでご確認願います。

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

4月7日（日）秋間年度第3回ゴルフコンペのご案内
那須伊王野カントリークラブで開催します。
今回覧してますので、出欠を記入して下さい。

○　平山博会長ノミニー

次年度よりお知らせいたします。

３月３日、会長エレクト研修セミナー（PETS)に参加いたしました。

まず、第一グループガバナー補佐が、片柳　洋さん（西那須野）に決定しており、IMは7月下旬の日曜日を予定されております。

そして、ガバナー公式訪問日程では、黒磯ロータリークラブは8月21日に決定されております。従いまして、ガバナー補佐の訪問は２週間前の８月７日となります。早めのご連絡をさせていただきます。

次に、2013～2014 年度「地区協議会」は４月 14 日（日）に開催されます。各委員長の出席をお願いいたします。後日、石山幹事より正式にご連絡いたします。

○　放射能に関する講演会実行委員会
半田久一委員長

今週土曜日に開催されます講演会とシンポジウムに皆様のご協力宜しくお願いします。

卓話　会員選考 / 職業分類委員会

○　荒井昌一委員長

本年度の委員会メンバーは副委員長に田村吉興君、委員に鈴木久雄君と相馬征志君の４名です。新年度スタートの７月には増強委員会より福島泰雄様の推薦により市内の若手経営者がおりましたので、早速選考を行い問題ありませんでしたので、入会の方を勧めて頂きます様に御願い致しました。又、11月には齋藤武久先生と深町彰先生のお二人から市内の医師２名の推薦がありましたので、こちらも選考致しまして是非入会して頂ける様、両先生に御願い致しましたが３件とも入会に至りませんでした。

本年度も期間が残り少なくなってきてしまいましたが新入会員の増強に御協力の程、御願い致します。職業分類の方は会員の移動がないため前半と殆ど変わりがありませんので、委員会の方の話は以上とさせて頂きます。

残りの時間は最近の石油状況と一部新型車両の話をさせて頂きます。まもなく東日本大震災から2年が経とうとしていますが、岩手、宮城、福島県等の太平洋沿岸部は壊滅的な被害を受けた他に、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故などの発生で、東北・関東の製油所は9ヶ所中6ヶ所で操業が止まり、うち3箇所は長期にわたる休止を余儀なくされ、東日本太平洋側の油槽所も軒並み出荷がストップしました。被災地の給油所や配送中のタンクローリーも大きな損害を被りました。

そのため全国的に十分な在庫を有し懸命な供給に努めたにも係らず、被災地や首都圏においては出荷基点や道路・湾岸等のインフラ障害等から、石油製品の供給が円滑に行われない事態が発生するなど、一部混乱が見られました。しかしながら会社の枠を超え石油業界が一丸となった取り組みの結果、約3週間で震災前の供給体制に戻すなど基幹エネルギーとしても役割は果たせたものと考えています。

電気や都市ガスといった「系統エネルギー」が途絶えた瞬間から、石油は避難所の暖房や病院・原発の非常用電源・緊急車両・避難用車両等の燃料として、持ち運びや貯蔵が容易で緊急時対応力のある「分散エネルギー」の強みを発揮しました。石油はエネルギーの「ラストリゾート」（最後の砦）であり、エネルギー政策において緊急時対応力に優れる石油を再評価し、基幹エネルギーとしての位置付けを明確にして頂きたいと思います。

他方、国際的には2013年は「シェール革命」が注目されます。アメリカを中心にシェールガスやシェールオイルの開発増産が急ピッチで進んで来ており、石油資源の枯渇問題は相当期間、少なくとも50年以上は先送りされるものと見られます。我国のエネルギー政策は、これまでは石油はあと40～50年で枯渇するという前提で考えられていたため、「脱石油政策」として、なるべく早く石油に代わるエネルギーを促進することに注がれてきました。しかし非在来型石油資源を含め中長期的に石油資源の枯渇リスクは低減しており、その前提は崩れつつあるということができます。

今後のエネルギー政策の見直しにあたっては、東日本大震災の教訓である「石油の重要性」を踏まえ、これまでのように国内の石油需要が減少するのを放置するのではなく、平時からのサプライチェーンを維持・強化と安定需要を確保することで、緊急時対応力・供給安定性優れた石油の有効活用を推進することが重要であります。

お別れの挨拶

○　ロータリー米山記念奨学生　朱　雅雯 様

皆さん。こんにちは。去年、米山奨学生として選ばれてから、間もなく一年間になります。一年間ロータリーのご支援をいただくことで、日本での留学生活が問題なくて、順調に進めて、そして自分の勉強にも専念できて、順調に卒業できるようになって、とても感謝しています。ここでは、まず黒磯ロータリークラブの皆さんに感謝の気持ちを表させていただきます。とてもありがとうございます。

奨学金がもらえるため、日本で旅行するという夢が叶いました。北海道とか、沖縄とか、京都など、いろいろなところへ行って、日本の古い文化と自然美を体験しました。経済的な支援だけではなくて、ロータリーの活動と毎月一回の例会に参加して、異なる文化を持つ人と交流して、一緒にロータリーの奉仕の精神を学んで、とても勉強になりました。

地区大会とか世界平和フォーラムなどの活動に参加して、それを通して、私は日本の文化と日本という国に対する理解もだんだん深まりました。特に、東日本大震災後、日本人の振る舞いに尊敬の念を持っています。東日本大震災により日本は甚大な被害を受けました。電気、ガスは止まり、電車も運行することはできず、被害者も多く出ました。しかし、暴動もなく、バスやタクシーを待つ時も整列し、相互に助け合って、食べ物や飲み物などの譲り合いと協力も見られました。日本国民がこの歴史的な災禍に冷静さを保って対応して、一日も早い被災地の復興をめざして頑張っています。日本にとって今度の大地震は歴史的な災禍であるが、或る意味で日本に対する「試練」でもあります。そして、この「試練」を乗り越えている時に、日本人の粘り強さ、忍耐、希望、そして、日本社会に根付く義務感、逆境で寛容、勇気などの精神は世界中を驚かせて、日本の評価を高めました。

米山奨学生の生活が間もなく修了しますが、ロータリーでの生活は自分を鍛えて成長させる二度とないチャンスだと思います。卒業したら、私はすぐ帰国して就職活動を始めるつもりです。帰国した後も学友会の活動に積極的に参加して、日本と中国の相互理解を深めるために微力を尽くします。そして、これからもロータリーとの「縁」を大切にして、奨学生であったことを誇りに、自信を持って人生を歩きます。

結婚祝コメント

○　澤田吉夫君

結婚したのを忘れておりました。

結婚したのは25歳の時で、既に、きみまろの時代に入っております、あれから40年です。私の時には仲人さんがおりまして、前ガバナー補佐の郡司昌義様でした。郡司様は初めての仲人で緊張していたのを、覚えております。おかげさまで、今でも一緒に仲良く家内と過ごしております。

○　田村吉興君

久しぶりに壇上に立たせて頂きます。女房との出会いから50年。あっという間の半世紀。現在の2人の関係は、空気のようなもので、居なければ不便を感じる間柄。まるで生活のTOOL、道具のようなものになりました。モウ少し使わせて頂きます。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

礒	勝彦君	相馬さん有り難うございました。ポルシェ快調です。
遠藤	清和君	春です！
鳥居	輝一君	スマイルボックス委員会から請求書が届きましたので、残金の一部をお納めいたします。
田村	吉興君	結婚祝い有り難うございました。
荒井	昌一君	本日42回目の結婚記念日に卓話をさせていただきます。
澤田	吉夫君	結婚したのをいつだったか忘れました。
半田	久一君	未来の子供たちのための講演会及びシンポジウムが3月9日に文化会館にて開催されます。会員の皆様よろしくお願いします。

結婚祝

澤田吉夫君・荒井昌一君・田村吉興君

雛の御膳

● 3月6日欠席(敬称略)

新井聖一・石山桂子・植竹一裕・大森貞男
篠﨑勝則・須藤舜生・津久井誠二・深町彰
室井次男

○ 前回2月27日分メークアップ(敬称略)

澤田吉夫・髙木慶一

次回例会　　平成25年　3月13日　　ロータリー情報

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2578 回　秋間年度　第 35 回　会報　2013-03-13　司会　時庭　　稔君

お客様

○　宇都宮西ロータリークラブ　　岡川光佑様

私が勤務しております名鉄トラック運送株式会社は平成 24 年 3 月 31 日を以って会社を閉鎖し、黒磯営業所の土地と建物は売却することになりました。

平成 6 年に会社創立 25 周年を迎え、その時の記念事業として記念碑(しあわせ手形)、「九尾の狐」石像、「未知の力」ブロンズ像、「昇竜」タペストリーを制作しましたが、その処分を一任された次第です。

そこで「九尾の狐」石像を、地元那須塩原市に寄贈することが相応しいと考え、市のご了解を得たうえで JR 那須塩原駅西口広場に設置させていただきました。

是非とも機会を見つけてご覧頂ければ幸いと存じます。

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは。お陰様をもちまして「放射能に関する講演会・シンポジウム」が無事終了いたしました。

実行委員の方々はもちろんのこと、それ以外の会員の皆様にも休日返上のご協力を賜りまして誠にありがとうございました。当日の冒頭会長挨拶で、ロータリークラブを会員以外の方々にできるだけ分かりやすく紹介するために、宮沢賢治の「雨ニモマケズ風ニモマケズ」を引用させていただきましたが、ロータリーの信条をうまく伝えるられたかどうかいささか心配をしております。それにしても、今回のような行事をやってみて、黒磯ロータリークラブが発揮できる能力の高さ、すばらしさを改めて思い知らされました。

久保田先生、並びにシンポジウムのパネリスト各位と人脈を築かれていた半田先生、催し物全体の人員配置や運営スケジュールで分刻みの管理をしてくださった村山さん、どこからプロのアナウンサーを連れてきたのかと思うような司会をしていただいた鈴木隆子さん、今年度最後の旧地区補助金を引っ張り出した和気さん、テーマ決定に異色の提案をしてくださった津久井さん、そして、久保田先生が 89 歳で、日立市在住ということから、往復 6 時間の行程を一人で 2 往復運転

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 1 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 3月13日	40(1)	35(1)人	5(0)人	87.5%	*	
前　回 3月　7日	40(1)	31(1)人	9(0)人	77.5%	3人	85.0%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

し、講師送迎をしてくださった秋葉さん、他のたくさんの方々にも献身的なご協力をいただき、全体としてまるで今度の催し物のために必要な人材を集めたような活躍をしていただきました。本当にありがとうございました。

会長の役得で久保田先生と前日の夕食をご一緒させていただきました。肉体的にも精神的にもすこぶるお元気そうな秘密がどこにあるかなぁと興味を持って拝見させていただきましたところ、先ず他人の発言や文章など周囲の変化には注意深く対応され、適度なユーモアと独特の笑顔を交えながらゆっくりとご自身のお考えを述べられているのが印象的でした。

前日は夜遅くまで我々とお話をしてたいにもかかわらず、当日講演を終え、シンポジウムの司会もこなされてから、来場者を入り口で見送ると言って出て行きましたから並々ならぬ気力､体力をお持ちのようです。

察するところ、とことんやってみて何でも心から楽しんでしまう久保田先生のライフスタイルそのものが元気の源ではないかと思うようになりました。一方、これも村山さんのお骨折りで実現できたことですが、来場数が予想外に少なかったにも拘らず来場者からいただいたアンケートは大変すばらしいものでした。

これらを多くの方に知っていただくためにも「放射能に関する講演会・シンポジウム号外」を発刊していただけないかと会報委員会に相談を持ちかけているところです。

本日は、篠崎ロータリー情報委員長の卓話でございます｡それでは篠崎委員長よろしくお願いいたします。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

3月9日の放射能に関する講演会では大変お疲れ様でした。また、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。講師の久保田先生から頂いた放射能を少なくする錠剤をロビーに置きましたので、皆様お持ち帰りください。

【理事会報告】

○　4月プログラムの件、4月17日の職業奉仕委員会卓話と4月24日のクラブ奉仕委員会の卓話を交換して、職業奉仕委員長の秋葉さんが震災遺児孤児支援事業の実行委員長をされている関係で､4月24日を実行委員会として開催します｡3月の事業の放射能に関する講演会､5月の事業の震災遺児孤児支援事業の報告と協議を行い、承認されました。

5月の事業については参加申込者が少ないので一層の宣伝広告をかけることで承認されました。

○　補正予算の件で、社会奉仕委員会が各団体に寄付していますが、寄付額を増額したので各団体には一層の決算状況や活動報告をして頂くことで承認されました。

○　インターアクト台湾研修旅行について、地区からは引率教諭には補助金がほとんど出ませんので、クラブで一部負担する件承認されました。

○　とちぎ命の電話に一万円寄付する件承認されました。

○　周年事業積立金の件、例年通り1万円を各自から引き落とさせて頂くことで承認されました。

【幹事報告】

○　大田原クラブから週報が届いてますので回覧中です。

○　足尾に緑を育てる会から案内を頂きました。村山委員長にお渡ししました。

○　ガバナー事務所から、2013年夏季交換学生の募集を頂きました。高校生が対象ということで、アメリカに約3週間派遣されます。皆様の子弟やお孫さんで参加を希望される方は、私か鈴木隆子委員長までお願いします。

○　ハイライト米山がメールで頂いたので、髙木委員長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　田中徹会計長

3月21日(木) 栃木銀行より引落をさせて頂きますので宜しくお願い致します。

・　周年記念積立金　　全会員　　\10,000
・　旅行積立金　　旅行会会員のみ　\12,000

尚、２０日は祝日の為１９日迄に登録口座をご確認願います。

○　放射能に関する講演会実行委員会

半田久一委員長

講演会が、皆様のご協力により無事終了しました。有り難うございました。

卓話　ロータリー情報委員会

○　篠﨑勝則委員長

皆様方もロータリー活動や仕事を通じて、様々な社会奉仕活動を行っていることは当然承知していますが、本日は私の活動について、お話ししてゆきたいと思います。

私は、平成12年4月に宇都宮地方・家庭裁判所の民事調停委員に任命されてから、順次家事調停委員、司法委員、参与員、専門委員（建築訴訟関係）と任命され、平成20年4月から大田原調停協会会長を務めています。民間人でありながら、特別職国家公務員、非常勤裁判所職員です。これらの関係から、少年非行の問題に取り組んでおり「少年友の会」についてお話しいたします。

青少年は、国の宝

全国 少年友の会 連絡会

「少年非行の用語をわたくしたち社会全般の問題として受けとり、おのおのがその力に応じて、あるいは経済的にあるいは精神的に、少年の非行の防止とその更生に援助協力する。」（昭和41年4月東京少年友の会設立趣意書より）

少年友の会は、家庭裁判所に協力して非行少年の更生を手助けするボランティア団体です。活動の担い手は、主に民間人である調停委員です。1966年に東京に初まって以来、全国各地に拡がり昨年（2009年）には全国の家庭裁判所50庁の全てに協力できる体制が整いました。

これを機に、本年10月20日、全国ネットワークとして、「全国少年友の会連絡会」がスタートしました。

栃木少年友の会は、東京高等裁判所管内（1都10県）で東京、埼玉に次いで、1972（S47）年に設立されました。

少年は社会の子。社会の中で成長します。少年たちは、自分が信頼され愛される存在であり社会とつながっていると自覚できるなら、非行から遠ざかっていくものです。

少年友の会は、冒頭に示されたボランティア精神と、「家庭に光を、少年に愛を」の家庭裁判所の標語を指導理念に、個人・施設・企業など民間の様々なご支援をいただきながら、非行のあった少年の社会守復帰と健全な成長を目指して、これからも、全国各地で活動を続けて参ります。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

岡川　光佑様　長年にわたり営業を続け、ご支援を頂きました事に感謝いたします。

澤田　吉夫君　孫が高校合格いたしました。

半田　久一君　3月9日の放射能に関する講演会及びシンポジウムが会員のご協力により無事に終了いたしました。誠にありがとうございました。

秋間　　忍君　先週の土曜日はご協力有り難うございました。

佐藤　　博君　異常乾燥～火の用心

○　お知らせ：次週3月20日の例会は「春分の日」でお休みとなります。

●　3月13日欠席(敬称略)

新井聖一・須藤舜生・深町彰・室井次男・福田逸男

○　3月6日メーキャップ(敬称略)

石山桂子・植竹一裕・大森貞男

次回例会　　平成24年　3月27日　　地区委員　田中徹IT委員

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５７８－２回　号外：放射能に関する講演会・シンポジウム特集

放射能に関する講演会・シンポジウムプログラム

～～～子ども達の未来のために～～～

平成 25 年 3 月 9 日（土）午後 1 時 30 分
那須塩原市黒磯文化会館小ホール
・主催　黒磯ロータリークラブ
・後援　国際ロータリー第 2550 地区
司会進行　黒磯ロータリークラブ　鈴木隆子

（午後 1 時 30 分）
1．開　　会　黒磯ロータリークラブ会長エレクト　平山　博
2．主催者あいさつ
　黒磯ロータリークラブ会長　秋間　忍
3．寄付金の贈呈
　那須塩原市社会福祉協議会さまへ
4．来賓あいさつ
　那須塩原市市長　阿久津憲二　様
　国際ロータリークラブ第 2550 地区ガバナー　鈴木　宏　様
5．来賓紹介
6．講師紹介　黒磯ロータリークラブ実行委員長　半田久一
（午後 1 時 50 分）
7．基調講演
　茨城大学名誉教授　久保田　護　様
　演題「子ども達の未来のために放射能とどう向き合うべきか？」
＜午後 3 時 00 分＞～～ 10 分間休憩～～
（午後 3 時 10 分）
8．シンポジウム　久保田　護　様による進行
　・パネラー　学校法人　西那須野幼稚園理事長　福本光夫　様
　社会福祉法人　いぶき会ほし保育園理事長　星　マサ子様
　イタリア・アッシジ市市議会参与　沢田　高　様
　学校法人　平和学園（神奈川県）理事長　夏村　充　様
　黒磯ロータリークラブ会長　秋間　忍

9．閉　　会　黒磯ロータリークラブ副会長　澤田吉夫

開会の辞　平山博

会長挨拶　秋間忍黒磯ロータリークラブ会長

皆様こんにちは"黒磯ロータリークラブ第53代目の会長を務めさせていただいております秋間忍でございます。

本日は我々が放射能に関する講演会・シンポジウムを開催させていただきましたところ､那須塩原市市長､阿久津憲二様始めたくさんの方々に御臨席を賜り、誠にありがとうございます。黒磯ロータリークラブに限らずロータリークラブは、この世で苦しんでいる人困ってる人のため､できることを率先垂範してやろう。みんなに喜んでいただけることなら、志のある人を募ってみんなでやろうやろうという団体です。

ロータリーと言う言葉の響きには欧米的な感じがいたします｡しかし私なりの勝手な解釈をご披露すれば、宮沢賢治が病床にあって自分の手帳に記録したあの有名な手記「雨ニモマケズ風ニモマケズ」、最後が気にいっております｡「褒められもせず苦にもされずそういうものにわたしはなりたい」｡ここに書かれているような超我の奉仕こそが私たちロータリークラブ会員の理想とするところだと考えております。

さて、まもなく東日本大震災から２年の月日が流れようとしています。直接被害に遭われた方々のことを思えば我々はまだまだ幸運だったのかもしれませんが、同時に発生した福島第一原子力発電所の事故により那須野ヶ原は汚染され、ここに住む人々に精神的不安とストレスを残しております。

東京電力を恨み、行政に不満を訴える人々がいることも知っています。しかし、我々に出来る事はそれだけでしょうか？今いちばん大切なことはなんでしょうか？

答えは明らかです。我々にとって一番大切なのは未来を生きる子供達です。われわれ１人１人にもまだまだできることがあると考えております。幸、今日は日立市から久保田護先生をお迎えすることができました。そしてそのヒントをいただけるのではないかと期待しております。ご来場の皆様が今日ここで何か1つでも、子供たちの未来を明るくできるものを持ち帰っていただければ、我々にとりましても大変嬉しい事でございます。

運営あたりましては何かと不行き届きのことあるかと思いますが、黒磯ロータリークラブ会員の善意に免じて最後までお付き合いいただければ誠に幸です。本日はご来場ありがとうございました。

子供達の未来のために　放射能とどう向き合うべきか？

講師：茨城大学名誉教授　久保田　護先生

○　黒磯は放射能汚染地です

福島第一原発事故はチェルノブイリに次ぐ参事です。爆発した原発から放出された放射性物質は80%が太平洋に落ちたようです。(図1)。風向きが反対なら、日本全国だけでなく朝鮮半島や中国とロシアの一部も放射能汚染されました。残りの20%だけで福島県のほか数件が汚染され、黒磯の空中線量は事故前の自然放射線の５倍になり、50倍の場所もあるでしょう。

図１　国際原子力機関IAEAの仮定条件に基づく計算値による放射能分布、実測値ではない。

○　放射線被曝の影響

福島第一原発から放出された放射性物質のうちセシウム137は半減期が30年なので、私たちは一生、セシウム137と付き合うことになります。除染は放射能物質を移動させるだけなので、移染とも言われ、費用と効果の点で問題が多く、完全にセシウム137を除くことはできません。

低線量の放射線の影響については専門家の意見が分かれています。自然放射線程度の線量の追加は身体によいという説があります（アメリカのラッキー教授の放射線ホルミシス説)。秋田県の玉川温泉、鳥取県の三朝温泉、新潟県の五頭温泉など多くのラドン温泉が昔から営業しています。

反対に、低線量の長期間の内部被曝は高線量の一時的外部被曝よりはるかに大きな影響を細胞膜に与えるので危険であるという説があります（ベトカウ効果）。子ども達の将来が心配です。

放射線が人体に与える影響は原爆、原子炉作業、医療被曝などに関連して研究されましたが、大抵は短期間で高線量の外部被曝の研究です。内部被曝の研究は少なく、長期の内部被曝が人体に与える影響の研究はほとんどありません。人体に放射性物質を入れ続けて30年経ったらどうなるか調べる実験はできません。私たちの子どもが30年たったらどうなるかを推測するのに、事故後26年経ったチェルノブイリの経験が参考になります。

原発事故による健康被害はガンと白血病が注目されています。チェルノブイリ原発事故では小児甲状腺ガンが多発しました。それまで殆どなかった小児甲状腺ガンが事故後 5 年後から増え始め 10 年後に最多になり、それから減少しました。事故当時の子どもが小児でなくなったからで、大人の甲状腺ガンは増え続けています（図 2、図 3）。放射性ヨウ素が消えてしまってから生まれた子供にも甲状腺ガンが発生していて、セシウム 137 のせいとされています。

しかしバンダジェフスキー教授は日本では心臓血管系の方が危ないと言っています。海がないベラルーシは慢性的なヨウ素不足でしたので放射性ヨウ素がすぐ甲状腺に入ってしまいました。海藻を食べている日本では甲状腺にヨウ素が十分入っているので被害は少なかろうとのことです。

図 2　ベラルーシの甲状腺ガン発病率
図3　ウクライナのキエフ州とイワンコフ郡の甲状腺ガン患者数（1 万人当り）

ベラルーシでは心臓の病気が年々増えているのです（図4）。原因は明確ではありませんけれど、原発事故の影響と考えられています。

図 4　ベラルーシの大人の血液循環系発病数

バンダンジェフスキー教授は放射能汚染地のゴメリ市に 1986 年以降住んでいて 1996 ～ 1998 年に市内の病院で亡くなった大人 71 人、子ども（0 ～ 10 歳）52 人を解剖し、体内の各臓器のセシウム含有量と組織変化を調べました。その結果、低線量の被曝は安全であるというベラルーシ政府に対して危険であると主張し、入試汚職の名目で 5 年間投獄されました。

図 5　ゴメリ州ドブルシ郡に住み 43 歳で突然死した男の心臓の組織、心臓のセシウム濃度 45 ベクレル /kg、組織間浮腫、筋繊維

チェルノブイリ原発はウクライナとベラルーシの国境近くのウクライナ側にあり、事故当時の風向きでベラルーシの方が広く汚染され、被害も大きいのですが、ウクライナの被害も無視デキマセン。ウクライナの放射能汚染地イワノフ郡の出生率と死亡率の経年変化は事故の影響の大きさを示しています。

図 6　ウクライナのイワノフ郡の出生率と死亡率の変化

日本ではこのような統計が未発表ですがフクシマがこのようにならなければ幸いです。放射線の直接の影響よりも放射線を心配して今年は子どもを作らないとか、奥さんが実家に帰ってしまったなど、間接的な影響が大きいようです。

○　心電図変化

バンダジェフスキー教授は体内放射能が高いと心電図変化が多くなると述べています（図 7）。この関係は体内放射能が著しく高い場合でして、日本の現状とは合っていません。

図 7　セシウム 137 の体内量と心電図以上発生率の関係

しかし取手市では市立の小学校と中学校の 1 年生の心電図検査を毎年していますが、平成 23 年と 24 年の検査結果では、その 3 年前に比べて心電図異常者が激増しており（図 8）、汚染度の高い学校ほど心電図異常者が多いことが注目されています。同様な傾向が阿見町立小中学校でも見られました（図 9）。放射能の影響と断定はできませんけれど心配です。

心電図検査をしている学校は多いでしょう。放射能汚染地と非汚染地の学校の心電図検査の結果を 100 校ぐらい集めれば、低線量被曝による心臓障害が起こるか起こらないか判るでしょう。

図 8　取手市立小中学校の心電図異常率
図 9　阿見町立小中学校の 1 年生の心電図異常率

○　放射能汚染地での暮らし方

空中線量が 0.1 ～ 0.3 μ SV/h 程度の放射能汚染地に住んでいる人の生活態度は二つに分かれます。

1. 放射線など考えない。自分の家の周りの放射線はたいしたことないし、少しの放射線被曝は身体によいという説もあるのだから、神経質にならず、放

射線のことなど考えずに暮すがよい。

2. 出来る限りの対策をする。少しの放射線でも危険という説があるので、自分はどうでもよいけれど、幼い子どもの将来が心配だ。放射線対策をしないと20年後に後悔するかもしれないから、出来る限りの対策をして、20年後にやりすぎだったと笑う方がよい。

○ 放射線対策のはじまり

対策は測定から始まります。空中線量の測定器は1万円以下から10万円以上までありますが、どれでも線量の高い所は高く、低い所は低く出ますので、生活する場所を細かく何度も測り、線量の低い場所での生活時間を長くします。放射線量は場所によって大違いで、日によっても変わります。ホットスポットがあるならクールスポットもあるでしょう。ホットスポットの遊び場を除染するよりクールスポットで遊ぶ方が経済的です。

○ 転居

外部被曝を避けるには転居が一番です。県内でも放射線量が低い所があります。茨城県では日立より水戸が低いのです。関西に行かなくても、東北や関東に汚染度の低い場所があります。しかし、子どもの学校や友達との関係や、親の職業と家庭の経済状態で転居は困難な場合が多いです。

○ 保養

転居できないときは非汚染地でときどき保養するのが実際的です。ベラルーシの汚染地の子どもは国費で1年に1回、1か月のサナトリウム保養ができます。サナトリウムは生活設備、教育設備、運動設備、文化活動設備が整っていて、学校の生徒全員が先生と一緒に滞在できます。私が見たサナトリウムにはディスコの設備までありました。日本でも子どもの保養を引き受ける組織が出来始めています。被曝を避けられるだけでなく、他所での生活を知る効果があります。夏は北海道、冬は沖縄、たまには家族そろって海外旅行に行けるといいですね。

○ 食料管理

放射性物質が体内に入る量の9割は食事からです。外部被曝より危険な内部被曝を避けるには食料の管理が肝要です。日立では原木栽培のしいたけや竹の子に放射性セシウムが検出されました。しかし、10ベクレル/kg程度です。年中食べる米や牛乳のセシウム137が少ないことが大事です。100ベクレル/kgが現在の基準値ですけれど、101ベクレル/kgなら危険で、99ベクレル/kgなら安全のはずはありません。基準値以下だから安全とするより、食料のベクレル表示が望ましいのです。

食料の測定装置は150～500万円するので個人が持つのは困難ですが、測定してくれる公共施設増えています。自分の食料を測定すれば安心できます。測定法としては陰膳法が合理的でしょう。

体内の放射能の測定はホールボディカウンターを使います。1台が600～5000万円の装置ですけれど、これで気楽に何度でも測れる体制が望まれます。

○ ペクチン製剤の服用

体内に入ったセシウム137の排出を促進するペクチン製剤が販売されています。ベラルーシの放射線安全研究所ベルラドで開発されたビタペクトと同様な成分で結合剤、甘味剤、ミネラルを日本向けにしたビタミネペクトが米田薬品で製造され、福島、茨城、千葉県で販売されています。

○ 健康な生活態度

放射線の作用で免疫力が低下して病気になりやすいので、健康な日常生活をすることが肝要です。

久保田　護氏　　略　　歴

1924年：茨城県多賀郡高鈴村で生まれる（9月25日）
1940年：日立中学校首席卒業、旧制水戸高等学校入学
1943年：水戸高等学校卒業、東京帝国大学入学
1946年：東京帝国大学卒業、国産鉄工（株）入社
1946年：澤田榮子と結婚、日立市大久保町に居住
1950年：下妻第二高等学校教諭、ロシア語独学開始
1952年：日立工業高等学校教諭
1957年：ソ連工作機械工業視察団員
1962年：茨城大学工学部助教授
1970年：工学博士（東京大学）茨城大学教授
1974年：国体テニス茨城県代表、以降国体本戦出場8回
1980年：茨城県テニス協会長
1990年：茨城大学定年退官、茨城大学名誉教授
1990年：北京国際ベテランテニス大会参加、以降13回参加
1991年：チェルノブイリの子供を救おう会設立
1991年：インドネシア国際親善テニスツアー企画、19回実施
1998年：茨城県シニアテニス連盟会長
2003年：叙勲、勲三等瑞宝章
2011年：バンダジェフスキー論文翻訳出版
2012年：20回目のベラルーシ訪問、定年後の海外渡航55回
2012年：米寿
2013年3月6日那須塩原市黒磯文化会館にて

放射能に関する講演会・シンポジウムアンケート調査集計結果

・　来場者総数 105 名　アンケート回収数 39 件（回収率 37.1%）

１．　本日の講演会・シンポジウムは参考になりましたか。

参考になった	普通	参考にならなかった
35	2	2

２．　どのようなことが印象に残っていますか。

・　バンダジェフスキー氏の本の翻訳者ということで、氏寄りの話しをするのかと思っていましたが、非常にバランスのとれた内容で良かった。特に「保養」については認知度が低いため、宣伝していただいて良かった。
・　セシウム１３７と心臓血管系のえいきょうについて
・　保養とクールスポットの活用　2 件
・　講師紹介の中で、ロータリークラブの理念を説明しながら、講師の人柄をさり気なく話されたのに引き込まれた。
・　放射能汚染数値の把握と対応対策について、暮らし方など、除染が遅くなればなるほど害を受けるのではないかと心配される。
・　心配しすぎはよくない。数字を見て普通の生活をする。基準値は、あってないようなもの。自分の納得度だと思う。
・　放射能汚染地での暮らし方。保養の大切さ。2 件
・　内部被曝の考え方を正しくしりました。有難うございました。
・　食品の数値について、基準値内で高いものを安く、低いものは高く値付けするという話は参考になりました。
・　冷静に事実を見て受け入れることの大切さを再確認した。
・　解りやすかったが物足りない。ペクチン剤を使ってみたい。2 件
・　各施設においても、独自の施策を行っていることを認識しました。
・　放射線対策のお話し、食料のお話し、毎日不安でしたが聞いてよかったです。
・　甲状腺がんになるより、心臓に影響が出る可能性があるということ。
・　データにもとづきはっきり解っていることと、まだ不明なことを誠実にお話しいただけたことが大変よかったです。もっと宣伝して、多くの方に聞いていただきたかったです。3 件
・　将来のために正しく恐れること。
・　体内に入ったセシウム１３７の排出を促進するベクチン製剤が販売されているが、効能　効果を記載できないことが印象に残った。
・　汚染によって免疫力がなくなるということが問題だということを頭に入れておきます。
・　図説 1 ～ 9 は、具体的でわかりやすい。私が誤解いていた点もわかりました。
・　放射能と被害
・　低レベルの放射線なら、人体に影響が及ばないこと。放射線のイメージが少しよくなった。
・　久保田先生の 89 歳のお年で、立ちっぱなしです。ユーモアを交えてのお話しぶり、当地の放射能汚染をよくご存知であることに敬服いたしました。
・　普段から健康な生活をすることが大切。3 件
・　市内の幼稚園、保育園の方々の苦悩がとても伝わった。2 件
・　食品にベクレル表示をするお話しは、本当に願うことなのでよかった。
・　放射能とどう向き合うかというテーマで、危険というのではなく、安全というのでもなく、バランスのよいお話しをされていたと思います。心配なものは心配をして、対策を講じるということは、子どもを持つ親の

多くがそう思うところではないでしょうか。そうしたことも気を使ってか、口にできない雰囲気がありますが、そんな中でこうしたお話は、内心心配だが口に出せない人にとって勇気づけられたと思います。・解りやすかった。

3．　今後どのように対処したいと思いますか。

- 除染の実施
- 出来ることをやりながら、平常心で生活したいと思います。保養は素晴らしいと思います。
- まだ解りません。
- これまでも食品測定など色々気を使ってきましたが、これからも子ども達が安心して暮らせるよう放射線量に注意を払ったり、市のWBC測定事業を利用したり、気を付けて生活したいと思います。今後、地域で保養の意識が根付くとよいと思います。ロータリークラブで主催するご予定はありますか。
- 子を持つ親として内部被曝に気を付ける事しか出来ないので、今後も続けて行こうと思います。
- （本日の講演内容について）意識的に地域の方々にお話ししたい。
- いただいた資料を見ながら考えていきたい。原発反対運動は必要に思う。
- 子ども達のために、何かの活動をしたい。
- 健康な日常生活をしたいと思います。2件
- これといった対処の仕方、やり方はわかりません。今ある現状を知ることができたこと　を感謝いたします。
- ペクチン製剤の正しい使用、入手方法、価格は？
- 原発に頼らない世の中にしたい。
- ペクチン製剤がはやく承認されることが重要
- 市などは20から30年先を見据えて考えて欲しい。
- 個人で出来ることには限界があるので、多くの人に事実を知っていただき、共同できる部分を増やしていきたい。
- 一つの情報に頼るのではなく、色々な情報に耳を傾けるようにしたいと思います。
- 自分にあった対処方法で体内汚染に注意しながら、あまり深く考える必要はないと思いました。
- 除染対策を考えてやりたいと思いました。
- 市のあらゆる業者が一体となって通り組むべき。
- 食品の量、質などを考えれば良いのかなーと。
- 主体的に暮らしや生き方を選択したうえで、具体的な場面、場面で対応する。
- WBCで自分の内部被曝量を知る。
- 線量計を購入して毎日の数値をしる。
- 放射線と共に暮らしたい。将来の子ども達対する対策は各人でするより、国、行政が実施すべきと考える。人類の未来のために、害のない生き方を指導すべきである。
- 放射能に関すること、単なる風聞としてではなく、しっかりした人の話をよく聞いて正しく理解することが大切だと思います。
- 神経質になりすぎず、長い間関心を持って生活していくべきだとおもいました。
- ロータリークラブとして「保養」を企画してはいかがでしょうか。
- 海藻を食べる日本人らしい生活を続ける。
- 子ども達のために何ができるかを、継続して取り組む。

4．　もっと詳しく聞きたいことがあればお書きください。

- 福島第一原子力発電所の今後の処置
- 福島原発50㎞圏内に、安心な生活はいつ訪れるのか。
- チェルブイリはこうだったけれど、専門家として私はこうした方がいいといった具体的な意見が欲しかった。そうすれば、自分の中でもっと考えられると思う。
- 放射性廃棄物の最終処分をどうすればいいか。市内の除染物の処分はどうすればいいのか。除染後、野積みのままだと拡散しませんか。
- 除染以外の対策について

- 福島原発の事故処理を早急に出来る対策について
- 被害者に対する具体的な救済策と心の相談について
- 測定器具について知りたい。
- 保養について知らない人が多いので、制度として行えないか。
- 子ども、孫には影響がないのか。
- ペクチン製剤について
- 久保田先生の著書をもっと読みたい。
- 内部被曝検査の結果、なしと診断されたが、５年後にもう一度検査を受けたほうがいいのか。
- 放射能をプラスに変える技術はないのか。
- 本日の講演内容をまとめ、配布したらいいと思います。来年も是非お願いしたい。
- 体内被曝を行政はどのように考え、どうしようとしているのか。
- 福島の子ども達の癌の補償はどうするのか。関わりを何故認めないのか。国や国民の取り組みにはどのようなことがあるのか。
- 今後とも専門知識のある方の講演が必要である。
- 外部被曝と内部被曝を合わせた危険性など　・1000bq/bodyほどの内部被曝のお話があったと思いますが、それは、どちらで、どんな機種で測定されたものなのでしょうか。
- 幼稚園、保育園では必死に対策して、子どもの安全を守ろうとしたお話しは、保護者にとっての励みになると思います。こうしたお話をもっと広報していただきたいのと、学校ではどのように取り組まれているのかを知りたいと思いました。
- 原発の有無の判断材料になる情報をもっと欲しい。
- 除染方法の資料及び実例

５．　職業をおしえてください。

主婦	5
主夫	1
無職	7
年金生活者	1
地方公務員	2
自営業	2
牧師	2
学生	2
技術者	1
技能訓練士	1
看護師	2
市会議員	2
造園業	1
農業	1
会社員	2
無回答	6
合計	３９

性別　男性×２３、女性×１５、無回答×１

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2579 回　秋間年度　第 36 回　会報　2013-03-27　司会　村山　茂君

お客様

○ボーイスカウト那須塩原第１団副団委員長
薄井　利男様
○那須山岳救助隊副隊長　高根沢修二様
○那須保護区保護司会会長　田代　　稔様
○あったかハート号の会会長　田村　好一様
○ガールスカウト栃木県支部第 34 団団長長谷川まち子様

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは、"本日は、那須塩原ボーイスカウト第一団、ガールスカウト栃木県支部第 34 団、那須山岳救助隊、那須保護区保護司会、そしてあったかハート号の会、それぞれの代表者の方々にご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

黒磯ロータリークラブに限ることではありませんがロータリークラブは他人が困っていることや、苦しんでいることを聞けば、なんとかその力になれないか、そして他の人にもっと喜んでもらえることはできないだろうかと思う仲間で構成されております。

今日ご臨席賜りました方々の活動も、世のため人のために役にたつことを念願して、日々精進されているとお聞きしております。それぞれ目の前の目標は違っていても、他の人の為にやれる事をやろうとするボランティア精神において、お互い我々は同志と勝手に思っております。

しかしながら、いろいろな活動を積極的に推進していこうとすると、幾多の困難にも遭遇するのではないかとお察しいたします。本日我々は、我々自身が用意した心ばかりの資金を贈呈させていただきますが、これは単なるお金ではなく、同志への敬意との熱い想いをのせてお送りするものでございます。遠慮することなく存分にご活用ください。本日はお忙しい中我々の例会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

さて話は変わりますが、一つお願いがございます。今日のお客様にももし心当たりがあればご協力をお願いいたします。例会場入り口脇の壁にポスターを貼らさせていただきましたが、来る 5 月 11 日、12 日に、当黒磯ロータリークラブは、東日本大震災で親を失った遺児孤児をバスツアーに招待いたします。既に参加者募集をしており、まもなく締め切りの日を迎えようとしておりますが、参加希望者数が少なく定員に達しておりません。

そこでお願いです。もし皆様のお知り合いに宮城県の沿岸部、具体的には東松島市、石巻市、女川町近郊に住んでおられる方がおられましたら、このバスツ

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 1 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 3月27日	40(1)	28(1)人	12(0)人	70.0%	*	
前　回 3月 14日	40(1)	35(1)人	5(0)人	77.5%	1人	90.0%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

アーがあることを是非お伝えください。お知り合いが直接震災遺児孤児のご家庭でなくとも、無料のバスツアーが有ることを広くお知らせいただければ幸いです。震災で親を失くした子供たちとそのご家族に、ほんのひとときでも笑顔を呼び戻していただけたら、我々ロータリー会員として本当にうれしいことでございます。勝手なお願い申し上げますが、事情をご推察の上ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幹事報告　礒勝彦副幹事

○　4月のロータリーレートは1ドル94円と連絡がありました。
○　地区から2013-14年度社会奉仕委員会事前アンケートを頂きました。次年度平山会長、石山幹事にお渡ししました。
○　地区インターアクト委員会から4月開催足尾植樹にインターアクターの参加募集の案内を頂きました。鈴木新世代委員長にお渡ししました。
○　同じく地区からインターアクト海外研修参加費の振込について案内を頂きました。
○　次週は4月の月初めの例会なので終了後理事役員会があります。宜しくお願いします。

委員会報告　平山博副会長

○　ロータリー米山記念奨学会　髙木慶一委員長

今晩米山奨学生朱雅文さんの送別会を石山で開催します。参加申し込みされている方は宜しくお願いします。お待ちしてます。

○　村山茂SAA

大森貞男会員より、来る4月6日（土）～15日（月）までの期間において、交通安全市民総ぐるみ運動が開催されることに関して、黒磯ロータリークラブからの人員派遣の要請がありましたので、お伝えいたしますとともに、皆様のご協力をお願いいたします。

詳細については、後日改めてご案内いたします。

卓話　地区ＩＴ委員会　　田中　徹委員

本年度新たにIT委員会が設置されました。

FACEBOOKを利用して情報を発信・・・との計画でFACEBOOKの講習会が実施されました。

次年度も委員会の方向性は変わらないとの事ですが委員会の名称が「ソーシャルメディア委員会」と変更になります。

この事はPETSにて次年度会長さんには知らされていると思います。

次年度の取り組みですが、FACEBOOKを利用して：

1. ガバナーの活動を地区内外のロータリアンに加えて一般の方々へ配信。
2. 当地区内の各クラブの様々な奉仕活動を発信。
3. 本年同様FACEBOOK活用セミナーを開催。
   ソーシャルメディア委員会グループをFACEBOOK上に作成し、クローズな中でFACEBOOKの利用、活用方法などを学んでいく。

このような状況にありますので、是非ともご理解の上ご協力の程宜しくお願い致します。

各種ボランティア団体への活動支援金の贈呈

○　村山　茂社会奉仕委員長

田中地区委員には貴重なお時間を頂戴いたしまして有難うございます。それでは、只今から2012-13秋間年度活動資金の贈呈を行います。ご案内いたしますので、順にお受け取りいただきたいと思います。

- 那須塩原市社会福祉協議会　100,000円
  （3月27日協議会へ持参）
- 那須山岳救助隊　80,000円
- 那須地区更生保護司会　30,000円
- ボーイスカウト那須塩原第一団　80,000円
- ガールスカウト栃木県第34団　80,000円
- あったかハート号の会　80,000円
  （24年10月支払済）

贈呈金額合計　450,000円

それでは、各団体より活動報告等をお願いしたいと存じます。最初に、那須山岳救助隊様お願いいたします。

○　那須山岳救助隊副隊長　高根沢修二　様

日頃、黒磯ロータリークラブの皆様には山岳救助隊に対しまして、大変なご援助をいただきまして誠に有難うございます。本来ならば、隊長がお邪魔致しましてご挨拶いたすべきところですが、所用のため出席できず、副隊長の高根沢でございますが、代わってご挨拶させていただきます。

本日は過分なるご芳志を頂戴いたしまして、重ねがさねお礼を申し上げたいと思います。我々の活動は、夏の遭難事故にたいしましては消防が対応しておりますので、私どもの場合は、秋から冬にかけての活動が主になっております。昨年10月1日には県警のヘリ「男体」を使いまして、私どもと那須塩原署警備隊の三者合同で、黒磯河畔公園でヘリによる救助訓練を行いました。実際にホバーリングを行いまして引き上げなどの訓練を行ったところであります。その後、沼原方面に向かいまして、河畔公園からは６～７分くらいで着いてしまいます。ですから、ヘリの機動力というのは大変なもので、実際の救助活動においては欠かせないものだなと改めて思った次第でございます。このヘリの隊長さんは、もと那須塩原署の署長をやっておりました渡辺さんでして、この方が県警本部の地域課長を兼ねておりましたので、こちらの事情をよく御存じでしたので、そんな関係でこのような訓練が実現した訳でございます。

それから10月20日には実際の遭難がありまして、35歳の男性と母親、知人の男性３名で峠の茶屋駐車場から峰の茶屋、朝日岳、隠居倉から山斗小屋温泉におりて、それから峰の茶屋までまた戻ってくるとのコースで入山しましたが、隠居倉から熊見曽根までは一緒だったが、隠居倉から山斗小屋温泉に行くあいだに一人で先に行ってしまった。そのうち会うだろうということで、峰の茶屋を経由して下山したが、いない。それで救助の要請がございました。実は、私もたまたまその30分後に同じコースを歩いていまして、ですから、いれば当然行き会う筈です。ところが会わなかった。ということで協議した結果、山斗小屋温泉までは多分行ったのだろうから、山斗小屋温泉の大黒屋さんに電話をしてみました。そうしたら、12時30分頃にそれらしき人が旅館の周りをうろうろしていて、宿の方に行ったような感じですよ。とのお話しを伺いましたので、それじゃ裏の方だろう。まっすぐ行くと深山ダムに出る道です。そういうことでその夜７時くらいまでダムの方を探しました。そして、翌日早朝、一軒茶屋の交番に集合しまして、板室方面に向かったところ、コナミの風力発電機の袂でうずくまっている男性がいて、話を聞いたところ「私です。」ということで無事発見できました。

それから３月２日には那須塩原署の警備隊と合同で救助訓練を行っております。これは大丸温泉を出発しまして、歩行訓練それからアイゼンを装着して、所によってはスノーシュー、和かんじきを履いて訓練を行っております。このときは温度が非常に低くてマイナス８度で、雪が降り最悪の状況でしたが、指導センター付近でビーコンによる捜索、ゾンデ棒による捜索、それからブルーシートによる負傷者の搬送などの訓練を行いました。ビーコンというのは、発信器です。冬山に入るときに発信器を付けて入れば、例えば、雪崩にあって姿が見えなくても、電波が発信されておれば追跡できます。ゾンデ棒につきましては、発信器を持ってなくて雪崩に巻き込まれて姿が見えない時に、直径５ミリ長さ４メートルくらいの棒ですが、それを突き刺して捜索するという道具でございます。

マイナス８度というのは非常に寒く、昼食のおにぎりを食べるのに苦労しました。寒くて硬くなり、なかなか噛めないんですね。気温の低い時の食料は、パン類がよろしいかと思います。改めて認識いたしました。

以上、雑駁な話で申し訳ございませんが、本日のお礼と我々の活動の一端を話させていただきました。本日は有難うございました。

○　那須保護区保護司会会長　田代　稔　様

毎年黒磯ロータリークラブ様におかれましては、我々保護司会に対して多額の活動支援金を援助賜り、厚くお礼申し上げます。保護司会の備品購入と運営費に使用させていただきました。

保護司活動は、地域での更生保護の活動を担う民間ボランティアとして、犯罪や非行を犯した人の立ち直りを助けるとともに、犯罪予防活動に取り組んで、地域の安全安心な社会づくりに貢献しています。毎年７月には、犯罪や非行防止と青少年健全育成と罪を犯した人の立ち直りについて地域の理解を深めるため、「社会を明るくする運動」を展開しています。また、再犯

防止のためには、対象者の就労支援が必要です。有職者の再犯は、無職者の四分の一です。那須保護区では、50社以上の協力事業主会が組織されており対象者の就労支援に協力をいただいております。

罪を償い再出発しようとしている人たちを地域社会が受け入れ、立ち直りを支えることで、新たな犯罪を生まない地域のチカラを育むことにつながると考えております。

【那須保護司会の主な事業】

- 研修会の開催
  保護観察所主催で年４回
- 犯罪予防活動の推進
  「社会を明るくする運動」他
- 協力雇用主との連携
  雇用促進
- 専門部活動組織
  ＊総務部：保護司会の庶務、会計と連携し総合的な業務
  ＊研修部：研修に関する事業（定期研修外）
  ＊広報部：機関紙の発行と地域への広報活動
  ＊協力組織部：協力雇用主会更生保護女性会との連携
  ＊地域活動部：社会を明るくする運動を中心とした犯罪予防活動
  ＊社会貢献活動部：社会貢献活動の促進

○　ボーイスカウト那須塩原第１団
副団委員長　薄井利男　様

只今ご紹介いただきましたボーイスカウト那須塩原第一団薄井と申します。本日は、お招きいただきまして有難うございます。なお、スカウト活動にご理解いただき、多大なる支援金の協力をいただきまして有難うございます。

当団はロータリークラブのお世話により発団以来、昨年は35星霜を迎えるにあたり、前団委員長である吉田亜雄より勇退の申し出があったため、新団委員長として髙木慶一氏を迎え、団名称を「那須塩原第一団」と変更いたしました。現在の構成は、団員6名、リーダー4名、ベンチャー隊２名、ボーイ隊４名、下部隊４名の20名です。今月３月24日に市の広報に掲載いたしまして、入団体験をしていただきましたところ、6名参加のうち２名の申込みがありました。今後とも広報活動を継続して行い、スカウトの増強をはかり、青少年の育成に協力していきたいと思います。

当団の主な活動といたしましては、１月の成人式において、スカウトによる受付を行いました。また、今年の大きな目標としては、第16回日本ジャンボリーが山口県で開催されます（７月31日～８月８日の９日間）ので、そこへの参加。リーダーが3名とスカウトが4名参加する予定です。その他、ふれあい広場への参加、巻狩まつりへの参加を予定しております。昨年度は、大森貞男様の紹介により交通安全協会のパレードに参加いたしまして、栃木県交通安全協会の発行するカレンダーの10月のところに当団が掲載されました。

以上のような活動を現在行っております。本日は有難うございました。

○　ガールスカウト栃木県支部第３４団
団長　長谷川まち子　様

ガールスカウト栃木県第34団を預からせていただいております長谷川でございます。今日はお招きいただきまして有難うございます。先ほどは皆様の温かいお志をたくさん頂戴いたしまして、本当に有難うございました。私達ガールスカウトにとりまして、ロータリーさまからの援助金はとっても大きな活動費の一部となっております。

昨年、私たちは20周年というとても大きな節目を迎えることができました。思えばロータリーさまにお世話になりながら何とかやってまいりましたが、発団当時からのリーダーが、やはり、20周年ということになりますと、年齢あるいは環境的に介護の問題やいろいろな事情が出てまいりまして、昨年は、本当に、このガールスカウト第34団をこのまま継続できるのかどうかとても揺れた１年でございました。スカウトたちにも負担をかけた部分もあったかなと思いますが、休団も一応考えたりもいたしましたが、みんなで知恵を出

し合って、今年新たな一歩といたしまして、父兄全員のリーダー登録をお願いいたしました。よくお話をすれば解っていただけることが判りました。全員で登録していただくと、月に一度だけのお手伝いで充分活動ができる状態になりましたので、何とか今年もみんなで頑張ってまいりたいと思います。私たちはスカウトはいるのですが、指導者不足ということで、ちょっと活動が控えめになっていた部分がありました。

昨年は20周年記念行事といたしまして、ロータリーさまからいただいた援助金で、全員でスカイツリーの見学に行ってまいりました。それから、栃木県連盟といたしまして、先程会長さんからもお話がありましたが、石巻の皆さんと何度か交流を持ちまして、ボランティアにも出かけております。これは、栃木県連盟の継続事業としてこれからも続けていくつもりです。今月の30,31日には、私達34団からも高校生スカウト2名が参加してボランティアに行ってまいります。ですから、先程のドリームバスツアーもお話をお伺いさせていただいて、ご一緒に活動させていただけたら大変うれしく思っております。

どうぞこれからもよろしくお願いいたします。本日は本当に有難うございます。

○　あったかハート号の会　会長　田村好一　様

只今ご紹介いただきました田村でございます。黒磯ロータリークラブの皆様にはいつも大変お世話になりまして、多大なる支援金をいただきまして本当に有難うございます。

私どもの会は、本当に弱小、小さい会でございまして、ロータリークラブ様からの支援金が、私どもの命綱でございます。これを資金として1年間何とかやらせていただいております。

あったかハート号の主な活動は、体の不自由な方。当然、お年寄りもそうですが、そのような方々を外に連れ出してみよう。毎日はできませんが、年に何回か一緒に楽しい一日を過ごせたらなということで始めました。今年で24年目になります。1年間運行を休んだ年がございますので、今年は23回になります。毎年1回一日の旅行ということで、市外に出ております。以前は、200人、300人と非常に多くの皆さんをお連れしてまいりましたが、最近では、参加する方が少なくなってまいりました。少なくはなりましたが、参加する方のお話を伺いますと、なかなかそういう機会がない。出かけたいんだが、そういう手段がない。機会がないという方が結構いらっしゃいます。ですから、少なくなったから止めようということではなくて、そういう方々のためにどうしたら楽しい一日を過ごせるかな、など、また別の角度から考える必要に迫られております。それで、昨年は、那珂川水遊園に行ってまいりました。それから小砂焼のほうで体験してまいりました。このように、遠いところではなく、近いところでお互いの交流する時間を増やそう。11月11日でしたが、やってまいりました。お蔭様でお天気も良くて楽しい一日を過ごせました。参加者の内容を見ますと、全部で80名の参加者のうち42名の方が60歳以上、80歳以上が9名、そのうちの9名が女性です。そしてお話を伺うと、行きたい方はもっといたんですが、情報が伝わってこなかった。知らなかったということでした。ですから、反省点としては、もう少し隅々まで募集要項が行き届くような手段を、今後考えていかなくてはならないなと思っております。回覧板なども、若い人だけが見てそのまま回してしまう。その世帯の高齢者に情報が伝わらないといったことがあるようです。このようなことで、ロータリーの皆様からの支援金は、余すところなく十分に活用させていただいております。われわれの会員は25名なんですが、20年前の方が随分いるんです。ということで、我々もだんだんお世話になる方へ近づいてきているのかな、などと話しております。ですから、もし入りたいという方がいらっしゃれば、是非、会員になっていただきたいと思います。

本当にいつもご援助いただきまして有難うございます。本日は有難うございました。

○　村山　茂社会奉仕委員長

皆様、大変有難うございました。皆様とともに、明

るく活力ある地域作りに少しでも貢献出来ればと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。以上で、社会奉仕委員会のお時間を終了といたします。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

相馬　征志君　23日、今年最初の山行きを楽しんできました。今シーズンも少しは歩けそうです。

朱　雅雯さん　送別会

3月27日18:00より、米山留学生の朱さんの送別会が石山さんで開催されました。大学を無事卒業し、4月8日に帰国されるそうです。

ﾛｰﾀﾘｰを体調を崩されて退会された佐治さんからもメッセージを頂きました。この時期は様々な集まりが重なり参加人数が少ないながらも楽しいひとときを過ごす事が出来ました。日本での経験を糧に、中国で頑張って下さい。

写真は参加メンバー移動です。藤村さんの隣に並ぶと実際よりもスマートに見えます。（植竹）

● 3月27日欠席(敬称略)
荒井昌一・新井聖一・遠藤清和・吉光寺政雄・澤田吉夫・須藤舜生・月江寛智・津久井誠二・時庭稔・深町彰・藤村聡・室井次男

○ 前回 3月14日分メークアップ(敬称略)
福田逸男

次回例会　平成25年　4月　3日　雑誌委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５８０回　秋間年度　第３７回　会報　２０１３-４-３　司会　時庭　稔君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは。髙木慶一ゴルフ愛好会長から案内がありました通り、今度の4月7日には秋間年度第3回目のゴルフコンペが開催されます。私も久しぶりにゴルフができると楽しみにしておりましたが、2550地区と第一グループの会長幹事会がこの日に重なってしまって、ゴルフコンペには出場できなくなってしまいました。当日の好天と楽しいプレイができますようお祈り申し上げます。

来る5月11、12日に当クラブが企画している震災遺児孤児支援事業（バスツアー）につきましては、秋葉実行委員長のお骨折りで予定の通りの準備が進められておりますが、現在のところ参加申込者が少なく、呼びかけに苦慮いたしております。この時点で我々に何ができるかと知恵を絞っておりますので、皆様からのご提案、ご意見、アドバイスをお待ち申し上げます。

震災で親をなくした子供たちを旅行に無料で招待するというアイデアは大変良いとは思っておりますが、実際に家族全員の日程を調整してこれに参加するとなるとなかなか調整がつかないのではないかと懸念しております。

いずれにしましても、このまま手をこまねいているわけにはいきませんので宮城県東部の現地新聞、河北新報にもう1～2度事業のPR広告を入れたいと考えております。

さて話は変わりますが、皆様のご記憶で「化学調味料」という言葉と「味の素」という言葉のどちらを先に耳にされたでしょう。

会場からも声がありましたように、「味の素」の方が早かったと記憶しています。これと同じような現象は「プリウス」と「ハイブリット車」、それから「iPhone」と「スマートフォン（スマホ）」などの関係にもみられます。革新的なものが世の中に出てくる時には、商品名の方が先に知られることが多いと言えそうです。

「化学調味料」というものが初めからあったわけではなく、「味の素」や「いの一番」が出てきて初めてそれらを括る総称として化学調味料が出てきたわけです。

こんなことを考えながらパソコンの市場を振り返ってみると、われわれの記憶にある出始めの頃のパソコンは、基本ソフト（OS）がWindows95でハードのメーカーが大変気になりました。NEC、富士通、東芝などどこのメーカーのパソコンを買うかは、個人にとって非常に重要な決定事項でありました。

その後 Windows98、NT、XP、Vista、7、8と基本ソフトの世代も変わり、パソコンに対する世の中の要求も変わって参りました。当初パソコンは、文字通り1人

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日4月3日	40(1)	36(1)人	4(0)人	90.0%	*	
前　回3月27日	40(1)	28(1)人	12(0)人	70.0%	4人	80.0%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

が１台を使うもので、他の人との連携はあまり考えられていなかった時代、同じ事業所内ならばお互いに情報を共有できる、いわゆるローカルエリアネットワーク（LAN）の時代、今では世界中どこにいても同じ情報を簡単に共有できる時代を経て、インターネットにつながらないパソコンはパソコンではないと呼ばれてしまう時代に突入いたしました。

さらにiPhoneに代表される「スマホ」の進出や、iPad、iPad miniに代表されるタブレット端末の進出は、パソコンの概念をも大きく変えようとしています。

通称名が出る前の最新商品を先駆けて購入すべきとまでは考えませんが、道具が通称名で呼ばれる頃にはその道具がどんなもので、自分に何が出来るようになるのかくらいのことは知っておいたほうが良いのではないかと考えています。

生活や価値観の変化も、新しい道具の出現と、それを利用して生きる我々自身のライフスタイルが変わることによって引き起こされていると考えるのは、ITに関われ者の思い込みでしょうか？

ご清聴ありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

先週の例会は欠席して失礼しました。ピンチヒッターの礒副幹事がバリバリやってくれたと聞いて安心しております。

○　まずはアジア学院から入学式の案内を頂いております。鳥居国際奉仕委員長にお渡ししました。宇都宮クラブから来年度のインターアクト年次大会の案内を頂きました。鈴木新生代委員長にお渡ししました。

○　インターアクト台湾研修旅行の助成に対するお礼状が届いています。鈴木新世代委員長にお渡ししました。

○　西那須クラブから会報を頂きました。回覧中です。

○　秋間会長の会社でお客様に配布している会社報に、５月の震災遺児孤児支援事業の案内が掲載されました。併せて回覧中です。

○　本日は例会終了後理事役員会がありますので、理事役員の皆様はお残りをお願いします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　鈴木隆子新世代委員長

新世代委員会よりご報告申し上げます。先週（3月24日から）インターアクトの台湾旅行研修に黒磯高校のメンバー３名と顧問の先生１名が参加し、無事に行って参りました。

積極的に行動する事など、いろいろ刺激も受けてきたようです。後日、生徒達から、直接発表の場を用意いたします。ご支援有り難うございます。

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

秋間年度第３回ゴルフ大会を４月７日（日）那須伊王野カントリークラブで開催いたします。８時30分集合ですので参加者は遅れないようにご集合下さい。

○　齋藤武久君

花の季節となりました、今年は南の方は異常な早さで咲いてきました。例年のごとく今年も８回目の「桜追っかけミステリー小旅行」を開催します。花が残っていることを祈るばかりです。

開催日：４月29日（昭和の日）。
集　合：市役所前広場。
行き先：ミステリーです。桜が咲いている所。
出　発：６時00分～７時30分。行き先によって出発時間が変わります。前日までに出発時間をお知らせします。早い出発の場合は、那須SAまたは上河内SAで、おむすび等を仕入れる時間を取ります。各自で仕入れて下さい。

○　村山茂社会奉仕委員長

社会奉仕及び新世代委員会からご案内いたします。来る４月27日（土）NPO足尾に緑を育てる会主催によります「春の植樹デー」に、黒磯高等学校インターアクトクラブ員並びに顧問教諭と合同で参加いたします。

つきましては、本日より参加申込書を回覧いたしますので、多くの皆様の参加をお願いいたします。なお、当日の行程・準備事項は次の通りですのでご確認ください。

・日　　時　平成24年４月27日（土）午前８時出発。
・集合場所　割烹石山さん駐車場。バスを準備しました。
・現地到着　午前9時20分(足尾町大畑沢緑の砂防ゾーン)。
・作業時間　午前10時～午後１時まで（昼食を用意いたします)。
・準備事項　軍手、雨具、シャベル、リュック（両手をフリーの状態にするため必須）マイ箸　マイおわん（豚汁のサービスがあります)、ヘルメットもしくは帽子。
・帰着時間　午後３時30分予定。
・反 省 会　午後４時「道とん堀」さんで反省会・交流会を開催します。

卓話　雑誌委員会

○　深町　彰委員長

雑誌「ひととき」に、中西　進（国文学者）が書いた「停車場」というエッセイがある。その冒頭に、「バスは今でも停留所ということばが残っているのに、鉄道では、もうだれも停車場とはいわなくなってしまった。むしろ停車場というとアメリカの西部劇を連想するかもしれない」との一文があった。

本日は、平成24年10月17日で、午後8時過ぎ東海道新幹線にて大阪に向かっているところである。日本脳神経外科学会総会に出席の予定である。

時間もあるので、近頃の外来診察をぼんやり思い出していた。ある患者との会話で、北茨城市に最近その人が行って来たとのことであった。話を合わせるために、野口雨情記念館は、震災後どうなっているか、などの質問をしていた。診察後、隣で一緒に仕事をしてした若い看護師に、雨情を知っているかと尋ねてみた。知らないという。作詞家を知らないことは多々あるので、その点はそうかと思い、次に「雨ふりお月さん」という童謡はどうかときいてみた。やはり知らないという。では「しゃぼん玉」はどうかというと、少しは知っているとのことであった。由紀さおりと安田祥子の姉妹も、童謡のコンサートは今後やらないとのことでもあり、世代の違いもあり、昔の歌が忘れ去られるのも仕方がないのかと、その時は考えていた。

それは我慢できるとしても、過日、別の患者が、「私はつんぼですので、よろしくお願いします」とのことであった。私にしては普段は出さない大きな声で診た後、別の若い職員たちに確認したところ、つんぼという言葉を知らないという。えっ、と思い、おし、めくらのこともきいてみた。やはり知らないとのことであった。

いくら差別言葉がいけないとはいえ、日本語の基本ともいうべき言葉が全く禁じられていることに、唖然としてしまった。つんぼ、おし、めくらなどをその当人達に言うことは、いけないこととは思うが、それにしてもその言葉をまったく知らない、教えられていないということに、抵抗感、いや不安感を覚えた。最早、これ等も死語となりつつあることはたしかなようだ。何かが変だ。その相手に、直接言うことは失礼であるということを、教えるあるいは学ぶのが日本のこころだと思うが、どうだろうか。差別言葉を禁じて、果たしていじめがなくなったのか、あるいは減ったのであろうか。

英語などの外国語を教育することは大切なことではあるが、昔から使われている日本語をないがしろにしていいものか、疑問に思っている。そして、ついでながら、「めくら蛇におじず」や「つんぼ桟敷」なども、現代語から消えてゆくのだろうか。

そう言えば、認知症という医学用語もおかしいなと、感じていた。今は毎日使っているが、具体的にどのようなことをいっているのか、作られた当初は理解しにくかったからだ。当時は私自身、分かりやすい痴呆症という言葉に慣れすぎていたためかもしれない。しかし、このままにしていると近いうちに、「呆けちゃってねー」と、患者にいわれても分からない医師たちが増えることはあるように思われる。

国語学を学んだこともない、小説をろくに読んでもいない、いなかの医者が、こんなことを心配しているのは滑稽でもある。実際、英語まじりの歌詞などは良く理解できず、若者の省略言葉も分からないのだから、彼らからみればお互いさまといえるであう。しかし、それにしても、と考えている。日本全体が色々な面で高速度で変わり過ぎたことも、その大きな原因であろうとは思っているが、古来からの日本語が、一つまた一つ消えてゆくのは、何とも寂しい限りだ。「月の沙漠」の一節ではないが、この広く、めまぐるしい世界で日本語はどこへゆくのでしょう。(そう言えば、あの王子さまやお姫さまは、どうなったのだろうか。幸せになったのだろうか。)と、そんなことを考えているうちに、大阪に着いた。

東京 ・大阪間、2時間ちょっと、実に早い。気持ちを入れ替えて、明日からは新しいことを、勉強しなければ 。古いといわれないためにも、また取り残されないためにも。など、とまあ今更、こんなことをいっているようでは、私もKYか。あれ、ちょっとニュアンスがちがうか。鶴田浩二の歌にあるように、私も、やっぱり古い人間でござんしょうかね・・・。

誕生祝コメント

○　鳥居輝一君

本日は誕生祝ありがとうございました。

私は昭和17年4月5日生まれ、この5日で満71歳と

なります。
　出生地は岩手県盛岡市です。父が岩手県庁に勤務をしていた関係でこちらで生を受けました。
　昭和17年と申しますと第二次世界大戦の勃発は昭和16年12月8日、終戦は昭和20年8月15日ですから私は戦中生まれといえるでしょう。そんな時代背景で3歳前まで盛岡市で親子3人の生活をしていました。
　その後、父が昭和19年に徴収令状が来た関係で、母の実家である福島県二本松市に私を連れて来たわけです。ですので、父の記憶は何一つに残っておらず、写真でのみ知ることができました。

○　津久井誠二君

　私は昭和43年4月15日生まれで今年45歳になります。黒磯市内で生を受けましたので、小中高校と地元の学校にお世話になりました。
　ここで名前に関するお話をひとつ、ご披露させて頂きます。私の名前「誠二」は当会の会員であった祖父（小一）が名付けたそうです。祖父は「誠」という漢字をとても気に入っており、自宅には「誠」と記された額縁が飾られていたことを思い出します。
　余談として、三人兄弟の私ですが、私と弟の名前は身内が付けたのに対し、兄の名前は黒磯神社さんから頂いたそうです。兄との格差は生まれたときから・・・のものですね。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　髙木慶一様。米山奨学生のカウンセラーご苦労様でした。
室井　次男君　梅・桜・椿・コブシ・モクレンの花が一緒に見られる珍しい年です。
鳥居　輝一君　誕生祝いありがとうございました。
黒澤　洋一君　結婚祝い有り難うございました。
半田　久一君　結婚祝い有り難うございました。
鈴木　久雄君　結婚祝い有り難うございました。

誕生祝

鳥居輝一君・檜山達郎君・津久井誠二君

結婚祝

半田久一君・黒澤洋一君・鈴木久雄君

● 4月3日欠席(敬称略)
新井聖一・須藤舜生・橋本佳明・秋葉秀樹

○ 前回3月27日分メークアップ(敬称略)
吉光寺政雄・澤田吉夫・月江寛智・時庭稔

次回例会　　平成25年4月10日　　半田久一地区諮問委員

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

出席免除会員＝田村吉興

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第2581回　秋間年度　第38回　会報　2013-04-10　司会　村山　茂君

お客様

○アッシジ市（イタリア）参与　　澤田高様

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！

去る３月９日に文化会館で行われました「放射能に関する講演会・シンポジウム」でパネラーを務めてくださった澤田高様が、本日お客様としてお見えになっております。ご存知の方もいらっしゃるかと思っておりますが澤田様は、イタリア、アッシジ市の参与を勤めておられます。今日は帰国前の貴重な時間を割いて我々のクラブ例会にお越しいただきました。この後国際的な観点から卓話もいただけると伺っております。ご臨席誠にありがとうございました。

さて、幹事報告にも有りました通り、4月７日に開催された地区の会長幹事会で、黒磯ロータリークラブからのプロジェクト報告がありました。その概要をお伝えすることで今日の会長挨拶とせていただたきます。

まず、既に事業が完了している「放射能に関する講演会・シンポジウム」の報告をいたしました。400名が入る会場に１００名を少し超える参加者でしたのでちょっと寂しい気もいたしましたが、参加者の雰囲気から放射能に対する高い関心を知ることができました。特にシンポジウム終了後に回収したアンケートには、今後の放射能対策に大変役立つ内容が沢山書かれておりました。例えば「一定期間、子どもを非汚染地域で生活させる保養についてもっと知りたい！」とか「保養の効果について改めて見直すことができた。」などの感想を来場者からいただきました。

次に、現在プロジェクトが進行中の震災遺児孤児支援事業について報告しました。東日本大震災で親を亡くされた遺児孤児とそのご家族を、全員無償で紹介するバスツアーへの参加者を募っておりますが、申し込み期日が迫っているにもかかわらず申込者数が少なく、参加者募集に苦戦していることを伝えました。もし被災地の皆様とお知り合いの方がおられたら、黒磯ロータリークラブが震災遺児孤児支援事業でツアー参加者を募っていることを、是非お伝えくださるようお願いしました。

さらに、黒磯ロータリークラブは今年度分かりやすい会計処理を目指して複式簿記、発生主義を採用していることを紹介しました。できれば、2550地区も単年度ごとの収入と支出しか報告できない会計から、何時でも全会計の債権、債務を報告できる複式簿記、発生主義に変え、会員にとってもっとお金の流れを分かりやすくすべきと申し上げました。当然のことながら今

出席報告　出席委員会　　福田逸男君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 4月10日	40(1)	26(0)人	14(1)人	66.7%	*	
前　回 4月　3日	40(1)	36(0)人	4(1)人	90.0%	1人	92.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

回のように、当クラブが地区補助金等皆さまからお預かりしたお金を活用させていただく場合もその使途を確実に報告できるなどのメリットが生れますし、仮に事業が年度を跨いでしまっても事業ごとの収支を明確に説明できるようになります。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

先日４月７日に会長、半田諮問委員、私の三名で会長幹事会に出席してきました。全50クラブを代表して秋間会長が10分程震災関係の事業説明をされました。3月の放射能に関する講演会から5月の那須ドリームバスツアーについて、また、黒磯クラブで取り組んでいる会計制度改革や複式簿記、発生主義について地区でも導入を検討して頂きたい旨お話しをされました。

会長幹事会で説明する秋間会長

【理事会報告】

○　４月５月プログラムの件。４月10日外部講師に沢田高様、４月17日例会を出席委員会担当に、５月15日をクラブ奉仕委員会の卓話とします。

○　５月震災遺児孤児支援事業について秋葉委員長より説明を頂きました。

○　新入会員推薦の件。半田会員から１名推薦があり理事会で承認された。

【幹事報告】

○　アジア学院から入学式の案内を頂きました。鳥居国際奉仕委員長にお渡ししました。

○　“ 栃木命の電話 ”から案内を頂きました。村山社会奉仕委員長にお渡ししました。

○　那須塩原市をきれいにする市民運動から案内を頂きました。村山社会奉仕委員長にお渡ししました。

○　先日の会長幹事会の際ガバナー補佐から今後のガバナー補佐輩出についてお話しがありました。2014-15大田原クラブの長島会員がガバナーとなります。通常だと、大田原クラブから補佐輩出となりますが、同一クラブからは出ませんので、大田原中央クラブから補佐がでます。翌2015-16は大田原クラブから、2016-17は黒磯クラブからということです。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　**秋葉秀樹震災遺児孤児支援事業委員長**

なす温泉ドリームバスツアーが１ヶ月後になりました。

現状は大変厳しく、参加申込は４組10名です。残り時間は少ないですが、最後まで募集活動をしていきたいと思います。皆様のご協力、よろしくおねがいします。

卓話　ロータリー文庫運営委員会

○　**半田久一委員**

本日の卓話はロータリー文庫について半田が担当するはずでしたが、先日の理事会にて外来卓話として、３月９日に行いましたクラブ主催の「子供達の未来のために放射能とどう向き合うべきか？」のシンポジウムのメンバーでありました、イタリア・アッシジ市議会参与の澤田高先生にお願いをし、承認を頂きましたので、本日の卓話となりました。ご静聴頂ければ幸いです。

澤田先生宜しくお願いします。

○　**澤田高アッシジ市（イタリア）市議会参与**

前回お招きいただきました折、締めくくりの言葉として、「お話させていただきましたことに感謝いたします。また、感謝させてください。」と申し上げました。こんなに早く話下手の私に、お話させていただき心から感謝致します。

通常、慣例語は解釈をしないのですが、含意は有り難い（有り得ない）恩顧に与かった心をお伝えすることですが、私たち聖書に少しでも培われた者は聖書の

語彙解釈を含めて、感謝と同義語で「賞賛いたします」との意味で申し上げております。それですから私の感謝の意味は、「話下手なわたしをお招きくださった黒磯ロータリーの方々を賞賛いたします」と言うことであります。

今日のお話の中心は・・・

《人間は失敗する動物である》

今回帰国直前に奥さんが椎間板ヘルニアということで日本人夫妻が来られて、奥さんが診療ベットに横になられてから、胃もおかしいとのことで、私は「したを見せてください」と言いましたら、モジモジなさっておられました。勘違いされたので、アインシュタインのようにベロを出してください。と言い直しました。私はアインシュタインによって助けられたのです。それでアインシュタインを中心にお話を進めて参ります。

このアインシュタインがユダヤ人である背景に注目すべきです。ご存知のように、ユダヤ人は旧約聖書に依存することで存在しています。アインシュタインはユダヤ人としても科学者としても、人間の誤り易さや不完全さをよくよく認識しています。

旧約聖書のはじめの書は創世記で、人が創世に於いて最初に犯した誤りについて記録されています。全能にして全知である聖書の神と一線を引かずに思いあがってしまったのです。それは皆さんもご存知のアダムとエバの記述です。

ご存知のようにアインシュタインは相対性理論でノーベル賞受賞者としても有名です。アインシュタインは原子は人が犯してはならない聖書の神の領域であることを熟知していました。そして原子を武器に利用することは個人として反対していました。

しかし、彼といえども過ちを犯す事態になったのです。それは1939年、彼が大量なエネルギーを爆弾とする政府の意図に2週間悩んだ末でありましたが、賛意の署名をしたのです。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

第二次世界大戦後この署名に対して興味のある2通の手紙があります。

1）ドイツ原爆開発の中心人物フォン・ヴァイツゼッカー（ドイツ一級の物理学者、キリスト者として平和運動を進めた哲学者）「私は、アインシュタインがとった行動は、正しかったと思います。私たちが原爆製造をする可能性があったからです。アインシュタインは、私たちが米国のウラニュウム研究の追跡研究をしていたことを知っていたのです。」

2）月刊誌「改造」の篠原正瑛。（アインシュタインを1922年に日本へ招聘したのは改造でした）彼は、第一次世界大戦の平和主義者のアインシュタインが第二次世界大戦では原爆製造に同調したことに、人類の福祉と幸福に奉仕すべき科学が、原爆の悲惨さを齎したと糾弾する手紙を送りました。

これにはアインシュタインからの返書がありました。「人を批判するときは、相手のことをよく調べてからすべきだ」と怒りを表して、篠原の手紙の裏面に書いて返事としました。

ナチ・ドイツがフォン・ハイツゼッカー中心に原爆開発に成功するかもしれない可能性が私にサインさせた。と言っているのです。

帰国直前に、ベラルーシの子供たちを保養のために預かっている幾人かのメンバーとの集まりがありました。彼らが驚いたのは「俺は原子に強いんだ！！！」と言った福島原発事故の最高責任者の高言ぶりです。

日本でも知られている「人はなぜエセ科学に騙されるのか」の著者カール・セーガンは「人間は完全ではなく、従って科学は不完全なもの、自惚れの強い人類を謙虚にするのに充分役立つものである」と言っています。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

下野新聞（4 月 5 日）記事をご存知でしょうか？？？
放射性物質吸着剤を開発　　日立製作所

【日立製作所は4日、水中の放射性セシウムと放射性ストロンチウムを同時に99%以上除去できる新しい吸着材を開発した、と発表した。

東京電力福島第 1 原発の汚水処理での量を目指す。日立は「汚染水処理の手順を簡略化でき、コストも削減できる」としている。新吸着材は粒状で、チタンや酸素などでできた物質に特殊処理を施した。実験では吸着剤の 3 千倍の体積がある水中からセシウムとストロンチウムを同時に99%以上除去できた上、海水でも除去率が落ちなかった。日立によると、これまでの汚染水処理では、セシウムやストロンチウムの除去は、別々の吸着剤を使用しなければならなかった。また、海水に含まれるナトリウムやカルシウムの影響で、吸着剤の処理能力が落ちることも問題だった。】

この記事の紙面積は 67 平方センチメートル

この日の下野新聞の全紙面記事は50,400平方センチメートルですから、東京電力福島第 1 原発の汚水処理記事の民主主義の多数決の原理からは、その価値は752分の 1 ですから、無きに等しい記事ということです。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

多数決の原理もまた完全ではないので、今の時代の必要な個人として、生まれさせられている自覚に伴う行為をすべきなのでしょう。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

付け足しとして
60年ほど前の黒磯小学校の火災の時に、消防ホースを持たされたことが、黒磯の記憶でしたが、その記憶は黒磯ロータリークラブとの奉仕の記憶に代わりました。

誕生祝に一言

○　檜山達郎君

礒勝彦君から誕生祝いの花束が贈呈された。

４月早々に誕生祝ありがとうございました。私の誕生日は昭和９年４月１０日生まれの７９歳になります。本日が誠にその日になるとは何と御目出度いことか、更にロータリーの例会にて迎える事が出来ました事は偶然とはいえ大変に嬉しゅう御座います。
私の出生地は東京府葛飾区新小岩です。今の東京都になりましたのは昭和18年で東京府と東京市が合併してできたそうです。私が２歳になるときに当地にお世話になることになります。ですから当地にて丸７７年になります。
当クラブにお世話になり10年少々、多くの仲間に恵まれ御蔭様で少しずつ自分自身も成長してきましたことにつきましては、心より感謝いたしておるところで有ります。此れからも、ロータリーの理念即ち親睦と奉仕を忘れる事なくもう少しの期間お世話になりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

昭和９年の出来事
・東京日比谷に地上６階地下一階収容人員2810名の東京宝塚劇場がオープン
・はやり歌　赤城の子守唄《東海林太郎》　ダイナ
・地下鉄　銀座駅が開業
・軍事会館（現九段会館）の落成
・渋谷駅前に、ハチ公の銅像がたてられる
・西巣鴨に癌研究所が落成
・丹那トンネルの開通

☺　ニコニコボックス田中徹君

檜山　達郎君　誕生祝い有難うございます。

●　４月10日欠席(敬称略)
新井聖一・篠崎勝則・鈴木久雄・鈴木隆子・高木茂
須藤舜生・瀬尾紀夫・高木慶一・津久井誠二
時庭稔・深町彰・室井次男・遠藤清和・田村吉興

○　前回　４月 ３日分メークアップ(敬称略)
秋葉秀樹

次回例会　　平成２５年０４月１７日　　出席委員会

近隣クラブ例会日
◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５８２回　秋間年度　第３９回　会報　２０１３-４-１７　司会　村山　茂君

お客様

○　次年度第１グループガバナー補佐
片柳洋様（西那須野ロータリークラブ）

○　東日本黒磯駅駅長　鈴木一様

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！今日はお客様としてJR東日本黒磯駅長、鈴木一様にお越しいただいております。黒磯駅は我々の例会場石山と目と鼻の先、日頃から大変お世話になっている駅長さんに来ていただきました事は我々にとりまして大変うれしいことでございます。「駅長さん」と「さん」付けで呼ぶのが相応しい職業の鈴木駅長さんに、今日はこの後お話をいただけるとの事で楽しみにいたしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また2013～14年度に2550地区第１グループのガバナー補佐を務められる片柳洋さんにもお越しいただいております。今日は次年度就任のご挨拶ということでお見えになりましたので、素晴らしいスピーチは次回お預けということで、今日のところはほんの少しだけお話をいただきました。さて人がたくさん集まって良かったという話を三つさせていただきます。

昨夜から那須塩原テニス協会主催のナイターテニス教室が始まりました。実はその初心者コースで私がコーチ役を務めておりますが、例年参加者はせいぜい5～6人でございます。ところが今年は小学生2人を含む参加者が10数名になって大変盛況でございました。初心者コース担当する指導員としては大変うれしいことでございます。

それから、先ほど秋葉実行委員長から報告がありました通り、震災遺児孤児支援事業のバスツアーに参加される方の数が約30名になったとのこと、これも大変うれしいことでございます。さらに先程例会場に来て、すぐに帰ってしまった鈴木隆子新世代委員長から、黒磯高校のインターアクトクラブに新入会員増があり、全部で10名を超える勢いだとのことです。そしてその

出席報告　出席委員会　　瀬尾紀夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日4月17日	40(1)	34(0)人	6(1)人	89.7%	*	
前　回4月10日	40(1)	26(0)人	14(1)人	66.7%	5人	79.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

ほぼ全員が4月27日に行われる足尾の植樹祭に参加してくださるとのこと、これも大変うれしいことでございます。「良いことはお陰様」皆様のご協力、ご支援誠にありがとうございます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の案内が届いています。回覧中です。

○　那須塩原ハーフマラソン大会の実行委員会委員委嘱並びに実行委員会の案内を頂きました。村山委員長にお渡ししました。

○　2013-14年度地区協議会の資料と地区委員、会長幹事名簿を回覧中です。

○　西那須野、大田原クラブの週報を回覧中です。

○　2015-16年度ガバナーノミニーに足利東クラブの中谷研一様が確定しました。2014-15は大田原クラブの長島会員です。

○　足尾植樹の案内を頂きました。村山委員長、鈴木隆子委員長にお渡ししました。植樹に、インターアクターの参加をお願いする案内を頂きました。鈴木委員長に併せてお渡ししました。

○　ハイライト米山を電子メールで頂きました。髙木委員長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

4月7日の秋間年度第3回コンペ、大荒れの天気予報が出たので中止して4月28日に変更し案内出しましたが、参加者が極端に少ないので中止します。役員会を開いて決定したら、ご案内いたしますので宜しくお願いします。

○　秋葉秀樹なす温泉ドリームツアー実行委員長

本日、震災遺児孤児支援事業の参加出欠表を回覧します。皆様の参加お願いします。

○　田中徹会計長

3月27日、米山記念奨学生送別会参加費2,500円を4月22日(月)栃木銀行より、参加者のみ引落を致しますのでご確認願います。

卓話　出席委員会

○　瀬尾紀夫委員長

出席委員会は副委員長に福田逸男さん、委員に高根沢邦夫さん・石山桂子さん、室井次男さんと委員長の私、計5名です。

7月スタートから3月までの9ヵ月間の出席状況をお話しします。会員42名でスタートし、現在40名です。

例会36回中、出席率100％の例会は8回です。メイキャップを加えず純100％例会出席メンバーは4名です。メイキャップを加えた100％の会員は25名です。また、無断欠席者はスタート時チョッとありましたが、今現在はありません。また、無断早退者もスタート時はありましたが今現在はありません。

欠席がちの会員の方はメイキャップをしていただき、出席率の向上に努めてください。

本日の外来卓話は鈴木一黒磯駅長様です。

今日4月17日は、那須塩原駅構内の浅間神社で、駅関係の方、地元旧東那須地区の皆様が集まり、安全祈願祭の日です。4月17日が日曜日に当たっても行われてまいりました。私も参加させていただいております。鉄道が引かれましたのが明治19年です。地元の人に尋ねますと、おそらく明治時代から始まったようです。

始まったキッカケは、当時踏切事故が何度も何度もあり、犠牲者が多く出てしまい、これは何とかせねばならぬと地元の有志の方、当時東那須野駅関係の方々が安全祈願を行ったのが始まりのようです。

私が参加したころの祭事内容をお話ししますと、参加者は駅関係、地元有志の皆様、出入り業者、大原間小学校の新1年生と先生、駅前交番のおまわりさん、乃木神社の宮司さん等です。婦警さんが新1年生に踏切の正しい渡り方を腹話術などで説明し、宮司さんにお祓いをしていただき、新1年生はお菓子等のお土産をもらい、また大人たちは東那須野公民館で、なおらいの席で安全祈願をしました。

しかし、いつの頃からか小学生は来なくなり、神事自体も簡素化してまいりました。時代の流れで仕方ないと思います。駅名も東那須野駅から那須塩原駅、出入り口も東那須野駅は東口、那須塩原駅になると西口へと変わりました。しかし黒磯駅は東口への跨線橋はできましたが、出入り口は開業当時と同じ西口です。

今日の那須塩原市の発展は正に黒磯駅が原点だと思いませんか。駅前のお店の皆様の当時ご先祖様の大いなる努力が今の市の発展へと繋がっていると感じます。ロータリークラブの会員の方も銀行さんを含めますと4名の方が駅前通りで現在も商いを営んでおります。

そのような歴史と伝統のある黒磯駅、明治19年の初代渡辺駅長様から数えて第58代駅長さんになります鈴木一駅長様、卓話よろしくお願いします。

○　**黒磯駅駅長　鈴木一様**

1　自己紹介

東日本旅客鉄道㈱大宮支社黒磯駅駅長　鈴木一

2　「おかえり　こまち」のビデオ鑑賞

（社員鑑賞用ビデオ 12 分）

東日本大震災で長期間運転中止となっていた秋田新幹線が運転再開した。初列車を迎える取組みをした地域の皆さまから学びます。

3　会社紹介

グループ経営構想Ｖより抜粋　【ＪＲ東日本の今後3年間の重点課題として】

（1）私たちの出発点

①第一の出発点〔国鉄改革〕

今から 26 年前の昭和 62 年、国鉄改革によりＪＲ東日本が誕生しました。改革当時にはまだ生まれていなかった世代が入社するほど長い時間が経過しました。しかし、国鉄改革は私たちの変わらぬ「出発点」です。↗

≪国鉄改革の理念≫

◇自ら考え自ら行動し、自主自立経営を貫く
◇それぞれの地域に密着した経営を行う
◇時代や環境の変化に柔軟かつ迅速に適応できる企業をめざす

国鉄の失敗を繰り返さないために、これらの改革の目標を深く胸に刻み、そして、お客さま、地域の皆さまをはじめとする周囲のご支援を忘れることなく、企業経営の原点としていきます。

②第二の出発点〔東日本大震災〕

会社発足から 24 年が経過した 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が発生しました。新幹線をはじめ多くの路線で長時間の運休を余儀なくされ、様々な設備の被害を受け、ご利用のお客さまも大きく減少しました。なにより、震災は私達が事業を行っている多くの地域に甚大な被害を及ぼしました。

こうした状況の中、私たちは、関係者の皆さまからの多大なるご支援により、困難を乗り越えることができました。そして、私たちは、震災の経験を通じて、自らの使命を再認識するとともに、多くの教訓を得ました。

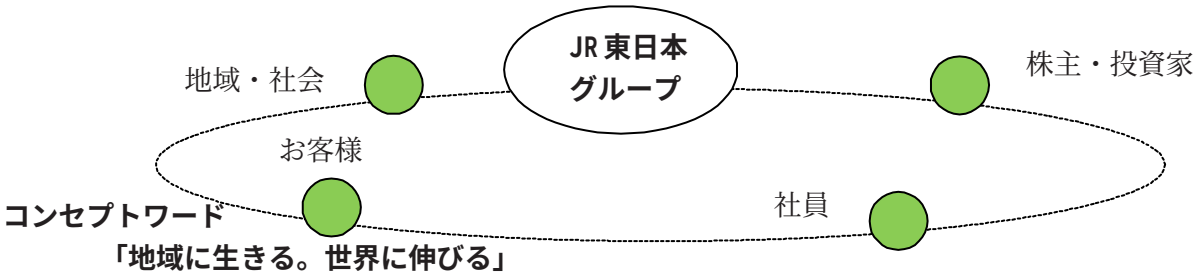
≪教訓≫

◇私たちが行っている「仕事」の意味と重さ
◇お客さま、地域の皆さまから寄せられる、当社グループへの大きな期待
◇震災への対応と復旧に示された、一人ひとりの社員の力
◇毎日の地道な取組みや訓練の大切さ

私たちは、2011 年 3 月 11 日を「第二の出発点」として位置づけ、鉄道という社会インフラを担う企業として、どのような役割を果たし、何をめざして進化を遂げていくのか、もう一度問い直さなければなりません。

↙（２）へ

（2）私たちの志～経営の基本的な方向性私たちは、震災を通じて、企業の存立基盤が、健全で活力ある地域社会であることを強く再認識しました。今、私たちが根ざす東日本エリア、そして日本は、様々な課題に直面しています。私たちは、地域社会の一員として、地域の皆さまとともにあるべき未来を考え、元気な地域を築くため自らの使命を果たし、問題解決に向けて「私たちだからできること」を実行します。それが「地域に生きる。」です。



～略～

これらを、グループ全社員の共通認識とし、一体感のあるグループ経営構想を実現するため、ＪＲ東日本グループの新たなコンセプトワードとします。

①変わらぬ使命

震災経験を通じ、「地域との絆」「社会からの期待」を実感

ア）「究極の安全」に向けて

イ）サービス品質の向上

ウ）地域との連携強化

「当社グループだからできる」地域活性化策や観光振興策を精力的に実行します。特に、観光は、当社グループの強みが最も発揮できる分野であり、裾野が広い産業であるため地域社会全体への波及効果も期待できることから、国内観光流動と訪日観光客の拡大に力を注ぎます。

②無限の可能性の追求

震災以降の激しい変化の時代に持続的成長を成し遂げるために

ア）技術革新

イ）新たな事業領域への挑戦

ウ）人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり

（3）大宮支社事業基本方針　2013 － 2015 一部抜粋

「地域とお客さまから愛され、親しまれる大宮支社」をめざして

◇2014年春の栃木県重点販売地域指定による自治体・観光事業者との連携を深め、栃木県全体の観光振興を本格化する。

◇着地型びゅう商品の設定、集客を通じて那須・塩原エリアへの支援を継続

「BIG　REDとちぎキャンペーン」、「春こそ、とちぎキャンペーン」

◇ＪＲ・東武直通列車の利用促進や着地型びゅう商品の設定により、2015年の日光東照宮四百年式年大祭など、話題性の高い日光・鬼怒川エリアへの集客を強化する。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

片柳　　洋様(西那須野ロータリークラブ)今日はお世話になります。

髙木　慶一君　鈴木駅長さん、片柳次年度ガバナー補佐を歓迎して。

礒　　勝彦君　片柳君、ようこそいらっしゃいました。

時庭　　稔君　前回休んですみません。

片柳洋様 御挨拶

第１グループは一つのチームです。７クラブ力を合わせ、協力・連携して＂ロータリーを実践＂してゆきましょう。よろしくお願いいたします。

黒磯クラブの皆さん、こんにちは。去る４月14日(日)、本年度第3回目の地区協議会が開催されました。当協議会の開催をもって、次年度への準備の活動が実質的にスタートすることとなりました。鈴木ガバナーより飯村ガバナーエレクトに、ガバナー旗の引き継ぎセレモニーが全出席者の見つめる中で行われたわけであります。

飯村年度は４月14日をもってスタートいたしました。本日私は、ガバナー補佐としての初仕事として、次年度飯村エレクトの地区目標を皆さんにお伝えしたく参ったわけであります。地区目標の詳細は、当クラブ平山会長エレクト様から皆さんへお話がなされるかと思いますので、私は本日、限られたお時間の中で、飯村ガバナーエレクトが私共ガバナー補佐に常々何を語りかけ、ガバナー補佐自身がそれをどう受け止め、ガバナー補佐の職責を実現してゆくべきなのかということに関してお話申し上げたいと思います。

ガバナーとしてガバナー補佐に期待するものとは

ガバナー補佐はグループの指導者でもなければ管理監督者でもない。ガバナー補佐は担当グループ及びその構成各クラブに仕える奉仕者そのものである。よってガバナー補佐はその担当するグループ及び各クラブに対し、誠実にかつ真心をもってお仕えしてください。そして担当グループ及び各クラブのロータリーの奉仕活動を、ＲＩテーマに沿って行ってください。

以上が飯村ガバナーエレクトの私たちガバナー補佐に対する語りかけのすべてです。

チーム力を信じ、チームで奉仕活動をしよう

飯村ガバナーエレクトは、チーム力というテーマでのお話を、機会あるごとに私たちに語りかけています。私はガバナーエレクトのこの考えに強い共感と賛同を覚えております。私片柳、飯村会長エレクトの考えに沿って、第１グループ及び７クラブの皆さんに対し、その職責を果たしてゆきたいと思っております。

私は第１グループ担当ガバナー補佐として、第１グループが一つのチームとなり、力を合わせ、協力し合い、グループ地区内の奉仕ニーズに沿ったロータリー活動が実り豊かなものとなるよう、各クラブの皆さんに仕えてゆきたいと思っております。

楽しいロータリークラブ、明るいロータリークラブ、充実した納得と満足あるロータリークラブ、そして第１グループ地域において「名誉ある地域団体の一つ」

と私たち７クラブ在籍会員が承知することができるような１年間となることを忘れずに皆さんに仕えてゆく所存です。

黒磯クラブの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

● ４月17日欠席(敬称略)
新井聖一・篠﨑勝則・須藤舜生・深町彰
藤村聡・田村吉興

○ 前回４月10日分メークアップ(敬称略)
鈴木久雄・鈴木隆子・瀬尾紀夫・髙木慶一
髙木茂

次回例会　　平成25年4月24日　　震災遺児孤児支援事業実行委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2583 回　秋間年度　第 40 回　会報　2013-04-24　司会　村山　茂君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！旅行愛好会とハイキング愛好会の合同企画で実施された屋久島縄文杉ツアーに私も「ドタイン」で参加させていただきました。さすが本格的登山と国内観光のエキスがぎっしり詰まっていて、両愛好会が相乗りとされたのも納得できる充実のツアーでした。お陰さまで世界自然遺産の縄文杉を見ることができ、タナボタの幸運に感謝しております。お世話になりました同行の皆様に心より感謝申し上げます。

特に行く先々で切符を手配、人数を確認、さらにお金の支払いを担当してくださった和気会員には頭の下がる思いです。本当にありがとうございました。

今日は、来る5月11日、12日に我々が招待した大切なお客様をお迎えするため、秋葉実行委員長に「なす温泉ドリームバスツアー」の準備、進捗、担当等についてお話をいただくことになっております。これに関連して私から提案というか、お願いがあります。日頃お話をさせていただく時にはことさら上手に話したいとか、皆様の心揺さぶるような感動を与えたいとかはあまり考えませんでしたが、今日ばかりは私にその力があれば良かったのにと悔やんでおりまして、願わくは、これから私がお話しすることを皆様にご理解いただきたいと心底から願っております。

まず1つ目は、これまで震災遺児孤児支援事業という言葉を使ってまいりましたが、5月11日、12日は勿論、これから文字にも、言葉にもこれを使わないことにしたいと考えます。多感な子供たちから我々の世界を覗いた時「かわいそうに」とか「震災」「遺児」「孤児」という言葉の響きはどのように受け止めるのでしょう？安易な発言で大切なお客様のこころ傷つけてしまう可能性を踏まえて、これからは「なす温泉ドリームバスツアー」又は「バスツアー」招待事業と呼ぶようにしたいと思います。

二つ目は、事業実施の当日2日間、我々メンバーはアルコールを飲まないことにしたいと考えます。私もお酒が好きでビール、ウイスキー、日本酒、ワインなどアルコール類なら何でもOKです。しかし今回最も大切なお客様は子供たちです。我々は事業が終わるまでアルコールを慎んでホスト役に徹したいと考えます。ただ同行の保護者（お客様）からアルコールが欲しいと言われた場合には適宜提供したいと考えております。

3つ目、これが私なりには一番迷った所でございますが、お客様は旅行を楽しみに来られるわけで会議に出席するわけではありません。そこで我々もノーネクタイでお迎えしたらどうかと考えました。また外に出たとき我々が黒磯ロータリークラブのメンバーである

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 2 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 4月23日	40(1)	29(0)人	11(1)人	76.9%	*	
前　回 4月 17日	40(1)	34(0)人	6(1)人	89.7%	0人	89.7%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

かどうか分からないことも考えられます。そこで奇抜な提案ですが、黄色いハンカチを身につけて我々が黒磯ロータリークラブのメンバーであること、我々が招待したお客様を心から歓迎していること、そしてお客様には那須で存分に楽しんでもらいたいことをなんとか表現できないかと考えました。バスの発着には黄色いハンカチを小旗代わりに振って、作業時にはハンカチを我々の首に巻き付けて使いたいと思います。このツアーに参加するかどうかそれなりに迷った末に那須に来くることを決めた方もきっといると思います。高倉健の「幸福の黄色いハンカチ」のように・・・ご賛同ありがとう御座います。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　矢板ロータリークラブから矢板高校インターアクトクラブ認証書伝達式の案内を頂きました。当日は私と鈴木委員長で行く予定です。
○　先週の例会で新入会員推薦の件皆様にお諮りしました。異議申し立てはありませんでしたので、すすめて参ります。
○　次週水曜日(5月1日)は休会となりますのでご注意下さい。
○　次回例会は5月8日となります。理事役員会も開催されますので理事役員の皆様はご出席お願いします。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　村山茂社会奉仕委員長

今週27日の足尾の植樹について、変更点がございますのでご案内いたします。

・集合場所の変更：割烹石山　→　道とん堀
・出発時間の変更：朝8時　→　朝7時30分

○　齋藤武久君

第9回桜追っかけミステリー小旅行の最終アナウンスです。余りの暖かさで心配していた桜の北上もこのところの寒さで足踏みをしてくれました。29日は素晴らしい桜を見ることが出来ると思います。

かなり遠方ですので、市役所前広場出発は6時となります。那須SAでおむすび等を仕入れるミニストップを行います。

卓話

○　秋葉秀樹なす温泉ドリームツアー実行委員長

本日は、5月11・12日に行います、なす温泉ドリームバスツアーの説明をさせていただきます。

本事業の募集には大変苦戦しましたが、今日現在で30名の参加申し込みを頂きました。あとは、参加者の皆様に来てよかったと思って頂けるように段取りしていきたいと思います。皆さんにお配りした、行程表をもとにお話しさせていただきます。

女川町役場を7時30分に出発し、石巻市役所、東松島市役所、仙台駅西口を10時に発ちたいと考えております。13時に那須インター、13時15分にキャンドルハウスシュシュ、りんどう湖ファミリー牧場と回り、17時にりんどう湖ロイヤルホテルにチェックインを予定しております。翌日12日は、8時20分にホテルを出発し、マウントジーンズ、那須どうぶつ王国と回り、昼食に鳥野目キャンプ場にてバーベキューを振る舞う予定です。その後、お菓子の城に寄ってから那須インターからお送りしたいと考えてります。

各施設、イベントにおきましては、担当リーダーを決めております。

・　11日のキャンドルハウスシュシュ・りんどう湖ファミリー牧場は大森貞男さん。
・　11日の夕食・イベントは髙木慶一さん。
・　12日のマウントジーンズ那須・那須どうぶつ王国は佐藤博さん。
・　2日のバーベキューは齋藤武久さんにお願いしております。
・　宿泊担当はりんどう湖ロイヤルホテルの支配人である藤村聡さんになります。

それでは各担当リーダーの説明をお願します。

○　大森貞男君(りんどう湖担当)

私は朝直接広谷地のロウソク工房に行きまして、準備をして待機をしております。

大勢の方がロウソク工房にて、色々なものを作り楽しんでいただけたらいいですね～

その後はりんどう湖に行きまして、いろんな体験（ゴーカト、舟、室内の遊び）等をしていただけたら、幸いです。

○　髙木慶一君(夕食担当)

りんどう湖ロイヤルホテルにおいて18時から夕食になります。参加者は9家族。大人13人、子供17人、合計30人です。18歳が3名、中学生が1名、小学生が10名、6歳5歳4歳が各1名ずつです。

○　佐藤博君（マウントジーンズ他担当）

秋葉実行委員長より"なす温泉ドリームツアー"の手伝いをしてくれとの連絡が突然入り、一寸戸惑いましたが我慢をし、お引き受けしたわけです。

私の役目は、行程表により5月12日の朝、りんどう湖ロイヤルホテルより鳥野目オートキャンプ場間で、

バスの＂道案内＂のようなものです。
　自分の心がけとしては、「ツアー客」の乗降の確認だと思っております。
　当日の天候が最高の日になることを祈るばかりです。

○　齋藤武久君（バーベキュー担当）

　芋煮会の実績を買われてか、バーベキューの担当を仰せつかりました。実行委員会の方で既に鳥の目キャンプ場に屋根付きのバーベキュー設備を予約してありました。日曜日に現地でバーベキューの炉を見て参りました。鉄板の貸し出しもあると言うことですが、予想外に小さく65cm角で、ほぼA4の紙6枚分の広さです。これを4面使って60名の昼食を用意するとなると、かなり時間的に厳しいかなという印象です。現在考えているのは、焼きそば・野菜炒め・ラムチョップの鉄板焼きというメニューになります。
　既にメールでスタッフ募集を掛けています。これに従事するスタッフに応募宜しくお願いします。

誕生・結婚祝に一言

○　黒澤洋一君

　私は昭和44年4月19日那須にあるホテルとしては唯一の那須ビューホテルにて結婚式を挙げました。当時は広いホールはなく和室の大広間での披露宴でした。当時の平均的な結婚年齢で、私は25歳、妻24歳でした。
　新婚旅行も当時の定番の南九州でした。
　娘3人授かりそれぞれに幸せな結婚をし孫も6人授かりました。
　最初の孫は20歳になり、一緒に酒を飲めるようになりました。2人でスタートし、今では14名の家族になり、一緒に旅行をしたり食事会をするのが私の至福の時です。

○　半田久一君

　私たちの結婚記念日は、4月25日です。顧みれば、48年前昭和40年(1965)年黒磯町磯原町(現在の高砂町)にある日本イエス・キリスト教団黒磯教会の礼拝堂において、森山諭牧師司式により増渕京子と結婚式を挙げました。

　披露宴は、割烹石山の蔵座敷において行い、新婚旅行は箱根と伊豆方面でした。
　あれから48年、48回の記念日を迎えることができ、天と地と海を支配される神に深く感謝を申し上げます。
　そのいとなみの中で3人の娘が与えられ、成長してそれぞれ結婚しました。長女知子は横浜で4人暮らし、次女知恵子はドイツ・フランクフルト郊外で5人暮らし、三女恵子は東京目黒で5人暮らしをしております。
　私たちが出会って8人の孫が与えられ16人の家族となり、今年の夏は那須と箱根の森で一緒に過ごす事になっています。

足尾植樹実施概要報告

○　村山茂社会奉仕委員長

　去る4月27日（土）新世代委員会、黒磯高校インターアクト部及び社会奉仕委員会、さらには、RI第2550地区との合同で足尾の植樹にいってまいりました。
　現地の様子はまさに・・・状態で、時折吹きつける突風、みぞれと相俟って、荒涼とした景観が印象に残りました。中には、「これって、元々木々の生育に適さない場所で、本当に公害によるものなの？」などと言い出す始末で、それほど険しいたたずまいです。緑の山林に回復するにはまだまだ時間と労力とお金が必要です。
　植樹作業については1人3～4本程度の苗木を受け取り、用意されているスコップで穴を掘り植え付けるといった作業で簡単です。ただ、植え付け場所に至る行程が、400段ほどの急こう配の階段を登らねばならず、途中何度も休憩せざるを得ない方もいらっしゃいました。

そんなこんなで植樹作業終了後昼食をとる訳ですが、場所を探していたら、鹿の糞が結構目立ち、ということは鹿の食害もあるのかなと思っていたら、インターアクターの女子生徒が鹿の角を発見！本物です！思わぬ収穫に彼女も大喜び。いい思い出になりましたね。

昼食後は、足尾ダムに隣接する「銅(あかがね)親水公園」内の「足尾環境学習センター」にて、銅山を中心に発展した足尾の歴史やこのように荒廃した山林の復興活動等について、写真や映像などで学習してまいりました。その結果、冒頭の「本当に人災なの？」との疑問は、見事に打ち消されてしまいました。銅の精製過程に排出される硫化水素混じりの排煙、1887年4月に松木村で発生した山林の大火災（畑の畦焼が延焼した。）などが主な原因のようです。あらぬ疑い申し訳ありませんでした。

ところで、足尾に向かうバスの中で、秋間忍会長から次のような趣旨のお話しをいただきました。「足尾は、公害の歴史の先駆けとなったものです。一方、福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染も、将来にわたり我々を苦しめます。前者は、富国強兵を目指す当時の事情を反映して行われ、後者は資源の乏しい日本で、将来とも豊かで快適な社会を維持向上するためには欠かせないものとしで採用されたものです。そして、その結果そのリスクが顕在化し、その目的とは裏腹に長期間我々を苦しめることになってしまいました。そういう意味では両者は共通しております。今我々が考えなくてはならないのは、その復興はもとより、これからもそのようなことがあるかもしれません。難しい問題ですが、将来を担うインターアクトの皆様には、そうしたことを念頭に本日の植樹に臨まれますとともに、何かを感じていただければと思っています。」、素晴らしいご挨拶有難うございました。

黒磯帰着後、「道とん堀」でのインターアクト部の皆さんとの交流会では、部員全員の皆様から本日の印象やら将来の夢などのスピーチをいただき、道とん堀様の大サービスもいただき、満腹で楽しい時間を過ごしました。以上、有意義な１日の概要報告とします。

・植樹参加人員　黒磯ロータリークラブ　　9名
　　黒磯高校インターアクト部　11名
　　合計　20名

☺　ニコニコボックス　髙木慶一君

大森　貞男君　屋久島縄文杉まで約22キロメートルを踏破いたしました。有り難うございました。

礒　　勝彦君　縄文杉、行ってきました。皆さんお世話になりました。特に和気さん有難う

屋久島縄文杉を見て

旅行愛好会委員長　大森貞男

平成25年4月19～21日2泊3日で鹿児島県屋久島の世界遺産を見てまいりました。

19日は早朝2時に黒磯を出発して、5時半頃羽田空港に到着したのですが、空港に旅客はまだ誰もおりませんでした。搭乗後2時間半程で鹿児島空港に着き、船で屋久島に向かいました。昼から屋久島観光をして、夕食は明日が早いからと早々に切り上げ、明日への興奮の覚めやらぬ内に朝が来てしまいました。

登山当日は早朝４時にガイドさんが旅館に迎えにきてくれました。専用駐車場から荒川登山口までは、許可された車と専用バスのみが運行できます。40分程で登山口に到着、まだ暗い中でしたが、「本日も頑張りましょう」と、荒川登山口で勢揃いをして記念写真を撮りました。山岳ガイドが「今日は宜しくお願いをいたします。長い時間ですから」と言われました。大森貞男、相馬征志・郁代夫妻、高根沢邦夫、鳥居輝一、磯勝彦・裕子夫妻、和気勝利、平山ヒロ子さん、秋間忍RC会長の10名の参加です。

身支度を整えて直ちに登山を開始しました。旅館を出る際に2つのお弁当を渡されました。歩き始めて1時間程で以前杉を切り出していた時に存在した集落の小学校の跡地で朝食のお弁当を頂きました。残るもう１ケのお弁当は昼食用になります。トロッコの軌道の枕木が歩く足幅とは関係がなく、大変歩きずらいです。いつも下を見て歩いていないと、大変な事になると思いました。トロッコは今でも運行していますが、毎日ではないようです。週に１度途中のトイレの汚物をトロッコに乗せて運ぶのと、緊急時位のようです。

歩く事約８キロ、ようやく宮の口（ここからが山登りの急な斜面）木の根、水たまり、木道、階段と様々な変化にとんだ道です（道と言っても何となく人が歩いたような道です。本当に自然ですね、大木が倒れて行く手を邪魔をしておりますが、その大木からは藻が沢山おいしげっていました。人の手が加わらない全く

縄文杉をバックに記念撮影。参加者全員が縄文杉までの往復約22キロメートルを完歩しました。皆さんの頑張り様には敬服致しました。まだまだ若い者には負けません！。

の自然の光景でした。大木は根の所が空洞で周り根から水分を取っているようです。宮の口にはトイレが有りますが、ここからウィルソン株のところに簡易トイレが１つ。トロッコの軌道道の途中にに簡易トイレが1ヶ所と休憩所とちゃんとしたトイレが1ヶ所ありました。(出発前に携帯トイレを持参して、簡易テントの中で用を済ませそこに置いてきます。それを週に１度トロッコで下ろしてきます。)山中での排泄はできません。

登山で汗を大量に出しますので、水分補給はするのですが、やはりトイレには行きたくなりますよ。でもここから往復５㌔は他にトイレが在りません。縄文杉の所は人がいっぱいになるので、手前で昼食を取りました。１キロメートル歩くのに勾配がきつい為１時間位かかりますので、「もう少しで縄文杉ですよ」と言われても、まだまだ先なのかと思いましたが。ついにやっと縄文杉が現れた時には、皆さん大変な騒ぎですよ、順番に写真を撮りましたが狭い所ですので、押し出されてしまいました。

でも縄文杉は見ました。さあ帰ろうと来た道を戻るんですが、膝が、「がくがく」して、足が地に触れていないようです。「こんなに急な所を登ってきたのですか」と、ガイドさんに聞きました所「そうですよ」と言われ、愕然としたわけですが、それでも歩いて下らないと帰れませんので、夢中で下りました。トイレには行きたいし、膝は笑うしどうしようもありません。やっとの思いで「宮の口」までたどりついて、トイレに行きました。頭の中がボーとして、正気ではないような気がいたしました。

さてここからが荒川登山口までの、約８キロのトロッコの軌道道を帰りますが、気の長いことです、縄文杉で12時半位でしたので、荒川登山口に到着したのは5時近くでした。“ 歩いた歩いた ”本当に歩きました。皆さんも元気に全員が踏破をした訳です。何事も無く無事に帰れました。宿に戻りまして沢山の話をしようと思ったが食事が終わると、皆それぞれに部屋に行きました。口には出さずとも、きっとみんな疲れてたんだと思います。

翌朝は屋久島から高速船で種子島に移動をして、港で待っていたバスに乗り種子島総合センター(鉄砲館)で日本で最初の火縄銃等を手にとり、説明を聞きました。そして宇宙センター等を見学しましたが、普通めったに見られないロケット発射台も特別に見学をいたしました。遠くからですが広い敷地に三方は海で緑のジュータンを引いたような、綺麗なゴルフ場じゃないかと思うほどです。大変天候には恵まれて、暑いほどで半袖で行動をいたしました。種子島からはプロペラ機で鹿児島空港まで、鹿児島から羽田空港まで飛行機で無事に帰りました。本当に皆様のお蔭で何事も無く家路につきまして、「有難う。良く頑張ったなあー」と言いたい気持ちで一杯です。

● 4月24日欠席(敬称略)
新井聖一・石山桂子・植竹一裕・鈴木久雄・須藤舜生
瀬尾紀夫・田中徹・時庭稔・福田逸男・深町彰
田村吉興

○ 前回 4月17日分メークアップ(敬称略)
MU無し

次回例会　　平成２５年　５月　８日　　クラブ協議会　会長

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５８４回　秋間年度　第４１回　会報　２０１３-５-８　司会　村山　茂君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！

今年のゴールデンウィークは前半と後半がはっきり分かれた特別な連休でした。前半の最終日にはロータリークラブの皆様と桜追っかけミステリーツアーで北上、平泉への楽しいバス旅行をさせていただきました。後半の4日間、皆様いかがお過ごしでしたでしょう。ご家族とゆったりとした時間を過ごされた方も多いのではと推察いたします。私事ですが、以前から一度行ってみたいと思っていた盛岡の石割桜と花巻の宮沢賢治記念館に行って来ました。どちらも行く前に持っていたイメージとは違った印象でそれなりに新たな発見がありました。特に宮沢賢治記念館の資料をじっくり読ませていただくと、これまで私が勝手に想像していた世界とは違う真実との出会いがありました。「雨ニモマケズ風ニモマケズ」という手記から受ける印象は隣人愛と積極性を感じるどちらかと言えば前向きなものでした。しかし、賢治はずっと病気がちで何度もの挫折を味わっており、鬱病の疑いさえありました。盛岡の岩手医科大学付属病院にも入院していたことがあってその時は父親との対立に心を痛めていました。さらに、最愛の妹を亡くした時には冷酷な事実を受け入れようとする理性と生々しい感情の葛藤に明暮れ、肺結核で亡くなる（37歳）まで生涯独身でした。結局「雨ニモマケズ風ニモマケズ」の手記は、その発見もドラマチックなものでしたが信仰上の祈りにも似た彼の切なる願望だったように思えてなりません。こんなお話をさせていただいたのにはちょっとした理由があります。それは私自身、黒磯ロータリークラブ会長をお受けしてから自分なりにはなんとかお役目を果そうと努力してまいりましたが、現実は厳しいもので当初の予想に反して苦渋の選択を迫られたものも少なくありません。体裁や煩悩に惑わされてなかなか光明を見つけられない葛藤を顧み、祈りを込めて「褒められもせず、苦にもうされず、そういうものに私はなりたい」と念ずる次第です。本日の例会は会長担当のクラブ協議会となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　被害者支援センターとちぎから寄付金の案内を頂きました。村山社会奉仕委員長にお渡ししました。
○　台湾に一年交換留学に行かれている磯杏子さんから月間報告を頂きました。
○　5月のロータリーレートは1ドル98円と連絡を頂きました。
○　5月27日に秋間年度、平山年度の各委員長の引継

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日5月8日	40(1)	33(0)人	7(1)人	87.2%	*	
前　回4月24日	40(1)	29(0)人	11(1)人	76.9%	6人	89.7%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

を行います。出欠表を回覧中です。両年度の委員長様は出席をお願いします。どうしても出席が無理な方は代理の方の出席をお願いします。

○　本日は理事役員会です。出席をお願い致します。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　鈴木隆子新世代委員長

先日､台湾に留学している磯杏子さんのお父様より、台湾の杏子さんに会いに、ご家族で行ってこられたとのご報告を受けました。今杏子さんのいる高雄では、ロータリーの方に家族ぐるみの温かい歓迎を受けたことと、杏子さんが日常生活で不自由なく中国語を使えていたことにとても感動されて、本当に喜んで安心して帰っていらしたようでした。ロータリーの皆様には本当にお世話になり有難うございます、宜しくお伝え下さいとのことでした。

来月にはいよいよ杏子さんも帰国します。元気な顔を見られるのを楽しみに待ちたいと思います。

○　村山　茂社会奉仕委員長

・　4月26日（金）午後6時30分　市西那須野支所第8回那須塩原ハーフマラソン実行委員会(1回目)に出席。平成25年11月3日（日）上厚崎総合グランドにて開催することを決定。
・　4月27日（土）足尾植樹並びに黒磯高校IAとの交流会を実施。参加人員：黒磯RC9名＋黒磯高校IA部員11名、合計20名。
・　6月8日（土）那珂川水質及び放射能調査を実施予定。山斗小屋温泉1泊。多くの皆様の参加を願います。

○　高木慶一ゴルフ愛好会会長

4月7日の秋間年度第三回コンペを4月28日に悪天候予報のため延期しましたが、連休初日もあって極端に参加者が少ないために再延期しました。5月30日(木)那須ゴルフ倶楽部で開催します。躑躅の花が見ごろです、ご参加お待ちしてます。また第4回（最終）は6月23日(日)那須黒羽ゴルフクラブで開催します。日程に入れておいて下さい。

卓話　クラブフォーラム（会長）

○　秋間忍会長

それでは、だたいまよりクラブ協議会を開催させていただきます。

クラブ協議会でどのようなことをやればよいかを念のため調べてみましたところ、少なくても事業報告と年度引き継ぎのためのクラブ協議会を開くことが望ましいと書かれていました。プログラムによれば6月にも会長担当のクラブ協議会がございますので、今日の協議会では事業報告、それも主要部門（職業奉仕、社会奉仕、新世代、国際奉仕、ロータリー財団、クラブ奉仕）の報告をさせていただきます。

その後3日後に迫りました「なす温泉ドリームバスツアー」の準備状況について要点確認のためのお時間をいただきたいと思います。先ず、一年を振り返って私から報告させていただくことは、半田実行委員長にご活躍いただいた「放射能に関する講演会・シンポジウム」､秋葉実行委員長にお骨折りいただいている現在進行中の「なす温泉ドリームバスツアー」､そして田中会計、大森広報／IT委員長にご心労をおかけしている「分かりやすい会計処理を目指した複式簿記､発生主義の採用」です。既に事業が完了している「放射能に関する講演会・シンポジウム」ですが、100名余の参加者でちょっと寂しい気もいたしましたが、参加者の雰囲気から放射能被害に対する高い関心を知ることができました。

特にシンポジウム終了後に回収したアンケートには今後の放射能対策に大変役立つ内容が書かれており、一定期間だけ子どもを非汚染地域で生活させる「保養」を市民レベルの知識とすることができたことは一つの成果と考えております。

次に､「なす温泉ドリームバスツアー」ですが、心配していた参加者数も36名になり、ツアーの行程、歓迎イベントの内容もほぼ確定しております。東日本大震災で親を亡くした子ども達とその家族にしか分からない心情を察すれば、我々に表現できることはそう多くはありません｡「ツアー参加を歓迎します。ようこそ那須にお越しいただきました」「2日間、存分に楽しんでいってください」「少しでも喜んでいただければ我々も嬉しいです」そんな想いを寄せて、例の黄色いハンカチを使いたいと思います。我々が黒磯ロータリークラブのスタッフであるという目印に、そして出会いと別れには我々が心から遠来の友を歓迎しているという証に、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、黒磯ロータリークラブが分かりやすい会計処理を目指して複式簿記、発生主義を採用したことについてですが、この採用により、何時の時点でもクラブ全体の債権、債務を含む資金状況を把握できたこともあって、地域の奉仕団体へ資金援助額を昨年比で50%以上、さらに那須塩原市の社会福祉協議会にも浄財を寄付することができました。2550地区からお預かりしている資金の流れや受益者負担で行われた行事の未納状況把握等、当初予定してしていた通りの成果をあげることができた反面、その意義と手法がクラブ内で共有されているとは思っておりません。どなたかが次

年度以降の課題としていただけたら誠に幸いです。それでは、秋葉職業奉仕委員長から順に事業報告をお願いいたします。

○　秋葉秀樹職業奉仕委員長

本来、職業奉仕委員会ですが、今年度はなす温泉ドリームバスツアと放射能に関する講演会の実行委員会に志願して参加させてもらいました関係で、職業奉仕委員会の活動を変更させていただきました。

今年度出来なかった分を、次年度の職業奉仕委員会で貢献していきたいです。

○　村山茂社会奉仕委員長

・　平成24年8月26日（日）

第32回ふれあい広場：25日準備、26日、27日片付け26日当日は、24名の会員の皆様にお手伝いいただき、奥様、お子様、お孫様の来場もあり、和やかに交流を深めることができました。

なお、販売成績は、鮎の塩焼き197匹、おにぎり200個、生ビール41杯となり、その収益金15,845円を那須塩原市社会福祉協議会に寄付いたしました。

・　平成24年9月22日（土）

秋の交通安全運動パレードに黒磯高校IA部とともに参加。那須塩原市保健センターから黒磯駅前まで約20分間行進しました。

・　平成25年3月6日（水）

例会において、各ボランティア団体に対し活動支援金の贈呈を行うとともに、各団体の活動報告等をいただきました。その内容については、秋間年度第36回会報をご覧ください。

・那須塩原市社会福祉協議会	100,000円
＜今年度新規＞	
・那須山岳救助隊	80,000円
＜昨年度＋30,000円＞	
・那須地区更生保護司会	30,000円
＜昨年度＋10,000円＞	
・ボーイスカウト那須塩原第一団	80,000円
＜昨年度＋30,000円＞	
・ガールスカウト栃木第34団	80,000円
＜昨年度＋30,000円＞	
・あったかハートの会	80,000円
＜昨年10月に贈呈済＞	
合　　計	**450,000円**

・　平成25年3月9日（土）

放射能に関する講演会「子ども達の未来のために放射能とどう向き合うべきか？」開催に協力しました。来場者数105名。アンケート調査の実施と集計（回収数39件、回収率37.1%）をおこないました。

・　平成25年4月27日（土）

新世代委員会と合同で（NPO）足尾に緑を育てる会主催の第18回春の植樹祭に、黒磯高校IA部とともに参加するとともに、帰着後交流会を行いました。参加人員は、黒磯RC9名、黒磯高校IA部11名（顧問教諭1名含む）の計20名でした。

☆　平成25年6月8日（土）予定

那珂川水質調査の実施を予定しております。山斗小屋温泉に1泊する予定です。奮ってご参加ください。

○　鈴木隆子新世代委員長

・　8月5日にインターアクトの年次大会に参加いたしました。

・　黒磯高校の磯杏子さんを一年間の交換留学生として台湾に派遣いたしました。

・　今年度のふれあい広場には、アクトのメンバーは丁度試験と重なってしまったために参加ができませんでしたが、秋の交通安全のパレードには、大森さんに色々と音頭を取って頂きまして、インターアクトとして参加することができました。

・　11月1日は、宇都宮でインターアクト合同会議が開催され、担当の増渕先生と出席いたしました。

・　黒磯高校の文化祭では、インターアクトメンバーによる出店があり、応援に行って参りました。
・　1月は、第2回地区世界平和フォーラムがあり、環境問題等について、考えされられました。
・　3月には、3名のインターアクターが台湾への研修旅行に参加いたしました。今度、研修の成果を発表してもらう予定です。
・　インターアクトのメンバーが当初3名でしたが、メンバー達のがんばりで10名ほどに増えました。

今後も先生とも連絡を取りながらインターアクトの活発な活動を促進して行きたいと思っています。現在までの主な活動は以上です。

○　和気勝利ロータリー財団委員長

財団委員会の卓話の日程がまだ残っておりますので、実績報告はその時にさせていただき、本日は一年間委員会をやってきて感じた事を1つ発表いたします。財団の地区補助金は、今年度より新しい補助金制度に変わっていくため、より計画・実行・見直し等の活動が必要と考えます、いわゆる、P・D・S(Plan,Do,See)を有効活用して、よりよい財団の地区補助金を活用していきたいと考えております。

○　鳥居輝一国際奉仕委員長

本年度の経過報告ということで、現時点までの実績を申し上げます。

現況報告書に記載しておりますとおり、3項目を掲げ本年度の活動をやってまいりました。

その中で、本年は東日本大震災から2年目の年ですので国際奉仕委員会は対外事業の部門ではありますが当委員会としては国内に重点的に目を向け、予算の25万円の中から20万円を11日から12日の一泊2日の震災孤児の招待費用の一部として協力をいたしました。

それと、6月23日からのポルトガルのリスボンでの国際大会は現時点での申込者がおりませんので本日をもって受付を締切といたします。

以上報告といたします。

○　秋間　忍会長

各委員長さんご報告ありがとうございました。それでは「なす温泉ドリームバスツアー」の準備状況について、秋葉実行委員長、進行をお願いします。

報告　なす温泉ドリームバスツアー

○　秋葉秀樹実行委員長

今週の11日・12日に、なす温泉ドリームバスツアーを行います。参加頂いた方々に行ってよかったと思ってもらえるようにしたいので、皆様のご協力よろしくお願いします。

○　大森貞男君(りんどう湖担当)

来る5月11日には仙台発バスにて、那須温泉ドリームツアーがキャンドルハウス・シュシュに来ます。

私達はそれまでに、キャンドルハウスにて、待機をします。体験教室は30分コースと1時間コースがあるそうですので、選んでもらいます。

終了後りんどう湖に行き沢山の遊びがありますので、15時前までに自由に。その後、目の前のりんどう湖ロイヤルホテルまで送ります。

昼間の時間はここまでで、次にお渡しをいたします。

○　髙木慶一君(夕食担当)

先々週の例会で11日の奉仕内容がはっきりしてませんでしたので、出欠を取り直すと申し上げました。11日は16時30分りんどう湖ロイヤルホテルに集合、子ぎつね太鼓の太鼓搬入、設営、終了してからの搬出です。16時30分から21時となっていますが、搬入だけでも搬出だけでもけっこうです、出欠の回覧を回してますので、ご記入お願いします。夕食着席者はお客様36名と子ぎつね太鼓演奏者と保護者22名合計58名です。

○　佐藤博君(マウントジーンス他担当)

5月12日予定のおさらいとなりますが、まず、マウント・ジーンズ「水仙リフト」ですが、乗降時は2名ずつのスタッフが導いてくれます。基本的に下りは水仙や高原の景色を眺めながらですが、歩行が少し苦手だと思う方は、往復利用も可能です。(追加料金なし)等の内容は確認済みです。

次に「どうぶつ王国」ですが、園内は特別危険と思われるところはないとのことでした。諸々の施設には当然スタッフが揃っておりますので、心配ないと思います。

バーベキュー会場へ行くバスの時刻をお知らせの上、自由行動を予定しております。何はともあれ"天気次第"!!

○　齋藤武久君（バーベキュー担当）

先月現場を見て鉄板の大きさに不安を持った報告をしました。そこで5月1日に有志でリハーサルを行いました。その結果、炭を十分に熾せば、火力には問題がないことがわかりました。炭ですからガスと違って微妙な火力の調節が難しい事が分かりました。このリハーサルに当たって、黒澤恵子さんと“道とん堀”の印南店長に大変お世話になりました。お礼を申し上げます。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　連休最終日、6番目の孫が生まれました。
村山　　茂君　足尾植樹、皆様のご協力有難うございました。
半田　久一君　誕生祝い有難うございました。5月25日で80歳になります。
高根沢邦夫君　誕生祝い有難うございました。
髙木　　茂君　結婚31年になりました。
遠藤　清和君　結婚祝い有難うございました。
佐藤　　博君　クマガイ草が隅の方で控えめに咲きました。
大森　貞男君　那須温泉ドリームツアーの成功を祈ります。

結婚祝

髙木慶一君・髙木茂君・遠藤清和君・(田中徹君・須藤舜生君)

誕生祝

半田久一君・高根沢邦夫君・(新井聖一君)

● 5月8日欠席(敬称略)
新井聖一・植竹一裕・須藤舜生・田中徹
藤村聡・室井次男・田村吉興

○ 前回4月24日分メークアップ(敬称略)
石山桂子・植竹一裕・鈴木久雄・瀬尾紀夫
田中徹・福田逸男

次回例会　　平成25年5月15日　　出席委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2585 回　秋間年度　第 42 回　会報　2013-05-15　司会　福田　逸男君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！

先程、なす温泉ドリームバスツアー招待事業の和気副実行委員長から報告ありました通り、お陰さまでツアー参加者にはたくさんのイベントを楽しんでいただき、笑顔の子供たちとご家族を無事見送ることができました。改めまして、このたびの事業にご協力をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

思えばこの事業は黒磯ロータリークラブにしかできない事業でした。もし、実行委員長の秋葉さんがいなかったら、もし副実行委員長の和気さん、村山さんがいなかったら、そして、おもてなしスケジュールの各リーダーを務めてくださった大森さん､高木慶一さん､佐藤博さん、齋藤先生がいなかったら、とてもこれだけの事業を行うことはできませんでした。また、会員の奥様には陰ながら心のこもったご奉仕をいただき、これもまたこの事業に必要不可欠なものだったと今さらながら再認識している次第です。

皆様にお伝えしたいことをできる限りご紹介させていただきます。我々ロータリアンならロータリーの活動を広く世の中の人に知っていただきたいと思うのは当然なことですが、今回の事業に当たり我々が最も大切にしてきたことは、親をなくしてしまった子供たちに震災や親にまつわる辛いを思いを呼び起こさせるようなことは一切したくないどういうことと、参加者のプライバシー守るということが基本方針でした。しかし、思わぬところで矛盾が生じました。苦渋の選択結果をご理解いただくために、私が下野新聞社に送ったメールを読まさせてさせていただきます。

@ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @

下野新聞社　那須塩原支局
飯塚支局長様　関根記者様

おはようございます。黒磯ロータリークラブの秋間です。

この度、当クラブが企画しました「なす温泉ドリームバスツアー」を丁寧に取材していただき、立派な記事にして頂きまして誠にありがとうございました。

当日の取材に当たり、宮城県から招待した被災者の心情やプライバシーを想う余り、関根記者には大変失礼な物言いをしてしまったのではないかと自責の念を抱いております。

我々が半年ほど前から準備をしてきた段階でも、いかにして被災した子ども達と家族の心を傷つけないで、かつ家族（里親）との旅行を楽しんでいただくかが最大の課題でした。当クラブの易からぬ事情をご推察の上、ご無礼をお許しください。

出席報告　出席委員会　　室井次男君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 5月15日	40(1)	32(0)人	8(1)人	82.1%	*	
前　回 5月 8日	40(1)	33(0)人	7(1)人	87.2%	2人	89.7%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

幸い取材に応じても良いという方が現れ、子ども達の写真も了承していただき本当によかったと思っています。お陰さまで試行錯誤の初事業を無事終了することができ、参加者からことばでは表せないご褒美「ありがとう」をいただきました。

これからもロータリーの良き理解者として、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。ご協力本当にありがとうございました。

黒磯ロータリークラブ会長　秋間　忍

@ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @ @

このメールに対して、この後飯塚支局長様、関根記者様から丁重なご返事をいただきました。蛇足ながら関根記者は宮城県の出身でした。

一方、我々は本当に良いことをしたんだと確信できるお話をさせていただきます。今回の参加者の中に石巻ロータリークラブの事務局を務められている伊藤さん（無理を言って下野新聞社のインタビューに答えていただいた方）がおりました。

帰路のサービスエリアで私と立ち話をしました。「何か失礼な質問はありませんでしたか？」「特にありませんでした」そんな会話の後、伊藤さんがこんな話をしてくれました。「私は震災後、石巻ロータリークラブさんにお世話になっていますが、今回のツアーで黒磯ロータリークラブの本当によく準備されたおもてなしを受け、こんなロータリークラブがあったんだ！という思いです。ありがとうございました・・・」。

そしてもう一つ、帰路最初の帰宅者が仙台インターでバスを降りる直前にガイドさんからお別れの挨拶がありました。言葉は正確に憶えていませんが、挨拶の内容は今回のバスツアーを企画してくれたことに対する感謝の気持ちを切々と述べるものでした。・・・自分達のバス会社、仙台バスもバスの半分が流され、ガイドさん自身の車も流されてしまったそうです。その時はこの世に神も仏もないと思ったそうでうが、もしこの世に神や仏がいるならばそれは人間であり、人が行う無償の行為であると思うと、そう言ってくれました。帰りバスの中でいただいた拍手はどんなメダルより重く、ロータリアン冥利、会長冥利「本当にやって良かった」という思いを強くさせてくれるものでした。

少ない会話からでも我々の心意気が伝わったようで秋葉実行委員長、和気副実行委員長も不思議な感動を抱かれたと思います。会員の皆様、奥様、そしてご協力いただいた方々には大変なご苦労をおかけしましたが、黒磯ロータリークラブの恵まれた人材とそれを分かってくれた人たちに出会えた幸運に感謝しております。ご協力本当にありがとうございました。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

【理事会報告】

○ 6月プログラム承認の件　～承認
○ 平山年度新地区補助金、R財団の申請の件～承認
○ 今年度の委員会事業計画について　～承認
○ 事務局への報酬支払時期について　～承認
後払いを基本とする当該年度期中の6、.12月にそれぞれ半期分を支出する
○ 出席が困難な会員の出席内規について（出席保留会員制度）　～承認
病気療養などを理由にしばらく欠席が続くことになってしまう会員について、所定期間の会費を予め40%減免し、その会員が食事提供のある例会等に出席した時は、食事代をその都度支払う制度（仮称：出席保留会員制度）、「出席保留会員制度の適用、及び適用停止については、当該会員ごとにクラブが一般会員から通常の会費徴収を行う直前の理事役員会で審議する。」
○ 新入会員推薦の件　～承認
○ 矢板高校インターアクトクラブ設立総会の件～承認
お祝い金は出さない
○ 平山年度一年交換留学生受け入れの件　～承認
受け入れる方向で検討する
○ 5月22日新世代委員会卓話の件　～承認
黒磯高校IACと引率教諭が卓話者として見える

【幹事報告】

○ 大田原クラブから週報が届いています。来週回覧します。
○ 地区インターアクト委員会より会議の案内を頂きました。
○ 次年度の案件なので、平山年度新世代委員長の髙木委員長にお渡ししました。
○ 国際交流協会から寄付の案内を頂きました。鳥居国際奉仕委員長にお渡ししました。
○ 当クラブに在籍されていた野崎兼太郎会員が本日ご逝去されました。謹んでご報告申上げます。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○ 那須ﾄﾞﾘｰﾑﾂｱｰ実行委員会

和気勝利実行副委員長

5月11～12日の両日、那須ドリームツアーの実施におきましては、皆さまのおかげで無事終了することが出来ました。会員および奥様のご協力、ご援助心より御礼申し上げます。それに伴い、5月22日(水)18時30分、割烹石山にて、慰労反省会を開催いたします。たくさんの会員の皆様のご参加お待ち申し上げます。

○　プログラム委員会　　半田久一副委員長

４月の理事会において、４月 24 日クラブフォーラムは担当クラブ奉仕委員会が5月15日に、15日の卓話担当は出席委員会と入れ替えになりましたので、本日はクラブ奉仕委員会によるクラブフォーラムになります。

尚5月22日以降のプログラムは予定通り行いますので卓話担当委員会の皆様宜しくお願い致します。

卓話　クラブ奉仕委員会

○　澤田吉夫クラブ奉仕委員長

本日は先週に続いてのお話になるかと思います。

クラブ奉仕委員会の今年度の計画は、秋間会長の方針にありますように、楽しいクラブ運営を心がけるということでありまして、まさにその通りのようになったと思っております。

会員相互の親睦はもとより、楽しいロータリーライフに寄与したものと思います。そこで本日は、各委員会の今までの実績等の報告をお願いしてございます。

発表順は現況報告書の通りにお願いいたします。

ただし、ロータリー情報委員会の篠崎委員長が欠席でして、副委員長の月江さんも欠席との連絡をいただきましたので、今回は除いて発表していただきたいと思います。

○　親睦委員会　礒勝彦委員長

今年度は開始早々に、澤田クラブ奉仕委員長から「各委員会は､全員が委員長という自覚で活動して欲しい」という有難いお言葉がありました。そこで親睦委員会としましては、この言葉に沿って各行事に委員長を設定いたしました。先ず、観月会は和気委員長が持ち前のパフォーマンスで、時間延長で盛り上げてくれました。参加費につきましては秋間会長の「出来るだけ参加費をとらない」と言う方針に沿って、個人負担無しで行いました。今年度の予算 \40 万円に対し予想以上の参加者がありましたので、若干オーバーしております。誕生、結婚の祝い品につきましては、各会員から希望を取りまして「お米」か「お花」を@\3,000 の

予算で贈らさせていただきました。クリスマス家族会は福島泰雄委員長にお願いいたしました。藤村委員長と共に奮闘して頂きました。かねてから「サンタクロースのコスチュームを着るのが夢だった」委員長は期待通りの活躍をされたと思います。会員以外の参加者からは@\5,000 の参加費を頂きましたが、73 名の参加を頂き盛会裏に終わったと思います。\70 万の予算に対し\768,709掛かりましたが、十分に楽しんでいただけたものと思っています。新年会は鈴木隆子委員長が担当いたしまして、石山桂子さんの協力のもと､【今迄にない女性らしさの溢れる新年会】になったと思います。残るは遠藤清和委員長担当の観劇会ですが、織姫会の希望待ちとなっています。残る日にちを考えますと、今年度は持ち越しとなりそうです。考察：今年度は澤田クラブ奉仕委員長の指針に従って、全員委員長と言う事で活動いたしました。各委員長の持っている色が出て、今迄にない親睦活動が出来たと感じました。澤田委員長に感謝いたします。

○　出席委員会　　瀬尾紀夫委員長

出席委員会は副委員長に福田逸男さん、委員に高根沢邦夫さん、石山桂子さん、室井次男さんと委員長の私、計５名です。

７月スタートから４月までの 10ヵ月間の出席状況をお話しします。会員 42 名でスタートし、現在 40 名です。例会 40 回中、出席率 100%の例会は８回です。メイキャップを加えず純 100%例会出席メンバーは４名です

メイキャップを加えた100%の会員は25名です。また、無断欠席者はスタート時チョッとありましたが、今現在はありません。また、無断早退者もスタート時はありましたが今現在はありません。

欠席がちの会員の方はメイキャップをしていただき、出席率の向上に努めてください。

○　プログラム委員会　半田久一副委員長

新井委員長が欠席のため半田が報告致します。プログラム委員長に新井会員、副委員長に半田が、委員に佐藤会員の3名の編成です。

作成されたプログラムに基づき毎月の理事会にて変更承認を受け進められて参りました。これ偏に会員の皆様によるご協力の賜です。有難うございます。

○　広報 / IT 委員会　　大森貞男委員長

構成は、委員長大森貞男、副委員長福島泰雄、月江寛智、礒勝彦

- 平成24年 6月：黒磯ロータリークラブ那珂川源流水採取をロータリーに掲載。
- 平成22年 9月22日（土）：那須塩原交通安全協会黒磯市部主催街頭パレードのパレードに、小学校ブラスバンド部、ボーイスカウト、ガールスカート、黒磯高校インタアクト、那須塩原交通安全協会黒磯支部員と共に参加。
- 平成24年 9月24日（月）：2550地区広報 / IT委員会福島泰雄氏代表で出席
- 平成24年11月12日（月）。大幸にて、広報 / IT 委員会開催
- 平成25年 1月 9日（水）：第12回デジタルフォトコンテスト発表会
- 平成25年　3月14日（木）：広報 / IT 委員会のホームページについて検討会

○　スマイルボックス　　鈴木久雄委員長

本年度、スマイルボツクス会員皆様の御協力により5月15日現在　1,178,391円になり目標達成もまじかです。平山次年度へ100パーセント以上で引継ぎしたいと思いますので、御協力のほど宜しくお願いします。

○　会報委員会　　植竹一裕委員長

今年度会報委員会としては、円滑な会報の配信を目標としておりますが、遅延1回、再発行を1回と会員の皆様にご迷惑をお掛け致しました。また、配送してもファイル形式にバフが出て会報を読む事が出来ない事態が3～4回程発生致しました。いまだ原因が不明ですが何故か最近は問題が発生していないと思います。万が一の場合もホームページから会報データを取り込む事が出来る様になっており、安堵しております。また、会報対応用の新規ノートパソコンを導入し円滑な配信が出来る様に残り僅かではありますが、心がけていきますので宜しくお願い致します。

○　クラブ史料委員会　　檜山達郎委員長

クラブ史料委員会は私と高木茂氏との二人です。例年この委員会は前年度の会長と幹事が引き受けて担当することになっています。

実は先日も資料室を拝見してみましたが、あまりにも膨大な資料に圧倒されました。さすが黒磯ロータリークラブ５０年の歴史に触れることが出来ました。

そこで、私の考えと提案でありますが、一度か二度、全員で時間をつくり整理することを提案いたします。いかがでしょう？

○　雑誌委員会　　深町彰委員長

雑誌委員会は、私と副委員長の須藤舜生さんからなります。

秋間年度での計画は、クラブ現況報告書の66ページに記載のとおりです。

1．ロータリーの友という雑誌の会員および公共施設への配布は例年どおりに行なっております。その際、瀬尾さん、村山さん、石山の伊藤さんにご協力いただき、感謝申し上げます。
2．新入会員の研修時の、ロータリーの友およびガバナー月信の利用は、今のところ残念ながら、行なわれておりません。
3．ロータリーの友への投稿の件で、再三皆さんにお願いいたしましたが、大森さんに答えていただきました。「石垣島が呼んでいる」との文章を投稿しましたところ、友愛の広場に採用されました。6月号に掲載される予定です。乞うご期待です。今後も黒磯クラブからの掲載が増えますことを希望して、報告といたします。
4．史料委員会への雑誌の提出は、年度末に行なう予定です。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

秋間　　忍君　黒磯ロータリークラブにしかできない事業でした。有り難うございました。
瀬尾　紀夫君　野崎兼太郎先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。
藤村　　聡君　なす温泉ドリームバスツアー成功おめでとうございます。秋葉委員長お疲れ様でした。
和気　勝利君　那須ドリームバスツアーへのご協力有り難うございました。
吉光寺政雄君　昨日パパになりました。(ママに似て可愛い娘です！会員Ｕさん情報です。)
桜追っかけ会　4月25日北上展勝地まで桜を追っかけてきました。すばらしい好天でした。

誕生日　コメント

○　高根沢邦夫君

お陰様で喜寿を迎えることができました。

私は昭和11年5月10日生まれです。本日はお祝いを頂き有難うございました。私の姉弟は6人。姉が3人、4番目が私です。下に弟と妹です。

今のように幼稚園はありませんから、入学までは家に居りました。18年に穴沢小学校板室分校に入学。全校生55人。通学路は板室温泉より板室本村まで3キロの山道です。人間だけしか通れない本当の山道でして、一時間かかりました。

入学時の一年生(同級生)3人。男一人女二人。従って、卒業まで勉強方式は複複式。1年、2年、3年で一学級、4年、5年、6年一学級。

授業内容は教室には仕切りが無く3学年一緒の教室なので、例えば一年生の授業の時は2・3年生は自習です。九九算の時は、3年生の勉強中に下級生が覚えてしまいます。

修学旅行は5年6年合同で三斗小屋一泊。大雨に遭い2泊となり家の人が迎えに来ました。電気も電話もなく今では考えられません。

中学校は高林中学でしたが、8キロ徒歩2時間。私はとても2時間は歩けないので黒磯中学に入学しました。勿論家からは通えないので、親戚の家に下宿しました。3年間。黒磯中学は1学年300人。世界が変わった感じ

でございました。
　現在の穴沢小学校は全生徒35人。本年限りで廃校となり、来年度は高林小学校に統合されます。

○　半田久一君

　私の誕生は、1933年(昭和8年) 5月25日、今の那須塩原市役所前の共墾社120の坂下屋商店にて、父半田光伊と母イトの長男として生まれました。
　昭和8年は、ドイツではヒトラーが首相に就任。3月三陸地方に大地震、大津波。死者1,535人、流出家屋3,500戸。小学校国定教科書「サイタ、サイタ、サクラガサイタ」(桜読本) となる。5月ドイツの建築家ブルーノ・タウト来日。10月「武士道」の作者新渡戸稲造、カナダで客死。12月23日皇太子誕生などがありました。
　小学校入学は父の勤めの関係で、東京滝の川第3小学校でした。紀元2600年の一年生でした。学校の脇には早稲田行きの都電が行き交い、プールがあり、グラウンドはコンクリート舗装でした。近くの飛鳥山と音無川でよく遊びました。
　その後戦火は激しくなり、昭和19年3月縁故疎開のため私のみ坂下屋の祖母の元に疎開しました。転校手続のため、母に連れられて通信簿を持参し細小路丑松校長の面接を受け、黒磯小学校5年生に転入することが出来ました。担任は塩野敏先生でした。今日はここまで。有難うございました。

●　5月15日欠席(敬称略)
　秋葉秀樹・新井聖一・遠藤清和・篠崎勝則・時庭稔・月江寛智・田村吉興

○　前回5月8日分メークアップ(敬称略)
　植竹一裕・田中徹

次回例会　　平成２５年５月２２日　　新世代委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2586 回　秋間年度　第 43 回　会報　2013-05-22　司会　荒井　昌一君

お客様

○　黒磯高等学校インターアクトクラブ

眞淵千果先生･人見葵さん･人見理絵子さん･佐伯千春さん

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！黒磯高校インターアクトクラブの皆様、顧問の眞淵先生、黒磯ロータリークラブの例会にようこそお越しくださいました。過日、足尾の植樹祭でご一緒せていただいたものですから、皆様のお顔を見たときに、何か親戚の子に会ったような懐かしさを感じました。今日は台湾研修旅行のご報告をしていただけるということで、我々皆で楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

ひとつお詫びを申し上げなければならないことがあります。それは植樹祭の後の懇親会で、東日本大震災で親をなくしてしまった子供たちを那須に招待するに当たり、皆様の手助けをお願いしたいと言っていたにもかかわらず、土壇場で手が足りているので大丈夫だということで､お願いを取り消してしまったことです。こちらから頼んでおいて、肩透かしをしてしまったことを深くお詫び申し上げます。いろいろ事情はございますが、これからも黒磯高校インターアクトクラブの皆さんに活躍していただきたい状況はまだまだあると思いますので、これに懲りずに今度ともご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　先週、野崎元会長の葬儀に参列し秋間会長名で供花お香典をお供えしました。
○　現況報告書の改訂版を各自のレターボックスに入れさせて頂きました。
○　半田久一会員全面監修の、正規版となります。
○　東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室Ｓ-チルより案内を頂きました。回覧中です。
○　大田原クラブより週報を頂きました。回覧中です。
○　昨日大田原中央クラブにてフランス・リヨンより

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 5月22日	40(1)	29(1)人	11(0)人	72.5%	*	
前　回 5月 15日	40(1)	32(0)人	8(1)人	82.1%	2人	87.2%

欠席の場合は当日９時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

お越しのGSEメンバーの歓迎会があり、秋間会長と出席して参りました。

○　5月27日に秋間年度と平山年度の委員長引継式を行います。午後6時より割烹石山さんで行います。担当の委員長様はご出席をお願い致します。

委員会報告　平山博副会長

○　那須温泉ドリームバスツアー実行副委員長　和気勝利

本日5月22日、6時30分当石山にて、那須温泉ドリームバスツアーの慰労・反省会を開催いたします。たくさんの皆様のご参加おち申し上げます

○　相馬征志君

奥日光へ花を求めてのハイキングのお誘い。菖蒲が浜から千手が浜、そして小田代ヶ原・戦場ヶ原と花を求めてのハイキング（正味歩行時間約3時間）にお誘いします。

催行日：6月16日（日）。朝6時出発、午後4時帰着予定。雨天が予想される場合は、翌週23日に催行します。

参加費：１人2,000円～3,000円位

○　秋葉秀樹ドリームツアー実行委員長

なす温泉ドリームバスツアーのDVDが出来上がりました。また、参加者より御礼状が届きました。回覧します。

卓話　クラブ奉仕委員会・新世代委員会

○　ロータリー情報委員会　月江寛智委員長

今までロータリー情報をお知らせする機会がありませんでしたので、2件だけお話します。

(1) 2013年のポリオ発生件数

5月14日現在国別の発生件数は、パキスタン8, アフガニスタン2, ナイジェリア22, ソマリア1の合計33で、「ロータリーの友」4月号の表紙裏に田中RI会長の「ポリオはあと少しで撲滅できます」をポーズしている写真が載っています。1985年以来ロータリーが取り組んできた世界的事業の完遂も間近です。

(2) 3年に1度の規定審議会が4月21～26日にかけてシカゴで開かれ、各クラブや地区、RI理事会から提出された200件（日本案22件）の立法案が審議され、採択59件（日本案7件）理事会付託7件（日本提案1件）という結果です。採択された立法案をまとめて配布します。

(3) 各案件の最後の行に記されている「標準」は標準ロータリークラブ定款の立法案です。理事会委託となった東京多摩川ロータリークラブ提出の13－41「特定の元奨学生を正会員として認める件」の審議概要をみてみますと

- 提案理由：公益法人ロータリー米山記念奨学会による高等教育機関の学生を対象とした奨学事業の元奨学生を加えることを規定するものである。本制定案は、会員増強に好ましい影響を及ぼすと考えられる。
- 修正動議：ジョージア・ロータリー・ステューデント・プログラムも加えることを提案。
- 特別議員：これが可決されると非常に長いセンテンスになる。ロータリー全体を考えるのなら2016年に再度審議されるべきであろう。
- 反対：これを採択すると様々な奨学プログラムを加入させることになって、エスカレートしていくので反対である。
- 反対：特定の奨学金が特別待遇になるので反対。
- 修正動議：理事会に付託いただきたい。
- 賛成：特別議員のコメントに従いたい。
- 反対：少し前に否決された13－40は残念であった。少なくともこの制定案を可決するべきである。
- 反対：強く反対したい。ロータリーの定款に財団以外の特定の奨学会を特別視するべきではない。また、これが可決されれば「複雑化」」が増大する。などの議論があり、結果的には理事会付託となってます。

○　新世代委員会　鈴木隆子委員長

こんにちは。

今日は新世代委員会の卓話ということで、黒磯高校インターアクトのみなさんにおいでいただきました。

黒磯高校インターアクトクラブは、昨年3月に3年生が卒業してしまいメンバーが3人になってしまいましたが、真淵先生のご指導のもと活発に活動をしながら部員の勧誘にも力を入れていただきまして現在は10

名になりました。

現在、礒杏子さんが１年交換留学生として昨年８月からこの６月まで台湾に行っていますが、３月に３名、海外研修と言うことで台湾にいってまいりました。

本日は、その３名のメンバーに、海外研修で感じたことや思い出に残っていることなど、何かこの経験を通して得られたことについて発表していただきます。

それでは、宜しくお願いいたします。

○　黒磯高等学校インターアクトクラブ

視野を広げる台湾研修

黒磯高校　３年　人見　葵

台湾研修の１日目、その日はほとんどを移動に費やし、出発が早朝だったこともあり、私は台湾に着く頃にはとても疲れていました。しかし現地に着くと地元の学生さん達が大勢で迎えてくれて、フレンドリーに話しかけてくれたので、嬉しさのあまり疲れなど忘れてしまいました。学生さん達は夕食パーティーでは分かりやすい英語で話しかけてくれました。台湾では「食事をするために日々の仕事を頑張っているのだから、食事は楽しんで食べよう」ということらしく、とても盛り上がって楽しかったです。

２日目には、台湾の仏教文化に触れるために寺院などを巡りました。参道の売店で、私は初めてグァバというフルーツを食べました。それは台湾ではポピュラーな果物のようでした。バナナの花も初めて見ました。日本では気候の関係で絶対に見ることができないものでした。昼食の料理の中に鶏の足が丸ごと入っていたことにも驚きました。国が違うだけである物も違うし、驚くことばかりで刺激的でした。

台湾の学校を訪ね、その学校が独自に特色ある教育として行っている「特殊メイク」の体験をさせていただきました。台湾名物パイナップルケーキも手作りで食べさせていただきました。その日の夕食パーティーでは、より台湾の学生さん達と仲良くなることができ、連絡先を交換しました。日本の文化紹介のために一緒に折り紙で折り鶴を作り、また、その後には夜市を案内してもらいました。夜市では、初めて見るものがたくさんありました。学生さんに勧めてもらったイチゴ飴も美味しかったです。夜だというのにとても人が多く、日本の静かな生活と違い文化の差を感じました。

3日目は、台南から台北へ移動しました。昼食は飲茶でした。これはお茶を飲みながら楽しむ軽い食事のことだそうですが、私には量が多くてとてもお腹いっぱいになりました。その後は中正記念堂へ行き、台湾の歴史に触れることができました。ガイドさんが詳しく説明してくださいました。

夕食では、台湾に来ている他の国の交換留学生さん達と交流しました。私たちのテーブルに来たアメリカのトリステン・ヒルダブランドさんは以前、日本にも来たことがあるようで、話が盛り上がりました。彼女が見たことのある日本のアニメの話などをしました。

４日目には、忠烈祠で建物を守る衛兵さんの交代式を見ました。一糸乱れぬ動きはまさに圧巻でした。とても壮観だったので、もう一度見たいです。台北101展望台では、ギネスに認定されている世界高速のエレベーターに乗りました。このエレベーター５階から展望台のある89階までわずか37秒で着きます。私は、高い所が苦手ですが、このエレベーターに乗ることができて嬉しかったです。残念ながらその日は曇りで、遠くまで景色を見渡せるほど視界が良くありませんでしたが、タワーとの合成写真を撮ることができ、楽しい時間を過ごしました。

台湾での時間は、すべてが刺激的で楽しいものでした。人々はとても親切で、本当に嬉しかったです。台湾で体験したことはこれからの人生の中での宝物になると思います。お世話になったガイドさんが最終日に、台湾では「さようなら」は言わないのだと教えてくれました。お別れの挨拶では「さようなら」ではなく「また会いましょう」という意味で「再見」と言うのだそうです。最後に私が「謝謝！再見！」と言うと、とても喜んで「再見」と言ってくれました。私は大人になったらまた台湾に行きたいです。素敵な台湾の人たちにまた会いに行きたいと思います。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。

台湾の人の心の暖かさに触れて

黒磯高校　３年　人見　理絵子

この台湾研修を終えて感じたことを４つ挙げます。1つ目は、日本との気候の違いです。出発の日、私の住んでいる地域ではまだ寒くて、山にはまだ雪が残っていました。私は台湾も東アジアで温帯なので、それほど気候は変わらないと思っていました。だから台湾に着いたときに気候の違いに驚きました。十二月に修学旅行で沖縄に行った時と同じように暖かくて，湿気がすごかったです。

2つ目は、料理です。見た目と味のギャップです。甘いと思って食べたら塩からかったり、塩からいと思って食べたら甘かったり、驚きの連続でした。特にシュウマイは日本人の好みにもあって、とてもおいしかったです。台湾の料理の中で１番印象に残っています。

３つ目は、夜市です。日本でいうお花見やお祭りといったものに雰囲気が似ていました。でも、日本と違って夜市は毎日やっているそうです。そして地元の高校生にたずねると、彼らは週1，2回は行っていると言っていました。私は夜市の体験を台南と台北の二ヶ

所でしました。台北は、屋台なども少し台南とは違っていました。私は、台北の夜市が気に入りました。そこは、屋根がありましたので、雨の日でも楽しめます。それから、地下設営もありました。そこで、私はマニキュアを無料でやってもらいました。とてもかわいく仕上がりました。台湾の文化は日本と似ているところもありますが、少し違うところも発見し、おもしろく感じました。

4つ目は、台湾の人々の優しさです。最初に台湾に着いたときは、不安と期待で不安の方が大きかったのですが、すぐにそれはなくなりました。台湾の方々が私たちを出迎えてくれたときのことは今でも鮮明に覚えています。エレベーターを降りたとき、台湾の方々が両側にいて華やかに出迎えてくれました。私にとっては、カーペットこそないものの、レッドカーペットを歩いている気分でした。わけへだてなく、知らない人にこういう親切にしてくれるところに感激しました。

そして、台湾の方と仲良くなっていけたのは、積極的に話しかけてくれたおかげです。日本人は初対面の人には人見知りをしますが、台湾の方はそんな気取ったところはなく、気さくです。だから、私もコミュニケーションを取りやすかったです。私が仲良くなった人の中に、日本が大好きな女の子がいました。その人は日本語も大好きで勉強しているようでした。私と話しているときも「ちょっと待ってて！」と、言いながら、言葉を選び考えて、日本語で話してくれました。日本語で話してくれたことはもちろん嬉しかったのですが、日本語で話そうとしてくれた「相手を尊重する気持ち」が一番嬉しかったです。そんな台湾の方々の心遣いのひとつひとつが私の不安を消してくれました。私もそんな気遣いができる人間になりたいと思いました。相手を思いやることに、国や地域は関係ないのだということも、改めて実感することができました。これからの学校生活や卒業してからの生活でも、この機会で学んだことを思い出して、活かしていけるように努力したいです。

台湾の歴史と現在の文化に触れて

黒磯高校３年　佐伯千春

私は、三泊四日の研修の中で、多くの人々と触れ合い、台湾の文化についてたくさん学ぶことができました。このような貴重な機会に参加させていただけたことに心から感謝申し上げます。

私は、これが初めての海外で、現地に到着するまで不安でいっぱいでした。しかし、空港で待っていたのは、台湾の学生たちのたくさんの笑顔と拍手でした。うれしさで胸がいっぱいになりました。

空港での盛大な出迎えの後、新幹線で一路、台南へ向かいました。到着後、市内のレストランで夕食会が開かれました。同席になった女子大生が料理をお皿にとりわけてくれたことをきっかけに会話が始まりました。彼女は、テーブルに着いた各国出身者がお互いわかるように英語や中国語、日本語をとりまぜて話しかけていて、とても感心しました。もっと日本について学びたいと目を輝かせて語っていたのも印象的でした。

二日目は、大仙寺などを見学した後、新榮中学の学生たちと交流しました。台湾のお寺は、日本のお寺と比べると、極彩色に彩られた豪華な「廟建築」で、精密な彫刻が至る所に施されていました。どれもすばらしかったです。学校では、人工的に切り傷を作っている特殊メイクの体験をしました。リアルな出来だったので、とても驚きました。これは、映画などで使うそうです。帰りには、台湾の国民的お菓子の一つであるパイナップルケーキをご馳走になりました。夕食では、学生たちと写真を撮ったり、折り紙をしたり、英語で会話をしたりと、少し仲良くなれたような気がします。FacebookのIDを交換する人が多く、こうしたことが世界の人々とのつながりを広げていくのだと感じました。夕食後は、学生たちが夜市を案内してくれました。一緒に夜市にあるお店で射的をしたり、食べ歩きをしたり、とてもにぎやかで楽しかったです。

三日目は、台北へ移動して故宮博物院、中正紀念堂、総統府を見学しました。世界四大博物館の一つである故宮博物院は、中華歴代の至宝を収蔵、展示しており、精巧さに驚きました。あまりにも人が多く、見学できなかったところもあるので、また見に行きたいです。中正紀念堂には、中華民国初代総統である蒋介石の使用していた物品や様々な書物が展示されており、その歴史について学ぶことができました。総統府は、ルネッサンス様式の歴史的建築物で、現在も行政府の機能を果たしているそうです。昼食は飲茶、夕食は台湾料理を満喫しました。この日の夜市は、規模が大きく、グルメから服まで、どの店もリーズナブルな価格と品揃えで、目を楽しませてくれました。

四日目は忠烈祠、一〇一展望台を見学しました。忠烈祠の衛兵の交代式は、一糸乱れぬ動きで圧倒されました。台北のランドマークである一〇一展望台は、台湾最高層ビルで、八十九階までを約三七秒で到着するエレベーターにはとてもびっくりしました。

この四日間は、本当に楽しく、一日一日の内容が濃く、とても充実していて、あっという間に過ぎてしまいました。台湾の人たちは温かい人情味にあふれ、明るく気さくで、良い人たちばかりで、また来たいなと思わせてくれました。因みに、中国語で「さようなら」は「再見」と言うそうです。また、インターアクトク

ラブの目標である「地域社会、国家及び世界の問題についての理解を深める」、「国際理解と親善」を少しでも達成できたのかなと思います。そして、これからもインターアクトの精神を忘れず、日々の活動に励み、努力していきたいです。

○　鈴木隆子委員長

ありがとうございました。

インターアクトの様々な活動や、貴重な経験を通じて感じたことや得られたことはみなさんのあとに続く後輩たちに引き継がれ、また、皆さんご自身としてもこの時期のこれらの経験が将来にとって有意義なものとして何か皆さんの心に残っていきましたら・・・とおもいます。

以上で新世代委員会の卓話を終わらせていただきます。

☺　ニコニコボックス　高木慶一君

植竹　一裕君　本日の午前中、会長のお仕事を邪魔致しました。お陰さまで大変参考になりました。お世話になりました。

ローソク制作体験

りんどう湖ファミリーでは動物のお出迎え

なす温泉ドリームバスツアーのアルバム１

宮城県から那須の地へ来てくださいました

子狐太鼓が夕食会で披露してくれました

● 5月22日欠席(敬称略)

新井聖一・大森貞男・澤田吉夫・須藤舜生
瀬尾紀夫・橋本佳明・福田逸男・深町彰・藤村聡
室井次男・篠﨑勝則

○ 5月15日メーキャップ(敬称略)

秋葉秀樹・月江寛智

次回例会　　平成２５年５月２９日　　ロータリー財団

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ 0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須 0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作次
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５８７回　秋間年度　第４４回　会報　２０１３-５-２９　司会　福田逸男君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！ 今日は私たちが抱えている社会的課題の中で、最も重要なテーマを話させていただくことになると思います。それは昨年の８月に子ども子育て関連３法が国会を通過し、今年の４月からこれらの法律がすでに施行されているということです。

この３法の趣旨は､「保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進」にあり、

○ 認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付（施設型給付）及び小規模保育等への給付（地域型保育給付）の創設

○認定こども園制度の改善（幼保連携型認定こども園の改善等）

・幼保連携型認定こども園について、認可・指導監督の一本化、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけ

・既存の幼稚園及び保育所からの移行は義務づけず、政策的に促進

・幼保連携型認定こども園の設置主体は、国、自治体、学校法人、社会福祉法人のみ（株式会社等の参入は不可）

・認定こども園の財政措置を「施設型給付」に一本化

○地域の実情に応じた子ども・子育て支援（利用者支援、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブなどの「地域子ども・子育て支援事業」）の充実

短い時間ではございますが、この法律改正が我々の未来にどのような影響を及ぼすかについて少々話してみます。

先ず、子供たちの環境について今までどうだったかということについて話します。もちろん、子供たちの健全な生活環境守るために、幼稚園と保育園がそれぞれの社会的役割を担ってまいりました。幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省の管理監督の下それぞれ縦割り行政によって運営されております。しかし、少子化を始め子育て環境の問題が国全体の国力衰退を招いているという認識から数々の対策が行われてまいりましたが、どれもこれもうまくいっておりません。

その典型的な例として、総合こども園、こども園、認定こども園といろいろ名前は変わりましたが幼稚園と保育園を総合した機能を持つ新しい施設を作ろうという動きです。これも縦割り行政という根っこを残したままなかなか期待通りの成果を上げるには至りませんでした。

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 5月29日	40(1)	30(0)人	10(1)人	76.95%	*	
前　回 5月22日	40(1)	29(1)人	11(0)人	75.5%	4人	82.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

子育てに成功すれば、国も地方も繁栄するという当たり前の因果を踏まえ、今子供たちに将来の夢を託せるかどうかいう最後の試練を迎えているということです。

今回の改正の中で最も期待されているのは、今回の法律改正による「認定子ども園」です。文部科学省でも厚生労働省でもなく、内閣府の管轄として運営され、そしてそこで働く先生たちも保育士の資格と幼稚園教諭の両方の資格が必要とされています。これによって、なかなか実現できなかった幼稚園、保育園の機能を併せ持つ本格的な施設運営がやっとできるようになったと思います。

ここで我々が認識しておかなければいけないのは、来月（平成25年6月）までに各地方自治体がそれぞれの裁量で「子ども子育て会議」を設置し、これから子ども達の環境をどのように整えていくかについて基本方針、重要計画、認可基準等すべてを市町村が独自に決めなければならないことです。

当然のこととして、各地方自治体の対応によって子供達の将来が決まり、地域間格差が生まれます。我々が愛する那須塩原市に育つ子供たちに、健全な生活環境と将来生きていくために必要な教育を十分受けさせられるかどうかは、これによって決まります。

話が抽象的でなかなか現実をお伝えすることができませんが、現に経済的格差による子供育て環境の差は年々大きくなっております。例えば、経済的理由によって通常の教育が受けられない子供が増加傾向に有り、母子家庭ではその約半数が何らかの問題を抱えていると言われています。我々ロータリアンは文盲など世界的な教育について論じ、子供たちについて支援の手を差し伸べようと言う活動もやっておりますが、この日本で、しかも我らの身近な環境でも経済的理由からまともに教育が受けられない子供がいるということを認識していただきたいと思います。

このような観点からも。この度の法律改正が我々に将来の夢を与えてくれることを切望し、那須塩原市がこれに迅速かつ確実に対応することを期待いたしております。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

今週の引継会に参加された皆様お疲れ様でした。

○　那須塩原市国際交流協会から総会の案内を頂きました。鳥居国際奉仕委員長にお渡ししました。

○　6月のロータリーレートは100円と連絡がありました。

○　平山年度一年交換留学生の件、地区から連絡を頂きました。秋間会長、次年度平山会長、石山幹事、髙木慶一新世代委員長にお渡ししました。

○　次週例会終了後理事役員会があります。秋間年度最終の理事役員会なので、理事役員の全員の方のご参加をお願い申し上げます。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

秋間年度第3回コンペを明日30日に那須ゴルフ倶楽部で開催します。

8時30分集合です。着替えてプレー出来るスタイルでキャディーマスター室前にご集合下さい。

○　鈴木隆子新世代委員長

新世代委員会よりご連絡いたします。

黒磯高校インターアクトクラブより、2012～2013の会計中間報告と、“春の植樹デーに参加して”と題しまして、4月27日に行ってまいりました足尾の植樹の感想文が届きました。

また、25日（土）に矢板高校で行われましたインターアクトの認証状伝達式に行って参りましたので、プログラムを一緒に回覧しています。どうぞご覧ください。

卓話　ロータリー財団委員会

○　和気勝利ロータリー財団委員会委員長

前回のクラブ協議会で時間の都合発表出来ませんでした。本日は今年度の実績報告をさせていただきます。

1．今年度は、1人当たり130ドル寄付の達成を実施いたしました。黒磯ロータリークラブは毎年寄付の達成という実績がありますので、次年度以降も継続していけますよう引き継ぎたいと考えておりま

す。

2. ベネファクター１名の増員は、秋間会長にお願いして、増員を達成いたしました、次年度も引き続きご指名を受けた場合は、ご協力お願いいたします。

3-1. 2012-13年度の地区補助金を使って、「放射能に関する講演会」への補助金を申請して、実行委員会へ送金させていただきました。それを一部財源として、3月9日(土)黒磯文化会館にて実施いたしました。実行内容については、すでに実行委員会より報告等が行われていると思います。

3-2. 例年通りGSE(フランス)への参加者募集を実施いたしました、黒磯ロータリークラブからの推薦者はございませんでした。次年度からは、より職業的要素が高まるVTTに移行するわけですが、こちらへのご協力も次年度よりお願い申しあげます。

4. 新地区補助金制度については、考査・申請期間を平山年度で行い、澤田年度で実施の方向でただいま調整中です。

☺ ニコニコボックス　佐藤博君

本日はありません

結婚祝に一言

○ 髙木慶一君

私が結婚したのは、昭和50年5月12日です、38年が過ぎました。私は見合い結婚です。お互いいいんじゃないと言う事で婚約しました。

どう言ういきさつで東京に行こうとなったかは、忘れましたが東京に行って、私の先輩がお祝いにご馳走してくれる事になり一緒に食事を取ることになりました。六本木のアマンドの坂を下りた所にキャンティーと言うイタリアレストランがありイタリアワイン・キャンティーを飲みながら食事をしましたが、やはり嬉しかったのかワインを飲みすぎて前後不覚、家にも電話せず勿論婚約者の家にも連絡せず、東京で二人で行方不明になりました。翌日言い訳をしながら連絡、昨晩は先輩の所に二人で泊めて貰ったと、その先輩が神田の藪そばの堀田さんでした、50周年式典にも来てくれました。

2月19日に火災に遭われ店が全焼誠に残念、でも年内は無理かも知れませんが、再建すると元気におしゃっていたので安心しました。後2年で銀婚式です。長いようでアット言う間でした。

○ 髙木　茂君

私が結婚式を挙げたのは、31年前の5月16日に晩翠閣という式場でした。

当時の結婚式は2～300名の招待客は普通で晩翠閣も大変繁盛しておりました。現在の晩翠閣は廃墟になっております。

つい先日、書類の整理をしていたら当日の席順表が出てきました。招待者は約240名でした。現在、招待者の内物故者は約70名おりました。31年という月日の流れを感じました。

結婚してからいままでいろいろなことがありましたが、これからもいろいろなことがあると思います。

私も昨年　還暦を迎えました　月日は過ぎるだけで戻ることはできないのだと感じます。

○ 田中　徹君

1979年5月6日　宇都宮の金鍋というところで結婚式を挙げました。5月6日に決めた根拠は極単純で5日迄連休でしたから続けて一週間休んでしまおうと。式に参列して頂いた取引先の方々に旅行から戻りお礼に伺った先々で「6日は休み明け初日で忙しいのはわかってんだろ！」とお叱りを頂く始末。　当時冬はスキーをし、雪が無くなると魚釣りの一年でしたので新婚旅行は車につり竿積んで房総一周投げ釣りの旅。初日だけは家内の希望を採用して日光金谷ホテルに一泊。新館ではなく古い方に止めて頂いたのですがなかなかの雰囲気、但し猫足のバスタブは映画でしか見た事は無く廻りをビチャビチャにして嫌な顔される始末。

結婚してから15～6年たった頃冷蔵庫を買い替えた折冷凍庫に何やら見覚えのあるさかな君が三匹、「こりゃ新婚旅行での貴重な戦利品だぞ!」と思いだしながら廃棄処分。いずれにしても我慢強い家内のおかげで34年、現在に至るという訳です。

なす温泉ドリームバスツアー（2日目）

水仙パークまではリフトに乗りました

メンバーで作ったBBQのお味はいかかでしたか？

2日目は快晴で本当に良かったです

鈴木ガバナー・吉成ガバナー補佐も駆けつけてくれました

動物王国：どうぶつ達と仲良く遊びました

那須へ来ていただき、ありがとうございました

● 5月29日欠席(敬称略)
新井聖一・植竹一裕・遠藤清和・篠﨑勝則
鈴木久雄・須藤舜生・橋本佳明・深町彰
室井次男・田村吉興

○ 前回5月22日分メークアップ(敬称略)
大森貞男・澤田吉夫・瀬尾紀夫・福田逸男

次回例会　　平成25年6月5日　　担当クラブ協議会（会長）

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028	◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165	◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211	◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作次
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2588 回　秋間年度　第 2588 回　会報　2013-6-5　司会　荒井昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！

このところ梅雨だというのに結構暑い日が続いております。そこで６月からクール・ビズ、ノーネクタイを当クラブの例会でも採用したいと思いますがいかがでしょうか？・・・ご賛同いただけたようなので次回例会からネクタイを着用しなくても良いということにさせていただきます。

さて今日は、会長担当のクラブ協議会で、協議会としてはこれが最終回となります。前回の協議会で事業報告を既に済ませておりますので、今日の協議会は次年度への引き継ぎということになります。とりわけ新年度のクラブ運営に必要な要点を皆様の前で今年度会長、幹事、会計、そしてスマイルボックス委員長から次年度の同職に引き継ぎたいと思います。もし、質問事項やご意見がございましたら、話の途中でも遠慮なく手を挙げてご発言ください。円滑な次年度運営のためにもご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○ 那須塩原市国際交流協会より案内を頂きました。鳥居国際奉仕委員長にお渡ししました。

○ 米山記念奨学会より案内を頂きました。平山次年度会長にお渡ししました。

○ 当クラブで台湾からの一年交換留学生を平山年度で受け入れる方針です。関係資料を地区から頂きましたので、平山次年度会長、髙木慶一新世代委員長にお渡ししました。

○ 台湾に行かれています磯杏子さんより月信が届いています。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○ 髙木慶一ゴルフ愛好会会長

秋間年度第４回ゴルフ大会を６月 23 日（日）那須黒羽ゴルフクラブで開催します。8時集合8時33分スタートです。ご参加お持ちしてます。

今回覧を回してますのでご記入宜しくお願いします

○ 田中徹会計長

６月 20 日(木) 旅行愛好会会員のみ、４月～６月分の積立金12,000円を栃木銀行より引き落としますのでご準備願います。

出席報告　出席委員会　　石山桂子君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 6月5日	40(1)	32(1)人	8(0)人	80.00%	*	
前　回 5月29日	40(1)	30(0)人	10(1)人	76.90%	3人	84.6%

欠席の場合は当日９時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

クラブ協議会

○　秋間忍会長

それではただ今よりクラブ協議会を始めます。

私から平山博次年度会長にお伝えすべきことは何かと考えてみました。一般の事業でも社長とか事業主が交代する時には「人」「もの」「カネ」が現在どのような状況になってるかを説明し、両者納得の上で事業継承が行われるだろうと考えましたので、これに沿って説明させていただきます。

まず「人」ですが今年度当初には42名の会員が在籍しておりましたが、皆様ご存知の通り、高根沢英司さんと佐治鐵造さんが退会され、現在の会員数は40名でございます。また残念なことに更に2名の方から秋間年度の最終日もって退会する旨の退会届が出ておりまして、私からも思いとどまるようにいろいろ努力はしてみたのですが、本日の理事役員会で同届出を受理、承認せざるを得ないと考えております。地区からも会員増強が叫ばれている中で会員を減少させたまま次年度に引き継がなければならないことにつきましては、私の力不足を恥じ、大変心苦しく思っております。

それから、台湾から1年交換学生を平山年度に受け入れることが決っています。黒磯高校との連携等引き続き宜しくお願いいたします。

続いて「もの」ですが、今年度新しいパソコンを1台購入いたしました。今パソコンを購入すると通常Windows7か8が搭載されているものを購入することになります。今回当クラブが購入したパソコンはXPモードと称して、あたかもWindows7上に2台目のXPパソコンを搭載したかのように動くもので、既に会報の編集等に活用されております。

さて「カネ」ですが、この後田中会計からも詳しくご説明いただけると思いますが、私からは当クラブがどれだけの資産（現預金）を持っていて、このうちのどのくらいが負債（広い意味での支払い義務）に関係しているかについて説明させていただきます。複式簿記を採用してから当クラブは常に資産総額と負債総額を把握できるようになってますので、お手元の資料（2013年5月31日現在の貸借対照表）を見ながら資産と負債の状況をご覧いただきたいと思います。

これらの数字は本年度だけ特別に行いました事業（放射能対策講演会事業、震災遺児孤児支援事業）の清算を済ませた後の数字です。同表らもご理解いただけるように資産総額から負債総額を引いた後の純資産がプラスのままで平山年度に引き継ぐことが出来ると考えております。

最後に、人、もの、カネでは表せない私の心情を平山博次年度会長にお伝えしたいと思います。想えば私の直前会長であった檜山先生、その前の会長であった高木慶一さんを前に、その後私が会長を継承することになった秋間年度第一回目の例会で、暦代会長各位の素晴らしいリーダーシップに到底及ばない自分がそこにいることを痛感しました。結局私にできることは一人のロータリーチャレンジャーとして、自分自身クラブ活動に体当たりで望むしかないということでした。ご参考になるかどうかは分かりませんが、少なくとも秋間年度の前例などあまり気にされず、平山博さんの思うがまま、心置きなく独自のカラーで会長職をやりたいようにやっていただきたいと思います。

それでは吉光寺幹事、田中会計、鈴木久雄スマイルボックス委員長、順次引き継ぎ事項の伝達をお願いいたします。

〔黒磯ロータリークラブ（秋間年度）〕

【　貸借対照表　】

2012年07月01日 ～ 2013年05月31日

2013年6月5日
Page 1 / 2

科目ｺｰﾄﾞ	科目名	前残高	借方当月	貸方当月	当残高	構成比	期首残高	増減	増減率
001	★現金	0	3,423,470	3,423,470	0		0		0.00
021	★一般：栃銀(9196082)	841,083	12,132,487	11,695,642	1,277,928	30.57	841,083	436,845	151.94
022	特別：大信(0180348)	1,380,904	2,192,112	3,168,152	404,864	9.69	1,380,904	-976,040	29.32
023	積立金：栃銀(9497281)	1,113,326	390,171		1,503,497	35.97	1,113,326	390,171	135.05
025	臨時：栃銀(9236991)	72,334	9,731,564	9,802,500	1,398	0.03	72,334	-70,936	1.93
026	米山一般：足銀(23715)	180,003	2,694,380	2,762,223	112,160	2.68	180,003	-67,843	62.31
027	ゴルフ：足銀(209243)	43,465	270,023	155,000	158,488	3.79	43,465	115,023	364.63
028	旅行：足銀(3104817)	1,355,237	828,139	1,631,332	552,044	13.21	1,355,237	-803,193	40.73
040	－現金・預金計－	4,986,352	31,662,346	32,638,319	4,010,379	95.94	4,986,352	-975,973	80.43
041	未収入金	2,000	4,325,000	4,257,000	70,000	1.67	2,000	68,000	3500.00
045	仮払金	0			0		0		0.00
046	立替金	0	15,000	15,000	0		0		0.00
050	－流動資産計－	2,000	4,340,000	4,272,000	70,000	1.67	2,000	68,000	3500.00
054	事務機器備品	0	99,750		99,750	2.39	0	99,750	0.00
055	その他の機器備品	0			0		0		0.00
056	図書	0			0		0		0.00
060	－固定資産計－	0	99,750		99,750	2.39	0	99,750	0.00
080	－資産の部 合 計－	4,988,352	36,102,096	36,910,319	4,180,129	100.00	4,988,352	-808,223	83.80

○　吉光寺政雄幹事

本日の卓話は次年度への引継ということです。

石山次年度幹事には私が持っている資料をデータにして今月中にお渡しする予定です。また、大量の資料が地区をはじめ頂きますので、ファイリングのコツなど、私が出来なかったことも含めて引継をさせて頂きます。

せっかくのお時間を頂きましたので、一年を振り返り皆様にお礼とお詫びを申上げたいと思います。

まず、SAA の皆様には例会開始ギリギリに来ることが多く、大変ご迷惑をおかけしました。私事ですが、今年は家庭をもったこともあり、時間が無い中で一生懸命やらせて頂き、成長の一年となりました。

まずお礼を申し上げたいのが礒副幹事です。年当初、何をしていいのか分からない中、手取り足取りご指導を頂きました。

また、平山、澤田両副会長からは、ご両名とも幹事経験者ということもあり「無理しなくても、どうしても出席できないときは副幹事や副会長に依頼して」と声をかけて頂き、なんとか務めることができました。

皆様のなかには今後幹事を依頼される方がいると思います。是非引き受けて頂ければと思います。私で良ければ副幹事を引き受けますのでどうぞ使って下さい。

現況報告書の作成では半田会員のご自宅に何度脚を運んだか分かりません。何度もご指導を頂きました。

最後になりますが秋間会長にも大変お世話になりました。どうしても出席できない会合があっても、「欠席で大丈夫だよ」と言ってくださったり、逆に「この日の集まりは必ず来てね」という具合にメリハリのあるご指導を頂き、感謝しています。

最後に皆様全員にお礼を申上げ幹事の引継とさせて頂きます。本当にありがとうございました。

○　田中徹会計長

本年度より秋間会長の御指導のもと、複式簿記への切り替えを行ってまいりました。皆様には支払い依頼書の書式が変わりましたので少々戸惑いもあったかと思います。

また、本年度はネット上で当クラブの帳簿を確認頂けるようになっておりますので、会員の皆様も日々ご覧になっておられると思います。

本年度は会計処理にうとい私が会計担当という事で、完全移行とはなりませんでした。

処理の流れは、会計が皆様からの依頼書を元に仕訳コードを追記し、広報ＩＴ委員会が入力、会長が仕訳ミスや入力ミスをチェックし必要に応じて訂正。このような流れです。

企業会計に置き換えれば秋間会長が顧問の会計事務所という事になります。

次年度に手書き台帳からデジタルデータに完全移行するには、幾つか決めておかなくてはならない事があると思われます。

(1) 伝票記載→入力→チェック、それぞれの担当部署。
(2) 入力されたデータの管理部署。

この２点は早急に検討し決定しておくことが必要です。また、全て伝票を元に進んでまいりますので、現在のように銀行口座を複数利用している事は口座間の資金移動などあまり意味の無い事務処理が必要となりますので、出来る事ならば一般会計と特別会計の２つに絞っていきたいと考えております。

○　鈴木久雄ニコニコボックス委員長

秋間年度、スマイル資金の流れを説明したいと思います。まず会長方針に、特別会計の推移を分りやすくして資金の充実・有効活用を図る。また、例会欠席の届け出があり、クラブの飲食費が軽減された分は、特

別歳入とする、となってをりますので概算で説明したいと思います。

2011－2012年檜山年度、特別会計スマイルボックス決算報告書によれば、収入2,231,436円－支出850,532円＝1,380,904円が残高になっております。

2012－2013年秋間年度特別会計スマイルボツクス収入予定は、1,410,000円。内訳は、会員数42名欠席スマイル＜出席率93%、150,000円＞を予定しています。

5月末現在で、1,191,891円欠席スマイル食事代はまだ、資金の移動はしておりませんので、予定の金額にはなるのではと思っております。

2012－2013年秋間年度特別会計スマイルボツクス支出では、対外的に寄付又は支援した金額の総計は、1,731,044円です。　内訳は、社会奉仕。国際奉仕。新世代。その他で　848,823円、震災遺児孤児支援事業クラブ負担で566,307円、放射能対策講演会事業クラブ負担で315,914円となります。

平山年度への繰越予定は、2011－2012年檜山年度から2012－2013年秋間年度へは、1,380,904円、今年秋間年度スマイルボツクス5月末現在で、1,191,890円に欠席スマイルがプラスになりますので、今年度仮に1,300,000円収入とします、前年からが、1,380,904円今年1,300,000円とします。合計2,680,904円なり、対外的支援総計額が、1,731,044円になり、949,860円の残金になります。概算で、約1,000,000円が平山年度へ引き継げるかなと思います。

○　平山博会長エレクト

秋間会長初め各委員会の皆様より次年度のために貴重なご指導をいただき誠にありがとうございました。

会長方針につきましては、これからいろいろな機会を通じてお話をさせて頂くつもりですが、特に次年度は、台湾より一年交換学生をお預かりいたしますので、会員の皆様方のご協力を切にお願いいたします。

☺ ニコニコボックス　鈴木久雄君

福島　泰雄君　結婚祝い有り難うございました。再婚してからはや16年になりました。
時庭　　稔君　結婚祝い有り難うございました。
津久井誠二君　結婚祝い有り難うございました。
佐藤　　博君　結婚祝い有り難うございました。
礒　　勝彦君　誕生祝いありがとうございました。
遠藤　清和君　6月7日で62歳になりました。
大森　貞男君　秋間年度第三回ゴルフコンペで優勝させていただきました。有り難うございました。
秋葉　秀樹君　ザックJAPANワールドカップ出場決定！新井先生がいないので代わりに。
村山　　茂君　秋間会長、吉光寺幹事ちょっと早いですが1年間ご苦労様でした。スマイルボックス目標達成です。
澤田　吉夫君　ニコニコ無事終了。
深町　　彰君　秋間年度の無事を祝して。

誕生・結婚祝に一言

○　澤田吉夫君

私の母の実家が大田原市の乙連沢と言うところでして、そこで生まれました。昭和22年6月20日の生まれです。

その後から現在に至るまで、現在地で居住しております。父が戦争より帰ってきまして、できたものですから、黒磯中学校には、同級生が500人以上おります。全国どこでも同じで同年代の人がたくさんおります。

顔と名前が未だに一致しない人が、たくさんおります。一次ベビーブーム到来そのものです。

○　時庭稔君

私の結婚は昭和50年6月2日です。今から38年前になります。特に印象に残っていることは、新婚旅行です。

行先の北海道でレンタカーを借り、広大な大地を優雅に運転しようと考えていたところ、フライト前日に宿泊した東京のホテルで免許証を忘れたことに気が付き、深夜、東京のホテルまで親戚が免許証を持ってきてくれました。北海道のホテルでは宿泊先に修学旅行の学生が多かったことを覚えています。

また、目的地の1つである札幌の時計台にも思い出があり、車で時計台近くを走行していたところ、妻が寝ていたのでそのまま起こさず素通りしホテルに向かったところ、起きた妻と大喧嘩してしまいました。いつか必ず連れて行くと約束し、説得したことも懐かしい思い出の1つです。

後に妻を時計台に連れて行きましたが工事中で見る

ことが出来ず、また新婚旅行の事を言われました。ちなみにその後、もう一度行き3度目の正直で時計台を見ることが出来たので、今も2人仲良くやっています。

○　**和気勝利君**

昭和59年の6月3日ですと、御苦労さん(5963)と語呂合わせがいいので、こちらの「割烹石山」に結婚披露宴を数か月前に申し込みましたが、先客(村上スポーツのご長男)がいらっしゃいましたので、一週間後59年6月10日の普通の日になってしまいました。結婚披露宴が普通の日ですので、その後の結婚生活も普通で通しております。

誕生祝

礒勝彦君・田村吉興君・澤田吉夫君・遠藤清和君
(室井次男君・篠﨑勝則君)

結婚祝

和気勝利君・時庭稔君・福島泰雄君・石山桂子君
佐藤博君　・津久井誠君

第3回ゴルフコンペ

5月30日の秋間年度第3回ゴルフ大会の優勝は、大森貞男さんです。おめでとうございました。

● 6月5日欠席(敬称略)
新井聖一・植竹一裕・須藤舜生・篠﨑勝則
月江寛智・半田久一・室井次男・藤村聡

○ 前回5月29日分メークアップ(敬称略)
植竹一裕・遠藤清和・鈴木久雄

次回例会　　平成25年6月12日　　親睦委員会

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒　磯　ロ　ー　タ　リ　ー　ク　ラ　ブ　会　報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2589 回　秋間年度　第 46 回　会報　2013-06-12　司会　荒井　昌一君

お客様

次年度第１グループガバナー補佐

片柳洋様（西那須野ロータリークラブ）

○　片柳洋様　御挨拶

第1グループは一つのチームです。7クラブ力を合わせ、協力・協調し、地区方針を踏まえたチーム力で地区目標の実現を図ります。第１グループ７クラブの会長・幹事さん、１年間よろしくお願いいたします。

私片柳、ガバナー補佐職を拝命して一番驚いたことは、事前研修会並びに他の関係会議への出席機会が多数あったということです。当たり前のことですが、当職の任期は2013年7月1日からのスタートです。しかし事前研修は、2012年10月17日を第１回として、その後計3回行われました。他の関係諸会議は11回ほどの開催だったと思います。正直、大変な職を受けてしまったものだなと思いました。

そしてもう一つ驚いたこと、それは各研修会・各会議において、一貫して主催者から語られ、私たち参加者に毎回確認を求められていたことが「ロータリーの中核的価値観の正確な理解」ということでした。奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ、以上の５点でした。事前研修会で私が得心したことは、「ガバナー補佐の任務とは、中核的価値観を担当グループ内各クラブ、そしてクラブを構成する全ての会員がこれを共有化することを支援することに尽きる」ということでした。

地区方針の確認

飯村ガバナーはRIテーマを踏まえ、行動するロータリー、そしてロータリアンであるために、以下の四つを私たちガバナー補佐に提起されています。

１．魅力あるクラブ作りでの会員増強
２．地域社会ニーズとしての夢計画の実行
３．新世代のリーダー育成支援という人作り
４．「信なくば立たず」の実践としての職業人たるロータリアンとなること

私はガバナー補佐としての職務の遂行において、第１グループ各クラブの会長･幹事さんとの協議･意見交換等の機会において、この四つの方針を何回でも相互確認してゆく所存であります。

地区目標は地区方針の実践の果実

飯村ガバナーは以下の通り六つの地区目標を提示しております。

１．米山寄付会員一人当たり18,000円（ただしこれは全地区内会員の頭割り）
２．財団寄付会員一人当たり150ドル　　（同上）

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 6月12日	40(1)	31(0)人	9(0)人	79.5%	*	
前　回 6月 5日	40(1)	32(1)人	8(0)人	80.0%	3人	87.5%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

４．夢計画補助金活用プロジェクトの立ち上げ（グループ事業での展開を目指す）
５．新世代プログラム　（同上）
６．ポリオ撲滅への最終戦参加　（同上）

以上6件の地区目標であります。（簡略表現は片柳の文責）

私はこの六つの地区目標をすべて実現させることは、相当ハードルは高いなと思っております。特に一クラブで自己完結的にすべてやることは、本当に難しいのではないかと思ってしまうのです。でも方法はあります。飯村ガバナーの持論であるチーム力、チームとしてのロータリー活動の実践です。私は第１グループを一つのチームとしてとらえ、このハードルを越えていけたらな、と思っております。そのためにも第１グループ７クラブ、そして特に会長・幹事さんとの楽しいコミュニケーションを図ることにより、７クラブ共同してやってゆきたいと思っております。楽しくなくてはロータリーじゃありませんから。

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！先ほどご紹介しました通り、本日は次年度ガバナー補佐の片柳洋様をお客様にお迎えしております。ようこそ黒磯ロータリークラブにお越しくださいました。ご来訪を心より歓迎いたします。申し上げるまでもなく我が黒磯ロータリークラブは活力ある人材に恵まれておりまして、お陰さまで秋間年度に計画した事業を滞り無く終了させることができました。平山年度になりましてもこれらの人材には変わりございませんので本年度同様、次年度もよろしくお願い申し上げます。

さて、先ほど村山社会奉仕委員長から報告がありました那珂川の水質調査には私も参加させていただきましたが、私の身勝手なこだわりからスリリングな事故未満に遭遇してしまいましたので、登山をされる方々への教訓になればと考えことの顛末をご報告させていただきます。那珂川水質調査の最上流は栃木県と福島県の県境になる大峠の真下に位置する峠沢です。黒磯ロータリークラブ水質調査隊の精鋭５人はそこで水を採取した後、三斗小屋温泉へ来たコースを戻る予定でした。しかし、峠沢からは川沿に三斗小屋宿（温泉ではありません）に下る旧道があり、地図で確認しても三斗小屋温泉に戻ってから三斗小屋宿に向かうよりも距離的にはるかに短いことが分かります。このコースは人通りが少なく登山家にもあまり知られておりませんが、以前からこのコースを通ってみたかった私は、和気さんに同行頼み込んで残りの3人と分れ、2人でこのコースを降りることにしました。

好天にも恵まれスタートからしばらくは山道もそれなりに下刈されていて快適な散策でした。しかし行程が中程以上進んだと思われる頃、我々２人は橋のない谷川を渡らせざるをえないことにない気付きました。コースを見失いかけていたこともありましたが、川の岸を上流に登ったり、下流に下ったりして渡れそうなところを探しました。いくつかの谷川が合流して水量も結構ありましたし、石や岩肌は水飛沫で濡れていて滑りやすく、安全に渡れそうなところはなかなか見つかりませんでした。仕方なく水深があっても石と石の幅が狭くなっているところを飛ぶことにしました。背中にリック背負って約１メートルくらいを石から石に飛ぶということは、満67歳の私にとりまして相当の冒険です。

もし谷川に落ちたらその日結婚式でスピーチを頼まれておりましたので、多くの方々にご迷惑をかけることになるなどという想いが頭をよぎりました。集中一跳び、和気さんとはテニス仲間としての信頼関係があったことが功を奏して川にも落ちず、熊にも会わずなんとか無事に三斗小屋宿に着くことができましたが、もし一人でこのコースを下りていたらと考えると背筋が凍ります。

年甲斐もなくあえてリスクを冒し、このコースを下りてしまったのにはそれなりの理由がありました。それは慶応４年（1868、この年の９月８日に元号が明治と改められる）8月、戊辰戦争の最中にあって会津中街道の要所、大峠～三斗小屋宿でも激しい戦闘がありました。これについてはまた別の機会にまたお話させていただきたいと思いますが、当時の戦いや小銃の性能に思いを馳せながらこの古戦場を歩いてみたかったと言ったら和気さんや皆様に叱られそうです。大峠～三斗小屋宿間の旧道コースは現在途中の橋が流されてしまっているという現地報告をもって会長挨拶に代えさせて頂きます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

【理事会報告】

○　退会承認の件。篠﨑会員、田村会員。　承認。
○　会計中間決算報告又は預り資金の支出の件。　承認。
○　那珂川水質調査の件。　承認。
○　那須塩原市ハーフマラソン協賛の件。　承認。
○　被害者支援センターとちぎ協賛の件。　承認。
○　小野安正元会員入会の件。　承認。

【幹事報告】

○　また、先週の理事会に間に合わず、期限が迫っている案件があります。那須塩原市トライアスロン大会協賛の件ですが、一万円ということで皆様の承認を頂けますか。頂けたようなので進めて参ります。
○　先月行われた那須温泉ドリームバスツアーの参加者からお礼状が届いています。文章が長いので一読させて頂きます。
　＊頂いたお手紙を最終ページに添付致しましたのでご覧下さい。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　村山茂社会奉仕委員長

那珂川水質調査実施報告書

1．実施日時：平成25年6月8日（土）～　9日(日)
山斗小屋温泉一泊

2．実施場所：

・　峠　　沢　6月9日　午前 5時40分（晴れ）
・　大川林道　　〃　午前10時00分（晴れ）
・　板室温泉　　〃　午前10時50分（晴れ）
・　岩　　崎　　〃　午前11時10分（晴れ）
・　河畔公園　6月10日　午後 1時30分（晴れ）

3．調査結果：那須環境技術センターへ分析依頼中のため、結果判明次第報告します。

4．参 加 者：秋間　忍、荒井昌一、大森貞男、鈴木久雄、相馬征志、鳥居輝一、福田逸男、和気勝利、村山　茂（敬称略）
　※4輪駆動車の提供、お志など皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

卓話　親睦委員会

○　礒勝彦親睦委員長

　こんにちは。今年度の親睦活動について総括させていただきます。今年度の親睦委員会は6人の委員長体制で取り組みました。行った行事は次の3行事です。先ずは9月26日の「石山」さんで行いました「観月会」は和気勝利委員長が担当いたしました。￥488,080の経費で大変盛り上がったと思っています。次に「りんどう湖RH」で行いました「クリスマス家族会」担当は福島泰雄委員長と藤村聡委員長のお二人が担当いたしました。経費的には855,800円掛かりましたが、沢山の参加を頂き楽しんでいただけたものと思います。年を明けての「新年会」は鈴木隆子委員長が担当いたしました。石山桂子さんの協力を得て、女性らしさを感じさせた新年会だったと思います。クリスマス家族会に於きましては参加家族の3歳以上の方からは参加費を頂きましたので、トータルとしまして年度初めに頂いた予算の範囲内で全てこなせたものと思います。ただ、誕生結婚祝いの「花」と「新米」については払い込みを忘れていた事が、今回の卓話の原稿を書いていて気付きましたので、来週早速払い込みいたします。織姫会のサポート事業の「観劇会」につきましては、遠藤清和委員長が担当する予定でしたが、希望が出ませんでしたので今年は行わない事に致しました。それでは、これから各担当委員長から反省を含めて総括していただきます。

○　和気勝利君

　今年度親睦委員会の観月会は、お一人お一人に参加して楽しんでいただきたいという志向で、参加者を4つのグループに分けてクイズで競っていただきチーム対抗戦といたしました。賞品には、恒例のお米とかお肉を使い全員がいただけるよう工夫いたしました。会員・奥様の参加型としたため、ｹﾞｰﾑに集中して、盛り上がりがあったように思われます。

○　福島泰雄君

今年度の親睦委員会の年度計画の内、特に印象に残ったのは各会員がご自分の誕生や結婚について、今までロータリークラブではあまり口外したことのないエピソードを話して頂いたことであります。生い立ちについての出生地や家族関係のこと、結婚当時の逸話や世情のことなど短い話のなかに込められているご本人の思い出として大変興味深く拝聴してきました。次年度も以降もこのエピソード紹介は是非お続け頂きたいと思っています。

もうひとつ敢えて言わして頂くと、各親睦行事の担当者に一回限りでも「委員長」の名前を付けられたことですが、これは、委員長が2人になりややこしいですから、名前を付けるなれば、「委員長代理」にして頂きたかったと思っています。平山年度では、どうされるか判りませんが興味をもって見守ってまいります。

○　鈴木隆子君

新年会を担当させていただきました鈴木です。

新年会はフォトコンテスト等恒例の行事もございますので、それプラス、奥様方には久しぶりに会われた方との会話も楽しんでいただける時間もできるだけとり、また、一年の始めですので気持ちよく楽しみをお持ち帰りいただけたらと考えました。

澤田さんに協力して頂き、綺麗な色とりどりの花を用意しました。

石山桂子さんにも協力していただいて華やかに飾りつけ、くじで楽しんで持ち帰っていただきました。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

片柳　　洋様　次年度がバナー補佐よろしく。
植竹　一裕君　2週連続の欠席すみませんでした。ラスト三回は必ず出席・・・・予定です。
髙木　　茂君　もうすぐ秋間年度から平山年度に変わります。
佐藤　　博君　担当部局より請求がありました。

誕生・結婚祝に一言

○　遠藤清和君

6月7日に62歳になりました。私の父は福島県の出身でした。兄弟で自転車店をしていたそうですが、栃木県の大田原市に自転車店が無いので3人の兄弟で移り住んだそうです。その後、時代は車時代になりタイヤを扱うようになったそうです。観光タクシー初代の社長さんの薦めで、私の父は大田原を離れて黒磯に店を開きました。私は大田原で生を受けましたが、直ぐに黒磯に移る事になり現在に至っています。これからも受け継いだ家業を守っていきたいと思っていますので、宜しくお願いいたします。

○　津久井誠二君

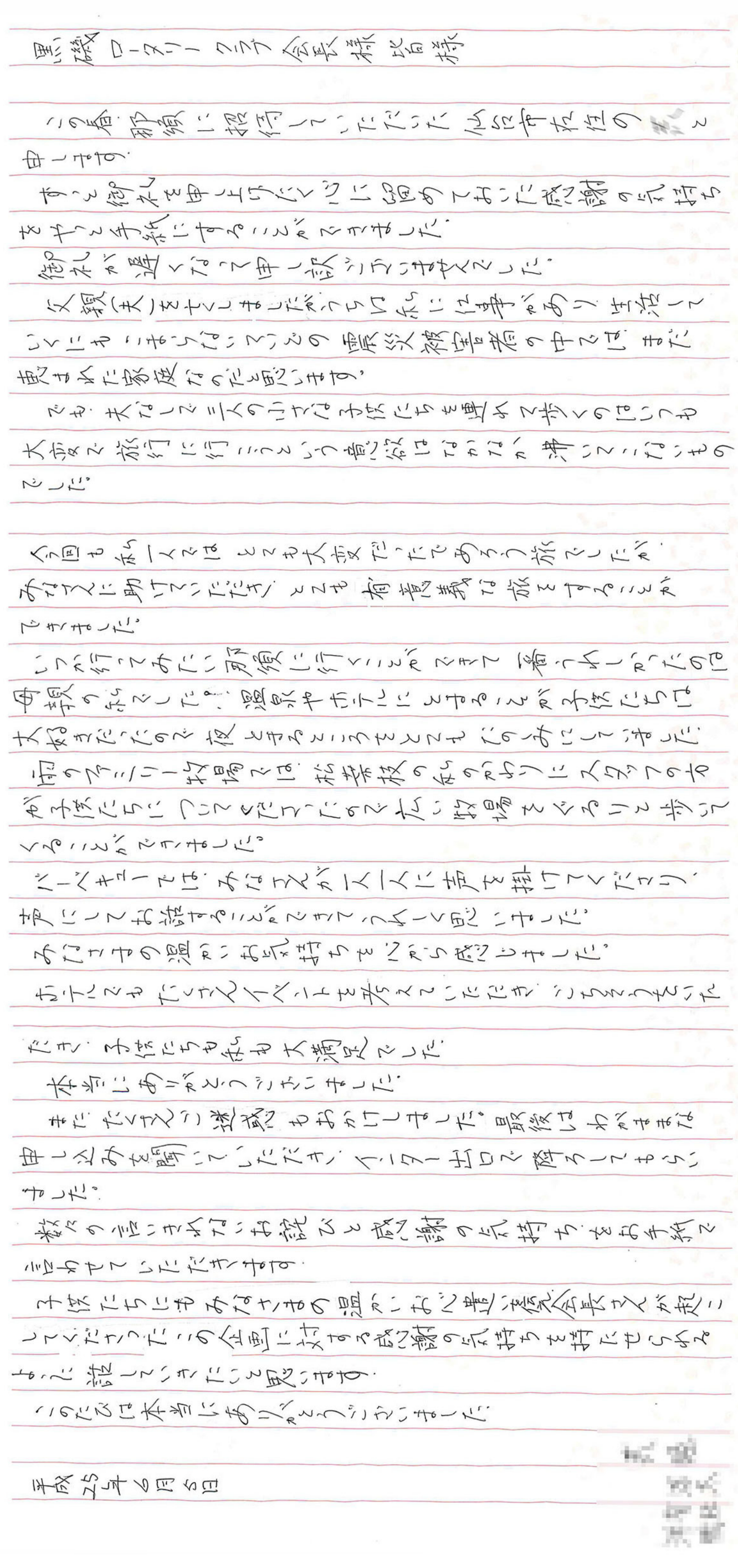
みなさんこんにちわ。結婚祝いありがとうございました。

先週は、ゴクロウサン（昭和59年6月3日）にちなんで6月3日の披露宴を予定していたものの、式場の都合で6月10日に式を繰り延べした和気会員のスピーチを楽しく拝聴しましたが、私の結婚記念日は、その一週間後の（2000年）6月17日です。

結婚にまつわるエピソードは至って平凡なことから、違う目線からの話をひとつ。商売柄か私は、数字の並びが気になるタイプでして、長女の誕生が2003年、長男が2006年、次女が2009年と、式から3年周期でマイイベントを迎えております。「はて2012年は、どんなイベントがあったかな」と思い起こしましたところ、やはりありました。ロータリークラブへの入会です。

これからもよろしくお願いいたします。

＊震災遺児・孤児支援事業に対する礼状



黒磯ロータリークラブ 会長様 皆様

この度、那須に招待していただいた 仙台市在住の と申します。

ずっと御礼を申し上げたく心に留めておいた感謝の気持ちをやっと手紙にすることができました。

御礼が遅くなって申し訳ございませんでした。

父親（夫）を亡くしましたが、幸い私には仕事があり生活していくにも困らないでいます。この震災被害者の中では まだ恵まれた家庭なのだと思います。

でも、夫なしで三人の小さな子供たちを連れて歩くのはいつも大変で旅行に行こうという意欲はなかなか湧いてこないものでした。

今回も私一人では とても大変だったであろう旅でしたが、みなさんに助けていただき、とても有意義な旅をすることができました。

いつか行ってみたい那須に行くことができて 喜んでいたのは母親の私でした。温泉やホテルに泊まることが子供たちは大好きだったので 夜泊まるところをとても楽しみにしていました。

雨のファミリー牧場では 松本様の私のかわりにスタッフの方が子供たちについていただいたので広い牧場をぐるりと歩いてくることができました。

バーベキューでは みなさんが一人一人に声を掛けてくださり、声にしてお話することができて うれしく思いました。

みなさまの温かいお気持ちを心から感じました。

お天気でも たくさんイベントを考えていただき ゆっくりさせていただき、子供たちも私も大満足でした。

本当にありがとうございました。

また、たくさんご迷惑もおかけしました。最後はわがままな申し込みを聞いていただき、インター出口で降ろしてもらいました。

数々の言いきれないお詫びと感謝の気持ちをお手紙で言わせていただきます。

子供たちにもみなさまの温かいお心、黒磯会長さんが起こしてくださったこの企画に対する感謝の気持ちを持たせられるように話していきたいと思います。

このたびは本当にありがとうございました。

平成24年6月5日

プライバシー保護の目的でお名前は伏せてあります。

● 6月12日欠席(敬称略)

新井聖一・須藤舜生・室井次男・檜山達郎・藤村聡

秋葉秀樹・篠﨑勝則・田村吉興・深町彰

○ 前回 6月05日分メークアップ(敬称略)

植竹一裕・月江寛智・半田久一

次回例会　平成２４年０６月１９日　会長・幹事

近隣クラブ例会日

◎火曜日	西那須野／割烹いとう	0287-36-0028
◎水曜日	大田原中央／ニュー勝田屋	0287-23-4165
◎水曜日	塩原／塩原カントリークラブ	0287-35-2211
◎木曜日	大田原／ホテル龍城苑	0287-24-2525
◎木曜日	那須／ホテルエピナール那須	0287-78-6000
◎金曜日	黒羽／ホテル花月	0287-54-1105

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作次
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第２５９０回　秋間年度　第４７回　会報　２０１３-６-１９　司会　荒井昌一君

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんにちは！お陰さまで我々日本人は平和な毎日を送ることができていますが、世界中にはまだまだ先の見えない紛争に巻き込まれているところがたくさんあります。紛争と言っても、戦争状態に近い戦闘下にあるところ、デモや流血騒ぎの集会等が頻発しているところなど、その実態は様々です。国際的な緊張関係にあるところまで含めれば、日本にも北朝鮮による拉致、ミサイル発射、北方領土、竹島、尖閣諸島の領有権等の国民的課題が残っています。

我々にとって最も身近な戦争といえば、第二次世界大戦ですが、戦後生まれにとってはもう歴史的な事実として受け止めざるを得ないものとなりつつあります。日本はなぜ戦争という解決手段を選択したのか？戦争の勝敗を決定付けたものは何か？人が戦場で実際に戦うということはどういうことなのかということを少しでも考えるため、先週の予告通り板室、三斗小屋宿、大峠における戊辰戦争について触れ、当時の戦闘に使われた武器の話をさせていただます。

慶応４年(1868年)の年の４月、会津藩を主体する旧幕府軍、約1,000名は白河城、大田原城を攻略せんとして三斗小屋宿に集結してました。しかし、黒羽藩隊、館林藩隊を先鋒に仕立てた新政府軍は、同年の４月22日の早朝、穴沢村に放火、午前10時には油井村にいた旧幕府軍を撃退して進撃を開始しました。阿久戸坂をはさんで激しい攻防がありましたが、午後３時ごろに戦闘は終結、旧幕府軍約300名は三斗小屋宿方面に敗走し、油井、阿久戸、板室の各村で計30戸以上の家が消失しました。

それから４ヶ月後の８月23日、新政府軍は三斗小屋宿に滞陣していた旧幕府軍を板室方からと那須岳南北２方からの計３方から襲撃し、同24日には三斗小屋宿を征圧して会津藩との国境、大峠を占領しました。一度三斗小屋宿に戻った黒羽藩隊、館林藩隊は同年９月1日、会津に向けて出発、会津西街道を北上してきた新政府軍と合流して大内峠を越え、会津領に進軍しました。この年の９月８日に元号が「明治」と改められています。

新政府軍の圧倒的な優勢を支えていたものはなんだったのだろうかと考える時、浮かび上がるのが当時武器として用いられていた小銃の性能差、特にその射程距離です。このころ日本国内に出回っていた小銃を調べてみると、例えばゲベール銃のように砲身内にらせん状の溝（ライフル）をもたないもの、ライフルはあるが弾尾を傘状にした弾丸（ミニエ弾）を使用してないもの（ヤーゲル銃）、使用していたもの（ミニエー

出席報告　出席委員会　室井次男君　（出席免除会員数１名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 6月19日	40(1)	33(1)人	7(0)人	82.5%	*	
前　回 6月12日	40(1)	31(0)人	9(1)人	79.5%	2人	84.6%

欠席の場合は当日９時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事masaokikkoji840@gmail.com

銃)、それから弾丸を前から装填しなければいけなかったもの（ミニエー銃、エンフィールド銃）や、弾丸を砲身の後ろから装填できたもの（スナイドル銃)、八重の桜で有名になった連発式のスペンサー銃等が種々混在してましたが、射程距離や連発能力は銃の種類によって大きく異なるものでした。

例えば、ライフルもミニエ弾も採用されていないゲベール銃とライフルもミニエ弾ともに備えていたミニエー銃とを比較してみると、400メートル離れた標的に対しゲベール銃の的中率は5%以下だったのに対し、ミニエー銃のそれは50%以上でした。2発撃てば一発当たるミニエー銃の新政府軍に対して、20発撃って一発しか当たらないゲベール銃しかなかった旧幕府軍が応戦したとすれば、新政府軍の殺傷能力は旧幕府軍の約10倍以上もあったことになります。このような小銃の改良、進化があったことも知らずに、旧幕府軍の兵士は「敵は遠くからどんどん狙撃して見方を殺するのに俺らの鉄砲はいくら撃っても敵まで届きもしねえ･･･」といいながら負傷し、そして敗走したと推測されます。時代を変えた戊辰戦争の勝敗がこのような小銃の改良によって左右されていたのかと想うと、正義や人情とはかけ離れたあまりにも悲惨な現実に出会うことになります。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

○　一年交換留学として台湾に行かれた磯杏子様が帰国されました。6月26日の夜間例会にご招待しています。

○　ハイライト米山を受信しました。髙木委員長に配信しています。

○　西那須、大田原クラブから週報が届いています。回覧中です。

○　矢板高校インターアクトクラブの認証書伝達式の資料を回覧中です。

○　被害者支援センターとちぎから寄付についてのお礼状が届いています。回覧中です。

○　アジア学院から会報アジアの土が届いています。鳥居委員長にお渡ししました。

○　来週は秋間年度の最終例会で夜間例会となります。午後6時30分点鐘となりますので奮ってご参加お願い致します。

委員会報告　吉光寺政雄幹事

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

秋間年度最終第4回ゴルフ大会を6月23日（日）那須黒羽ゴルフクラブで開催します。8時集合です。参加される方は遅れないようにご集合下さい。

○　齋藤武久次年度会報委員長

次年度の会報委員会からです。会報を綴じるバインダーを次年度も配布致します。希望の有無をアンケート致します。ただ今用紙を回していますので、ご希望の方は○を、不要の方は×を記入して下さい。

○　田中徹会計長

月初めにご連絡致しましたが明日20日、旅行愛好会の積立金を栃木銀行より引落を致しますのでご確認願います。また、立替え払いなど未請求がありましたら次回(最終例会)には必ず依頼書を提出下さいますようお願い致します。

卓話　会長幹事

○　秋間忍会長

これが最後の会長卓話になります。今年度事業計画のうち私の力及ばず少なからず後悔しているものに会計処理の改善がございます。会計を務めてくださった田中さん、事務の佐藤さん、そして広報IT委員会の皆様には本当にご苦労をおかけしました。勝手にやり方を変え、会長という立場にありながら会計事務所ごときの処理を一方的にやってしまうと映ったことでしょう。結果的に当クラブの会計情報をいつでも、どこでも、見られるしくみができたという点では目的を達成したのですが、その進め方が良くなかったと深く反省しております。担当各位には特別な業界的要求を押し付けてしまったことを心よりお詫び申し上げます。言い訳がましくなりますが、この遠因は私の職業奉仕、IT、システム設計の仕事に関係していたと思い返しております。

例えば、自動的にお菓子を作る機械を製造している会社の人は、菓子製造機械のことばかりでなくお菓子のことについてもよく理解していなければなりません。私の会社は過去にいくつもの会計システムを設計、納入してまいりましたので、当然種々の会計処理についてある程度理解していなければならないという立場にあります。そんな私の背景が担当各位に行き過ぎたことまでお願いしてしまったことを今さらながら自戒しております。

今日はその罪滅ぼしといいますか、せっかく完成している黒磯ロータリークラブの新しい会計処理手順を「仕組みとして」できるだけ分かりやすく解説させていただきたいと思います。それでは、プロジェクターをご覧いただきながら当クラブが今使っている会計伝票、この伝票を作成、入力すると決算資料を瞬時に作成してくれるクラウド型会計システムについて時間の許す限りご説明申し上げます。

○　吉光寺政雄幹事

本日卓話でお時間を頂きました。まずは、皆様に一年間のお礼を申上げます。皆様の御協力を頂き、一年間が全うできそうです。本当にありがとございます。

話は変わりますがせっかくお時間を頂いたので私が一昨年から昨年にかけて取り組んだダイエットについてお話しさせて頂きます。見ての通り、一時よりもふっくらして来まして少しづつダイエットに取り組み始めました。ダイエットを一言で申しますと、自分との対話、かと思います。なぜ食べたいのか？どうして太るのかを自分自身に問いかけます。太るのは一回、二回の食事ではありません。食生活と言いますか

夜食べる、寝る前に食べる、食べ過ぎる、等です。自分と対話しながら、食事を絞り、運動を重ねます。

食事を絞ってみると、いかに普段食べている物がおいしいのか実感がありました。30数年生きてきて食べ物がこんなにおいしいのか新しい発見がありました。この後は半田諮問委員から地区規制審議会のお話がありますので半田会員にマイクを渡します。一年間本当にありがとうございました。

○　半田久一地区諮問委員

国際ロータリーの規定審議会は2013年4月21～26日に、米国イリノイ州シカゴにて開催されました。当2550地区より代表議員として、瀬下龍夫PGが出席しました。

審議会では、計173件の立法案が審議されました。その中には、142件の制定案と31件の決議案がありました。これらの内、審議会は53件の制定案および6件の決議案を採択しました。

採択された案件の報告書は、その2ヶ月以内に世界の各クラブ幹事宛に送付されます。クラブはその案件を審議して、反対する場合のみ8月23日までにエバンストンのRI本部に送付しなければなりません。

6月16日午後1時30分より、その報告会が宇都宮グランドホテルにて開催され、福田次期情報委員長、石山次期幹事そして諮問委員として私も出席いたしました。

その内容は、手続要覧の日本語版発行が12月末になりますので、特別な反対がなければ、それを見て次次年度の現況報告書に記載すれば良いとのことでした。クラブとしては、次期定款細則委員会を開き検討したいと思います。

☺　ニコニコボックス　鈴木久雄君

半田　久一君　16日に宇都宮グランドホテルにおいて開催されました規定審議会報告会に参加しました。

鈴木　隆子君　スミマセン!!　ぎりぎりのノルマ達成です。

福田　逸男君　秋間年度　エンジョイ・ロータリー感謝します。

● 6月19日欠席(敬称略)
須藤舜生・篠﨑勝則・平山博・新井聖一・深町彰
澤田吉夫・遠藤清和

○ 前回6月12日分メークアップ(敬称略)
檜山達郎・秋葉秀樹

次回例会　　平成25年6月26日　　役員（退任挨拶）

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

国際ロータリー　第２５５０地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：田中　作治
第２５５０地区ガバナー：鈴木　　宏
事務所：〒325－0826 宇都宮市西原町１４２
宇都宮グランドホテル内
TEL：028-651-2550
FAX：028-651-2551
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp

会　長：秋間　　忍　　幹　事：吉光寺政雄
事務局：八州会館内：吉光寺政雄
〒325-0023 那須塩原市豊浦 12-138
TEL:0287-63-6868・FAX:0287-63-4240
E-mail:masaokikkoji840@gmail.com
例　会：毎週水曜日 12:30－13:30
割烹石山　那須塩原市本町５－５

第 2591 回　秋間年度　第 48 回　会報　2013-06-26　司会　荒井　昌一君

お客様

○　小野安正様

こんばんわ、出戻りの小野でございます。

これから、皆様にはお世話になりますので､末永くお付き合いよろしくお願い致します。

○　磯杏子様　　一年交換留学生、黒磯高校 3 年生
磯恵子様　　杏子さんの 母上

大家好，我叫磯杏子。好久不見！（こんにちは、磯杏子です。お久しぶりです！）6 月 16 日に無事に日本に帰国しました。私は台湾留学を終えて、自分が留学前に目標としていたことを達成できたかなと考えました。私が留学前の挨拶でやりたいといったことは、友達を作ることと、ホストファミリーに日本料理を作ることでした。台湾に留学して私は本当にたくさんの友達が出来たと思います。留学生とはお互い同じ境遇なので、たくさん話してお互いをより知ることができたと思います。今まで会ったことのない国の子と話すのはすごく新鮮で、それぞれの国のことを聞けておもしろかったです。また自分があまり良く知らなかった国も知ることができました。そして自分の知識の無さを知りました。今は来ていた留学生の国全部行ってみたい位の勢いです。

私のホスト地区に来ていた留学生は全部で43人いました。全員で話をするということはあまりなかったのですが、個人個人で話ができたので、ほかの国のことについてもよく知ることができました。しかし、なによりも台湾の友達です。学校の友達はもちろんですが、友達が友達を紹介してくれたり、RYLA で知り合ったり、たくさんの縁でつながっていたなと思います。一回しか会ったことがない人もいましたが、一緒に話をするだけでも友達と呼べるのだなと思うことができました。それと台湾では日本よりもSNSが発達していて、ほぼみんながFacebookを持っているという状況だったので、ネット上で会話をすることも多かったです。最近はこういった方法でも連絡が取れるので便利になったなと感じました。

ホストファミリーは三軒いて、そのうち二軒には自分で日本料理を作り振舞うことができました。肉じゃがと、お好み焼きを作りました。最初の一軒は、お手伝いさんがいていつも料理を作ってくれていたのでなかなか作る機会がありませんでした。また、ロータリーのクリスマスパーティーで自国の料理を作るよう

出席報告　出席委員会　　高根沢邦夫君　（出席免除会員数 1 名）

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU　数	修正出席率
本　日 6月26日	40(1)	33(1)人	7(0)人	82.5%	*	
前　回 5月 8日	40(1)	33(1)人	7(0)人	89.7%	3人	90.0%

欠席の場合は当日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)
メール吉光寺幹事 masaokikkoji840@gmail.com

に言われたので、コロッケとお好み焼きを作ったのですが、時間が足りなくて焦ってしまい見事に失敗しました。これから作るときは時間に余裕を持って作ることと、時間のかかるものを一緒に作ってはいけないということを学ぶことができました。

今回留学するにあたり、ロータリーの方々には本当にお世話になりました。ホストロータリークラブの方々も本当に良くしてくれて、到着・出発とも空港に来てくれました。また、毎月の中国語でのプレゼンの発表の時も、言葉につまずくとすぐにフォローをしてくれてすごく助かりました。ロータリークラブでの活動もたくさんあり、献血のお手伝いをしたり、高雄よりも東にある台東という所へ旅行に行ったり、母の日を祝ったりしました。この留学で日本では経験ができないようなことも経験することができて良かったです。

一番思い出に残っているのは、同じ地区の留学生みんなとダンスを練習して、台北で行われた年次大会で披露したことです。三ヶ月くらいみんなで集まり長い時には１日６時間くらい練習をしたので、本番では満足がいく発表ができました。国境を越えてみんなで協力し合うことができて、すごく思い出深い経験となりました。このような機会を与えてくださって本当にありがとうございました。この１年間で学んだことをこれから先、生かせるように頑張りたいと思います。

会長挨拶　秋間忍会長

皆様こんばんは！一年交換学生として1年間台湾に留学されていた磯杏子さん、お母様の磯恵子さま、ようこそ黒磯ロータリークラブの例会にお越しくださいました。

秋間会長最後の点鐘

小野安正さん、お久しぶりでございます。次年度から黒磯ロータリークラブの会員としてクラブに復帰してくださるとのこと、私も再入会の出戻りなので仲間が増えました。

また、残念ながら今年度で当クラブを退会される田村吉興さんと篠崎勝則さん、最終例会にご出席いただきましてありがとうございます。悲喜交々でございますが今夜ここで皆様にお会いできるご縁を嬉しく思っております。後ほど、お一人ずつお話を頂くことになっておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。お話しすることは山ほどございますがこの後退任挨拶の時間がありますのでこれにて会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告　吉光寺政雄幹事

秋間年度最後の幹事報告をさせて頂きます。

○　ロータリーの友事務局より案内を頂きました。深町雑誌委員長にお渡ししました。

○　宇都宮クラブから次年度インターアクト年次大会の案内を頂きました。髙木次年度新世代委員長にお渡ししました。

委員会報告　澤田吉夫副会長

○　村山茂社会奉仕委員長

那珂川水質調査分析結果報告

【5地点とも例年とほぼ同様の結果となりました。】

考　　察

5地点すべてにおいてBOD,COD及びSSは報告下限値を下回っているか、若干上回る程度となっています。

大腸菌群数については、一部に逆転がありますが基本的に下流に行くにしたがい増えていく傾向となりました。大腸菌は周辺の状況からの影響を特に受けやすいため、断定は難しいのですが、採取当日や前日の天候、水流の速さ、支流の合流による水質の変化等が理由と考えられます。（ここまでは、那須環境技術センター様のコメント）

深山ダム上流、「宿」跡地から入山し三斗小屋温泉を目指しましたが、手付かずの自然が大変印象的でした。ミズナラ、ブナ、カバ類、楓、その他の広葉樹、数多くの草花、勿論、笹竹も生い茂り、鳥居さんのおっしゃる通りでした。白木の大木にはちょうど食べごろの新芽が出ていましたが、採取不可能！これも鳥居さんが見つけました。峠沢周辺はこんな環境ですから、今のところ水質が悪化することは無いと思われます。悪化するとすれば、多くの入山者がいますので、植物の不法採取やゴミの投棄等が考えられます。

大川林道、板室温泉も深山ダム、あるいは板室ダムなど大きな構造物がありますが、年数が経過し自然も回復しているせいか、概ね良好な分析結果となっています。

岩崎から下流は、那須疎水の取水口があり大量の河川水が流出し、極端に水量が減少しています。点在する大石をステップして、川の中心付近まで「革靴」のまま行けます。サンプリングするときは、水が少ないので、川底の泥を巻き上げないようにするのが大変です。これでも数値的には報告下限値内に収まっているのですから、むしろこちらの方が驚きです。河畔公園前の水質は申すまでもありません。

採取場所	調査年	天候	水温	PH 水素イオン濃度	BOD 酸素要求量mg/l	COD 浮遊物質量mg/l	SS 溶存酸素量mg/l	大腸菌群
峠	2007	未調査	15.5	7.4	0.5未満	0.5	2未満	20
	2008	未調査	未調査	7.6	0.5未満	0.5	分析不可	790
	2009	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査
	2010	不明	9.5	7.2	05未満	0.5未満	2未満	20
	2011	不明	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査
沢	2012	雨	10.0	7.5	0.5未満	0.5未満	2未満	490
	2013	晴	未調査	7.6	0.5未満	0.5未満	2未満	330
大川林道	2007	未調査	15.5	7.1	0.5未満	1	2未満	79
	2008	未調査	未調査	7.4	0.5未満	0.5未満	2未満	23
	2009	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査
	2010	未調査	14.0	7.0	0.5未満	0.7	2未満	20
	2011	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査	未調査
	2012	雨	12.0	7.2	0.5未満	0.5未満	2未満	790
	2013	晴	10.3	7.4	0.5未満	0.5未満	2未満	490
板室温泉	2007	未調査	16.5	7.7	0.5未満	1.8	2未満	3300
	2008	未調査	14.0	7.7	0.6	1.2	2未満	790
	2009	未調査	14.0	7.8	0.5未満	0.5	2未満	490
	2010	未調査	14.0	7.6	0.5未満	0.5未満	2未満	330
	2011	未調査	16.0	7.8	0.5未満	0.6	2未満	490
	2012	曇	12.5	7.6	0.5未満	0.5未満	2未満	3300
	2013	晴	16.5	7.6	0.5未満	0.5未満	2未満	3300
岩	2007	未調査	21.0	7.6	0.5未満	1.9	2未満	1100
	2008	未調査	16.0	7.6	0.5未満	1.4	2未満	7900
	2009	未調査	16.0	7.8	0.5未満	0.7	2未満	1700
	2010	未調査	16.0	7.6	0.5未満	0.6	2未満	700
	2011	未調査	19.0	7.8	0.5未満	1.1	2未満	1700
崎	2012	曇	13.7	7.6	0.5未満	0.7	2未満	4900
	2013	晴	18.0	7.7	0.5未満	0.7	2未満	790
河畔公園	2007	未調査	22.0	8.0	0.7未満	1.8	3未満	7000
	2008	未調査	18.0	8.0	0.7	2.7	8	11000
	2009	未調査	19.0	8.2	0.8	1.4	2	790
	2010	未調査	18.0	7.7	0.9	1.7	3	4900
	2011	未調査	19.5	7.5	0.6	1.1	2未満	4900
	2012	曇	19.5	7.7	0.6	1.4	3	4900
	2013	晴	20.7	8.0	0.9	1.1	2未満	7900

反省点

那須環境技術センター様より用意していただいたサンプル採取用器材（容器：5か所分大小各１合計10個、アイスボックス、冷媒、水温計）は、思いの外取り扱いが面倒です。リュックに入れての持ち運び、水採取に際しての衛生管理、採取後の冷却保存など、やや不適切な取り扱いになってしまったと思っております。また､峠沢のサンプリングでは水温計を忘れてしまい、水温を計測することが出来ませんでした。せっかく苦労して行ったのに残念です。岩崎、河畔公園のサンプリングは、気温水温とも高いので、サンプル容器の衛生管理と冷却保存が必須です。大腸菌の数値に大きな影響があると思います。

以上、簡略ではありますが、秋間年度那珂川水質調査の報告といたします。ご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

○　髙木慶一ゴルフ愛好会会長

秋間年度最終コンペ第４回大会を那須黒羽ゴルフクラブで開催しました。優勝者は福田逸男会員です。

退会の挨拶

○　篠﨑勝則君

秋間年度の終了を持って退会をさせていただきます｡出席もままならず､ご迷惑を掛けることが多かったことをお詫び申し上げます｡いろいろな方とお付き合いさせていただき学ぶことが多かったロータリー活動でした｡いろいろお世話になり有難うございました。黒磯ロータリークラブの益々の発展を祈っております。

○　田村吉興君

この度諸般の理由によりロータリー生活30年の節目をもちまして、退会をさせて頂くことになりました。

私は、高根沢憲治さんの推薦により1983年～84年佐川欽一会長年度に入会させていただきました。

入会間もなく情報委員長の柴田文央、佐治俊二大先輩からロータリーとは何かをしっかりご指導頂きました。当時の例会場は足銀３階の会議室で行われ、石山さんからの出前での昼食でした。那須ロイヤルセン

ターでの創立25周年の記念式典に入会間もない私には大変印象深く、今でも鮮明に記憶されています。

この度は私の勝手な理由で退会することになりますが、多くのロータリーアンとの「出会い」と「ふれ合い」は私の自己修練のとなり、人生に大きなインパクトを与えて頂きました。

今日まで私を支えて頂きました会員諸兄に感謝とご健勝を、黒磯ロータリークラブの繁栄をご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

卓話　退任挨拶

○　秋間忍会長

退任挨拶で何を話したら私の気持を皆様にお伝えできるかと考えました。本来は私の年度でご苦労いただいた方々のお名前を1人ずつ申し上げてお礼を述べさせていただきたかったのですが時間が足りません。そこでロータリークラブの会長を勤めさせていただいたことが、私の半生を振り返ってみてもどれだけラッキー、希有の幸運であったかを話すことで皆様への謝辞とさせていただきます。

想えば私が黒磯ロータリークラブを一度退会した頃、私の心はもっと荒んでおりました。自分の身に降りかかる不運を恨み、他人を羨ましがることはあっても支援の手を差し伸べることなど微塵もできませんでした。再入会後黒磯ロータリークラブの皆様と行動を共にさせていただきながら、会長という要職まで任せていただく中で私の心情にも少しずつ変化がありました。今では我が郷土を愛し、何かお役に立てることがあればできる限りお役に立ちたいと思えるようにまでなり、この地に真のふるさと安ぎを見いだすことができました。

ここにおられる方々にはもちろんのこと、今年度事業にご協力くださった全ての方々に心から御礼を申し上げられる自分がいます。陰になり、日向になりながら私を支え、会長として育んでくれた皆様に心から感謝いたしております。なす温泉ドリームバスツアーの二日目、あの好天、幸運に感謝したのと同じように私のありったけの気持ちを言葉にして申し上げます。ありがとうございました。

○　澤田吉夫副会長

一年間は早いもので、あっと言う間に過ぎてしまいました。楽しいローターリーライフというのは、一般の席にいてのお話であり、どうも挨拶席の方は、あまり楽しいローターリーライフではなさそうです。秋間年度の見える会計システムですが、アイパッドでなかなか見ることができずにおります。早急に見えるようにしたいと思っております。又、被災地の震災孤児、遺児のイベントでは、皆様会員の特段のご協力をいただき、成功裏に終わることができたことは、大変良かったと思っております。特に秋葉実行委員長を始め、村山社会奉仕委員長、それにバーベキューでの斎藤先生のお骨折りなど、各ポジションでの皆様のご協力本当にありがとうございました。

秋間会長、吉光寺幹事一年間お疲れ様でした。

いよいよ次回より平山年度のスタートですが、皆様各位の尚一層のご協力よろしくお願いしたいと思います。

○　平山博副会長

まずは，磯杏子さんお帰りなさい。元気なお姿を見て安心しました。今度は、台湾より一年交換学生、李（Lee Yi-Jhen）宜蓁さんが来日しますので宜しくお願い致します。

篠崎さん、田村さんの退会は、大変残念に思います。健康に留意され元気にご活躍ください。

秋間会長、そして吉光寺幹事、一年間本当にご苦労様でした。この一年、エレクトとして自分のことばかりしか考えておらず、お役にたてなかったこと申し訳なく思って居ります。

秋間会長の穏やかな話し方、人を感動させる話し方が印象的で心に残っております。黒磯ロータリークラブの新しい会計処理システムを作っていただきました。平山、澤田年度も採用致します。

吉光寺幹事さんも、結婚、お子様の誕生、そしてお仕事とよく頑張りました。一回りも、二回りも大きく見えます。二人の素晴らしいコンビに敬意を表したいと思います。

『良きことは，真似になりとも，するがよし、いつしか馴れて，誠になるぞ』大いにお二人を

見習い、参考にをさせていただきます。会長も、幹事も一年は早かったと今思っているでしょうが、これからの私達にとりましては、長い一年の始まりです。

お二人ともこれでホットする事無く、今後も平山年度にご指導、ご協力を頂けますよう切にお願い申し上げます。

○　吉光寺政雄幹事

一年間皆様に迷惑をかけながらも、ご協力を頂きなんとか全うできそうです。心から御礼を申上げます。

本日は台湾に行かれていた磯杏子さんからお話しを頂きました。希望と将来への夢で溢れていると思います。

また、秋間年度をもって退会される方、新たに入会される方の挨拶を先程頂きました。

思いますに新陳代謝を繰り返すことで組織は成長するのではないでしょうか。秋間年度が終わり平山年度へ。新たな委員長様のもとで活発なロータリー活動が展開されると思います。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

☺　ニコニコボックス　髙木慶一君

福田　逸男君　秋間年度第４回愛好会ゴルフコンペで優勝しました。

● 6月26日欠席(敬称略)
新井聖一・鈴木隆子・須藤舜生・月江寛智・藤村聡・橋本佳明・室井次男

○ 前回 6月19日分メークアップ(敬称略)
遠藤清和・澤田吉夫・平山博

次回例会　平成２５年　７月　３日　会長・幹事・副会長

近隣クラブ例会日

◎火曜日　西那須野／割烹いとう　0287-36-0028
◎水曜日　大田原中央／ニュー勝田屋　0287-23-4165
◎水曜日　塩原／塩原カントリークラブ　0287-35-2211
◎木曜日　大田原／ホテル龍城苑　0287-24-2525
◎木曜日　那須／ホテルエピナール那須　0287-78-6000
◎金曜日　黒羽／ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：植竹一裕・齋藤武久・鳥居輝一・秋葉秀樹・新井聖一

懇親会　司会石山桂子次年度幹事

○　平山博会長エレクト挨拶

あらためまして、秋間会長、吉光寺幹事一年間本当にご苦労でした。いよいよ平山年度が始まります。もう開き直ってやるしかないと心に決めました。お二人の、今の笑顔のように、この日が迎えられるように、幹事、副会長ともども頑張ってまいります。より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

○　秋間会長挨拶

今年度は、通常の年度事業に加えて「放射能に関する講演会事業」そして「震災遺児孤児支援事業」がありました。この２つ事業があったことでメンバー各位には大変なご苦労おかけしましたが、これらの事業があったことで改めて我がクラブの豊かな人情、優れた能力に直接触れさせていただくことができました。このような素晴らしい人財の中で会長を務めさせていただいたことを一生誇りにさせていただきます。本日はこのような労いの花束までいただき感無量です。平山年度になりましても今年度同様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げて退任の挨拶とさせております。本当にありがとうございました。

一年間お疲れ様でした。引き続き宜しくお願い致します！

澤田副会長の乾杯で懇親会の開始です。

半田さんの一本締めで一次会終了です。二次会にはどちらへいかれたのかな？